

【表紙】

【提出書類】 有価証券報告書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 令和3年6月30日

【計算期間】 第14期（自 令和元年1月1日 至 令和2年12月31日）

【発行者名】 ウィズダムツリー・メタル・セキュリティーズ・リミテッド
(WisdomTree Metal Securities Limited)

【代表者の役職氏名】 取締役 クリストファー・フォールズ
(Director, Christopher Foulds)

【本店の所在の場所】 英国領チャンネル諸島、ジャージー、JE4 8PW、
セント・ハリアー、ピア・ロード 31、
オーデナンス・ハウス
(Ordnance House, 31 Pier Road, St. Helier, Jersey JE4 8PW,
Channel Islands)

【代理人の氏名又は名 称】 弁護士 中川 秀宣

【代理人の住所又は所在地】 〒106-6123 東京都港区六本木6丁目10番1号
六本木ヒルズ森タワー23階
TMI総合法律事務所

【事務連絡者氏名】 弁護士 中川 秀宣

【連絡場所】 〒106-6123 東京都港区六本木6丁目10番1号
六本木ヒルズ森タワー23階
TMI総合法律事務所

【電話番号】 03-6438-5511

【縦覧に供する場所】 株式会社 東京証券取引所（東京都中央区日本橋兜町2番1号）

（注1）アメリカ合衆国ドル（以下「米ドル」といいます。）及びスターリング・ポンド（以下「ポンド」といいます。）の円貨換算は、令和3年4月1日午前0時（ロンドン時間2021年3月31日午後4時）現在のものとしてブルームバーグによって表示される為替レート（スポット・レート）（1米ドル＝110.495000円、1ポンド＝152.476000円）によります。

（注2）発行体は、英国領チャンネル諸島ジャージーの法律に基づいて設立されていますが、発行体の基準通貨は米ドル建てのため、以下の金額表示は別段の記載がない限り、米ドル貨をもって行います。

（注3）本書の中で、金額及び比率を表示する場合、四捨五入してあります。従って、合計の数字が一致しない場合があります。また円貨への換算は、それに対応する数字につき所定の換算率で単純計算の上、必要な場合四捨五入がしてあります。従って、本書の中の同一情報につき異なった円貨表示がなされている場合もあります。

（注4）本書に記載した語句については、文脈により別異に解する必要がある場合を除き、別添の原語を翻訳したものをを用いており、その定義も別添に記載した通りとします。

（注5）本書において、ウィズダムツリー・メタル・セキュリティーズ・リミテッドを「発行体」、「ファンド」又は「外国投資法人」ということがあります。

（注6）発行体は現在7つの種類の投資信託（以下、総称して「貴金属上場投資信託」又は「WisdomTree貴金属上場投資信託」といいます。）を発行しており、これには6種類の個別上場投資信託と1種類の貴金属バスケット上場投資信託があります。個別上場投資信託は個々の金属（金、銀、白金又はパラジウム）の価格に連動するよう設計されており、貴金属バスケット上場投資信託は金属の全部又は一部から構成される金属バスケットの価格に連動します。これらの個別上場投

資信託の内、WisdomTree白金上場投資信託、WisdomTreeパラジウム上場投資信託、WisdomTree銀上場投資信託、WisdomTree金上場投資信託及びWisdomTree貴金属バスケット上場投資信託が東京証券取引所に上場されています。

第一部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1【外国投資法人の概況】

(1)【主要な経営指標等の推移】

貴金属上場投資信託は、期限の定めのない、遡求権の限定されている発行体の債務です。全投資口（以下「投資口」といいます。）は、親会社である投資口保有会社（以下に定義します。）により保有されています。投資家が投資口を取得することはできません。上場投資信託保有者の権利は、後記「(2) 外国投資法人の目的及び基本的性格、C. 外国投資法人の特色、(B) 担保にかかるストラクチャー」に記載されています。

発行体は、資産担保証券である上場商品を発行するために設立された特別目的会社です。

	第10期末 (2016年12月31日)	第11期末 (2017年12月31日)	第12期末 (2018年12月31日)	第13期末 (2019年12月31日)	第14期末 (2020年12月31日)
(a) 営業収益 (注1・注2)	29,268,814米ドル (3,234.058百万円)	32,043,816米ドル (3,540.681百万円)	32,456,189米ドル (3,586.247百万円)	39,240,687米ドル (4,335.900百万円)	49,427,146米ドル (5,461.452百万円)
(b) 経常利益金額 又は経常損失額	0米ドル (0百万円)	0米ドル (0百万円)	0米ドル (0百万円)	0米ドル (0百万円)	0米ドル (0百万円)
(c) 当期純利益金額 又は当期純損失 額	-7,216,853米ドル (-797.426百万円)	-7,494,285米ドル (-828.081百万円)	-2,272,429米ドル (-251.092百万円)	14,010,730米ドル (1,548.116百万円)	-24,668,981米ドル (-2,725.799百万円)
(d) 出資総額 (注3・注4)	-83,386米ドル (-9.214百万円)	-7,577,671米ドル (-837.295百万円)	-9,850,100米ドル (-1,088.387百万円)	4,160,630米ドル (459.729百万円)	-20,508,351米ドル (-2,266.070百万円)
(e) 発行済投資口 総数	2	shares 2	shares 2	shares 2	shares 2
(f) 純資産額	-83,386米ドル (-9.214百万円)	-7,577,671米ドル (-837.295百万円)	-9,850,100米ドル (-1,088.387百万円)	4,160,630米ドル (459.729百万円)	-20,508,351米ドル (-2,266.070百万円)
(g) 総資産額	7,291,160,404米ドル (805,636.769百万円)	8,406,377,216米ドル (928,863.650百万円)	8,624,836,776米ドル (953,001.340百万円)	11,977,214,561米ドル (1,323,422.323百万円)	14,494,232,485米ドル (1,601,540.218百万円)
(h) 1口当たり純資 産価格(注5) (注6) 外国投資 証券1単位当 たりの純資産額	-41,693米ドル (-4.607百万円)	-3,788,836米ドル (-418.647百万円)	-4,925,050米ドル (-544.193百万円)	2,080,315米ドル (229.865百万円)	-10,254,176米ドル (-1,133.035百万円)
(i) 1口当たり当期 純利益金額又は 当期純損失金額 (注7)	-3,608,427米ドル (-398.713百万円)	-3,747,142米ドル (-414.040百万円)	-1,136,215米ドル (-125.546百万円)	7,005,365米ドル (774.058百万円)	-12,334,491米ドル (-1,362.900百万円)
(j) 分配総額	0米ドル (0百万円)	0米ドル (0百万円)	0米ドル (0百万円)	0米ドル (0百万円)	0米ドル (0百万円)
(k) 1口当たり分配 金	0米ドル (0百万円)	0米ドル (0百万円)	0米ドル (0百万円)	0米ドル (0百万円)	0米ドル (0百万円)
(l) 自己資本比率 (注8)	-0.0011%	-0.0901%	-0.1142%	-0.0347%	-0.1415%
(m) 自己資本利益率 (注9)	8654.2361%	-98.8996%	23.0701%	336.7454%	120.2875%

(注1) 発行体は、資産担保証券である上場商品を発行するために設立された特別目的会社です。

- (注2) 営業収益は発行体の管理及び運用にかかる費用、受託者及びカストディアンへの報酬を含む費用等に充てられます。
- (注3) 資本及び負債合計から負債合計を控除して算出される投資主持分の額を記載しています。
- (注4) 出資総額は、発行済資本の額のみを反映しています。ウィズダムツリー・マネジメント・ジャージー・リミテッド (WisdomTree Management Jersey Limited) (以下「管理事務代行会社」ということがあります。) は、業務提供契約に基づき同社が提供する業務の対価として発行手数料及び償還手数料及び管理事務代行報酬を受領します。発行体は、投資口保有会社 (ウィズダムツリー・ホールディングス・ジャージー・リミテッド) の100%子会社です。
- (注5) 貴金属上場投資信託は、期限の定めのない、遡求権の限定されている発行体の債務です。全投資口は、親会社である投資口保有会社により保有されています。投資家が投資口を取得することはできません。上場投資信託保有者の権利は後記「(2) 外国投資法人の目的及び基本的性格、C. 外国投資法人の特色、(B) 担保にかかるストラクチャー」に記載されています。
- (注6) 1口当たり純資産価格は、純資産額を外国投資証券 (外国投資法人債券を除きます。) にかかる発行済投資口総数 (以下、単に「発行済投資口総数」といいます。) により除して計算されます。
- (注7) 1口当たり当期純利益は、当期純利益を発行済投資口総数により除したものです。
- (注8) 自己資本比率は、純資産額を総資産額により除したものです。
- (注9) 自己資本利益率は、当期純利益金額を純資産額により除したものです。

(2) 【外国投資法人の目的及び基本的性格】

A. 概要

WisdomTree白金上場投資信託、WisdomTreeパラジウム上場投資信託、WisdomTree銀上場投資信託、WisdomTree金上場投資信託、WisdomTree貴金属バスケット上場投資信託、WisdomTreeスイス保管金上場投資信託及びWisdomTreeコア保管金上場投資信託の7つの種類の貴金属上場投資信託が発行されており、そのうち、前5種類の上場投資信託を東京証券取引所に上場しています。本書においては、東京証券取引所において上場されている貴金属上場投資信託についてのみ記述を行っています。

発行体は、貴金属上場投資信託の発行、及び、契約の締結を目的とし、並びに、貴金属であるか卑金属を問わず、貴金属地金又はその他の種類の金属に関連したその他の種類の上場投資信託の発行 (及び、関連する契約の締結) のために、ジャージーにおいて設立された公開会社です。発行体の投資口は、ジャージーにおいて設立された投資口保有会社が全て保有しています。

貴金属上場投資信託は、様々な証券取引所に上場されている、期限の定めがない、遡求権が限定された発行体の負債で構成されます。発行体は、無額面投資口の無限資本を有しています。本書提出日現在、その投資口は全て親会社である投資口保有会社によって保有されています。

貴金属上場投資信託の市場価格は、貴金属上場投資信託の売買を希望する投資者における需要と供給、及び、マーケット・メイカーの提示する売値 / 買値のスプレッドによって決定されます。貴金属上場投資信託は、定められた条件に従い、認定参加者によって、いつでも、発行され、また、償還されます。発行及び償還にかかる仕組みは、貴金属上場投資信託が十分な流動性を持つこと、及び、ロンドン証券取引所において取引される価格が関連する貴金属地金の価格に (手数料徴収前の段階で) 連動することを確保するためのものです。認定参加者のみが貴金属上場投資信託を購入又は (認定参加者がいない場合若しくは別途公表された場合はこの限りではありません。) 償還を行うことができます。その他の者はロンドン証券取引所 (又は随時取引を認められる他の証券取引所) における取引を通じて貴金属上場投資信託を売買することとなります。

貴金属上場投資信託の日本における流通市場での売買は、東京証券取引所における取引を通じて行うことができます。

B. 外国投資法人の目的及び基本的性格

(A) 貴金属上場投資信託の概要

発行体は、7つのそれぞれ異なる種類の上場投資信託を設定、及び、発行しています。

これらの上場投資信託の全てを総称して、「WisdomTree貴金属上場投資信託」又は「貴金属上場投資信託」といいます。本プログラムの下では、WisdomTree白金上場投資信託、

WisdomTreeパラジウム上場投資信託、WisdomTree銀上場投資信託、WisdomTree金上場投資信託、WisdomTree貴金属バスケット上場投資信託、WisdomTreeスイス保管金上場投資信託及びWisdomTreeコア保管金上場投資信託の7つの種類の貴金属上場投資信託が発行されており、前5種類の上場投資信託が東京証券取引所に上場されています。本書においては、東京証券取引所において上場されている貴金属上場投資信託についてのみ記載しています。

貴金属上場投資信託は、貴金属地金の現物の受渡し又は保管の取引を行わずに投資者が貴金属市場に投資する手段を提供することを目指します。投資者は、ロンドン証券取引所及び取引が随時承認されるその他の全ての取引所に上場された上場投資信託の取引を通じて貴金属上場投資信託を売買することができます。

貴金属上場投資信託は、期限の定めのない、遡求権の限定された発行体の債務であって、貴金属上場投資信託によって、上場投資信託保有者は（認定参加者である場合又はその他一定の状況下においては）、上場投資信託の償還を要求でき、また、決済日において、当該日における貴金属エンタイトルメントに等しい価額の貴金属地金を受け取る権限が付与されます。

個別上場投資信託の各クラスには、それぞれ個別の貴金属エンタイトルメントが設定されています。2007年4月24日（当初貴金属上場投資信託の取引がロンドン証券取引所において開始された日）においては、当初貴金属上場投資信託の各クラスの貴金属エンタイトルメントは0.10トロイ・オンスの白金、0.10トロイ・オンスのパラジウム、1.00トロイ・オンスの銀、及び、0.10ファイン・トロイ・オンスの金と定められていました。

新しい外国投資法人債券の発行、又は既存の外国投資法人債券の償還は、常に当該時点における貴金属エンタイトルメントに基づき行われます。これにより同じクラスの全ての外国投資法人債券は同じ貴金属エンタイトルメントを保有することとなり、完全に交換が可能となることが確保されます。

貴金属上場投資信託を担保として保証する白金及びパラジウムは、当初カストディアン（ロンドンの金庫室、又は、チューリッヒの当初サブ・カストディアン）のチューリッヒの金庫室に保管されています。銀及び金（WisdomTreeスイス保管金上場投資信託に帰属するものを除きます。）は当初カストディアン（ロンドンの金庫室内）で保管されます。

当該貴金属地金は関連するカストディアン若しくはかかるカストディアンにより選任されたサブ・カストディアン又はサブ・カストディアンから委託を受けた者により他の場所で保管されることもありますが、それは当該金庫室への移送に先立ち又は発行若しくは償還の手続の一環としてなされる一時的なものです。全ての当該貴金属地金は、「特定された」形態で（即ち、唯一のものとして特定できるグッド・デリバリー（延べ棒）として）、担保設定貴金属口座に保有されます。そのごく一部分は、貴金属地金が設定、若しくは、償還のために特定される、若しくは、非特定化される過程にある場合、又は、一本の延べ棒として保有することができないほどの少量の分量である場合、短期的に非特定の形態で保有される可能性があります。

(B) 日本における貴金属上場投資信託の位置付け

貴金属上場投資信託は、発行体による期限の定めのない、遡求権が限定された債務であり、金融商品取引所に上場されています。本書提出日現在、その投資口は全て親会社である投資口保有会社によって保有されています。

(C) 発行体の目的及び基本的性格

発行体は、資産担保証券としての上場商品(ETC)を発行するために設立された特定目的会社です。発行体に対する請求権は、支払いの優先順位に従って履行されます。特定の合同管理資金（プール）に対して適用のある担保証書の執行の後、当該合同管理資金（プール）に関する、担保資産の売却による純売却代金が、当該クラスの個別上場投資信託（及び、当該種類の個別上場投資信託によって構成される限りに関しては貴金属バスケット上場投資信託）にかかる全ての義務を履行し、また、全ての支払期限の到来している支払いを行うために十分でない場合には、当該クラスの当該個別上場投資信託（及び、当該種類の個別上場投資信託によって構成されている限りに関しては貴金属バスケット上場投資信託）にかかる発行体の義務は、担保資産の売却による純売却代金に限定されます。この場合、関連する合同管理資金（プール）に帰属す

る資産以外の発行体の資産（もしあれば）を不足分に充てることはできず、かかる義務に関して追加額を受領する関連する上場投資信託保有者の権利は消滅し、上場投資信託保有者又は受託者のいずれも当該金額を回収する目的で更なる措置を講ずることはできません。これらの状況において、上場投資信託保有者は、投資額の全てを換金できないため、損害を被ることになります。

C. 外国投資法人の特色

(A) 貴金属上場投資信託の概要

貴金属上場投資信託は、期限の定めのない、遡求権の限定されている発行体の債務であって、上場投資信託保有者は（認定参加者である場合又は他の限定的な場合に限り、）、上場投資信託の償還、及び、決済日において、当該日における貴金属エンタイトルメントに等しい価額の貴金属の受領を求める権限を付与されます。認定参加者ではない上場投資信託保有者は、いかなる営業日においても、認定参加者が存在しない場合、又は認定参加者ではない上場投資信託保有者の償還請求を認める旨を発行体が告知した場合、貴金属上場投資信託の償還のみを求めることができます。その場合、上場投資信託保有者が別段の意思表示を行い、かつ特定の条件を満たさない限り、上場投資信託保有者には、貴金属における貴金属エンタイトルメントではなく、貴金属エンタイトルメントの売却代金が支払われることになります。

個別上場投資信託の各クラスには、それぞれ個別の貴金属エンタイトルメントが設定されています。

2007年4月24日（当初貴金属上場投資信託の取引がロンドン証券取引所において開始された日）においては、当初貴金属上場投資信託の各クラスの貴金属エンタイトルメントは0.10トロイ・オンスの白金、0.10トロイ・オンスのパラジウム、1.00トロイ・オンスの銀、及び、0.10ファイン・トロイ・オンスの金と定められていました。

2021年6月30日現在、個別上場投資信託における各クラスの貴金属エンタイトルメントは以下の通りです。

貴金属上場投資信託における各クラスの貴金属エンタイトルメント

WisdomTree白金上場投資信託	0.093270132トロイ・オンス
WisdomTreeパラジウム上場投資信託	0.093270132 トロイ・オンス
WisdomTree銀上場投資信託	0.932701295トロイ・オンス
WisdomTree金上場投資信託	0.094608397 ファイン・トロイ・オンス

(B) 外国投資法人の特色

発行体は、分別された複数の合同管理資金（プール）を有する「傘型（アンブレラ型）」又は「複数クラス（マルチ・クラス）」の投資法人として設立されており、その結果、発行体は、様々の種類の貴金属地金、若しくは、様々な種類の貴金属地金の組合せを基礎として、又は、その他の異なった特徴を有している様々な個別の類型の上場投資信託を発行することが可能となっている一方で、そのような個々の個別のクラスの上場投資信託は、当該クラスに帰属する合同管理資金（プール）に対してのみ遡求権を有しており、その他のクラスに帰属する合同管理資金（プール）に対しては遡求権を有しないとの条件の下での発行が可能となっています。各クラスの個別上場投資信託（及び、当該個別上場投資信託から構成される限りで貴金属バスケット上場投資信託）に帰属する資産及び負債は、当該クラスにかかる合同管理資金（プール）に対応するものとなります。

従って、貴金属上場投資信託には6つの異なる合同管理資金（プール）があります。一つの合同管理資金（プール）は一つのクラスの全ての個別上場投資信託及び当該個別上場投資信託を構成する限度においてバスケット上場投資信託を担保します。

貴金属上場投資信託は、発行体と各種類の上場投資信託保有者の受託者としてのザ・ロー・ディベンチャー・トラスト・コーポレーション・ピーエルシーとの間で締結された信託約款に基づき組成されています。受託者は、信託約款上の全ての権利及びエンタイトルメントを上場投資信託保有者のために信託に基づき保持しています。

更に、発行体と受託者は、各々の合同管理資金（プール）に関して、個別の担保証書を締結しています。各々の担保証書に従って受託者により保有されている権利及びエンタイトルメントは、貴金属上場投資信託の特定のクラスの上場投資信託保有者のために信託に基づき受託者によって保有されています。

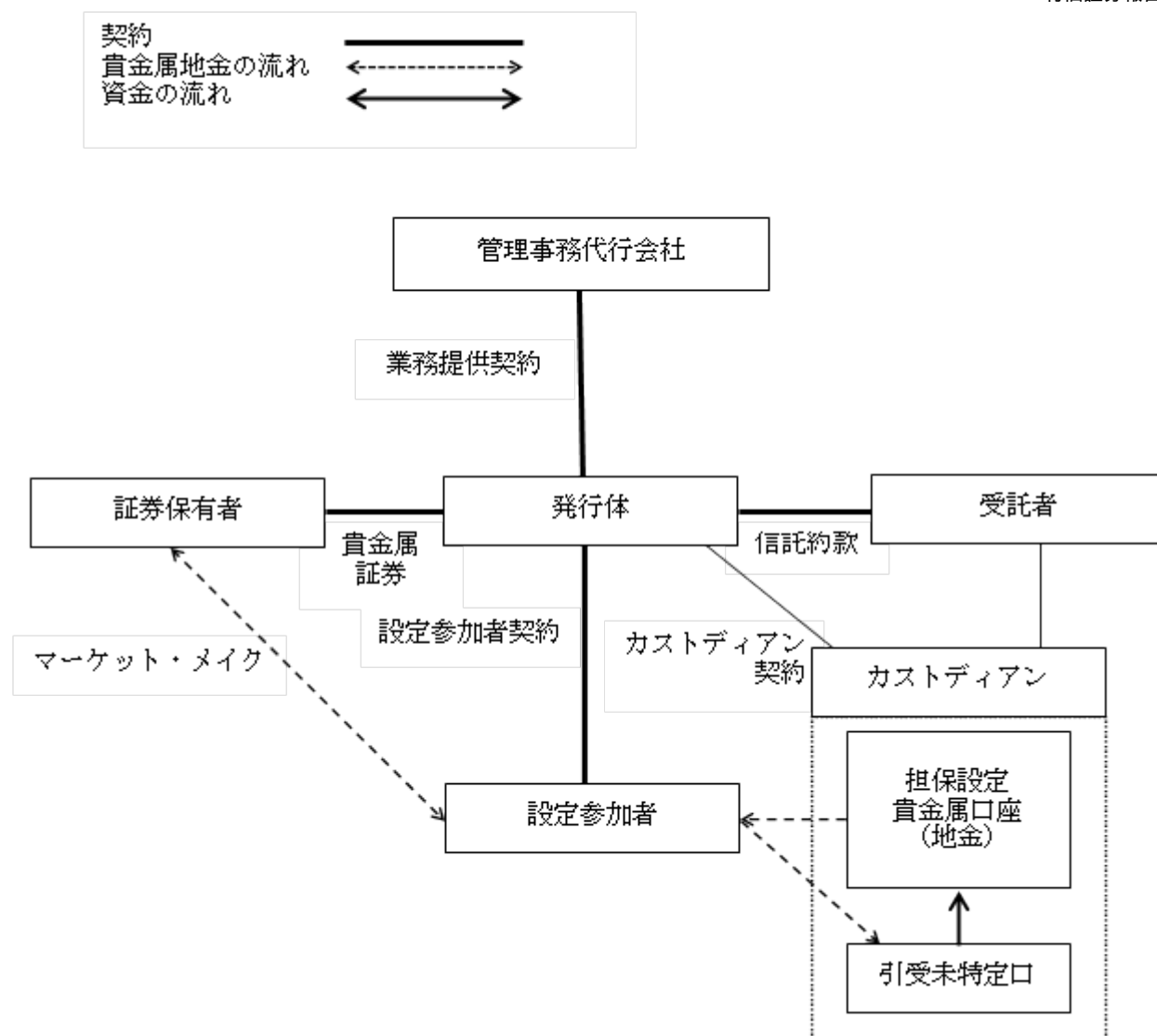
（３）【外国投資法人の仕組み】

A. 外国投資法人の仕組み

貴金属上場投資信託は、信託約款に基づき組成されています。信託約款の規定の下で、受託者は、各々の種類の貴金属上場投資信託の上場投資信託保有者のための受託者として行為します。貴金属地金は、発行体が貴金属上場投資信託に関して受託者及び上場投資信託保有者に対して負っている義務を担保するため、担保証書に基づき、受託者を担保権者とする固定担保の対象となっています。カストディアン契約において、関連するカストディアンは、受託者を担保権者とする担保権の成立を承認し、また、貴金属地金が担保設定貴金属口座に預託された後は、受託者の同意なくして当該貴金属地金の引出しを行うことができないことに同意しています。

各々のクラスの個別上場投資信託（及び、当該種類の個別上場投資信託により構成されている範囲で、各々の種類の貴金属バスケット上場投資信託）にかかる発行体の義務は、発行体が担保設定貴金属口座に保有している関連するクラスの貴金属地金、及び、関連するカストディアン契約に基づき当該担保設定貴金属口座に対して発行体が有する権利に対する担保権によって担保されることとなります。

現在設定されている構成の主要な部分は以下の通りです。



B. 外国投資法人及び外国投資法人の関係法人の名称及び運営上の役割並びに関係業務の概要

(A) 概要

関係法人の名称	運営上の役割	契約等の概要
ウィズダムツリー・マネジメント・ジャー ジー・リミテッド (WisdomTree Management Jersey Limited)	管理事務 代行会社	業務提供契約に基づき、管理 事務代行会社は一定の運用及 び管理事務代行サービス業務 を発行体に対して提供し、ま た、発行体の全ての運営及び 管理事務代行にかかる費用の 全てを支払います。

ザ・ロー・ディベンチャー・トラスト・コーポレーション・ピーエルシー（The Law Debenture TrustCorporation p.l.c）	受託者	貴金属上場投資信託は、発行体と各種類の上場投資信託保有者の受託者であるザ・ロー・ディベンチャー・トラスト・コーポレーション・ピーエルシーとの間で締結された信託約款に基づき組成されています。受託者は、上場投資信託保有者のために信託に基づき、信託約款上の全ての権利及びエンタイトルメントを保持しています。 更に、発行体と受託者は、各々の合同管理資金（プール）に関して、個別の担保証書を締結しています。各々の担保証書に基づき、保持されている権利及びエンタイトルメントは、特定のクラスの上場投資信託保有者のための信託に基づき受託者により保持されています。
アール・アンド・エイチ・ファンド・サービスズ（ジャージー）リミテッド（R&H Fund Services(Jersey) Limited）	秘書役	発行体は、アール・アンド・エイチ・ファンド・サービスズ（ジャージー）リミテッド（以下「秘書役」又は「R&H」ということがあります。）との間で、会社管理契約を締結しており、これに基づきR&Hは、発行体のために一定の管理業務（受領代理人としての業務を含みます。）を遂行します。
コンピューターシェア・インベスター・サービスズ（ジャージー）リミテッド（ComputershareInvestor Services (Jersey)Limited）	登録名義書換事務代行会社	発行体、登録名義書換事務代行会社及び受託者との間の名義書換事務代行契約に基づき、登録名義書換事務代行会社として業務提供するために任命され、ジャージーで登録簿を管理します。

<p>エイチエスピーシー銀行・ピーエルシー (HSBC Bank p.l.c)</p>	<p>カスト ディアン</p>	<p>エイチエスピーシー銀行・ピーエルシーは、エイチエスピーシー・ホールディング・ピーエルシーの完全子会社で、その登記上の事務所はE14 5HQ、ロンドン、カナダ・スクエア8番に所在します。当初カストディアン契約に従い、随時保管及び登録業務に携わります。</p>
---	---------------------	---

(B) 担保にかかるストラクチャー

各々の担保証書の条項に基づき、発行体は、カストディーの下におかれている関連するクラスの個別上場投資信託（及び、当該個別上場投資信託を構成する範囲で貴金属バスケット上場投資信託）に帰属する貴金属地金及び担保設定貴金属口座に関する発行体の全ての権利を、第一順位の固定担保により、受託者に託しており、また、発行体は、担保権の設定により、カストディアン契約に基づく当該クラスに関連した発行体の契約上の権利を、受託者に譲り渡しています。更にまた、発行体は、受託者のために、関連する合同管理資金（プール）に帰属する担保の対象となっている資産にかかる全ての発行体の権利に対して、当該合同管理資金（プール）に帰属するカストディアン契約及び担保設定貴金属口座に基づく権利を含め、また、これらの権利に限ることなく、第一順位の浮動担保を設定しています。

関連する担保設定貴金属口座から回収される額が、関連する合同管理資金（プール）にかかる全ての義務の履行及び全ての支払いに応じるために不十分である場合には、発行体には、その不足部分に応じるために利用可能なその他の資産は存在せず、当該クラスの個別上場投資信託（及び、当該個別上場投資信託を構成する範囲で貴金属バスケット上場投資信託）にかかる保有者のそれ以上の請求権は全て消滅することになります。

信託約款の条項では、上場投資信託保有者、又は、上場投資信託保有者のために行為する受託者は、貴金属上場投資信託に関して、発行体によって発行された全ての発行済貴金属上場投資信託に対して支払われるべき全ての金額が払い戻された日から2年間（又は、その後の場合は、発行体が当該期間内に行った取引が関連する破産又はその他の手続の下で異議を提起できるかに関しては、破産の開始により終了する最長の停止期間、優先期間、あるいは、類似の期間（表現を問いません。））と一日の間は、発行体に対して、（管財人及び関連する保証証書に従った管理者の選任を除き）破産、支払停止、負債の支払猶予、清算、事業再編成、債務整理、破綻若しくは解散にかかる手続、又は、その他のいかなる類似の法的手続をも提起せず、また、そうした法的手続を提起する他の者に参加しないこととなっています。

(4) 【外国投資法人の機構】

A. 発行体の統治に関する事項

(A) 投資主総会

a. 投資主総会

年次投資主総会は、毎暦年に1回開催されます。但し、発行体が設立日から18ヶ月以内に最初の年次投資主総会を開催する場合には、設立年又はその翌年に年次投資主総会を開催する必要はありません。その他の全ての投資主総会は、臨時投資主総会と呼ばれます。投資主総会の日時及び場所（ジャージーにおいて、又はそれ以外の）は、取締役会によって決定されます。

取締役会は、適切とみなす時はいつでも、及び、1991年ジャージー会社法に基づき投資主が書面による請求を行った時には、発行体の臨時投資主総会の招集を決定することができます。

請求により招集された臨時投資主総会においては、取締役会により召集された場合でない限り、請求において記載された以外の議事は、会議の目的として処理されません。

各年次投資主総会及び特別決議の可決のために召集される各総会については、少なくとも21日の猶予期間をもって通知され、また、その他のあらゆる総会については、少なくとも14日の猶予期間をもって通知されます。

b. 投資主総会の権能及び議事

年次投資主総会の議事は、発行体の会計、及び、取締役会及び監査人の報告書を受領し、検討すること、取締役を選任すること（必要な場合）、監査人を選任し、監査人報酬を決定すること、適当であると判断される場合に配当を承認すること、並びに、通知の付与されたその他の全ての議事を処理することです。

投資主総会の議事が議題へ進む際に、定足数が満たされていない限り、投資主総会の閉会を除き、いかなる議事も、投資主総会において取り扱われないものとします。

発行体の定款において別に規定されている場合を除き、いかなる者であっても、議決権の行使を要求する出資証券の所有者であるとして登録されていない限り、いかなる議事に出席若しくは参加し、又は、自身若しくは代理人により投票する権限を有しません。

投資主総会の決議は、1991年ジャージー会社法又は発行体の定款に特段の定めがある場合を除き、投じられた投票の過半数によって採択されます。

取締役及び監査人は、本投資法人のあらゆる投資主総会について通知を受領し、出席し、かつ発言する権利を有します。

挙手に際しては、自身で出席している各投資主は、1議決権を有します。

B. 発行体の運用体制

発行体は、コモディティ上場投資信託（ETC）を資産担保証券として後記「2. 投資方針、（1）投資方針」に従って発行します。投資方針を実行するに当たり裁量はなく、また発行体は投資方針に関し変更を予定していません。したがって、発行体の各取締役を除き、発行体には投資方針の遵守を確保する責任を負う監督機関はありません。

(A) 取締役

a. 取締役

発行体は、通常決議によって、取締役の最大数及び最少数を決定することができます。別の決議がなされるまで、若しくはなされない限り、又は（法により別の定めがある場合を除き）基本定款の署名者により、若しくは発行体の定款に従ってその多数により1名の取締役のみが任命されるまで、若しくは、されない限り、取締役の最低数は2人とします。発行体は、1991年ジャージー会社法の求める方法により、取締役の登録簿を事務所に備える、又は、備えさせるものとします。

取締役は、投資主である必要はありませんが、発行体のいかなる投資主総会又は別個のいかなるクラスの出資証券の投資主総会であっても、その通知を受け取り、出席し、また、発言する権利を有します。

取締役は、取締役会、若しくは、投資主総会に出席し、又は、発行体のその他の業務に当たるために、その適正かつ必要に応じて支出した、旅費及びその他の費用につき、発行体の資金から、返済を受けるものとします。取締役は、その取締役としての業務に対して、発行体の決議によって定められる報酬の支払いを受けるものとします。その金額は、取締役の間で合意されるところに従い、又は、合意がない限り、平等に、分配されるものとし、日々発生するものとみなされます。

b. 取締役の権能

発行体の業務は、取締役により運営されます。取締役は、1991年ジャージー会社法又は発行体の定款により投資主総会により行使されることが要求されない発行体のあらゆる権限を行使することができるものとされており、不動産及び動産に関する取引、並びに、全てのその他の

法的及び裁判上の取引、行為及び事柄において、また、全ての裁判所において、発行体を代表する権能及び権限は、取締役に授けられています。

c. 取締役会の議事

取締役は、適切と判断されるところに従い、業務の迅速な処理のために会議を開催し、延会し、また、別途統制することができます。いずれかの会議において発生した問題は、議決権の過半数によって決定されます。議決権の賛否が同数である場合には、議長は、第二の議決権、又は、キャスティング・ボートを有します。代理取締役でもある取締役は、その代理する取締役が欠席の場合にあっては、当該取締役のために、自身の投票に加えて、別個の議決権を有します。

取締役及び取締役の請求を受けた秘書役は、いかなる時にあっても、24時間よりも少なくない通知を各々の取締役及び代理取締役に行うことによって、取締役会を招集することができます。但し、いかなる取締役会であっても、取締役会において別に決議されない限りにおいて、取締役会の通知は文書によることが必要とはされていないことを条件として、より短い時間の通知により、また、各取締役又は代理取締役が承認する方法により、開催することができます。

(B) 業務執行取締役

取締役会は、随時、一名又はそれより多い数の取締役を、その定める条件により、及びその定める期間に基づく経営責任者を務めるよう任命することができます。いかなる取締役の経営責任者への任命は、取締役ではなくなった場合には、停止されますが、それは、取締役と会社の間のいかなる業務契約の違反による請求に対し何らの影響を及ぼしません。

取締役は、経営責任者の職にある取締役に対して、取締役によって執行される全ての権限を、適当と判断する条件により、及び、制限を付して、並びに、その権限に付随して、又は、その権限を除外して、委託又は授けすることができます。また、取締役は、随時に、かかる権限の全部又は一部を破棄、撤回、修正、又は変更することができるものとされています。

(C) 秘書役

秘書役は取締役会によって任命され、また、取締役会は秘書役を解任する権限を有しています。発行体は、アール・アンド・エイチ・ファンド・サービシーズ(ジャージー)リミテッド(R&H FundServices (Jersey) Limited。以下「秘書役」又は「R&H」といいます。)との間で会社管理契約を締結しており、これに基づき、同社は、発行体のために一定の管理業務(受領代理人としての業務を含みます。)を遂行する秘書役としての業務を行います。

(D) 外国投資法人の運用体制

発行体における特定の運用及び管理は、業務提供契約に基づき、管理事務代行会社であるイーティーエフエスセキュリティーズ・マネジメント・カンパニー(ジャージー)リミテッドが行い、また、発行体の管理及び運営にかかる費用(秘書役、登録名義書換事務代行会社、受託者及びカストディアン)の報酬を含みます。)の全てを支払います。

(5) 【外国投資法人の出資総額】

発行体である外国投資法人は、投資口保有会社の完全子会社であり、管理事務代行会社により運営されています。貴金属上場投資信託は期限の定めのない、遡求権の限定されている発行体の債務で、上場されています。発行体は、無額面投資口の無制限な資本を有しています。本書提出日現在、その投資口は全て投資口保有会社によって保有されています。

発行体の2020年12月31日現在の発行済投資口総数及び出資総額は次のとおりです。

出資総額 -20,508,351米ドル(-2,266,070,243.75円)

発行済投資口総数 2口

なお、最近5年における出資総額及び発行済投資口総数の増減は、以下のとおりです。

第9会計年度末 (2015年12月31日)	第10会計年度末 (2016年12月31日)	第11会計年度末 (2017年12月31日)	第12会計年度末 (2018年12月31日)	第13会計年度末 (2019年12月31日)	第14会計年度末 (2020年12月31日)

出資総額	7,133,467米ドル (788,212,436.17 円)	-83,391米ドル (-9,214,288.55 円)	-7,577,675米ドル (-837,295,199.13 円)	9,850,100米ドル (1,088,386,799.50 円)	4,160,630米ドル (459,728,811.85 円)	-20,508,351米ドル (-2,266,070,243.75 円)
発行済投資口総数	2口	2口	2口	2口	2口	2口

(6)【主要な投資主の状況】

発行体である外国投資法人は、投資口保有会社の完全子会社です。貴金属上場投資信託は期限の定めのない、遡求権の限定されている発行体の債務で、上場されています。発行体は、無額面投資口の無制限な資本を有しています。本書提出日現在、その投資口は全て親会社である投資口保有会社によって保有されています。

(2020年12月31日現在)

名称	住所	所有投資口数	総投資口数に対する所有投資口数の比率
ウィズダムツリー・ホールディングス(ジャージー)リミテッド	英国領チャンネル諸島、 ジャージー JE2 4WX、セント・ハリアー、ピア・ロード 31、オーデナンス・ハウス	2口	100%

2【投資方針】

(1)【投資方針】

本プログラム

A. イントロダクション

貴金属上場投資信託は、期日の定めのない、遡求権の限定されている、上場投資信託保有者(認定参加者である場合)に権利を与える発行体の債務であって、上場投資信託保有者は(認定参加者である場合は)、上場投資信託の償還、及び、決済日において、当該日における貴金属エンタイトルメントに等しい額の貴金属の受け取りを求めることができる権限を付与されます。認定参加者ではない上場投資信託保有者は、いかなる営業日においても、認定参加者が存在しない場合又は認定参加者でない上場投資信託保有者の償還を認める旨発行体が発表した場合には、貴金属上場投資信託の償還のみを求めることができますが、その場合、上場投資信託保有者が別段の意思表示を行い、かつ特定の条件を満たさない限り、上場投資信託保有者には、貴金属における貴金属エンタイトルメントではなく、米ドル建てで貴金属エンタイトルメントの売却代金が支払われることとなります。

WisdomTree白金上場投資信託、WisdomTreeパラジウム上場投資信託、WisdomTree銀上場投資信託、WisdomTree金上場投資信託、及びWisdomTree貴金属バスケット上場投資信託の貴金属上場投資信託が東京証券取引所に上場されており、その各々は、金庫にある現物の貴金属地金によって裏づけられたものとなります。すなわち、各々の貴金属上場投資信託は、関連する協会によって定められた「グッド・デリバリー」基準に則って「割り当てられた」貴金属地金によって担保されることとなります。

B. 貴金属エンタイトルメント

a. 個別上場投資信託

各々の種類の個別上場投資信託に対して、それぞれ個別の貴金属エンタイトルメントが設定されており、2007年4月24日(当初貴金属上場投資信託の取引がロンドン証券取引所において開始された日)においては、0.10トロイ・オンスの白金、0.10トロイ・オンスのパラジウム、1.00トロイ・オンスの銀、及び、0.10ファイン・トロイ・オンスの金と定められていました。2021年6

月30日現在における各々の種類の個別上場投資信託にかかる貴金属上場投資信託は以下の通りとなっています。

上場投資信託のクラス 貴金属エンタイトルメント

WisdomTree白金	0.093270132	トロイ・オンス
WisdomTreeパラジウム	0.093270132	トロイ・オンス
WisdomTree銀	0.932701295	トロイ・オンス
WisdomTree金	0.094608397	ファイン・トロイ・オンス

新たな上場投資信託が発行され、又は、既存の上場投資信託が償還される際には、いつでも、その時点において有効な貴金属エンタイトルメントによって行われることになり、従って、同じ種類の全ての上場投資信託が同じ貴金属エンタイトルメントを有していること、及び、完全に代替可能であることが確保されています。

管理費用により、貴金属エンタイトルメントは、日々、以下のように減少します。

$$ME_{(i,t)} = ME_{(i,t-1)} \times (1 - MF_{(1,t)})^{1/N};$$

ここで、

- i は、関連するクラスの個別の上場投資信託を指します。
- t は、関連する日を指します（t-1は、当該日の前日を指します。）。
- $ME_{(i,t)}$ は、t日におけるiクラスの貴金属上場投資信託の貴金属エンタイトルメントを指します。
- $ME_{(i,t-1)}$ は、当該日の前日におけるiクラスの貴金属上場投資信託の貴金属エンタイトルメントを指します。
- $MF_{(1,t)}$ は、t日の1クラスの貴金属上場投資信託に適用される年間の管理費用を少数で表示したものです（従って、年率49ベーシス・ポイント（年間）は0.0049として、年率39ベーシス・ポイント（年間）は0.0039として表示されます。）。
- N は、365（又は、うるう年にあっては366）です。

貴金属エンタイトルメントは、発行体により、0.0000000005トロイ・オンス（又は、金の場合にはファイン・トロイ・オンス）を切り上げて、小数点以下第9位まで各日計算されます。

管理費用は、毎月月末に、担保設定貴金属口座からの貴金属地金の振替えにより、支払われますが、それは受託者の同意があった場合に限られます。

b. 貴金属バスケット上場投資信託

WisdomTree貴金属バスケット上場投資信託は、以下の表に記載された固定数の個別投資信託により構成される一つの上場投資信託です。

個別上場投資信託のクラス 貴金属バスケット上場投資信託の数

WisdomTree白金上場投資信託	0.1
WisdomTreeパラジウム上場投資信託	0.2
WisdomTree銀上場投資信託	1.2
WisdomTree金上場投資信託	0.4

従って、2021年6月30日現在、各々のWisdomTree貴金属バスケット上場投資信託には、以下のように、4つの貴金属の各々によって構成される合成貴金属エンタイトルメントが設定されています。

貴金属の種類 貴金属エンタイトルメント

白金	0.0093270137トロイ・オンス
パラジウム	0.018654026トロイ・オンス
銀	1.1192415542トロイ・オンス
金	0.037843359ファイン・トロイ・オンス

貴金属バスケット上場投資信託の貴金属エンタイトルメントは、その構成されている個別上場投資信託に適用される管理費用分だけ減少していくことになります。

C. LPPM及びLBMA

現物貴金属市場における清算は、白金及びパラジウムについては、主に、チューリッヒ及びロンドンを中心として行われており、銀及び金については、ロンドンを中心として行われています。これらの市場での業務の調整者として活動する二つの取引協会があります。すなわち、ロンドン白金・パラジウム市場（London Platinum and Palladium Market（LPPM））、及び、ロンドン地金市場協会（London Bullion Market Association（LBMA））です。これらの協会の役割には、「公認溶解業者リスト（グッド・デリバリー・リスト、"Good Delivery" list）」の維持、現物延べ棒の質にかかる最低基準への合致の確保、市場における清算及び金庫保管に関する調整、良質な取引慣行の促進、並びに、標準契約文書の促進が含まれます。

D. グッド・デリバリー

「グッド・デリバリー」とは、延べ棒／インゴットが、ロンドン貴金属市場における現物貴金属の取引において受け入れられるために順守されなければならない細目のリストです。白金及びパラジウムのインゴットに関する「ロンドン／チューリッヒ・グッド・デリバリー・リスト」に含まれるために必要とされる基準は、LPPMのウェブ・サイト上に表示されています。金及び銀の延べ棒に関する「グッド・デリバリー・リスト」に含まれるために必要とされる基準は、LBMAによって出版されている「金及び銀の延べ棒に関するグッド・デリバリー・ルール（The Good Delivery Rules for Gold and Silver Bars）」において示されています。その要約は、以下の表に掲載されています。

	白金	パラジウム	銀	金
形状	延べ板又はインゴット	延べ板又はインゴット	延べ棒	延べ棒
最低純度	99.95%	99.95%	99.9%	99.5%
重量	1kg～6kg (32～192oz)	1kg～6kg (32～192oz)	750oz～1,100oz	350oz～430oz
度量単位	トロイ・オンス	トロイ・オンス	トロイ・オンス	ファイン・トロイ・オンス

延べ棒となっている純金の実際の重量は、小数点第3位まで表示され、（オンス単位で小数点第3位までの）総重量に（パーセント単位で小数点第2位までの）純度を乗じることによって計算されます。例えば、404.075トロイ・オンスで99.58パーセントの純度の金の延べ棒は、402.377ファイン・トロイ・オンスの純金の含有量を有するものとして記帳されます（小数点第4位が9でなければ切り上げはありません。）。

市場においては、より少量の含有量の高い延べ棒が入手可能ですが、発行体は、グッド・デリバリーの延べ棒により担保された上場投資信託のみを発行します。

E. 取引単位

白金、パラジウム、及び、銀の取引単位は、トロイ・オンスです（「ファイン」という言葉が用いられないので、その重量は、純度には関係ないということになります。）。金に関しては、1ファイン・トロイ・オンス（「ファイン」とは、純粋な金属であることを意味します。すなわち、100パーセントの純度の金の実際の含有量を意味します。）です。協会がトロイ・オンスとメートル法との間での換算に用いる交換比率は、1トロイ・オンスが31.1034768グラムであり、1キログラムが32.1507465トロイ・オンスです。

F. 保管

a. 特定口座

特定口座とは、取引業者が、唯一の特定可能な金属の延べ棒が、顧客に「特定して割り当て」られ、当該取引業者の金庫において保管されているその他の金属から区分されていることを証拠

立てつつ、当該顧客の名称で、保有している口座です。当該顧客は、取引業者がこの金属をカストディアンとして保有していることによって、当該金属に対する完全な権限を保有します。

b. 非特定口座

ロンドン及びチューリッヒにおいて取引される貴金属のほとんどは、非特定の形態で取引され、決済されます。この形態により保有されている金属については、保有者は、金属の特定の延べ棒にかかる権限を取得できず、一定量の金属のデリバリーを要求する権利を取得します。顧客の口座契約の条項に従い、顧客は、非特定口座と特定口座の間の振替えを（顧客が十分な残高を有しているのであれば）行うことができます。

c. 受渡し場所

チューリッヒ/ロンドン市場において取引される白金及びパラジウムは、通常は、チューリッヒ受渡し（ロコ・チューリッヒ。貴金属の現物がチューリッヒの金庫に保管されていることを意味します。）若しくはロンドン受渡し（ロコ・ロンドン。貴金属の現物がロンドンの金庫に保管されていることを意味します。）、又は、チューリッヒ若しくはロンドンに設定された口座で振替えられます。チューリッヒ/ロンドン受渡しのスポット取引にかかる決済及びデリバリーの基準では、取引日以後2営業日において、デリバリーに対して（通常は米ドルによる）支払いが行われます。金属のデリバリーは、現物のデリバリー、又は、非特定口座に対する清算システムを通じてのデリバリーのいずれかにより行うことができます。

ロンドン市場における銀及び金の取引は、白金及びパラジウムの取引と類似しますが、これらの貴金属は通常はロンドン受渡しでのみ取引されることが異なっています。気配値は通常、米ドルで出されますが、その他の交換可能通貨によっても気配値を出すことができます。

G. 値決め

ロンドン市場においては、世界中の顧客の注文を相対させることを意図した値決めがなされるという貴金属の価格設定にかかるサービスが提供されています。歴史的に、各々の関連する市場における値決めは、ロンドンにおける会員の営業日に、電話により行われていました。2014年及び2015年に、新しい入札手続きを導入するため、各類型の地金の値決めについて数々の変更が実施されました。

金

ICEベンチマーク・アドミニストレーション（以下「IBA」といいます。）は、2015年3月20日に、LBMAが認定した参加金ブリオン・バンク又は参加マーケット・メイカー（以下「金参加者」といいます。）のための、米ドル、ユーロ又は英ポンド建てで取引を決済できる電子的、取引可能かつ監査可能な店頭入札市場の運営管理を開始しました。本入札により、1日の取引に関する金指標価格が設定されます。本入札は、2015年3月19日に廃止された、ロンドン・ゴールド・マーケット・フィクシング・リミテッドが以前決定していた「ロンドン金値決め」に取って代わる金価格設定基準としてLBMAが選択したものです。新しい入札手続きでは、従前の金値決め手続きと同様、ロンドン各取引日に2回、ロンドン時間午前10時30分及びロンドン時間午後3時に開始する値決め時間にファイン・トロイ・オンス当たりの値決めが行われ（前者を「LBMA午前金価格」、後者を「LBMA午後価格」といいます。）、これらが公表されます。

銀

LBMAは、2014年5月14日に、銀値決めメンバーが行っていた電話での銀の値決め手続きが、2014年8月14日以降に稼働終了することを発表しました。LBMAは、2014年7月11日に、CMEグループ・ヨーロッパ・リミテッド（以下「CME」といいます。）及びトムソン・ロイター・ベンチマーク・サービス・リミテッド（以下「トムソン・ロイター」といいます。）の提供するソリューションが、LBMAのメンバーにより、銀のロンドン午前値決めの代替として選定されたと発表しました。CMEは、2014年8月15日以来、ロンドン取引時間中に毎日1回、LBMA認定参加銀プリオン・バンク又は参加マーケット・メイカー（以下「銀参加者」といいます。）の間で、当該日の取引に関する銀指標価格（「ロンドン銀価格」と称されることが多いです。）を設定する「均衡入札」を行っています。

白金

ロンドン金属取引所（以下「LME」といいます。）は、2014年12月1日に、ロンドン・プラチナ・アンド・パラジウム・フィキシング・カンパニー・リミテッド（以下「LPPFCL」といいます。）が従前に利用していた手動のロンドン白金値決め手続きを電子的に複製した、電子的白金地金値決めシステム（以下「LMEプリオン」といいます。）の運営管理と、LME値決めメカニズムで設定された価格での白金地金取引のための電子的市場決済手続きの提供を開始しました。LMEの電子的値決め手続きでは、従前のロンドン白金値決め手続きと同様、ロンドン各取引日に2回、ロンドン時間午前9時45分及びロンドン時間午後2時に開始する値決め時間に白金のトロイ・オンス当たりの価格が設定され（前者を白金の「LME午前価格」、後者を白金の「LME午後価格」といいます。）、これらが公表されます。

パラジウム

LMEは、2014年12月1日に、LPPFCLが従前に利用していた手動のロンドンパラジウム値決め手続きを電子的に複製した、LMEプリオンの運営管理と、LME値決めメカニズムで設定された価格でのパラジウム地金取引のための電子的市場決済手続きの提供を開始しました。LMEの電子的値決め手続きでは、従前のロンドンパラジウム値決め手続きと同様、ロンドン各取引日に2回、ロンドン時間午前9時45分及びロンドン時間午後2時に開始する値決め時間にパラジウムのトロイ・オンス当たりの価格が設定され（前者を「LME午前価格」、後者を「LME午後価格」といいます。）、これらが公表されます。

	白金	パラジウム	銀	金
値決め時刻 （概算）（時間）	09.45 14.00	09.45 14.00	12.00	10.30 15.00

H. 金庫での保管及び清算

関連する協会の一定の会員が、清算業務の提供を行っています。会員は、現物貴金属の保管のために、自己の金庫を使用することもあれば、又は、それ以外の会社の安全が確保された保管施設を使用することもあります。現在のカストディアンは、両方の協会の会員です。発行体としては、現在のところ、カストディアン及びその関連する者は、市場における最大の貴金属の清算者うちの2社であると考えています。両方の協会の清算会員は、毎日運営されている清算制度を使用しており、そこでは、これらの会員は、相互の間の全ての取引、及び第三者への振替えを決済するために、これらの会員が相互の間で維持している非特定貴金属を用いています。この制度は、貴金属の現物の移送に伴う安全上のリスク及び費用を避けるために設計されたものです。

I. 契約文書

関連する協会は、特定口座及び非特定口座の運営、並びに、貴金属のスポット取引における売買取引についての条件にかかる多数の標準契約書を発展させ、また、導入してきました。貴金属の売買取引においては、発行体は、可能な限りにおいて、標準清算契約書を、受託者の求めにより改訂されたところに従って、使用することとしています。

(2) 【投資対象】

上記「(1) 投資方針」に記載の通りです。

(3) 【分配方針】

貴金属上場投資信託は、特定の満期を有しない外国投資法人債券であって、金利を支払いません。

(4) 【投資制限】

特定の種類の貴金属上場投資信託が発行済みである限りにおいて、発行体は信託約款において、特に、以下を規定しています。

- i. いかなる合同管理資金（プール）に関しても、貴金属上場投資信託又はそれ以外に発行される上場投資信託を除き、借入れによる負債を起こすこと、又は、そうした負債の存続を許容することは行ってはならず、また、個別の事案ごとに受託者が予め書面により同意する場合を除き、いかなる者の負債に関しても保証、又は、補償を行ってはならない。
- ・ 関連する担保証書に基づき許容される場合を除き、担保資産又はその権利を処分してはならず、また、いかなる者のためであっても、抵当権、質権、担保権、先取特権、若しくは、その他の形態での権利への制限、又は、遡求権にかかる担保権若しくは権限の設定をしてはならない。
- ・ 信託約款により許認される場合を除き、貴金属上場投資信託の発行及び償還、貴金属地金の取得及び処分、並びに、そのための契約の締結、義務の履行及び権利の行使以外のいかなる事業も行ってはならない。
- ・ 上場後3ヶ月経過以前にあっては、少なくとも一の認定参加者を確保し、その後は、常に二以上の認定参加者を確保するよう、合理的な努力を尽くすものとする。
- ・ 決済日において計算される貴金属エンタイトルメントに等しい総額の貴金属地金を受領しない限り、いかなる個別又は貴金属バスケット上場投資信託も発行してはならない。
- ・ 英国において、事務所又はその他の事業のための固定的な場所を設営してはならず、いかなる恒久的施設も設立してはならない。また、英国における税法上の居住者となってはならない。
- ・ 米国連邦所得税法上の法人としての課税対象団体以外のものとして、米国連邦所得税法上取り扱われることを選択してはならない。
- ・ 課税の影響を最小限のものとするよう事業を行わなければならない。
- ・ 複数の合同管理資金（プール）を常に、相互に容易に分別できるような方法で管理されなければならない。

以上にかかわらず、発行体は、無担保の遡求権の限定された債券を発行し、それぞれの条項を履行することができます（但し現在かかる債券は発行されていません。）。

3 【投資リスク】

A. リスクの特性

過去のパフォーマンスは、将来的に期待されるパフォーマンスを示すものではなく、貴金属上場投資信託に対する投資のパフォーマンスは、大きく変動する可能性があります。

貴金属上場投資信託に投資した場合には、顕著なリスクを伴います。投資予定者は、本書に記載される発行体及び発行体の業界、並びに商品上場投資信託に関するリスクが、商品上場投資信託への投資を検討するか否かを投資予定者が評価するために最も不可欠であると発行体が考える点に留意すべきです。発行体及び商品上場投資信託が直面するリスクは、将来生じる可能性があり、又は生じない可能性のある事象に関連し、及びそのような状況に影響を受けるため、投資予定者は、目論見書に要約された主要なリスクに関する情報だけでなく、とりわけ、目論見書及び以下に記載されたリスク及び不確定要素を考慮する必要があります。

上場投資信託保有者は、貴金属上場投資信託への投資額の一部又は全部を、以下に挙げられている理由（例えば、現時点では発行体が重要だと考えていない理由、状況に基づくとは考えていない理由、又は発行体が現時点で認識していない事実に基づく理由）以外の理由によって失うことがあります。

潜在的投資者は、投資判断を行う前に、目論見書全体を注意深く読み、自分自身の判断を明確に持つ必要があります。

a. 貴金属地金の価格

金属上場投資信託の価値は、貴金属地金への同等の投資の価値に直接関連することを目的としています。貴金属地金の価格は一般的に幅広く変動する可能性があるものであり、多数の要因に影響を受ける可能性があります。そうした要因には、以下が含まれます。

- ・ 貴金属地金の主要な生産者である国からの供給の中断につながるような世界的及び地域的な政治、経済、又は、金融上の事象及び状況、特に、戦争、テロリズム、強制収用、及びその他の活動。
- ・ 世界的な貴金属に対する供給及び需要。こうした需給は、採掘の成功、鉱山での生産、貴金属生産者による先物でのネットの売却、宝飾品用需要、投資用需要及び工業用需要、並びに、リサイクリングによる差引の結果等の要因による影響を受けます。また、特定の種類の貴金属地金が不足した場合、当該種類の貴金属地金の価格が急上昇することがあります。価格の急上昇により、先物為替相場及びリース料が不安定になることがあり、それにより、貴金属投資信託が取引されている証券取引所での呼び値スプレッドが乖離したり、関連する貴金属地金における短期先物為替相場を反映することがあります。
- ・ 金融活動。こうした金融活動には、世界の供給及び需要に影響を及ぼすような、大商社、生産者、ユーザー、ヘッジ・ファンド、商品ファンド、政府、その他の投機家による投資取引、ヘッジ取引、又はその他の活動が含まれます。
- ・ 将来のインフレ率、世界の株式、金融及び資産市場の動向、金利、並びに、為替、特に米ドルの強さと米ドルに対する信認に関する投資者の予測といった金融市場における要因。

貴金属地金価格が下落すると、関連する貴金属地金の価格が貴金属上場投資信託を購入した時よりも下回った時に証券を売却する上場投資信託保有者が得る利益に不利な影響を及ぼすことがあります。

b. 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）

2020年3月11日、世界保健機関（WHO）事務局長は、WHOは、世界的な新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の発生をパンデミックと評価したと発表しました。複数の国の中央政府および超国家機関は、在宅勤務の要請または奨励、スポーツ、文化およびその他のイベントの中止、および人々の集会の制限または阻止を含む、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）から人々を保護するために設計された措置を講じています。これらのステップと世論が貴金属価格、ひいては金属証券価格にどのように影響するかを予測することは困難ですが、商品価格の価格とボラティリティは影響を受ける可能性があり、その影響は重大であり、性質的に長期に及ぶ可能性があります。発行会社は、本書の日付の時点で、COVID-19が発行会社および発行体の各クラスに与える潜在的な影響及び投資家に与える影響を定量化することができません。

c. トラッキング・エラー及び流動性リスク

いかなる時にあっても、貴金属上場投資信託の取引されているロンドン証券取引所における（又は、その相場が立っている、若しくは取引が行われているその他の全ての取引所又は市場における）当該貴金属上場投資信託の価格は、当該貴金属上場投資信託に表象される貴金属の価格を正確に反映しない可能性があります。貴金属上場投資信託にかかる申込み及び償還の手続、及び、特定の認定参加者のマーケット・メイカーとしての役割は、こうした潜在的な乖離、又は、「トラッキング・エラー」を最小化するためのものです。しかし、貴金属上場投資信託の市場価格は、貴金属上場投資信託の売買を希望する投資者における需要と供給、及び、マーケット・メイカーの提示しようとする売値買値のスプレッドの相関関係によって決定されるものです。更に、貴金属上場投資信託に対する新規の需要が、かかる新規の貴金属上場投資信託を設定するために必要とされる現物貴金属地金の利用可能な額を越える場合には、新規の貴金属上場投資信託の発行は制限され、従って、貴金属上場投資信託は、プレミアムがついて取引される可能性があります。投資者が、プレミアムを支払うこととなると、当該投資者には、貴金属上場投資信託に対する需要が沈静化した場合、又は、新規に貴金属上場投資信託が発行されることとなった場合には、そのプレミアムを失うリスクが生じます。投資者は、トラッキング・エラーを最小化にし、また、投資者に対して流動性の供給がなされるためには、貴金属上場投資信託のマーケットメイクを行う認定参加者の存在に依存することになります。

貴金属上場投資信託の流動性及び市場価格に影響を与えることになる貴金属上場投資信託の流通市場（もしあれば）の程度についての保証はありません。

d. 認定参加者のみが貴金属上場投資信託の申し込み、又は、償還が可能

認定参加者のみが、貴金属上場投資信託の申込み、及び、償還について、発行体との間で取り扱うことができます。但し、いかなる場合であっても、認定参加者が存在しない場合又は発行体が発表する他の限定された場合には、償還に関しては、その限りではありません。発行体は、いかなる時であっても、少なくとも二以上の認定参加者の存在を確保すべく合理的な努力を払うことに合意しています。しかしながら、発行体との間で貴金属上場投資信託の申込み又は償還を取り扱う認定参加者が常に存在するという保証はありません。

e. 貴金属上場投資信託の早期償還

発行体は、いかなる時にあっても、上場投資信託保有者に対して、30日よりも少なくない（上場規則の目的上の定義でいう）規制情報サービス（以下「RIS」といいます。）を通じた事前通知（以下、「RIS通知」といいます。）を行うことによって、特定の種類の全ての貴金属上場投資信託を償還することが出来ます。受託者は、いかなる時にあっても、発行体の債務不履行事象が発生し、継続している場合にあっては、2営業日以上前の通知によって、全ての発行済貴金属上場投資信託が償還されることを、発行体に対して通知し、また、上場投資信託保有者に対しては、RISによって公表することができます。

発行体は、7日より少なくなく14日よりも多くない文書による事前通知を行うことによって、いかなる時であっても、保有が禁止されている米国人又は保有が禁止されている年金投資者によって保有されている、並びに、信託約款に基づく条件に従って、又は、その条件において特定されたその他の状況において、その地位にかかる適切な証明書を提出しなかった上場投資信託保有者によって保有されている全ての貴金属上場投資信託を償還する可能性があります。

当初貴金属上場投資信託における当初カスタディアンとの間のカスタディアン契約は、当初カスタディアンが90日前の文書による通知を行うことにより、解約することができます。当初カスタディアンが当初カスタディアン契約を解約する場合には、発行体が適切な保管機関によって代替させることが出来ない限り、発行体は、発行済の当初貴金属上場投資信託の償還を選択することになります。更に、当初担保設定非特定口座契約が解約された場合には、当初貴金属売却カウンターパーティー契約は、自動的に解約されます。当初貴金属売却カウンターパーティー契約が解約さ

れ、代替の当初貴金属売却カウンターパーティー契約が締結されない場合にあっては、発行体は、発行済の当初貴金属上場投資信託を償還することを選択します。

d. カストディアン及び保険

当初貴金属上場投資信託又はその他の貴金属バスケット上場投資信託（当初個別上場投資信託で構成される場合に限り、）に帰する地金に関して、白金及びパラジウムは、当初カストディアンにより、そのロンドンの金庫室において保管されますが、白金及びパラジウムの一部又は全部が、一又はそれよりも多いチューリッヒの当初サブ・カストディアンにより、そのチューリッヒの金庫室において保管されることもあります。銀及び金（WisdomTreeスイス保管金上場投資信託に帰属する金を除きます。）は、当初カストディアンにより、そのロンドンの金庫室に保管されます。

貴金属地金は、金庫に移送される以前、又は、設定及び償還の過程において、関連するカストディアン、又は、関連するカストディアンによって任命されたサブ・カストディアン、若しくはサブ・カストディアンからの受任者によって、一時的に、それ以外の場所に保管されることがあります。かかる貴金属地金へのアクセスは、洪水のような自然の事象、又は、テロリストによる攻撃のような人的作為によって、制限されてしまう可能性があります。

カストディアンは、保護預協定に基づくカストディアンの義務に関連して適当と認める保険を維持し、かつ、これに関連するすべての費用、手数料及び費用について責任を負います。発行会社は、機密性の制限に従うことを条件として、合理的な事前の通知により、これらの保険契約の詳細の随時提供を要求することができます。カストディアンは、貴金属地金につき、滅失、窃盗、又は、損害に対して保険を付する義務を負っており、発行体は、そうしたリスクにつき保険を付する意図は有していません。更に、受託者は、適切な保険契約が締結されるよう確保する、又は、担保設定金属口座において保有されている貴金属地金に対して付保することに関しての責任を負っており、また、かかる事柄に関しては、どのような調査であったとしても、求められることがあってはなりません。更に、発行体及び受託者のいずれも、チューリッヒに所在するサブ・カストディアン又はその他のいかなる直接若しくは間接のサブ・カストディアンに対しても、そのカストディアンとしての業務又はカストディアン契約に基づきカストディアンが保有している地金に関して、付保又は保証契約の締結を求めることはありません。

従って、貴金属地金が、滅失させられる、窃盗にあう、又は、損害を受ける可能性があり、発行体が、その貴金属上場投資信託にかかる義務を履行できないというリスクがあり、上場投資信託保有者に損失を生じさせる可能性があります。

カストディアン契約においては、カストディアンはそのサブ・カストディアンから地金の受渡しを受けるために取引上の信義則に則った努力を行う以外には、カストディアンは、チューリッヒのサブ・カストディアン以外のいかなるサブ・カストディアンのいかなる行為についても、（かかるサブ・カストディアンの任命が過失又は悪意をもって行われている場合を除き）責任を負うものではないと規定されています。受託者は、チューリッヒのサブ・カストディアン以外のいかなるカストディアンとも直接の関係を有していません。受託者がチューリッヒのサブ・カストディアンと有している関係は、チューリッヒのサブ・カストディアンからの、貴金属地金が、チューリッヒのサブ・カストディアンが保有する地金又はその他の者のために保有する地金とは分別管理されること、及び、カストディアン及びカストディアンの顧客のために保有されている地金とは分別管理されたこと、並びに、適切に記帳及び記録を行うことについての確認の受領に限定されています。従って、受託者は、サブ・カストディアン又はチューリッヒのサブ・カストディアンのいずれであっても、指示する契約上の権利は有していません。受託者の唯一の契約上の権利は、一定の状況下で、カストディアンに指示することです。

カストディアン契約の下では、カストディアンは、その義務の遂行に当たっては、その過失、悪意又は意図的な債務不履行の直接的な結果である損失についてのみ、当該カストディアンによってかかる過失、悪意又は意図的な債務不履行が発見された時点における地金の市場価値を上限として、責務を負います。また、カストディアンは、伝達、通信、又はコンピュータ設備の断絶、機能不全、又は故障を含めて、その合理的なコントロールを超えた原因による理由により生じた、カス

トディアン契約に基づく、その義務の履行遅延又は不履行については、責めを負いません。いずれかの貴金属上場投資信託に帰属する担保設定資産の一部を構成する地金が、発行体及び／又は受託者に対して義務を負っている者の責めに帰すべき状況において、失われた、毀損した、盗難にあった、又は破壊された場合には、責めを負うべき者は、債務を履行するために十分な（損害保険によってカバーされている債務を含めて）金融資産を有していない、又は、容易に特定し得ない可能性があります。また、発行体は、上場投資信託保有者に損失を生じさせている貴金属上場投資信託について、義務を果たすことができない可能性があります。

発行体及び受託者がカストディアンの業務遂行をモニターする能力は限定されている可能性があります。これは、カストディアン契約の下において、受託者及び発行体にとっては、地金、及び、カストディアン又はチューリッヒのサブ・カストディアンによって維持されている一定の関連記録を検査する目的で、カストディアン又はチューリッヒのサブ・カストディアンの金庫を訪問する権利が限定されているためです。

受託者に対して付与されている地金に対する担保権が、いかなるサブ・カストディアンやいかなるチューリッヒのサブ・カストディアンに対しても有効であるかに関しては、調査が行われていません。

各々カストディアンは、90日前の文書による通知を行うことにより、関連するカストディアン契約及び貴金属売却カウンターパーティー契約を解約する権限を有しています。当該通知に基づいて発行体が新たなカストディアンを任命することができなかった場合、発行体は、影響を受けた貴金属上場投資信託を償還しなければなりません。それにより、上場投資信託保有者は、自らの希望よりも早い時期に投資額を現金化することになります。また、当該時点の貴金属上場投資信託の価額が、上場投資信託保有者が当該貴金属上場投資信託を購入した時の価額よりも低かった場合、発行体による償還によって上場投資信託保有者に損失が生じる場合があります。

カストディアンは、英国において、英国金融行為監督機構によってそれぞれ規制されていますが、カストディアン契約に基づきカストディアン及びサブ・カストディアンにより提供されるカストディー業務は、現在のところ、英国金融行為監督機構の監督及び規則の対象となる規制対象業務となっていないです。

e. 為替

貴金属地金は、一般的に米ドル建てで値付けされるため、貴金属上場投資信託の価格もロンドン証券取引所において米ドル建てで相場が立ちます。上場投資信託保有者が、貴金属上場投資信託をそれ以外の通貨で評価する場合には（東京証券取引所では円建てで取引されます。）、その価値は、米ドルと当該通貨（東京証券取引所での取引では円）の間の為替変動の影響を受けることになります。

f. 担保設定非特定口座で保有される貴金属地金のカストディアンの与信リスク

貴金属上場投資信託の貴金属地金が一般的に特定された形態で保有される一方、1延べ棒未満で表される地金又は買戻手続の一部として求められる量は、担保設定非特定口座で保有されることがあります。担保設定非特定口座で保有される貴金属地金は、貴金属地金の特定の延べ棒の所有権ではなく、当該口座において保有される貴金属地金の当該量に関し、資産のカストディアンに対する無担保の請求権を付与するものであり、当該貴金属地金はカストディアンの資産と分別管理されていません。その結果として、カストディアンが支払不能に陥った場合、担保設定非特定口座で保有される貴金属地金の一部又は全部が取り戻せなくなる可能性があります。このことは、発行体が貴金属上場投資信託に関して買戻請求に応じる義務を果たせなくなる可能性があることを意味します。これらの状況において、上場投資信託保有者は、貴金属上場投資信託の全額を現金化できないことから、損失を被る可能性があります。

g. 白金及びパラジウムの決済

当初カストディアンは、白金及びパラジウムにかかる決済銀行ではなく、白金又はパラジウムにかかる貴金属上場投資信託の設定及び償還を有効にするためには、チューリッヒにおける決済銀行（現在は、UBS AGです。）に依頼して、かかる銀行におけるその口座に貸記することになります。特に、償還の場合には、当該口座への白金又はパラジウムの貸記には3営業日よりも長くなる可能性があり、その場合には、決済日は遅延することになり、上場投資信託保有者に損失が生じる可能性があります。

h. 付加価値税（VAT）

白金、パラジウム及び銀は、英国内に輸入された際（現時点では、輸入付加価値税の対象ではないEU内からの到着である場合を除きます。）に、20パーセントのVATの課税対象となります。付加価値税は、輸入者がLBMAの加盟者（銀の場合）及びLPPM（白金及びパラジウムの場合）の加盟者であって、貴金属がロンドンの「ブラック・ボックス」清算システム内に止まっている限りは、還付を受けることができます。投資用金については、税率はゼロです。

当初カストディアンは、LBMA、及びLPPMの両方の加盟社であり、本プログラムの下でカストディアンに課されたいかなる付加価値税も、還付請求が可能です。発行体のためにカストディアンが立案した手続では、将来的に回収不可能な付加価値税の課税は生じないことになっています。但し、回収不可能な付加価値税又は輸入に関する規則が変更された場合には、貴金属地金が英国に輸入された際に貴金属上場投資信託に付加価値税の支払義務が生じる可能性があり、これにより上場投資信託保有者が課税される可能性があります。しかし、現行規則の下であっても、上場投資信託保有者が、償還の際に、ブラック・ボックス決済システム外への現物の移送を求める場合には、付加価値税の支払義務があることとなります。

EU外から到来する貴金属については、保税倉庫に直接に持ち込まれることとなります。その意味するところは、かかる貴金属は、自由な移送ができない限り、輸入付加価値税は課されないということです。当該貴金属は、保税倉庫留置のままで、付加価値税が課されないまま取引が可能です。保税倉庫留置になっている貴金属にかかる倉庫料は、付加価値税の課税の対象とはなりません。保税倉庫外にあって、しかし、ロンドン「ブラック・ボックス」決済システムに依ることになる貴金属にかかる倉庫料は、付加価値税の課税対象となります。

カストディアン契約により、全ての付加価値税はカストディアンの負担となります。

なお、EUから輸入された金属の付加価値税処理が、英国がEUを去った場合には、変わる可能性があります。EUからの到着時の輸入VATの現在適用されている付加価値税の免税措置が適用されなくなった場合、上記のEU外からの輸入に適用される付加価値税処理が適用されることが予想されます。

j. 一般的な市場におけるリスク

地域及び国際市場における一般的な動向、並びに、投資環境及び投資者心理に影響を及ぼす要因は、取引の水準に影響を与える可能性があり、従って、貴金属上場投資信託の市場価格及びこれにより、貴金属上場投資信託の価格が下落する可能性があり、より高い価格で貴金属上場投資信託を購入した投資者に悪影響を及ぼします。こうしたリスクは、上場証券に対するいかなる投資にも一般的に当てはまります。投資者は、貴金属上場投資信託は、その価格が下落し、また、上昇する可能性があり、投資者は、その投資の全て又は一部の価値を失う可能性があることを理解しなければなりません。

k. ブレグジット

英国の2015年欧州住民投票法に基づき、2016年6月23日に英国の欧州連合（EU）加盟に関する国民投票が行われ、多数決で、EU離脱が決まりました。英国政府は、2017年3月29日、EU離脱の意思を欧州連合条約第50条に基づき通知し、2020年1月31日、英国はEU加盟国でなくなりました。この離脱には、英国と残りのEU加盟国との間の脱退合意に基づき、2020年12月までの移行期間が定められており、その間はEU法は引き続き英国に加盟国として適用される。

英国がEU離脱を決定した場合の中長期的な影響は依然として不確定ですが、短期的な不安定性が生じ、英国の全般的な経済状況や、英国の企業や消費者の信頼感に悪影響を及ぼす可能性があり、その結果、EUの他の地域やより広範な地域にも悪影響を及ぼす可能性があります。英国がEU加盟国と今後どのような取り決めを結んでいくかによって、長期的な影響がどのようになるかは変わりますが、英国がEUから脱退した場合、ポンドやユーロの変動など、為替市場が不安定になる可能性があります。企業、消費者又は投資家の信頼の低下は、(i)企業活動の水準の低下につながる可能性、(ii)高い水準のデフォルト率と減損、および(iii)信用格付、株価および取引先の支払能力の変化に起因するトレーディング・ポートフォリオの時価評価ベースでの損失をもたらす可能性があります。

上記各事項が貴金属上場投資信託の流通市場における市場価額若しくは流動性又は発行体の貴金属上場投資信託にかかる債務の履行能力に悪影響を及ぼさない保証はありません。

本書の日付時点では、移行期間の終了後、英国と欧州連合加盟国との間で、仮に何らかの取り決めがなされるとしても、その程度は不明です。そのような取決めの条件によっては、計画及び投資家に適用される法律上及び規制上の環境に対する潜在的な影響は不明確であり、悪影響及び/又は予期し得ない結果をもたらす可能性があります。本書の日付において、(a)英国は2018年欧州連合(離脱)法を制定しており、英国がEUを離脱する日付における「EU法」の「オンショアリング」の枠組みを提供しています。また、(b)財務省及びその他の英国政府部局は、それを実施するために必要な付随的な法律を準備中です。これはまだ進行中で、関連法の多くは草案の形にとどまっています。

l. 金融取引税

2013年2月14日、欧州委員会は、特定の参加EU加盟国(ベルギー、ドイツ、エストニア、ギリシア、スペイン、フランス、イタリア、オーストリア、ポルトガル、スロベニア、スロバキアを含む(「参加加盟国」))。但し、エストニアは後に不参加の意思表示をしています。)において導入される金融取引税(「FTT」)に関する指令案(「委員会案」)を含む提案を提示しました。さらに、特定の国(フランス、イタリア等)は、自国のFTTを一方的に導入又は発表しており、他国も同様の措置を講じる可能性があります。

委員会案が現在の内容のまま採択されたと、FTTは、とりわけ金融機関(発行体が含まれます。)の金融取引(デリバティブ契約の設定又は変更及び、金融商品の移転を含みます。)に課される税金になります。委員会案は、FTTの適用対象を、一定の場合に、参加加盟国の域内及び域外の両方の居住者としています。金融機関と参加加盟国内において設立された人との間の取引に関しては、FTTは適用されることになります。参加加盟国内における設立は広く解されます。つまり、参加加盟国内において設立した人と金融取引を行う場合又は、参加加盟国内において発行された金融商品の取引を行う場合は、参加加盟国内において設立した人と見做されます。

委員会案の採択により発行体は、貴金属上場投資信託の取引に関し、納税義務が発生するリスクが存在します。更に、上場投資信託保有者は、当該証券に関するFTTの納税義務を直接的に負う可能性があります。

FTTに関する委員会案は参加加盟国による協議段階にあり、内容が変更されて採択される可能性があります。決定される時期は未定です。参加を希望するその他のEU加盟国が出てくる可能性もあります。最終的にFTTが導入されない可能性もあります。貴金属上場投資信託の取引を予定している場合は、予めFTTの専門家に相談することを推奨します。

m. 発行者及び担保設定資産以外に対する請求権の不存在

発行体は、資産担保証券である上場商品を発行するために設立された特定目的会社です。発行体に対する請求権は、支払いの優先順位に従って履行されます。特定の合同管理資金(プール)に対して適用のある担保証券の執行の後、当該合同管理資金(プール)に関して、担保資産の売却による純売却代金が、当該種類の個別上場投資信託(及び、当該種類の個別上場投資信託によって構成される限りにおいて貴金属バスケット上場投資信託)にかかる全ての義務を履行し、また、全ての

支払期限の到来している支払いを行うために十分でない場合には、当該種類の当該個別上場投資信託（及び、当該種類の個別上場投資信託によって構成されている限りにおいて貴金属バスケット上場投資信託）にかかる発行体の義務は、担保資産の売却による純売却代金に限定されます。関連する合同管理資金（プール）に帰属する資産以外の発行体の資産は（もしあれば）、当該不足分の支払いのために充てることはできない場合には、関連する上場投資信託保有者が有している当該債務に関して更なる金額を受け取るという権利は消滅し、上場投資信託保有者又は受託者のいずれもが、当該金額の回復のために更なる行為を取ることはできません。

発行体に対する全ての請求権は、信託約款に基づき、支払いの優先順位に従って履行されます。この状況において、上場投資信託保有者は、投資した全額を現金化できない場合、損害を被ることになります。

n. 限定された執行権

受託者は、その裁量により、担保権の行使を行うことができます。しかし、それは上場投資信託保有者のために、以下の指示によって担保権の行使が必要とされる場合のみです。

a. 発行体が債務不履行となっている上場投資信託保有者による指示

b. 発行体が債務不履行となっており、債務不履行の状態が継続している場合において、

)当該時点における発行済貴金属上場投資信託（全体）の（書面の最終署名時における）元本金額の25%以上を保有する上場投資信託保有者の書面による指示、又は、

)特別決議による指示

それぞれの場合において、受託者が、免責されていること、及び／又は、その了解が得られていることが条件となります。受託者が上場投資信託を執行する義務がない場合、証券保有は発行体に対し直接請求権を行使する権利を有さないため、投資額を現金化できなくなります。

o. 英国における更生管財手続及び会社整理手続、並びに、請求権の執行停止

1986年破産法第426条の下においては、英国裁判所は、「関連する国及び地域」（ジャージーを含みます。）の裁判所より請求を受けた場合には、発行体のような外国会社に関して、更生管財命令又は会社整理命令を出すことができます。

更に、欧州破産規制（No1346/2000）（以下「EIR」といいます。）の下においては、発行体の主たる利害関係の中心が英国にあるものと考えられる場合には、主たる破産手続（更生管財手続及び清算を含みます。）が開始される可能性があり、又は、発行体が英国において（EIRにおいて定義されたところによる）施設を有している場合には、会社整理手続（清算）が開始される可能性があります。

発行体が英国において更生管財手続に置かれることとなった場合には、その効果として、更生管財手続の期間中は、発行体の事務、業務及び財産は、管財人と呼ばれる者によって管理されることになります。このことは、上場投資信託保有者が保有する貴金属上場投資信託を希望する時期に買戻す権利に影響を及ぼし、投資先資産の上場投資信託保有者への返還に遅れを生じさせるとともに、当該期間において投資先資産の価額が下がった場合に損失をもたらすこととなります。

更生管財手続命令の申立に始まり、かかる命令の発出又は申立の却下によって終わる期間においては、裁判所の許可により、また、裁判所によって課される条件に従って行う場合を除き、証券の執行のためにいかなる措置も取ることはできません。

更生管財手続の場合には、管財人による同意、又は、裁判所による許可により、裁判所が課する条件に従って行う場合を除き、証券の執行のためにいかなる措置も取ることはできません。管財人は、また、裁判所に対して、証券とは関わりなく、証券の対象となっている財産の売却を申し立てることができます。しかし、管財人は、売却代金について、受託者及び上場投資信託保有者に対して報告しなければなりません。

2006年国際倒産規則の下では、外国破産代理人は、この場合には、ジャージーにおける発行体の破産代理人となりますが、英国裁判所に対して、就中、英国法に基づく商業破産手続（更生管財手

続を含む可能性があります。)を申し立てることができ、又は、英国裁判所にいかなる証券のいかなる執行であっても、執行停止を承認するよう申し立てることができます。

発行体が、英国において、清算手続に置かれることになった場合には、上場投資信託は、受託者によって、上場投資信託保有者のために執行されることがあり得ます。

p. 規制上のリスク

発行体は、貴金属上場投資信託の取引が承認されている（ロンドン証券取引所以外の）取引所の規則によって最小限の数のマーケット・メイカーを有するよう求められる可能性があります。マーケット・メイカーが行為を取り止め、代替を見出せず、また、その結果として、発行体が、最小限の数にかかる要件を満たすことができない場合にあっては、関連取引所は、発行体に対して、取引を停止するよう求める可能性があります。これにより、上場投資信託保有者が保有する貴金属上場投資信託を希望する時期に売却することがより困難となる可能性があるだけでなく、後に当該投資信託を売却できるようになった時、その価格が、上場投資信託保有者が当初売却しようとしていた時点での価格を下回った場合に、上場投資信託保有者に損失をもたらす可能性があります。

B. リスクの管理

発行体は、その活動から生じる多くのリスク（信用リスク、流動性リスク、決済リスク及び市場リスク等）にさらされています。取締役会は、リスク管理手法全般に対して並びにリスク管理に係る戦略及び原則を承認する責任を有しています。取締役会は頻繁に会議を開催し、発行体のリスク・エクスポージャーの検討及び適切な管理方針の決定を行っています。これらのリスク管理のため発行体が採用しているリスク管理方針は、下記の通りです。

貴金属証券は、通常の市場の変動並びに有価証券及びその他の金融商品に対する投資に固有のその他のリスクにさらされています。有価証券の価値が上昇する保証はありませんし、投資家の当初投資の資本価値も保証されていません。投資の価値は下落及び上昇する可能性があります。投資家は当初投資金額を回収できない可能性があります。

以下に記載の情報は、貴金属証券に関連する全てのリスクの包括的な要約を意図したものではなく、貴金属証券に対する投資に固有のリスクの詳細な要約に関して、投資家は直近の目論見書を参照しなければなりません。提供された全ての情報は、将来予測または投資パフォーマンスの根拠として使用または解釈すべきではありません。

(a) 信用リスク

信用リスクは主に、指定参加者またはカストディアンが契約上の債務を履行できず財務上の損失が発生するリスクです。貴金属証券の各クラスは、リミテッド・リコースの取決めに基づき発行しています。当該取決めににより保有者が遡求権を有するのは、貴金属証券の裏付けとして保有する関連する白金、パラジウム、銀及び金地金（以下「貴金属地金」といいます。）に対してのみであり、他のクラスの貴金属証券の貴金属地金や発行体に対しては有していません。したがって、貴金属証券の発行に関する発行体の信用リスクは限定的となっています。

未決済の未収金額並びに売掛金及びその他の債権の帳簿価額の総額は、財政状態計算書日現在の信用リスクに対する最大エクスポージャーを最もよく表しています。報告日現在における発行体の未決済の未収金額並びに売掛金及びその他の債権は、財政状態計算書上に詳述しています。

発行体は、信用力があると考えられる指定参加者とのみ取引することによって、信用リスクを管理しています。指定参加者がその義務を履行しない場合には貴金属証券が設定されないため、発行体には受取予想額に係る損失のリスクがありません。

信用リスクには保管リスクも含まれています。カストディアンは保険への加入を要求されておらず、受託者も要求されていません。したがって、担保設定された貴金属地金には紛失、盗難または破損のリスクがあり、発行体はその貴金属証券に関する債務を返済できなくなる可能性があります。発行体は現在、HSBC及びJPモルガンの2社をカストディアンとしています。報告日現在のカストディアンに対するエクスポージャーは、それぞれ約75%及び25%（2019年度：それぞれ78%及び22%）に分散されています。

取締役会は、発行体の信用リスク・エクスポージャーを確実に管理すべく当該エクスポージャーを監視しており、流動的かつ急速に変化するCOVID-19の拡大に関連する潜在的影響または動向を注視しながら一層厳密に監視を継続しています。

(b) 決済リスク

決済リスクは主に、指定参加者が契約上の債務を履行できず財務上の損失が生じるリスクです。

決済リスクは、発行体の取引相手方が決済日に貴金属地金または貴金属証券を引き渡さないリスクのみによって生じるものであると取締役は考えています。貴金属証券は、CRESTシステムを通じて決済されます。取締役は、カストディアンに貴金属地金の所要量が受領されるまで貴金属証券が発行されないこと、かつ関連する貴金属証券がCRESTに引き渡されるまで貴金属地金の引渡しも行われないことにより、こうした決済リスクは軽減されていると考えています。結果として、取引の両当事者が契約上の義務をそれぞれ履行するまで、取引が決済されないようになっています。

未決済のポジションに関する残高は、「第5 外国投資法人の経理状況、1. 財務諸類、財務書類に対する注記」注記7及び8に開示されています。

(c) 流動性リスク

流動性リスクは、金融負債の満期時に、関連する債務を履行する際に発行体が困難に直面するリスクです。発行体の未収金額及び未払金額は全て要求払いであり、通常短期間で決済されます。さらに、管理・運用報酬並びに設定及び償還手数料に関する金額は、関連する取引相手方からManJerに直接引き渡されるまたは送金されるため、発行体を經由するキャッシュ・フローはありません。

貴金属証券には契約上の満期日はなく、証券保有者からの償還請求（請求は常時可能で、取引の決済はその2日後に請求を受けた貴金属地金の引渡しにより実施）、または強制償還（請求を受けた貴金属地金の引渡し、または貴金属地金を現金化しその現金を保有者に速やかに支払うことにより実施）の場合にのみ償還されます。通常は発行体との指定参加者契約を締結している証券保有者のみが、発行体に直接申込及び償還を申請できます。

貴金属証券が償還された場合、発行体は、当該金属証券の貴金属エンタイトルメントにより確定した対応する額の貴金属地金を返還します。したがって、貴金属証券の償還は、発行体の流動性に影響を与えません。

以上から、発行体は流動性リスクに関して表形式の情報を表示していません。

(d) 自己資本管理

発行体の自己資本管理方針の主な目的は、業務上十分なリソースを確実に維持することです。管理の対象となる資本は資本変動計算書に記載の資本金です。資本変動計算書に記載の利益剰余金及び再評価剰余金は管理の対象となる資本ではありません。これは、これらの残高が貴金属地金（貴金属証券の裏付けとして保有）と貴金属証券に係る未実現の利得及び損失に関するものであり、その後の貴金属証券の償還及び関連貴金属地金の引渡し時に戻入れを行う（つまり実現しない）ためです。発行体は、規制当局によって課されている自己資本規制の対象となっており、当年度において自己資本管理への発行体のアプローチに変更はありません。

発行体の主要な活動は、貴金属証券の発行及び上場です。これらの証券は需要に応じて発行及び償還されます。発行体は発行済貴金属証券の負債合計額と一致する額の貴金属地金を保有しています。ManJerは、発行体へのあらゆる運営・管理サービスの提供及び提供の手配を行い、発行体の運営・管理費用（受託者報酬及び保管報酬を含む）を全て支払います。これらのサービスの見返りとして、発行体はManJerに対し、サービス契約の条件に従い稼得した管理・運用報酬、並びに設定・償還手数料の総額と同額の管理・運用報酬を支払います。

発行済貴金属証券は全てカストディアンによって保管されている同量の現物地金によって裏付けられており、発行体の運営費用はManJerにより支払われたため、発行体の取締役は、自己資本管理及び現在の自己資本の源泉が貴金属証券の継続的な上場及び発行を維持するのに十分であると考えています。

(e) 感応度分析

IFRS第7号により、報告日現在事業体がさらされている市場リスクの種類ごとに感応度分析を開示し、合理的な可能性のある適切なリスク変数の変化によって純損益及び持分がどれだけ影響を受けるかを示す必要があります。

貴金属地金及び貴金属証券それぞれに関する発行体の権利及び負債は、各取引日に貴金属証券の各クラスにおける貴金属エンタイトルメントにより確定した貴金属地金と引き換えに、貴金属証券を発行及び償還する契約上の義務に関連するものです。貴金属証券のそれぞれの設定及び償還時の公正価値は、取引日のLBMAの提示価格を用いて計上されます。この結果、貴金属証券の発行に関する発行体の契約上及び経済上の負債は、対応する貴金属地金の価値の変動に連動します。したがって、発行体は市場価格リスクに対する正味エクスポージャーを有していません。それゆえ、取締役は感応度分析を開示する必要はないと考えています。

(f) 市場リスク

市場リスクは、市場価格（外国為替レート、金利、地金価格及び株価等）の変動リスクであり、発行体の収益または保有・発行している金融商品の価値に影響を与えます。

i) 価格リスク

貴金属証券に関する発行体の負債の価値は貴金属地金の価格に従って変動し、当該価格の変動リスクについて発行体は、その負債と同量の貴金属地金を保有することによってこれを管理しています。貴金属証券は公開市場で値付けされていますが、発行体の最終的な負債は各取引日に貴金属エンタイトルメントにより確定した貴金属地金と引き換えに、貴金属証券を発行及び償還する契約上の義務です。発行体は、貴金属証券を契約上の価値（目論見書に記載）ではなく、IFRS第13号に従い公正価値で測定しています。貴金属地金の価値と貴金属証券の公正価値との差額である利得または損失は、その後の貴金属証券の償還及び対応する貴金属地金の引渡し時に戻入れを行います。

したがって、発行体には貴金属地金の価格変動による財務リスクは残りません。さらに、価格の感応度による当財務諸表に対する影響に重要性はないと考えています。

しかしながら、貴金属地金の価格及び貴金属証券の価値は、特に貴金属地金の供給または需要の変動、政府及び金融上の政策や介入、グローバルまたは地域の政治、経済または金融事象を要因として大幅に変動する可能性があるため、投資家の観点からは固有のリスクがあります。貴金属証券の市場価格は、貴金属証券の売買を望む投資家の供給と需要の動きによるものであり、マーケット・メーカーが自発的に値付けする買呼値と売呼値のスプレッドとなります。これは「第5 外国投資法人の経理状況、1. 財務諸類、財務書類に対する注記」注記8及び後述の公正価値ヒエラルキーの項で取り上げています。

新型コロナウイルス感染症（以下「COVID-19」といいます。）

COVID-19のパンデミックは未だ継続しており、パンデミックの最終的な期間並びに世界経済への短期的及び長期的な影響は不明です。多数の国の中央政府及び超国家組織が、在宅勤務の要請または奨励、スポーツ、文化的及びその他のイベントの中止、人々の会合の制限または阻止等、COVID-19から人々を防護する措置を引き続き講じています。

COVID-19は市場の混乱を引き起こし、市場のボラティリティを全体的に増加させています。ウイルスの変異、ワクチン配布の遅延、及びパンデミックによる世界経済へのマイナスの影響等により、世界の金融市場が将来的に悪影響を受ける可能性があります。上記の措置や世論が商品のボラティリティと価格の両方に影響を与える可能性があるため、当該証券の価格にも影響が及ぶ可能性があります。これによる影響は重大であり、性質的に長期に及ぶ可能性があります。取締役は、流動的かつ急速に変化するCOVID-19の拡大に関連する情報及び動向、特にManJer、同社の運用資産（すなわち関連収益源）に対する影響を、サービス契約に基づく義務の履行の観点から注視しています。発行体の継続企業の前提に関する取締役の考えは、「第5 外国投資法人の経理状況、1. 財務諸類、財務書類に対する注記」注記2に記載しています。

ii) 金利リスク

貴金属地金も貴金属証券も無利息であるため、発行体は、金利リスクに対する重要なエクスポージャーを有していません。

iii) 為替リスク

貴金属証券に表象される負債に関する利得または損失が、対応する貴金属地金に起因する損失または利得と経済的に一致するため、取締役は、世界中の多くの国々が直面している現在の景気の不透明性により生じる為替リスクに対し、発行体が重要なエクスポージャーを有していないと考えています。

(g) 公正価値ヒエラルキー

ヒエラルキーのレベルは下記のように定義されています。

- ・ レベル1 同一の資産に関する活発な市場における相場価格に基づく公正価値
- ・ レベル2 相場価格以外の観察可能なインプットを用いた評価技法に基づく公正価値
- ・ レベル3 観察可能な市場データに基づかないインプットを用いた評価技法に基づく公正価値

ヒエラルキーの分類は、各関連資産/負債の公正価値測定にとって重要な最も低いレベルのインプットに基づいて決定されます。

貴金属証券には公開市場での相場があり活発に取引されているため、発行体は入手可能な市場価格を用いる必要があります。そのため、貴金属証券はレベル1の金融負債に分類されています。

発行体は、貴金属エンタイトルメント（目論見書で公表されている合意された計算式に従って算出）によって確定している貴金属証券の裏付けとなる貴金属地金を保有しています。貴金属地金は、LBMA公表の直近の価格を用いて公正価値で評価しています。発行体は、各取引日に貴金属証券の各クラスにおける貴金属エンタイトルメントにより確定した貴金属地金と引き換えに、貴金属証

券を発行及び償還する契約上の義務を有しています。貴金属証券のそれぞれの設定及び償還時の公正価値は、当該貴金属エンタイトルメントに適用される取引日のLBMAの提示価格を用いて計上しています。したがって、その価値は、観察可能で検証可能なインプットの裏付けのある第三者の価格情報を用いて算出していることから、貴金属地金はレベル2の金融資産に分類しています。

「第5 外国投資法人の経理状況、1. 財務諸類、財務書類に対する注記」注記2及び9に開示の通り、発行体は、当座借越により借り入れた貴金属地金を保有しており、これをLBMA公表の直近の価格を用いて公正価値で計上しています。したがって、借入貴金属地金は第三者の価格情報を用いて価値を算出していることからレベル1の金融資産に分類し、また当座借越は観察可能で検証可能なインプットの裏付けのある第三者の価格情報を用いて価値を算出していることからレベル2の金融負債に分類しています。

発行体の資産及び（負債）の分類は下記の通りです。

	12月31日現在の公正価値			
	2020年		2019年	
	米ドル	千円	米ドル	千円
レベル1				
貴金属証券	(14,496,623,028)	(1,601,804,361)	(11,951,720,353)	(1,320,605,340)
レベル2				
当座借越	(502,637)	(55,539)	-	-
借入貴金属地金	502,637	55,539	-	-
貴金属地金	14,476,114,674	1,599,538,291	11,955,880,980	1,321,065,069
	14,476,114,674	1,599,538,291	11,955,880,980	1,321,065,069

貴金属証券、当座借越、借入貴金属地金、及び貴金属地金は、発行体の会計方針に従って、それぞれ当初認識時に純損益を通じて公正価値で認識し、公正価値で再評価します。レベル3に分類している資産または負債はありません。レベル間の振替は、レベル1のインプットの公開情報が入手できなくなった場合に行います。この振替は、振替の原因となる状況の変化が生じた日に認識します。当年度にレベル1とレベル2間における振替または分類変更はありませんでした。

貴金属地金は、金融資産とはみなされませんが、過年度との首尾一貫性を保持し、資産と負債との対応を示す目的で表示しています。

4【手数料等及び税金】

（１）【申込手数料】

申込手数料は、貴金属上場投資信託の申込の際に、支払わなければなりません。ロンドン証券取引所等の流通市場で貴金属上場投資信託を取得する投資家は、申込手数料は支払いません。

発行体は、申込みの際に、貴金属上場投資信託の発行される数にかかわらず、認定参加者に対して500ポンド（76,238円）の手数を請求することになります。

申込手数料に関連して支払われるべき付加価値税（VAT）に関しては、発行体は、申込み者又は上場投資信託保有者に追加的な額を請求することはありません。

発行体は、いかなる時であっても、30日前に文書による事前通知を、認定参加者又は上場投資信託保有者に対して行い、また、RISを通じて行うことによって、申込手数料を変更することができます。

（２）【買戻し手数料】

償還手数料は、貴金属上場投資信託の償還の際に支払わなければなりません。ロンドン証券取引所等の流通市場で貴金属上場投資信託を売却する投資家は、償還手数料を支払いません。

発行体は、償還のなされるごとに、貴金属上場投資信託の償還される数にかかわらず、認定参加者に対して500ポンド（76,238円）の償還手数料を請求します。

強制償還の場合、又は、認定参加者が存在していない状況において認定参加者ではない上場投資信託保有者が償還請求を提出する場合には、発行体は、償還手数料を当該請求に応じるための発行体における費用と同額まで減額します。この発行体における費用には（500ポンド（76,238円）を超えない範囲で）、上場投資信託保有者の地位に関する照会にかかる費用、及び、償還請求様式の提供にかかる費用を含みます。発行体は、当該費用の金額については、当該上場投資信託保有者に支払われるべき償還金額から差し引くことにより、徴収します。

償還手数料に関連して支払われるべき付加価値税（VAT）に関しては、発行体は、申込み者又は上場投資信託保有者に追加的な額を請求することはありません。

発行体は、いかなる時であっても、30日前に文書による事前通知を、認定参加者に対して行い、また、RISを通じて行うことによって、償還手数料を変更することができます。

（３）【管理報酬等】

管理事務代行会社が、発行体に対して、一定の管理事務代行業務を提供することの対価として、発行体は、業務提供契約に基づき、管理事務代行会社に対して、手数料として、管理費に等しい量の貴金属地金を移転する責任を負っています。

個別上場投資信託の各クラスの管理費は、関連するクラスの全貴金属エンタイトルメントに適用される利率を適用することにより定められます。

個別上場投資信託の各クラスの管理費の利率は以下の通りです。

貴金属上場投資信託のクラス	管理費の利率（ベース・ポイント／年）
WisdomTree金上場投資信託	39 ベース・ポイント
WisdomTree銀上場投資信託	49 ベース・ポイント
WisdomTree白金上場投資信託	49 ベース・ポイント
WisdomTreeパラジウム上場投資信託	49 ベース・ポイント
WisdomTreeスイス保管金上場投資信託	19 ベース・ポイント

貴金属バスケット上場投資信託の管理費は、上場投資信託を構成する個別上場投資信託の管理費の合計となります。

個別上場投資信託のいかなるクラスに関する管理費の料率は、発行体により随時変更される可能性があります。管理費が改定される場合にあっては、そのような改定は、RISを通じて通知されます。そして、管理費が引き上げられる場合には、RISの通知から少なくとも30日間は発効しません。

貴金属上場投資信託の各クラスの管理費は、月毎に合計され、貴金属地金によって管理事務代行会社に支払われます。

（４）【その他の手数料等】

カストディアンに対し支払われるべき手数料及び費用

カストディアンは、カストディアン契約に基づき、その提供する業務にかかる手数料として、担保設定特定口座に保管されている貴金属地金の総額に基づく割合で（最低手数料を設定せず）、毎営業日の終了時に計算し毎月末を支払期限として、（カストディアンの定める）貴金属地金によって支払うよう請求することが合意されています。

更に、発行体は、カストディアンが、担保設定貴金属口座契約及び担保設定非特定口座契約の下での、又は、その他の担保設定貴金属口座に貴金属地金を貸記する関連職務及び義務を遂行するに当たり、カストディアンに生じた全ての費用、経費、及び、支出（付加価値税（VAT）

を除く全ての関連する税、関税及び弁護士費用を含みますが、上記のカストディアンに対する支払手数料によってカバーされている、貴金属地金の移送、保管及び保険にかかる手数料、並びにサブ・カストディアンにかかる全ての手数料及び費用は除かれます。)を、請求に応じて、支払わなければなりません。

(5)【課税上の取扱い】

A. 日本における課税

下記は貴金属上場投資信託の譲渡等にかかる日本における税制上の取扱いについて、一定の限定された観点から要約したものです。また、これらは日本の現行における税務に関する法令に基づくものであり、今後の法改正等に伴い、遡及効をもって変更される可能性があります。なお、これらの取扱いは日本の居住者及び内国法人である一般的な貴金属上場投資信託保有者に関してのものであり、非居住者等の課税関係については言及していません。さらに、下記の説明は、一般的な指針として意図されたものであって、関連する税務当局または裁判所が当該内容及び解釈に同意することを保証するものではありません。貴金属上場投資信託の取得を検討している投資家は、税務に関する専門家に相談されることを推奨します。

a. 個人に対する課税

貴金属上場投資信託は、外国投資法人の発行する投資法人債券であり、日本の税務上「上場株式等」として取り扱われることとなります。日本における貴金属上場投資信託保有者に対する課税は以下のようになります。

貴金属上場投資信託の譲渡時及び償還時

a) 譲渡所得等の課税方式

貴金属上場投資信託に係る譲渡益、償還差益等は、原則として日本における課税の対象となり、「上場株式等に係る譲渡所得等」として、その譲渡に係る譲渡益の20.315% (所得税及び復興特別所得税15.315%、住民税5%) (なお、2038年以降は復興特別所得税の終了に伴い合計20%) の税率による申告分離課税の対象となります。なお、原則として支払調書の提出が必要になります。

b) 損益通算と損失の繰越控除

貴金属上場投資信託の譲渡等から生じる譲渡損益は「上場株式等に係る譲渡所得等」に含まれることから、他の上場株式等の譲渡損益等との損益通算が可能であり、また、上場株式等に係る譲渡損失の損益通算及び3年間の繰越控除の対象となります。

c) 特定口座での取り扱い

2016年1月1日以後に取得した貴金属上場投資信託は、一定の要件の下、特定口座に受け入れることができます。なお、2015年12月31日以前に有価証券を取得し、一定の要件を満たせば、原則として2016年1月1日に特定口座に預託することができるほか、上記以外の場合であっても、特例として、2016年1月1日から2016年12月31日までの間、有価証券を特定口座に預託することができます。特定口座への受け入れに必要な手続き等の詳細は、お取引のある証券会社にお問い合わせください。

利子

貴金属上場投資信託には、利子の支払いはありません。

b. 法人に対する課税

貴金属上場投資信託の譲渡時及び償還時

投資家が内国法人(日本法人)である場合、貴金属上場投資信託に係る譲渡益、償還差益等は、法人税の課税所得を構成し、2018年4月1日以降開始事業年度においては、実効税率約31%(東京都特別区の場合、中小法人は約35%)で法人税が課されます。なお、支払調書の提出は不要です。

利子

貴金属上場投資信託には、利子の支払いはありません。

B. 英国における税制

a. 概説

以下のパラグラフは、貴金属上場投資信託の保有にかかる英国における税制上の取扱いについて、一定の限定された観点から要約したものです。それらは、現在の英国法及び英国歳入庁及び税関の慣例に基づくものであって、今後、遡求効をもって変更される可能性があります。以下のパラグラフは、私人として行為する個人（即ち、自然人）であり、また、英国税法上、定住者及び固有居住者（英国個人）である上場投資信託保有者、英国法人税の対象となつて貴金属上場投資信託を投資として保有している上場投資信託保有者、又は、英国のオープン・エンド型投資会社若しくは認定集団投資スキームである上場投資信託保有者に関したものです。従つて、このパラグラフは、ディーラーのような一定の部類の上場投資信託保有者には（貴金属地金であろうと貴金属上場投資信託であろうと）適用がありません。この要約における説明は、一般的な指針として意図されたものであって、適切な注意をもって取り扱われなければなりません。貴金属上場投資信託の取得（本プログラムに従うか否かにかかわらず）を検討している全ての者は、特に、英国以外の地域の税制の対象となる者の場合には、直ちに、専門家である助言者と協議することを強く推奨します。

b. 発行体

取締役は、発行体が、英国の税法上、英国の居住者とされることがないように、発行体の事務の管理及び遂行を行うべく意図しています。従つて、また、英国の法人税法上の目的のために位置づけられた恒久的施設又は発行体を英国における所得税に服せしめる英国内に所在する支店若しくはエージェントを通じて英国において取引を行わないことを前提として、発行体は、発行体に発生する所得及びキャピタル・ゲインに対する英国法人税又は所得税を課されることはありません。取締役は、その支配の及ぶ範囲では、そうした恒久的施設、支店又はエージェントとされることのないよう、発行体の事務を遂行すべく意図している一方で、そうした恒久的施設、支店又はエージェントが常に存在することのないようにするための必要条件が常に満たされていることを保証することはできません。

c. 源泉徴収税

発行体が貴金属上場投資信託に関して上場投資信託保有者に対して行う支払いに関しては、英国の税制上の必要性から、あるいは、税制上の理由から、控除又は源泉徴収されることは必要とはされていません。

d. 所得及び資本利得に対する法人税

一般的に、英国法人税の対象となる上場投資信託保有者は、上場投資信託保有者の公認された評価方法に従つて計算され、法定会計における取扱いを反映した基準に則つて、貴金属上場投資信託にかかる利益、利得又は損失を確定させるよう、税法上では取り扱われることになります。これらの利益、利得、又は損失（貴金属上場投資信託の処分又は償還による利益、利得又は損失の全てを含み、外国為替損益に関する価値の変動を含みます。）は、上場投資信託保有者の英国法人税の計算上、益金又は損金として取り扱われます。

e. 譲渡益課税（個人）

2009年12月1日以前取得分

貴金属上場投資信託が、英国の税法上、「大幅に減価した証券」として取り扱われるのであれば、英国の個人である上場投資信託保有者が、貴金属上場投資信託を譲渡し、又は、償還を受ける場合には、英国資産譲渡益税上の処分となるのであって、利用可能な課税免除又は控除の適用を受けつつ、資産譲渡益税上の課税対象所得、又は、控除対象損失となる可能性があります。発行体は、英国歳入・関税庁より、その見解として、貴金属上場投資信託は、「大幅に減価した証券」ではないとの、非法規的確認を取得しています。しかし、この確認は発行体に対するものであって、貴金属上場投資信託保有者に対する英国歳入・関税庁による対応を拘束するものではないため、投資家は、この点に関して、投資家自身の税に関する助言者に相談することを望むことになるかもしれません。

2009年12月1日以前の取得分にかかる課税上の取扱い、下記の「オフショア・ファンド」に関する新しい定義によって影響を受けることはありません。

2009年12月1日以降取得分

発行体は、2009年12月1日より前の期間にあっては、英国税法上「オフショア・ファンド」とは看做されていません。しかし、2009年12月1日に、「オフショア・ファンド」にかかる新たな定義が発効し、発行体は「オフショア・ファンド」として取り扱われることになりました。従って、英国税法上、当該日又はそれ以降における取得分については、「オフショア・ファンド」に対する投資として、取り扱われる可能性があります。

その場合には、また、上場投資信託は、「大幅に減価した証券」として取り扱われることはなく、その他の例外規定の適用もなければ、発行体が「レポーティング・ファンド」としての証書を取得しなければ、投資家が2009年12月1日に、又は、それ以降に取得した上場投資信託の売却、償還、又はその他の処分により投資家に生じた利得は、譲渡所得ではなく、所得として課税されます。発行体は、英国歳入・関税庁より、全ての貴金属上場投資信託は、2009年1月1日より開始される会計期間から、「レポーティング・ファンド」制度への参加が認められているとの通知を受領しています。「レポーティング・ファンド」としての証書は今後全ての期間において維持されるものと预期されていますが、保証されているものではありません。

レポーティング・ファンドにかかる規則に従い、発行体は、貴金属上場投資信託の関連する種類より生じた純所得の全てを投資家に報告しなければならないことに留意してください。いかなる貴金属上場投資信託からも、かかる報告されるべき所得が発生するものとは、考えられません。

レポーティング・ファンドにかかる規則に基づき投資家に報告することが必要されている年次報告書の写しは、発行体により、次のホーム・ページ：<https://www.wisdomtree.eu/en-gb/resource-library/prospectus-and-regulatory-reports> において提供されます。

f. 所得税（個人）

貴金属上場投資信託が、英国税法上、「大幅に減価した証券」として取り扱われることになり、また、英国税法上、「対象外指数」に該当しないのであれば、英国の個人である上場投資信託保有者に、貴金属上場投資信託の譲渡又は償還時に生じる利得は、英国所得税の対象となり、英国譲渡益課税の対象とはなりません。上記「譲渡益課税（個人）」において記載されているように、発行体は、英国歳入・関税庁より、貴金属上場投資信託は、大幅に減価した証券ではないとの非法規的確認を取得しています。

g. 付加価値税

貴金属上場投資信託の保有者による貴金属上場投資信託の取得と譲渡は付加価値税の対象から免除されており、当該保有者が貴金属上場投資信託を償還（非常に限られた状況です）する権利を有する場合、付加価値税が賦課される「ブラックボックス」外への引渡しを当該保有者が要求しない限り、付加価値税はかかりません。

h. 英国オープン・エンド型投資会社及び認定集団投資スキーム

英国オープン・エンド型投資会社及び認定集団投資スキームは、通常は、英国法人税の対象となりますが（但し、現在20パーセントの基礎所得によります。）、資本利得に対する課税は免除されています。2006年認定投資ファンド（税）規則（S.I. No.2006/964）第二部により、債権者融資関係及び金融派生商品契約に対する英国オープン・エンド型投資会社及び認定集団投資スキームから生じる資本利得、利得、又は損失にかかる課税は免除されます。この観点からは、資本利得、利得、又は損失は、英国において一般に公正妥当と認められている会計原則に従って、全収益計算書において、適当な実務会計勧告書に沿って取り扱われるものとなり、これによって、英国オープン・エンド型投資会社又は認定集団投資スキームである上場投資信託保有者に貴金属上場投資信託に関して生じる利益、利得、又は損失について、課税が免除されるかどうかが決まることとなります。しかしながら、かかる規定は、所有権の純粋分散の条件に該当しない適

格機関投資家スキームには適用がありません。加えて、規定の第二部Bに基づき、所有権の純粋分散の条件に該当する英国オープン・エンド型投資会社及び認定集団投資スキームにおいて、「投資取引」（融資関係及びデリバティブ取引を含みます。）に生じた全ての譲渡所得、利得及び損失（上記のように、英国において一般に公正妥当と認められた会計原則によります。）は、非売買取引として取り扱われ、所得として課税対象とはなりません。規制のかかる部分により、オープン・エンド型投資会社及び認定集団投資スキームである投資信託保有者に生じた利益、利得又は損失が、貴金属上場投資信託に関して、課税対象となるかどうかが決定されます。

i. 印紙税及び印紙税補完税

英国において、発行体によって、又は、発行体のために、登録が維持されていないことを前提として、非証書形態での貴金属上場投資信託の発行、又は、その後の譲渡若しくは譲渡の合意によっては、印紙税、及び、印紙税補完税のいずれについても、支払いを要することはありません。

証書形態によって、貴金属上場投資信託が保有されている場合には、(i)英国において、発行体によって、又は、発行体のために、登録が維持されていないこと、(ii)譲渡にかかる契約が英国において履行されないこと、及び、(iii)譲渡にかかる契約が、英国において実施が求められる事柄に何らの関連もないことを前提として、貴金属上場投資信託の発行又はその後の譲渡に対して、印紙税、又は、印紙税補完税のいずれもが、支払いを要しません。

貴金属上場投資信託の償還は、印紙税、又は、印紙税補完税の対象とはなりません。

j. 相続税（個人）

相続税法上、貴金属上場投資信託は、個人である上場投資信託保有者の資産の価値の一部となり、個人である上場投資信託保有者からの贈与又は死亡に際して、貴金属上場投資信託の価値に関して、（一定の課税免除及び控除の適用を受けつつ）相続税の支払いを要することになる可能性があります。そうした税債務は、適用可能性のある二重課税条約の下での適切な規定の適応を受ける可能性があります。

k. 経済協力開発機構（「OECD」）の共通報告基準

米国外国口座税務コンプライアンス法（「FATCA」）を各国政府間で実施するアプローチを大幅に促進するため、OECDは、国外における脱税問題に世界規模で取り組むための共通報告基準（「CRS」）を策定しました。効率性を最大限に高めるため及び金融機関の費用削減のため、CRSにより、デューディリジェンス、報告及び金融口座の情報交換に関する共通基準が定められています。CRSに基づき、FATCAに参加する法域の税務当局は、共通のデューディリジェンス及び報告手順に基づき、金融機関が特定する全ての報告対象者の金融情報を当該報告を行う金融機関から入手し、当該報告対象者が税法上の居住者とされるFATCAに参加する法域の税務当局との間で、毎年、自動的に情報交換します。ジャージーはCRSを実施しています。このため、発行体は、ジャージーが採択するCRSのデューディリジェンス及び報告義務を遵守することが必要になります。一般的に言って、ジャージーが採用したCRSの枠組みの下でのデューディリジェンスの必要事項は、2016年1月1日に開始され、2016年の情報は2017年6月30日までにジャージーの税務当局に報告されます。ジャージーの税務当局と他の英国を含む参加法域の税務当局との間での情報交換は、2017年9月30日またはそれ以前に行われたはずで、その後の報告期間は毎年12月31日に終了し、発行体はその期間に関する関連情報をジャージーの税務当局に翌年の6月30日までに報告することを求められています。

上場投資信託保有者は、発行体がCRS上の義務を履行するために必要な情報を発行体に対し追加で提供することが必要になる場合があります。必要な情報を提供しなかったときは、その結果課される罰金その他の課徴金及び／又は発行体の上場投資信託の強制償還について、投資家は責任を負わなければならない可能性があります。課税分野の行政協力に関する理事会指令（「行政協力指令」）は、EU域内での自動的な情報共有について同様の枠組みを定めています。行政協力指令とCRSが一緒に機能することで、EU貯蓄課税指令は2016年1月にその役目を終えました。行政協力指令とCRSは一般的にEU貯蓄課税指令よりも対象範囲が広いのですが、源泉税を含んでおりません。

C. ジャージにおける税制

以下のパラグラフは、貴金属上場投資信託の保有にかかるジャージにおける税制上の取扱いの一定の側面を要約したものです。この記述は、一般的な指針としてのみ意図されたものです。

a. 所得税

発行体は、1961年所得税法（ジャージ）（改正後）（以下「ジャージ所得税法」といいます。）に基づきジャージにおける居住者として看做されています（しかし、本書提出時点では、ジャージ所得税に基づき金融サービス会社、特定公益会社あるいは大規模小売事業者とは看做されていません。また、ジャージへの炭化水素オイルの輸入事業者と看做されてもおりません。）。しかし、発行体は（以下の注を除き）税率零パーセントの対象となります。

上場投資信託保有者（ジャージ居住者以外）は、貴金属上場投資信託の保有、売却、又はその他の処分に関して、いかなるジャージの課税の対象となることはありません。償還金（ジャージ居住者を除きます。）はジャージにおける源泉徴収課税又は課税の対象とはなりません。

b. 印紙税

現在のジャージの法制上、相続又は遺産税、キャピタル・ゲイン税、贈与税、資産税、遺産承継又は資本譲渡税は、存在しません。ジャージにおいては、貴金属上場投資信託の発行、譲渡、所得、所有権、償還、売却、又は、その他の処分について、印紙税は課されません。貴金属上場投資信託の個人単独所有者が死亡した場合には、保有されている貴金属上場投資信託の価値の0.75パーセントまでの税を、10万ポンドを上限として、死亡した個人単独保有者によって保有されていた貴金属上場投資信託の移転、又は、その他の処理のために必要とされる遺言検認、又は、遺言管理状の登録に際して、ジャージにおいて支払われなければなりません。

c. 物品サービス税

2007年物品サービス税法（ジャージ）（以下「GST法」といいます。）には、発行体は、「国際サービス事業体」となります。現在、発行体は、

i. GST法に則り、課税対象者として登録すること

・発行体の提供するいかなる物品サービスに関してもジャージにおける物品サービス税を課税すること、又は、

・（発行体に適用があるとは想定されていない限定された例外を除き）発行体に対して提供されるいかなるサービスに関してもジャージにおける物品サービス税を納付すること

は必要とされません。

d. ジャージと米国との間の政府間協定

米国追加雇用対策法の結果として、外国口座税務コンプライアンス法（「FATCA」）が米国で制定されました。発行体が発行する米国内の貴金属上場投資信託の直接又は間接保有者に関する身元その他の情報について、米国国税庁又はジャージ関連当局（なお、ジャージ関連当局により当該情報は米国国税庁に伝達されます。）に対する年次報告義務を発行体が遵守している場合を除き、FATCAに基づき、30パーセントの源泉徴収税が米国内源泉所得の支払及び米国内源泉所得を生じ得る不動産の売却益の特定の支払に対し課されることになりました。発行体が発行する貴金属上場投資信託の保有者が発行体に対して必要な情報提供を怠った場合、直接又は間接的に米国内源泉所得となる支払に対しては、30パーセントの源泉徴収税が課される可能性があり、また、発行体については、当該保有者の保有する貴金属上場投資信託の償還が必要になる場合もあります。

2013年12月13日、ジャージーと米国との間でFATCAに関する政府間合意が締結され、2014年6月18日、2014年税規制（ジャージー）により、当該政府間合意に関するジャージー法が制定されました。

当該源泉徴収税の納税義務を免れるために課される義務を履行する努力は行うものの、発行体が当該義務を履行できるという確証はありません。FATCAの結果として、源泉徴収税が発行体に課されることとなった場合、発行体により発行される貴金属上場投資信託の一部又は全部の利益に重大な悪影響を及ぼす可能性があります。一定の状況下では、発行体は、一又は複数の保有者の一部又は全ての貴金属上場投資信託を強制的に償還し、及び／又は貴金属上場投資信託の保有者に対する償還金を減少する場合があります。

e. 経済協力開発機構（以下「OECD」といいます）の共通報告基準

米国外国口座税務コンプライアンス法（以下「FATCA」といいます）を各国政府間で実施するアプローチを大幅に促進するため、OECDは、国外における脱税問題に世界規模で取り組むための共通報告基準（以下「CRS」といいます）を策定しました。効率性を最大限に高めるため及び金融機関の費用削減のため、CRSにより、デューディリジェンス、報告及び金融口座の情報交換に関する共通基準が定められています。CRSに基づき、FATCAに参加する法域にある国は、共通のデューディリジェンス及び報告手順に基づき、金融機関が特定する全ての報告対象者の金融情報を当該報告を行う金融機関から入手し、参加国間で、毎年、自動的に情報交換します。ジャージーはCRSを実施しています。従って、発行体は、ジャージーで採択されるCRSに基づくデューディリジェンス及び報告義務を遵守する必要があります。ジャージーにおいて採択され2016年1月1日に施行された2015年課税(施行)（国際課税コンプライアンス）（共通報告基準）（ジャージー）規則により、発行体は、ジャージーが採択するCRSのデューディリジェンス及び報告義務を遵守することが必要になります。2016年1月1日にジャージーにおいて採択されたCRSの枠組みにデューディリジェンスの実施及び2017年6月30日までに情報を報告することが定められています。ジャージー税務当局とFATCAパートナー国間の情報交換は2017年9月30日までに実施される予定です。上場投資信託保有者は、発行体がCRS上の義務を履行するために必要な情報を発行体に対し追加で提供することが必要になる場合があります。必要な情報を提供しなかったときは、その結果課される罰金について、投資家は責任を負わなければならない可能性があります。

f. 税源浸食と利益移転

税に関する法律その他の規則若しくは慣行、又は発行体、その資産及び発行体の投資に関する税の解釈は、発行体が存続する期間、変更する可能性があります。特に、世界規模で進められている税源浸食と利益移転（BEPS）プロジェクトは、発行体の課税措置に著しい影響を及ぼす可能性があります。また、課税当局又は裁判所による発行体、その資産並びに投資家に対する課税規定及び慣行の解釈及び適用は、発行体が想定したものと異なる可能性があります。いずれも、投資家への利益に著しい影響を及ぼす可能性があります。

5【運用状況】

(1)【投資状況】

(2020年12月31日現在)

資産の種類	国名 ^(注1)	時価 ^(注2)		投資比率 (%) ^(注3)
		米ドル	日本円(千円)	
白金	英国/スイス	651,004,574	71,932,750	4%
パラジウム	英国/スイス	248,737,191	27,484,216	2%
銀	スイス	2,477,699,512	273,773,408	17%
金	スイス	7,451,599,566	823,364,494	51%
スイス保管金	スイス	3,636,386,753	401,802,554	25%
コア保管金	英国	10,687,081	1,180,869	0%
資産総額		14,494,232,485	1,601,540,218	100%
負債総額		14,514,740,836	1,603,806,289	99% ^(注4)
合計(純資産総額)		-20,508,351	-2,266,070	1% ^(注5)

(注1) 白金及びパラジウムは、カストディアンにより、その保有するロンドンの金庫内、又は、チューリッヒのサブ・カストディアンにより、その保有するチューリッヒの金庫内に保管されます。銀及び金は、カストディアンにより、その保有するロンドンの金庫内に保管されます。カストディアンは、アメリカ合衆国デラウェア州で設立された国法銀行で、ロンドン支店を通じて行為するエイチエスビーシー銀行・ユーエスエー・ナショナル・アソシエーション(HSBC Bank USA, National Association)であって、英国における主たる営業所はE14 5HQ、ロンドン、カナダ・スクウェア8番にあります。

(注2) 白金は、ロンドン白金・パラジウム市場における2020年12月31日午前値決めによるトロイ・オンス当たり1,075.000米ドル(118,782円)との価格を用いて、市場価値により記録されています。

パラジウムは、ロンドン白金・パラジウム市場における2020年12月31日午前値決めによるトロイ・オンス当たり2,370.000米ドル(261,873円)との価格を用いて、市場価値により記録されています。

銀は、ロンドン地金市場協会における2020年12月31日値決めによるトロイ・オンス当たり26.485米ドル(2,926円)との価格を用いて、市場価値により記録されています。

金は、ロンドン地金市場協会における2020年12月31日午前値決めによるファイン・トロイ・オンス当たり1,891.100米ドル(208,957円)の価格を用いて、市場価値により記録されています。

(注3) 投資比率とは、発行体の総資産に対する当該資産の時価の比率をいいます。個別上場投資信託(及び当該種類の個別上場投資信託を構成する限度において貴金属バスケット上場投資信託も含まれます。)がプールされており、個別上場投資信託(及び当該種類の個別上場投資信託を構成する限度において貴金属バスケット上場投資信託も含まれます。)の特定の種類に関する全資産は当該種類に関連する全債務を担保することができます。各合同管理資金(プール)については別途担保証書が必要となります。

(注4) 資産総額に対する負債総額の比率です。

(注5) 発行体の合計純資産額を合計総資産額で除した比率です。

(注6) 上表は、WisdomTree貴金属バスケット上場投資信託に関する情報を含みます。なお、WisdomTree金上場投資信託とWisdomTreeスイス保管金上場投資信託の口座は異なるため、これらの上場投資信託の資産の種類に関する情報は上表のとおりそれぞれ別個に記載されています。

(注7) 発行体及び受託者は、HSBC Bank USA, N.A. 及びHSBC Bank plc(「初期カストディアン」)と更改協定(「HSBC ノベーション契約」)を締結しており、これに基づき、当初カストディアンは、当初カストディアン契約に基づきHSBC Bank USA, N.A. の債務を同条件で引き受けております。

(2) 【投資資産】

【投資有価証券の主要銘柄】

該当ありません。

【投資不動産物件】

該当ありません。

【その他投資資産の主要なもの】

(2020年12月31日現在)

資産の種類	国名	重量((ファイン)トロイ・オンス)	単価		時価		投資比率(%)
			米ドル	日本円(千円)	米ドル	日本円(千円)	
白金	英国/スイス	605,585.650	1,075.000	119	651,004,574	71,932,750	4%
パラジウム	英国/スイス	104,952.406	2,370.000	262	248,737,191	27,484,216	2%
銀	英国	93,551,048.080	26.485	3	2,477,699,512	273,773,408	17%
金	英国	3,940,351.978	1,891.100	209	7,451,599,566	823,364,494	51%
スイス保管金	スイス	1,922,895.010	1,891.100	209	3,636,386,753	401,802,554	25%
コア保管金	英国	5,651.251	1,891.100	209	10,687,081	1,180,289	0%

(注1) 発行体は現在7つの種類の投資信託を発行しており、これには6種類の個別上場投資信託と1種類の貴金属バスケット上場投資信託があります。個別上場投資信託は個々の金属(金、銀、白金又はパラジウム)の価格に連動するよう設計されており、貴金属バスケット上場投資信託は金属の全部又は一部から構成される金属バスケットの価格に連動します。WisdomTree白金上場投資信託、WisdomTreeパラジウム上場投資信託、WisdomTree銀上場投資信託、WisdomTree金上場投資信託及びWisdomTree貴金属バスケット上場投資信託が東京証券取引所に上場されています。本書では東京証券取引所に上場されている貴金属上場投資信託について記述していますが、参考のためWisdomTreeスイス保管金上場投資信託及びWisdomTreeコア保管金上場投資信託についても記載することがあります。

(注2) 上表は、WisdomTree貴金属バスケット上場投資信託に関する情報を含みます。なお、WisdomTree金上場投資信託、WisdomTreeコア保管金上場投資信託とWisdomTreeスイス保管金上場投資信託の口座は異なるため、これらの上場投資信託の資産の種類に関する情報は上表のとおりそれぞれ別個に記載されています。

(3) 【運用実績】

【純資産等の推移】

下記会計年度末及び2020年4月末日から2021年3月末日までの期間における外国投資法人の純資産の推移は、以下のとおりです。

（注）発行体は、その負債となる外国投資法人債券に一致する額の資産を保有しています。このため、各外国投資証券について、常に純資産額は、零となるため、併せて、1口当たりの資産額を記載しています。

WisdomTree白金上場投資信託

	総資産額		純資産総額		外国投資証券1単位当りの純資産額	
	米ドル	百万円	米ドル	日本円	米ドル	日本円
第11会計年度 (2017年12月31日)	359,899,988.49	39,767	-	-	87.96	9,719
第12会計年度 (2018年12月31日)	217,446,598.16	24,027	-	-	74.97	8,284
第13会計年度 (2019年12月31日)	552,421,119.58	61,040	-	-	91.23	10,080
2020年4月末日	382,051,039.15	42,215	-	-	71.95	7,950
5月末日	430,639,083.16	47,583	-	-	77.36	8,548
6月末日	422,960,025.89	46,735	-	-	76.30	8,431
7月末日	525,136,374.99	58,025	-	-	84.79	9,369
8月末日	548,849,307.60	60,645	-	-	87.10	9,624
9月末日	521,008,115.39	57,569	-	-	82.75	9,143
10月末日	516,744,923.87	57,098	-	-	79.73	8,810
11月末日	596,408,974.89	65,900	-	-	91.57	10,118
12月末日	639,342,488.51	70,645	-	-	100.51	11,106
2021年1月末日	681,479,005.14	75,300	-	-	103.74	11,463
2月末日	730,618,291.95	80,730	-	-	112.48	12,428
3月末日	712,864,921.21	78,768	-	-	110.38	12,196

WisdomTreeパラジウム上場投資信託

	総資産額		純資産総額		外国投資証券1単位当りの純資産額	
	米ドル	百万円	米ドル	日本円	米ドル	日本円
第11会計年度 (2017年12月31日)	131,227,404.74	14,500	-	-	100.20	11,072
第12会計年度 (2018年12月31日)	98,923,349.87	10,931	-	-	119.25	13,177
第13会計年度 (2019年12月31日)	169,865,651.93	18,769	-	-	180.40	19,933
2020年4月末日	160,058,497.05	17,686	-	-	186.30	20,585

5月末日	164,898,341.89	18,220	-	-	180.04	19,894
6月末日	167,735,836.92	18,534	-	-	178.55	19,729
7月末日	180,393,960.06	19,933	-	-	193.47	21,377
8月末日	187,474,710.69	20,715	-	-	203.78	22,517
9月末日	202,950,457.93	22,425	-	-	218.59	24,153
10月末日	191,904,538.47	21,204	-	-	208.49	23,037
11月末日	204,276,316.64	22,572	-	-	224.49	24,805
12月末日	197,315,530.27	21,802	-	-	221.59	24,485
2021年1月末日	191,267,625.68	21,134	-	-	217.48	24,030
2月末日	188,393,192.61	20,817	-	-	220.67	24,383
3月末日	215,405,473.45	23,801	-	-	245.13	27,086

WisdomTree銀上場投資信託

	総資産額		純資産総額		外国投資証券1単位当りの純資産額	
	米ドル	百万円	米ドル	日本円	米ドル	日本円
第11会計年度 (2017年12月31日)	979,992,754.07	108,284	-	-	16.00	1,768
第12会計年度 (2018年12月31日)	788,068,053.68	87,078	-	-	14.60	1,613
第13会計年度 (2018年12月31日)	1,228,790,159.14	135,775			16.95	1,873
2020年4月末日	1,126,793,031.75	124,505	-	-	14.39	1,590
5月末日	1,320,518,711.74	145,911	-	-	16.49	1,822
6月末日	1,528,732,089.24	168,917	-	-	16.73	1,849
7月末日	2,093,433,937.64	231,314	-	-	22.55	2,492
8月末日	2,528,694,408.33	279,408	-	-	25.61	2,830
9月末日	2,151,084,249.43	237,684	-	-	22.21	2,454
10月末日	2,209,325,410.29	244,119	-	-	22.11	2,443
11月末日	2,039,161,790.52	225,317	-	-	20.72	2,289
12月末日	2,443,220,963.63	269,964	-	-	24.76	2,736
2021年1月末日	2,681,632,015.77	296,307	-	-	25.62	2,831

2月末日	2,620,333,473.00	289,534	-	-	24.93	2,755
3月末日	2,381,101,153.05	263,100	-	-	22.41	2,476

WisdomTree金上場投資信託

	総資産額		純資産総額		外国投資証券1単位当りの純資産額	
	米ドル	百万円	米ドル	日本円	米ドル	日本円
第11会計年度 (2017年12月31日)	6,203,727,072.19	685,481	-	-	124.35	13,740
第12会計年度 (2018年12月31日)	6,661,710,262.18	736,086	-	-	122.44	13,529
第13会計年度 (2019年12月31日)	7,184,498,811.80	793,851			144.93	16,014
2020年4月末日	8,025,478,492.68	886,775	-	-	161.83	17,881
5月末日	8,089,853,571.59	893,888	-	-	164.25	18,149
6月末日	8,242,743,540.30	910,782	-	-	167.93	18,555
7月末日	8,999,841,181.65	994,437	-	-	186.56	20,614
8月末日	8,946,300,525.18	988,521	-	-	185.78	20,528
9月末日	8,276,220,355.37	914,481	-	-	179.04	19,783
10月末日	8,239,568,061.20	910,431	-	-	178.50	19,723
11月末日	6,861,346,509.61	758,144	-	-	167.13	18,467
12月末日	7,368,401,539.95	814,172	-	-	179.26	19,807
2021年1月末日	7,203,142,951.90	795,911	-	-	176.62	19,516
2月末日	6,548,860,759.23	723,616	-	-	165.11	18,244
3月末日	6,033,512,684.75	666,673	-	-	160.14	17,695

WisdomTree貴金属バスケット上場投資信託

	総資産額		純資産総額		外国投資証券1単位当りの純資産額	
	米ドル	百万円	米ドル	日本円	米ドル	日本円
第11会計年度 (2017年12月31日)	112,897,628.85	12,475	-	-	97.78	10,804
第12会計年度 (2018年12月31日)	102,163,691.06	11,289	-	-	97.85	10,812

第13会計年度 (2019年12月31日)	144,621,124.28	15,980			123.52	13,648
2020年4月末日	145,212,333.50	16,045	-	-	126.45	13,972
5月末日	146,925,160.76	16,235	-	-	129.23	14,279
6月末日	149,765,419.78	16,548	-	-	130.58	14,428
7月末日	169,980,446.75	18,782	-	-	148.86	16,449
8月末日	173,349,877.89	19,154	-	-	154.52	17,074
9月末日	171,279,967.31	18,926	-	-	150.26	16,603
10月末日	171,996,370.54	19,005	-	-	147.60	16,309
11月末日	168,697,359.00	18,640	-	-	145.77	16,107
12月末日	180,760,320.22	19,973	-	-	155.79	17,214
2021年1月末日	179,454,206.46	19,829	-	-	155.27	17,157
2月末日	179,006,854.03	19,779	-	-	151.34	16,722
3月末日	188,045,114.44	20,778	-	-	151.02	16,687

（注）貴金属上場投資信託の1口当たり純資産価格は、貴金属上場投資信託1口当たりの価額に基づいたものとなっています。上場投資信託1口当たりの価額は、上場投資信託1口当たりの貴金属エンタイトルメントに関連する値決めによる価格を乗じたものとなります。貴金属上場投資信託の裏付けとなっている地金の各種類の純資産総額は、関連する貴金属上場投資信託の残高と等しくなります。このために、純資産価額は零となり、総資産額は、貴金属上場投資信託の裏付けとなる、地金の総額と等しくなります。WisdomTree白金上場投資信託、WisdomTreeパラジウム上場投資信託、WisdomTree銀上場投資信託、WisdomTree金上場投資信託及びWisdomTree貴金属バスケット上場投資信託は、2007年4月24日よりロンドン証券取引所において、2007年5月8日よりフランクフルト証券取引所において、2007年5月9日よりNYSE ユーロネクスト・パリ及びNYSE ユーロネクスト・アムステルダムにおいて、2007年6月20日よりイタリア証券取引所において、2009年8月24日より東京証券取引所において取引されています。

金

ICEベンチマーク・アドミニストレーション（以下「IBA」といいます。）は、2015年3月20日に、LBMAが認定した参加金ブリオン・バンク又は参加マーケット・メイカー（以下「金参加者」といいます。）のための、米ドル、ユーロ又は英ポンド建てで取引を決済できる電子的、取引可能かつ監査可能な店頭入札市場の運営管理を開始しました。本入札により、1日の取引に関する金指標価格が設定されます。本入札は、2015年3月19日に廃止された、ロンドン・ゴールド・マーケット・フィキシング・リミテッドが以前決定していた「ロンドン金値決め」に取って代わる金価格設定基準としてLBMAが選択したものです。新しい入札手続きでは、従前の金値決め手続きと同様、ロンドン各取引日に2回、ロンドン時間午前10時30分及びロンドン時間午後3時に開始する値決め時間にファイン・トロイ・オンス当たりの値決めが行われ（前者を「LBMA午前金価格」、後者を「LBMA午後価格」といいます。）、これらが公表されます。

銀

LBMAは、2014年5月14日に、銀値決めメンバーが行っていた電話での銀の値決め手続きが、2014年8月14日以降に稼働終了することを発表しました。LBMAは、2014年7月11日に、CMEグループ・ヨーロッパ・リミテッド（以下「CME」といいます。）及びトムソン・ロイター・

ベンチマーク・サービシース・リミテッド（以下「トムソン・ロイター」といいます。）の提供するソリューションが、LBMAのメンバーにより、銀のロンドン午前値決めの代替として選定されたと発表しました。CMEは、2014年8月15日以来、ロンドン取引時間中に毎日1回、LBMA認定参加銀ブリオン・バンク又は参加マーケット・メイカー（以下「銀参加者」といいます。）の間で、当該日の取引に関する銀指標価格（しばしば「ロンドン銀価格」と称されます。）を設定する「均衡入札」を行っています。

白金

ロンドン金属取引所（以下「LME」といいます。）は、2014年12月1日に、ロンドン・プラチナ・アンド・パラジウム・フィキシング・カンパニー・リミテッド（以下「LPPFCL」といいます。）が従前に利用していた手動のロンドン白金値決め手続きを電子的に複製した、電子的白金地金値決めシステム（以下「LMEブリオン」といいます。）の運営管理と、LME値決めメカニズムで設定された価格での白金地金取引のための電子的市場決済手続きの提供を開始しました。LMEの電子的値決め手続きでは、従前のロンドン白金値決め手続きと同様、ロンドン各取引日に2回、ロンドン時間午前9時45分及びロンドン時間午後2時に開始する値決め時間に白金のトロイ・オンス当たりの価格が設定され（前者を白金の「LME午前価格」、後者を白金の「LME午後価格」といいます。）、これらが公表されます。

パラジウム

LMEは、2014年12月1日に、LPPFCLが従前に利用していた手動のロンドンパラジウム値決め手続きを電子的に複製した、LMEブリオンの運営管理と、LME値決めメカニズムで設定された価格でのパラジウム地金取引のための電子的市場決済手続きの提供を開始しました。LMEの電子的値決め手続きでは、従前のロンドンパラジウム値決め手続きと同様、ロンドン各取引日に2回、ロンドン時間午前9時45分及びロンドン時間午後2時に開始する値決め時間にパラジウムのトロイ・オンス当たりの価格が設定され（前者を「LME午前価格」、後者を「LME午後価格」といいます。）、これらが公表されます。

【分配の推移】

2020年1月1日から2020年12月31日までの期間について、該当はありません。貴金属上場投資信託は、特定の満期を有しない外国投資法人債券であって、金利を支払いません。

【自己資本利益率（収益率）の推移】

WisdomTree白金上場投資信託	収益率（注）
第10会計年度末（2016年12月31日）	3.51%
第11会計年度末（2017年12月31日）	1.70%
第12会計年度末（2018年12月31日）	-14.77%
第13会計年度末（2019年12月31日）	21.69%
第14会計年度末（2020年12月31日）	25.71%
WisdomTreeパラジウム上場投資信託	収益率（注）
第10会計年度末（2016年12月31日）	22.99%
第11会計年度末（2017年12月31日）	55.45%
第12会計年度末（2018年12月31日）	19.01%
第13会計年度末（2019年12月31日）	51.27%
第14会計年度末（2020年12月31日）	43.26%
WisdomTree銀上場投資信託	収益率（注）
第10会計年度末（2016年12月31日）	16.99%

第11会計年度末（2017年12月31日）	3.29%
第12会計年度末（2018年12月31日）	-8.75%
第13会計年度末（2019年12月31日）	16.11%
第14会計年度末（2020年12月31日）	61.50%

WisdomTree金上場投資信託	収益率（注）
第10会計年度末（2016年12月31日）	8.70%
第11会計年度末（2017年12月31日）	11.41%
第12会計年度末（2018年12月31日）	-1.53%
第13会計年度末（2019年12月31日）	18.37%
第14会計年度末（2020年12月31日）	30.99%

WisdomTree貴金属バスケット上場投資信託	収益率（注）
第10会計年度末（2016年12月31日）	21.40%
第11会計年度末（2017年12月31日）	6.25%
第12会計年度末（2018年12月31日）	0.07%
第13会計年度末（2019年12月31日）	26.24%
第14会計年度末（2020年12月31日）	39.21%

（注）収益率（％）＝100×（a－b）／b

a ＝ 当該期間末の貴金属上場投資信託 1 口当たり純資産価格（当該期間の分配金の合計額を加えた額）

b ＝ 当該期間の直前の計算期間末の貴金属上場投資信託 1 口当たり純資産価格（分配落の額）

第2【外国投資証券事務の概要】

A. 名義書換

貴金属上場投資信託は、登録債であって、個別に譲渡可能です。

貴金属上場投資信託は、規制に従って、非登録債として、クレスト（CREST）において保有され、また、譲渡されることが可能となっています。受託者は、上場投資信託保有者の承諾を得ることなく、非登録債としての貴金属上場投資信託の保有又は譲渡に関する規則又は適用される法律及び実務の変更を反映する目的で信託約款の規定を修正することにつき、発行体に同意することができます。上場投資信託保有者は、その貴金属上場投資信託を登録債とするよう要請することができます。その際には、当該貴金属上場投資信託はクレストから除外されます。

発行体は、その登記上の事務所又は受託者が同意する英国外のその他の場所において、全ての発行済貴金属上場投資信託の発行日並びにその所有権のその後の全ての移転日及び変更日と、上場投資信託保有者及びかかる上場投資信託保有者から権原を受ける者の氏名及び住所を記載した登録簿を保管させるものとします。受託者及び上場投資信託保有者又はそのいずれか並びにかかる者により授權された者は、営業時間内のあらゆる合理的な時間において、自由に登録簿を閲覧し、その全部又は一部の謄本又は抄本を（無償で）作成することができるものとします。受託者が上場投資信託保有者集会の招集又は上場投資信託保有者への通知を要求した場合、発行体は、受託者が要求する登録簿の謄本又は抄本を（無償で）受託者に提供するものとします。発行体は、発行体が適切と考える期間及び時期において（但し、1年につき全体で30日を超えないものとします。）登録簿を閉鎖することができます。

登録名義書換事務代行会社は、登録簿をジャージーにおいて維持します。

日本においては、株式会社証券保管振替機構が、社債、株式等の振替に関する法律に従い当局により承認された外国株券等の保管及び振替決済に関する貴金属上場投資信託の取引を決済する責任を負います。株式会社証券保管振替機構は、現地保管機関を通じてかかる責任を遂行します。

B. 外国投資法人債権者に対する特典

該当事項はありません。

C. 外国投資証券の譲渡制限の内容**米国**

貴金属上場投資信託は、証券法及びその他の米国における適用のある法律の下での登録は行われておらず、また、登録が行われることもありません。貴金属上場投資信託は、米国証券法レギュレーションS、又は、その他の証券法からの登録除外取引に基づく登録除外に依存して、米国外において、そして非米国人に対してのみ募集及び売り付けが行われています。

発行体は、米国投資会社法及び関連規則に基づき投資会社として登録を行っておらず、また、行う意図も有していません。貴金属上場投資信託、並びに、それらを含む受益権は、米国内、又は、米国人に再募集、再売り付け、担保設定、又はその他の譲渡を行うことは出来ません。いかなる上場投資信託保有者であっても、発行体が保有を禁止されている米国人（投資会社において定義された「適格購入者（qualified purchaser）」ではない米国人）であると判断した場合には、信託約款に従い、当該上場投資信託保有者によって保有されている貴金属上場投資信託を償還する可能性があります。

改正された米国1974年従業員退職所得保障法（the United States Employee Retirement Income Security Act of 1974、以下「ERISA法」といいます。）第3条第3項に規定される退職給付制度の制度資産、ERISA法第4部第1章副題Bにより米国1986年内国歳入法（United States Internal Revenue Code of 1986、以下「内国歳入法」といいます。）第4975条の適用を受ける退職給付制度（以下「退職給付制度」と総称します。）、連邦規則集29第2510.3-101条（改正済み）若しくは、ERISA法第3（42）条（改正済み）に規定される上記制度の制度資産を投資先資産に含む全ての者、ERISA法若しくは内国歳入法の規定に基づき禁止される取引に類似するものであって米国連邦法、米国州法、現地法に服する政府制度資産若しくは教会制度資産（このような退職給付制度、制度資産、者を「禁止給付制度投資者」といいます。）は貴金属上場投資信託を購入することはできません。発行体が、上場投資信託保有者であったとしても、禁止給付制度投資者であると判断する場合には、信託約款の規定に従って、その上場投資信託保有者が保有する貴金属上場投資信託を償還することができます。

D. その他

該当事項はありません。

第二部【外国投資法人の詳細情報】

第1【外国投資法人の追加情報】

1【外国投資法人の沿革】

発行体は、1991年ジャージー会社法（改正済）に基づき、2007年2月22日に、非公開有限責任会社として設立され、その後2007年3月30日付の書面による決議に従って、2007年3月30日に公開会社にその形態を変更しました。発行体は、1991年ジャージー会社法及びその後の改正法規に基づいて運営されています。発行体は、ジャージーにおいて、登録番号95996で登録されています。

2【役員の状況】

本書提出日現在における発行体の取締役は以下の通りです。

スチュアート・M・ベル（Stuart Bell） 社外取締役

スチュアート・M・ベル氏は、ManJerと投資口保有会社の取締役です。彼は、また、発行体、ウィズダムツリー・コモディティ・セキュリティーズ・リミテッド、ゴールド・プリオン・セキュリティーズ・リミテッド、ウィズダムツリー・ヘッジド・コモディティ・セキュリティーズ・リミテッド、ウィズダムツリー・ヘッジド・メタル・セキュリティーズ・リミテッド、ウィズダムツリー・オイル・セキュリティーズ・リミテッド、ウィズダムツリー・フォーリン・イクスチェンジ・リミテッド及びウィズダムツリー・イシューアー・エックス・リミテッドの社外取締役です。2018年1月より、取引所で取引されるファンドおよび取引所で取引される製品のスポンサーおよびアセットマネージャーであるウィズダムツリー・インベストメンツ・インク（WisdomTree Investments, Inc.）のエグゼクティブ・バイス・プレジデント兼最高執行責任者を務めています。2007年9月から2018年1月まで、同氏は、ウィズダムツリーで国際ビジネスディレクター、企業広報および投資家向け広報担当ディレクターなどを歴任しました。ウィズダムツリーへの入社以前は、2006年6月から2007年7月までスローン・アンド・カンパニー（Sloane & Company）のアカウントエグゼクティブを務めており、また彼はコネチカット州ハートフォードのトリニティカレッジで大学の優等学位を取得しています。

スティーブン・ロス（Steven Ross） 社外取締役

ロス氏は、発行体、ウィズダムツリー・コモディティ・セキュリティーズ・リミテッド、ゴールド・プリオン・セキュリティーズ・リミテッド、ウィズダムツリー・ヘッジド・コモディティ・セキュリティーズ・リミテッド、ウィズダムツリー・ヘッジド・メタル・セキュリティーズ・リミテッド、ウィズダムツリー・オイル・セキュリティーズ・リミテッド、ウィズダムツリー・フォーリン・イクスチェンジ・リミテッド及びウィズダムツリー・イシューアー・エックス・リミテッドの社外取締役です。彼は、会計学の学位（優等）を取得してスターリング大学を卒業し、2001年から2006年まで、ジャージーに所在するプライスウォーターハウスクーパースC1 LLPで勤務しました。プライスウォーターハウスクーパースに在職中、同氏は、イングランド・ウェールズ勅許会計士協会の公認会計士資格を取得し、重要なオフショア金融サービス及び商業顧客のために、保証及びビジネス助言業務の支援及び運用を行いました。アール・アンド・エイチ・ファンド・サービスズ（ジャージー）リミテッドに参加する前に、同氏は、オフショア・ファンド管理業務を行うキャピタ・フィナンシャル・アドミニストレーターズ（ジャージー）リミテッドのオペレーション部門のヘッドを務め、上場ファンド及び私募ファンドに対するポートフォリオのファンド管理事務サービスの提供を担いました。同氏は、2012年3月にアール・アンド・エイチ社に入社し、2017年1月よりラウリソン・アンド・ハンター・ジャージーのパートナーに就任しました。

ピーター・ジーンバ - 社外取締役

ジーンバ氏はManJerと投資口保有会社の取締役です。ジーンバ氏は、発行体、ウィズダムツリー・コモディティ・セキュリティーズ・リミテッド、ゴールド・プリオン・セキュリティーズ・リミテッド、ウィズダムツリー・ヘッジド・コモディティ・セキュリティーズ・リミテッ

ド、ウィズダムツリー・ヘッジド・メタル・セキュリティーズ・リミテッド、ウィズダムツリー・オイル・セキュリティーズ・リミテッド、ウィズダムツリー・フォーリン・イクスチェンジ・リミテッド及びウィズダムツリー・イシューア・エックス・リミテッドの社外取締役です。2018年1月以来、ジーンバ氏は、ウィズダムツリー・インベストメント・インクの、上級副社長（最高経営責任者（CEO）及び最高管理責任者へのシニア・アドバイザー担当）を務めています。同社は、取引所に上場されているファンドや商品のスポンサー及びアセット・マネージャーです。この職務に就く前は、上級副社長として、2008年1月から2017年12月まではビジネス及び法務を担当し、2011年3月から2017年12月までは最高法務責任者を務めました。2007年4月から2011年3月まで、ジーンバ氏はウィズダムツリー・インベストメント・インクのゼネラル・カウンセラーを務めました。ジーンバ氏は現在、ウィズダムツリー社のいくつかの完全子会社の取締役会のメンバーです。ウィズダムツリー社に入社する前は、1991年から2007年までウィズダムツリー・インベストメント・インクの筆頭顧問法律事務所であるグローバード・ミラーのコーポレート・アンド・セキュリティ部門のパートナーであり、1982年に同法律事務所に入社しております。ジーンバ氏は、ペンガムトン大学から歴史学及びのユニバーシティ・オナーズの学士の学位を得て、ベンジャミン・N・カルドーゾ・スクール・オブ・ローの法学修士とクム・ラウデの学位を得ております。

クリストファー・フォールズ（Christopher Foulds） 社外取締役

フォールズ氏は、投資口保有会社の取締役です。彼は、また、発行体、ウィズダムツリー・コモディティ・セキュリティーズ・リミテッド、ゴールド・プリオン・セキュリティーズ・リミテッド、ウィズダムツリー・ヘッジド・コモディティ・セキュリティーズ・リミテッド、ウィズダムツリー・ヘッジド・メタル・セキュリティーズ・リミテッド、ウィズダムツリー・オイル・セキュリティーズ・リミテッド、及びウィズダムツリー・フォーリン・イクスチェンジ・リミテッドの社外取締役です。フォールズ氏は、ポーツマス大学で数学及び財務管理の優等学位を取得した後、ジャージー州のDeloitte LLPで公認会計士（FCA）としての資格を取得し、オフショア金融サービスの顧客に焦点を当てた、数々の保証およびビジネス助言業務の支援と管理を担当しました。Deloitte LLPを退職後、同氏はアクティブ・サービスズ（ジャージー）リミテッドの取締役を務め、ファンド部門にスタートアップの管理とサポートサービスを提供していました。その後、彼は、イーティーエフエス・キャピタル・リミテッドでさまざまな役職を務め、財務報告を主に担当するとともに、これまでに発行体およびManJerのコンプライアンス・オフィサーに任命されています。彼は以前、発行体の社外取締役でもありました。2020年3月にR&H Fund Services (Jersey) Limitedに入社する以前は、デジタル資産投資商品を提供する企業であるCoinShares (Jersey) Limitedのコンプライアンスおよび規制関連業務の責任者を務めていました。

（注） いずれの取締役も投資口は保有していません。

3 【外国投資法人に係る法制度の概要】

ジャージーにおいては、共同ファンドの設定及び運営については、1988年に改正された共同投資ファンド法（Collective Investment Funds (Jersey) Law）、及び、1947年に改正された借入管理法（Control of Borrowing (Jersey) Law）という2つの法律により、規制されています。

さらに、ジャージー金融サービス委員会（Jersey Financial Services Commission）（「金融サービス委員会」）は、共同投資ファンド法第15条により自己に付与される権限に基づき、許可証書取得済ファンドの行動基準（「行動基準」）を発行しました。発行体は、行動基準の遵守を要求されません。

A. 共同投資ファンド法

a. 共同投資ファンドの適用

共同投資ファンド法 (Collective Investment Funds (Jersey) Law 1988) 第3条では、概ね、以下のいずれかに該当する共同投資にかかるスキーム又はアレンジメントを、投資ファンドとして規制しています。

i. 受益証券の引受け、売却、あるいは、転換による、「公衆に対する募集(下記参照)」に
よって得られた資金の共同投資を、その目的、又は、目的の一つとしていること、及び、
投資ファンドが、リスク分散の原則の下で運営され、受益証券を発行し続けている、又は、
上場投資信託保有者の要請により投資ファンドの資産から償還し続けることができること
共同投資ファンド法3条3項に基づき、受益証券の申込、売却又は転換は、限定された範囲の者に対する募集ではなく、一般公衆に対する募集を構成します。

募集は、以下の場合に該当しない限り、限定された範囲の者に対する募集とはみなされません。

識別可能な範囲の者に対して募集が行われた場合

募集者又は募集者が選任した代理人が直接募集について連絡した場合

当該範囲の者のみが募集を認めることができ、募集者を評価するに十分な情報を保持している場合

募集者が連絡を取った相手方が50名を超えない場合

募集が行われる前1年以内に受益証券が証券取引所に上場されていない場合

b. 分類されないファンド

ファンドの二つの分類

共同投資ファンド法は、ファンドの異なるクラスを設定することができる旨規定しています。現在、一つのクラス、すなわち分類投資ファンドのクラスのみが導入されています。共同投資ファンド法の下での他のファンドは全て未分類投資ファンドです。

未分類投資ファンドが証書を保有するための要件

共同投資ファンド法第8条第1項では、1991年ジャージー会社法に基づいて設立され、ジャージーにおいて事業所を設立していることの要件に合致する未分類投資ファンドが、同法第8条Bに基づき、ファンドにかかる許可証書(certificate)を取得しないで、又は、許可証が無効となっているにもかかわらず投資ファンド事業を行うことを禁止しています。第8条第2項では、同第1項に違反した場合、刑事罰の対象となり、7年以下の禁固及び罰金が科せられると規定されています。

c. 許可証書の申請

共同投資ファンド法8A条第1項により、投資ファンドに対する許可証書の付与を受けるためには、投資ファンドの運営者が、申請書、及び、法律で定められた要件に合致していることを証する書面等を金融サービス委員会に提出しなければなりません。

同法8A条第2項により、許可証書の申請書は、金融サービス委員会の指定する様式である必要があり、集合投資信託、申請者が運営者、受託者、ジェネラル・パートナーを務めるファンドのクラス(もしあれば)を特定し、金融サービス委員会が要求する他の情報を含み、金融サービス委員会が要求する形態及び範囲で確認され、所定の費用を添えたものでなければなりません。

d. 許可証書の授与、拒絶、条件の賦課、許可証書の取消

共同投資ファンド法8B条は、金融サービス委員会は未分類投資ファンドに関し許可証書を授与し、又は拒絶することができます。また、許可証書は無条件で、又は金融サービス委員会が適切とみなす条件の下で授与される場合がある旨も規定しています。共同投資ファンド法8B条第7項は、金融サービス委員会は、以下のいずれかに該当する場合には、許可証書の付与を拒絶することができる旨規定しています。

(a) 以下について、金融サービス委員会が許可証書の付与が適切ではないとした場合

i. 申請者の健全性、能力、財務状況、構成及び組織

申請者によって申請者の事業のために雇用、又は、協業する者

- ・投資ファンド事業の性質
- ・集合投資信託に関する申請者の役割
- ・申請者の評価
- ・その他、投資ファンド事業にかかる運営会社等

金融サービス委員会は、以下の場合には、申請者に対して許可証書を授与することが適切であるとは認めないものとします。

(b) 申請者が、共同投資ファンド法に基づく情報の提供について、申請に関連するか否かを問わず、以下のいずれかに該当する場合

- i . これを提供しない場合
- ・虚偽又は不正確な情報を金融サービス委員会に提供した場合

(c) 申請者が以下を遵守しない場合

- i . 許可証書等の付与に当たって付された条件
- ・許可証書に付された条件

(d) 申請者、又は、申請者の事業のために申請者に雇用された者、若しくは、協業する者が、以下のいずれかについて有罪を宣告された場合

- i . 犯罪（ジャージーの内外を問わない）
- ・以下の法律違反
 - a . 共同投資ファンド法
 - b . 1991年ジャージー銀行業法
 - c . 1998年ジャージー金融サービス法
 - d . 1996年ジャージー生命保険業法
 - e . 以上の法律に基づく規制又は規則
- ・ジャージー外における上記 . に規定する法律に類似する法律の違反
- ・住宅資金貸付組合、会社、消費者信用、消費者保護、商工組合、インサイダー取引、破産、マネー・ロンダリング、テロリスト・ファイナンスにかかる違反（ジャージーの内外を問わない）
- v . 裁判の公正を妨げる違反

(e) 金融サービス委員会が共同投資ファンド法8A条に基づき提供された情報又は他の方法で得られた情報に基づいて以下の判断を行った場合

- i . 公共、又は、共同投資ファンドへの既存の参加者、若しくは、将来的に参加する可能性のある参加者の保護のために、許可証書の付与を拒絶すべきと判断した場合
- ・ジャージーにおける金融及び商務上の評価及び健全性維持のため、許可証書の付与を拒絶すべきと判断した場合
- ・ジャージーの経済的利益のために、許可証書の付与を拒絶すべきと判断した場合

(f) 金融サービス委員会が、申請者が実務規則を遵守しないと判断した場合

(g) 申請者が共同投資ファンド法13条に基づく金融サービス委員会の指示を遵守しない場合

共同投資ファンド法8B条第10項に基づき、金融サービス委員会は以下の場合には、集合投資信託に関する許可証書を取り消すことができます。

ファンドが運用を停止した場合

以下のいずれかの者により要求された場合

- ・ファンドが受益証券を発行する会社である場合、当該会社
- ・ファンドがユニット・トラストである場合、当該ユニット・トラストの受託者
- ・ファンドがリミテッド・パートナーシップ又はリミテッド・ライアビリティ・パートナーシップの場合には、当該パートナーシップのジェネラル・パートナー

集合投資信託、ファンドのクラスに関する金融サービス委員会の要求が充足されないと金融サービス委員会が判断した場合

ファンドに代わり雇用されている者又はファンドに対してサービスを提供している者が共同投資ファンド法、その他の規制、共同投資ファンド法に基づき許可証書に定められた条件に違反したと金融サービス委員会が考える場合又は金融サービス委員会に対して提供された情報が虚偽、不正確又は誤解を生じさせるものであった場合

共同投資ファンド法8B条第7項に規定される一以上の条項について、申請者を許可証書の保有者と読み替えて適用される場合

許可証書の保有者が共同投資ファンド法8B条第13項に規定される手数料の支払を怠った場合

行動基準

発行体が遵守することを要求される行動基準は、9つの基本方針及び各基本方針に関する具体的な義務で構成されています。

行動基準の9つの基本方針は、以下のとおりです。

1. ファンドは、誠実に自己の事業を実施しなければなりません。
2. ファンドは、常に受益者の最善の利益となるよう行動しなければなりません。
3. ファンドは、自己の活動の適切な履行のために自己の業務を効率的に組織及びコントロールし、かつ、十分なリスク管理システムの存在を示すことができません。
4. ファンドは、受益者との事業上の取決めに於いて透明性を有していなければなりません。
5. ファンドは、十分な金融資源及び十分な保険の両方を維持し、かつ、それらの存在を示すことができません。
6. ファンドは、金融サービス委員会及びジャージーのその他の当局に、率直かつ協力的に対応しなければなりません。
7. ファンドは、誤解を招くか、虚偽を含むか、又は詐欺的な表示を行ってはなりません。
8. ファンドは、常に、あらゆる適用ある指針を遵守し、これに従って運営されていなければなりません。
9. ファンドは、ジャージー金融サービス委員会が定めるオルタナティブ・インベストメント・ファンドとAIFサービス・ビジネスの実践規範のうち関連する箇所及び適用ある箇所を遵守しなければなりません。

B. 発行体

発行体は、共同投資ファンド法に基づき、証券にかかる業務を遂行するための許可証書を取得しています。

発行体の英文目論見書は、2012年共同投資ファンド（許可済ファンド 目論見書）（ジャージー）命令（Collective Investment Funds(Certified Funds – Prospectuses) (Jersey) Order 2012）に従って作成され、その写しは当該命令に従って金融サービス委員会に送付されています。

C. 借入管理法

借入管理法は、島内における、とりわけ、資金の借入れ及び調達、証券発行、法人の構成員の承認、並びに、証券の引受け、売却、又は、交換による募集の取扱いにかかる規制を規定しています。借入管理法に基づく下部法規が、1958年借入管理令（Control of Borrowing (Jersey) Order）（その後の改正を含みます。）（以下「借入管理令」といいます。）として制定されています。これにより、金融サービス委員会に投資元本の引き上げを含む監督権限が付与されています。

金融サービス委員会は、借入管理令第2条に基づき、発行体の証券を口数の制限なく発行することについて、一定の条件付で同意しており、この同意は撤回されていません。

4【監督官庁の概要】

A. ジャージー金融サービス委員会の主要目的と目標

監督官庁であるジャージー金融サービス委員会の主要目的は、以下によって、高度な規制水準を維持しつつ、ジャージーの国際金融センターとしての地位を維持することにあります。

- ・ 金融サービス提供者の虚偽、能力の欠如、誤った業務執行、又は、金融上の健全性の欠如に起因する公共の金融上の損失発生リスクを減少させること
- ・ ジャージーにおける商業上、及び、金融上の事象の評判及び健全性を維持及び増進すること
- ・ ジャージーの経済上の最善の利益を保護すること、並びに、
- ・ ジャージー及びその他の地域における金融犯罪に対処すること

以上の主要な目的の達成のため、ジャージー金融サービス委員会は以下を目標としています。

- ・ 認可された者の全てが、適切かつ適正な基準に合致すること
- ・ 全ての規制を受ける者が、優れた規制慣行にかかる受け入れられた基準の下で運営されるよう確保すること
- ・ 銀行、証券、信託業、及び保険規制、並びに、マネー・ロンダリング防止及びテロリスト・ファイナンス防止に関する国際基準に合致すること
- ・ 規制上の基準の悪用及び違反を認識し、防止すること、並びに、
- ・ 金融サービス委員会の有効かつ効率的な運営、及び首席大臣に対する適正な説明責任の遂行の確保

5【その他】

a. 訴訟事件その他の重要事項

本書提出前1年以内において、訴訟事件その他外国投資法人に重要な影響を及ぼした事実及び重要な影響を及ぼすことが予想される事実はありません。

b. 発行体の役員の変更

発行体は公開有限責任会社であるため、1991年ジャージー会社法（以下「会社法」ともいいます。）に基づき、常に2名以上の取締役を有していなければなりません。発行体の付属定款の規定に基づき、発行体の取締役は、いつでも、偶発的な欠員を補充するため又は現職の取締役の増員として、18歳以上で、制限行為能力者でなく、かつ、会社法その他の法令上の取締役欠格事由に該当しないあらゆる者を取締役に選任することができます。

発行体の付属定款に基づき、

発行体の取締役が退任するか、又は解任される投資主総会において、発行体は、取締役の定員を減らす旨を決定しない限り（但し、常に2名以上の取締役を有する必要があるとの会社法の要件に従います。）、欠員を補充するために取締役を選任することができます。

投資主総会において発行体が取締役の増員を決定した場合、発行体は、追加的に取締役を選任するものとします。

（発行体の投資主自身が全会一致で承認する場合を除き）特定の者を取締役に推薦する発行体の投資主の意図が記載された通知は、正味7日前までに発行体に対し提供されます。

発行体の付属定款に基づき、発行体の取締役は、以下のいずれかに該当しない限り、その退任時まで在職するものとします。

選任書又は選任決議に別途記載されている場合

当該取締役が発行体に対する通知をもって退任した場合

会社法の規定に基づき取締役が取締役でなくなったか、又は法律により取締役となることを禁じられ、若しくは取締役でいることが不適格とされた場合

当該取締役が破産した場合、又は一般的に債権者との間で任意整理若しくは債務免除を行った場合

当該取締役が発行体の投資主決議により解任された場合

1988年共同投資ファンド（ジャージー）法に基づき付与される許可証書により発行体に課される条件により、発行体のいかなる取締役の変更も、ジャージー金融サービス委員会の担当官の事前の同意を得ない限り行うことはできません。

c. 発行体の基本定款及び付属定款の変更

会社法に基づき、発行体は、特別決議を可決することにより（特別決議を提案する意図が明記された14日前までの通知により招集される投資主総会で少なくとも3分の2の過半数により可決されなければなりません。）、基本定款及び付属定款を変更することができます。

特別決議の写しは、可決後21日以内にジャージー会社登記所に提出されなければなりません。

d. 事業譲渡

発行体は投資口保有会社の完全子会社です。したがって、投資口保有会社は、希望する場合には、第三者に対してその発行体の投資口の全部又は一部を譲渡することができます。発行体は、投資口保有会社が第三者に対して発行体の投資口の全部又は一部を譲渡する意図を有していることは把握しておりません。

第2【手続等】

1【申込（販売）手続等】

A. 申込の手続及び決済等

日本国内においては、貴金属上場投資信託の設定にかかる申込は取り扱っておりませんが、認定参加者による海外における申込みについては、以下のとおりです。なお、貴金属上場投資信託は、東京証券取引所に上場しておりますので、日本国内の証券会社等で購入することができます。

貴金属上場投資信託は目論見書の日付から12ヶ月の期間内のいずれの時点においても設定することができます。

貴金属上場投資信託の申込みについて、上限又は下限はありません。認定参加者のみが申込み様式を提出することができます。

貴金属上場投資信託に対する支払いは、認定参加者により、決済日における計算で（0.001トロイ・オンス未満、又は金の場合にあってはファイン・トロイ・オンス未満の端数を切り上げて）、申し込まれた貴金属上場投資信託の総貴金属エンタイトルメントに等しい額の貴金属地金を預託し、申込非特定口座に対して、（i）白金上場投資信託又はパラジウム上場投資信託についての決済日（T+2）における、白金及びパラジウムについて、LPPMによって定められた、現在はチューリッヒ時間正午（ロンドン時間午前11時）となっている決済期限時間、と（ ）金上場投資信託又は銀投資信託についての決算日（T+2）における、銀及び金について、LBMAによって定められた、現在はロンドン時間午後4時となっている決済期限時間のいずれか早い時間までに、並びに、スイス保管金上場投資信託の決済日（T+2）のチューリッヒ時間正午（ロンドン時間午前11時）までに行われなければなりません。

営業日のロンドン時間午後4時30分(T日)までに、R&Hによって受け取られた申込みであって、3営業日内(T+2)に、申込非特定口座に貴金属地金が受領されている場合には、一般的には、上場投資信託を申し込んだ認定参加者は、そのクレストにおける口座に新規の貴金属上場投資信託を2営業日以内(T+2)に、受け取ることができます。

- (a) 当初貴金属上場投資信託(及び当初個別上場投資信託により構成される範囲で貴金属バスケット上場投資信託)

預託は、(白金及びパラジウムの場合にあっては)チューリッヒ渡し又はロンドン渡しの非特定貴金属地金として、(銀及び金の場合にあっては)ロンドン渡しの非特定貴金属地金としてなされなければなりません。

- (b) スイス保管金貴金属上場投資信託

新規の貴金属上場投資信託は、申込非特定口座に預託された貴金属地金が、関連する担保設定非特定口座に振り替えられた後になって、初めて発行されます。新規に発行された当該貴金属上場投資信託は、同じクラスの既存の全ての貴金属上場投資信託と交換することができ、同じ資産により担保されます。

有効な申込に関して申込非特定口座で保有されている貴金属地金は、関連する担保証券により設定された上場投資信託に服しませんが、当該地金の譲渡を保留している、上場投資信託を申し込んだ認定参加者申込者から担保設定貴金属口座へ移され、当該口座で保有されます。関連する申込みが拒否されるか又は関連する申込みが過剰に貴金属地金を交付した場合、当該地金(又は場合により当該超過分)は、上場投資信託を申し込んだ認定参加者申込者のために保有され、当該申込者の損失において可及的速やかに当該申込者に返却されます。

関連する担保設定非特定口座に入ると、カストディアンは、(一本のグッド・デリバリーの延べ棒に足らない分量以外の)全ての貴金属地金を、当該貴金属地金を関連する担保設定特定口座に振り替えることにより特定します。特定は、通常、同日中に完了することが期待されています(但し、例外的な事情がある場合には、白金及びパラジウムについては、特定に一営業日又は二営業日長くかかることがあり、スイス保管金貴金属上場投資信託の発行についてロンドン渡しの金が受領された場合においても、一般的に、特定に一営業日から二営業日の遅れが生じることがあります。)。

2【買戻し手続等】

A. 償還の手続及び決済等

日本国内においては、貴金属上場投資信託にかかる償還は取り扱っておりませんが、認定参加者による海外における償還については、以下のとおりです。なお、貴金属上場投資信託は、東京証券取引所に上場しておりますので、日本国内の証券会社等で売却することができます。

認定参加者である上場投資信託保有者は、何時でも、有効な償還請求を発行体に提出することにより、その保有する全ての、又は、いずれかの貴金属上場投資信託の償還を要求することができます。

償還にかかる支払いは、カストディアンが、受託者の承認を得た後、決済日における計算により(0.001トロイ・オンス未満、又は金の場合にあってはファイン・トロイ・オンス未満の端数を切り下げて)、償還される貴金属上場投資信託の総貴金属エンタイトルメントに等しい額を、担保設定貴金属口座から、貴金属地金を引き出し、償還を行う認定参加者の非特定貴金属口座に送金することによって行われます。貴金属地金は、決済日において、認定参加者の口座に振り替えられる前に、担保設定特定口座から担保設定非特定口座へと非特定とされます。

白金及びパラジウム

白金及びパラジウムについては、カストディアンは、貴金属地金がそのチューリッヒの清算銀行にある自己の口座に貸記される後でなければ、振替えを発効させることができず、それには1日又は2日以上かかる可能性があります。その場合には、決済日は、そうした後日に延期されます。

上場投資信託保有者は、決済日の午前8時以前に、償還される貴金属上場投資信託を発行体に預託し、なければならず、償還にかかる支払いは、登録機関がカストディアンに貴金属上場投資信託の受領を確認した後でなければ行われません。償還請求が発行体に、営業日(T日)の午後4時30分までに提出さ

れ、貴金属上場投資信託が2営業日後（すなわち、T+2日）の午前8時までに預託されれば、通常は、認定参加者は、その貴金属地金を同日（T+2日）中に受け取ることができます。償還請求が、営業日の午後4時30分（ロンドン時間）より後に提出された場合には、翌営業日に提出があったものとして取り扱われます。

認定参加者ではない上場投資信託保有者は、償還請求の提出日時点で、認定参加者が存在していないか、又は認定参加者ではない上場投資信託保有者による償還が認められる旨を発行体が発表した場合で、上場投資信託保有者が当該日において有効な償還請求を提出し、かつ、償還される貴金属上場投資信託を発行体若しくは登録機関の名義の適切なクレストの口座に預託するとともにクレストにおける申請手数料不要の発送指図を発出するか、当該貴金属上場投資信託に関する証書を発行体に送付することにより当該貴金属上場投資信託を発行体にデリバリーした場合（若しくはその他発行体との合意により当該貴金属上場投資信託を発行体にデリバリーした場合）にのみ、その保有する貴金属上場投資信託の一部又は全部の償還を要求することができます。償還請求は、償還される貴金属上場投資信託が上記のとおり発行体にデリバリーされるまで、提出があったものとしては取り扱われません。かかる償還に対する支払いは、貴金属地金ではなく米ドルで行われます。かかる償還を実施するために、受託者は、貴金属売却カウンターパーティー契約に基づき、貴金属売却カウンターパーティーに対して、決済日の計算により（0.001トロイ・オンス未満、又は金の場合にあってはファイン・トロイ・オンス未満の端数を切り下げて）、償還される貴金属上場投資信託の総貴金属エンタイトルメントに等しい価額の貴金属地金を売却します。貴金属地金は、償還請求が提出された（又は、提出されたと取り扱われる）日から最初の営業日において、当該タイプの貴金属地金についてのロンドン午前値決めによって決定された価格で売却されます。売却代金が受領されると、その支払いは、一般的には、償還請求がR&Hに提出された日から2営業日後、すなわち、T+2ペースで、クレストを通じて、全ての償還手数料を差し引いた上で、行われます。当該決済日が、関連する市場における「決済日」ではない日に当たった場合については、貴金属上場投資信託の発行条件では、「決済日」となる次の日まで決済日が延期される旨が規定されています。そうした事情の下にあっては、管理費用（その中から管理事務代行会社は、カスタディアンに対する手数料を含めた発行体の全ての費用を支払います。）は、引き続き発生します。カスタディアン（又は、貴金属売却カウンターパーティー）が、受託者及び／又は発行体の指図に従って、貴金属地金（又は米ドル）の支払いを実施することができなかった場合には、いかなる場合にあっても、受託者及び発行体のいずれも、責任を負うこと、又は、賠償義務を負うことはありません。しかしながら、そのような支払いの実施ができないという事象が生じた場合には、発行体は、出来る限り、償還される貴金属上場投資信託に関して、償還を行う上場投資信託保有者の全ての請求権が満足されるよう、当該貴金属地金（又は米ドル）に関連して発行体が有する請求権を、当該上場投資信託保有者に譲渡します。それにより、当該上場投資信託保有者は、発行体又は担保設定資産に対して、それ以上の請求権を有しないこととなります。

発行体又は受託者による強制償還

解約時における強制償還

発行体が貴金属上場投資信託全ての償還を選択した場合、又は一若しくは複数のタイプの貴金属上場投資信託全てを強制的に償還すべき場合、発行体は、何時でも、貴金属上場投資信託全て又は一若しくは複数のタイプの貴金属上場投資信託全てを償還することができます。かかる場合、発行体は、RISによる公表を通じて、あるロンドンにおける営業日を当該貴金属上場投資信託に関する最終取引日とする旨を30日以上前に通知するものとします。

発行体の債務不履行事象が発生した場合における強制償還

発行体の債務不履行事象が発生し、これが継続している場合、受託者は、何時でも、その裁量により、全ての発行済貴金属上場投資信託が強制的に償還される旨を、当該貴金属上場投資信託に関する強制償還通知日となる営業日（当該通知日から2営業日以上後の日とします。）を指定の上、発行体に対して通知し、また、上場投資信託保有者に対しては、RISによる公表を通じて通知することができます。但し、当該時点における発行済貴金属上場投資信託（全体）の元本金額の25%以上を保有する上場投資信託保有者の書面による指示、又は上場投資信託保有者の（単一の種類としての）特別決議による

指示があった場合(受託者がまず、その満足のゆくまで、補償及び/若しくは保証並びに/又は資金提供を受けていることを条件とします。)は、上記の通知を行わなければなりません。

正当な理由による強制償還

発行体は、以下の場合、その絶対裁量により、上場投資信託保有者に対し、当該上場投資信託保有者が保有する貴金属上場投資信託が強制的に償還される旨を、当該貴金属上場投資信託に関する強制償還通知日となる営業日(当該通知日後7日以上14日以内の日とします。)を指定の上、何時でも書面により通知することができます。

発行体が、上場投資信託保有者に対し、同人が保有を禁止されている年金投資者であるか否かを証明するよう要求した場合で、()当該上場投資信託保有者が、信託約款に基づき行われた当該通知に明記された日までに、要求される方法により作成された要求される様式のかかる証明書を発行体に提出しなかったか、又は()当該上場投資信託保有者が、自らが保有を禁止されている年金投資者であることを証明した場合

発行体が、上場投資信託保有者に対し、同人が保有を禁止されている米国人であるか否かを証明するよう要求した場合で、()当該上場投資信託保有者が、当該通知に明記された日までに、要求される方法により作成された要求される様式のかかる証明書を発行体に提出しなかったか、又は()当該上場投資信託保有者が、自らが保有を禁止されている米国人であることを証明した場合。

(a)当該貴金属上場投資信託が、いずれかの国の法律若しくは要件に違反している者、又はかかる違反により当該貴金属上場投資信託の所有につき適格でない者により直接又は実質的に所有又は保有されている、あるいはその可能性があるか、(b)発行体の合理的な意見によれば、当該貴金属上場投資信託の所有若しくは保有又は継続的な所有若しくは保有(かかる所有又は保有が単独で生じたか、関係あると発行体がみなすその他の状況とともに生じたかにかかわらず。)により、発行体又はその他の上場投資信託保有者が本来被る又は負担することのない金銭上又は税務上の不利益を受けることになる、発行体が(その絶対裁量により)考えた場合。

但し、関連する上場投資信託保有者が、信託約款に定める場合はかかる証明書を上記のとおり提出しなかった、又は信託約款に定める場合は自らが保有を禁止されている年金投資者若しくは保有が禁止されている米国人であることを証明した場合、いずれの場合においても、本条に基づき発行体が当該上場投資信託保有者により保有される当該貴金属上場投資信託の一部のみに関して行った通知は、かかる一部の貴金属上場投資信託にのみ関連する(ものとし、当該上場投資信託保有者が保有するその他一切の貴金属上場投資信託には関連しない)ものとします。

通知の対象となる上場投資信託保有者が、強制償還通知日の1営業日以上前に、発行体に対し、自らの貴金属上場投資信託が保有を禁止されている年金投資者又は保有が禁止されている米国人でない者に対して譲渡されたことについて発行体により要求される証明書を提出した場合、当該通知に記載された個別上場投資信託は、貴金属上場投資信託の発行条件に基づく償還が行われないものとします。

通知の対象となる上場投資信託保有者が、信託約款に定める強制償還通知日の1営業日以上前に、発行体に対し、自らの貴金属上場投資信託が保有を禁止されている年金投資者又は保有を禁止されている米国人でない者に対して譲渡されたことについて発行体により要求される証明書を提出しなかった場合、当該上場投資信託保有者は、当該通知に記載された貴金属上場投資信託を譲渡することができないものとし、発行体は、当該貴金属上場投資信託の意図された譲渡を登録する義務を負わないものとします。

発行体は、信託約款に従いなされた決定、判断又は宣言の理由を説明する義務を負わないものとします。信託約款により付与された権限の行使は、いかなる場合も、当該貴金属上場投資信託の直接的若しくは実質的な所有若しくは保有の証拠が不十分であったこと又はその他を理由として、異議を唱えられない又は無効とされないものとします。但し、かかる権限が誠実に行使されたことを前提とします。

強制償還

貴金属上場投資信託を強制的に償還する旨の通知が行われた場合、以下の(a)及び(b)に該当する貴金属上場投資信託は、貴金属受渡しにより償還されるものとします。

(a) その上場投資信託保有者が認定参加者である貴金属上場投資信託

- (b) その上場投資信託保有者が、最終取引日又は強制償還通知日以前において、関連する貴金属上場投資信託がUCITSファンドでないことを証明し、かつ、当初貴金属上場投資信託に関しては、関連する地金が預託される、関連の協会の協会員の下で開設された非特定口座（又は貴金属バスケット上場投資信託の場合は、関連の協会の一若しくは複数の協会員の下で開設された一若しくは複数の非特定口座）を指定した貴金属上場投資信託

償還に関して、強制決済日（償還の効力発生日）は、該当する強制貴金属売却日後2営業日目の日又は該当する強制償還通知日後2営業日目の日とします。但し、以下の定めに従うものとします。

- (a) WisdomTree白金上場投資信託、WisdomTreeパラジウム上場投資信託、WisdomTreeスイス保管金上場投資信託又はWisdomTree貴金属バスケット上場投資信託（又は、特にWisdomTree白金上場投資信託若しくはWisdomTreeパラジウム上場投資信託で構成されるその他の貴金属バスケット上場投資信託）が償還される場合、償還される全ての貴金属上場投資信託の強制決済日は、該当する強制貴金属売却日の2日（2日ともロンドンにおける営業日及びチューリッヒにおける営業日であるものとします。）後の日とします。
- (b) 貴金属売却カウンターパーティーが、受託者に対し、当該タイプ（又は複数のタイプの貴金属上場投資信託が償還される場合は、関連する各種類）の地金の売却を当該日に関連する市場において実行することができない旨を通知したときは、強制決済日を決定する目的上、強制償還通知日は、翌営業日に延期されたものとみなされます。
- (c) WisdomTree白金上場投資信託及び／又はWisdomTreeパラジウム上場投資信託（並びにかかる種類の貴金属上場投資信託のうち一方又は両方のみで構成される貴金属バスケット上場投資信託）のみが償還（貴金属受渡しによるか、貴金属売却によるかを問いません。）される場合で、当該日がLPPM評価日でないとき、強制決済日は、翌LPPM評価日となります。
- (d) WisdomTree銀上場投資信託及び／又はWisdomTree金上場投資信託（並びにかかる種類の貴金属上場投資信託のうち一方又は両方のみで構成される貴金属バスケット上場投資信託）のみが償還（貴金属受渡しによるか、貴金属売却によるかを問いません。）される場合で、当該日がLBMA評価日でないとき、強制決済日は、翌LBMA評価日となります。
- (e) WisdomTreeスイス保管金上場投資信託のみが償還（貴金属受渡しによるか、貴金属売却によるかを問いません。）される場合で、当該日がLBMA評価日でないとき、強制決済日は、LBMA評価日に当たる翌営業日となります。
- (f) その他一切の場合で、当該日がLPPM評価日でもLBMA評価日でもないとき、強制決済日は、LPPM評価日及びLBMA評価日の両方に当たる翌日となります。
- (g) 非特定及び（WisdomTreeスイス保管金上場投資信託に関する担保設定資産に帰属する又はその一部を構成する白金、パラジウム又は金の場合は）カストディアン（のチューリッヒにおける決済銀行に開設されたカストディアンの口座への関連する地金の貸記が、本項の定めにより強制決済日に該当する日に完了しないとカストディアンが判断したとき、強制決済日は、非特定及び（WisdomTreeスイス保管金上場投資信託に関する担保設定資産に帰する又はその一部を構成する白金、パラジウム又は金の場合は）当該口座への関連する地金の貸記が完了するその後の日となります。

貴金属上場投資信託の発行条件に従い償還が貴金属売却により実施される場合に関して、受託者は、以下の事項を行うものとします。

- (a) 貴金属売却カウンターパーティー契約に従い、強制貴金属売却日又は強制償還通知日に、貴金属売却カウンターパーティーに対し、強制決済日における決済に係る償還される貴金属上場投資信託の総貴金属エンタイトルメント（強制決済日時時点で、0.001トロイ・オンス未満、又は金の場合にあってはファイン・トロイ・オンス未満の端数を切り下げて計算されます。）に等しい価額の、当該貴金属上場投資信託に関する担保設定資産に帰する又はその一部を構成する

地金を売却する旨を、貴金属売却カウンターパーティー契約に基づき（発行体のために）通知します。

- (b)（発行体のために）カストディアンに対し、地金の売却により実現された売却代金を受託者指定の口座に支払う代わりに、かかる地金を強制決済日に担保設定貴金属口座から貴金属売却カウンターパーティー口座にデリバリーするよう指示します。
- (c) 米ドル建てのかかる代金に従い受託者が発行体指定の発行体の口座に支払う償還手数料、並びにかかる売却に関連して発生した受託者の手数料及び費用（もしあれば）が控除されます。）を、関連する上場投資信託保有者に対し、また、信託約款に基づく償還の場合は、償還される貴金属上場投資信託を（発行体の指示に従い）発行体若しくは登録機関の名義の適切なクレストの口座に預託するとともにクレストにおける申請の手数料不要の発送指図を発出するか、当該貴金属上場投資信託に関する証書を登録機関に送付することにより当該貴金属上場投資信託を発行体にデリバリーした（若しくはその他発行体との合意により当該貴金属上場投資信託を発行体にデリバリーした）上場投資信託保有者に対し、クレストを通じて、又は証書形態による貴金属上場投資信託の場合は、当該上場投資信託保有者を受取人とし、当該上場投資信託保有者の危険負担で郵送される小切手若しくは金銭支払証券により、送金します。当該上場投資信託保有者が、当該貴金属上場投資信託を適切なクレストの口座に預託するとともにクレストにおける申請の手数料不要の発送指図を発出しなかったか、その他上記のとおり当該貴金属上場投資信託を発行体にデリバリーしなかった場合、発行体は、本来支払われるべき当該代金を、当該上場投資信託保有者が上記のとおり当該貴金属上場投資信託を預託又はデリバリーするまで留保し、その後、本条に従い、かかる代金（利息は付さないものとし、発生した利息は発行体の勘定に留保するものとします。）を当該上場投資信託保有者に送金することができません。

第3【管理及び運営】

1【資産管理等の概要】

（1）【資産の評価】

前記「2 投資方針、(1) 投資方針、プログラム」をご参照ください。

（2）【保管】

貴金属上場投資信託は、登録債、又は、非登録債として、クレスト（CREST）において発行されます。クレストは、券面によらず、複数通貨によって、電子決済を行う手続であって、（債券を含めた）証券にかかる書面によらない証明の提供、及び効率的なデリバリー・バーサス・ペイメントによる移転を可能にしています。発行体は、クレストの参加発行体であり、また、貴金属上場投資信託は、クレストの参加証券です。従って、貴金属上場投資信託が非登録債として発行される限り、貴金属上場投資信託の決済は、クレストの中において生じます。

貴金属上場投資信託は、規制に従って、クレストを通じて、非登録債として、所有され、また、移転されます。上場投資信託保有者は、その貴金属上場投資信託を登録債とするよう要請することができます。その際には、当該貴金属上場投資信託はクレストから除外されます。

貴金属上場投資信託は、日本においては、株式会社証券保管振替機構が、社債、株式等の振替に関する法律に規定する兼業業務として行っている外国株券等の保管及び振替決済に係る業務において、決済されることとなり、同社は、貴金属上場投資信託を、同社の現地保管機関において、当該現地保管機関のノミニー名義で保管します。

（3）【存続期間】

発行体には、存続期間の定めはありません。

（4）【計算期間】

計算期間は、毎年1月1日から開始し、12月31日に終了します。

（５）【その他】

A. 増減資にかかる制限、解散又は償還条件

発行体は、特別決議をもって付属定款の規定を変更することにより、1991年ジャージー会社法に基づいて、その出資総額を変更することができるものとされています。

外国投資法人債券の発行により増額された出資総額は、当該外国投資法人債券の発行の際の条件に別途定めがない限り、出資元本の一部とみなされ、かかる外国投資法人債券は払込請求、外国投資法人債券の譲渡、担保等の発行体の発行済外国投資法人債券に関する定款の定めに従います。

1991年ジャージー会社法に従い、発行体は、特別決議により、その出資総額を減額することができます。

発行体の清算の際には、定款又は出資証券の発行の際に明示されているところにより出資証券に付されている特別の権利又は制限に従って、投資主に分配することが可能な資産は、第一に、投資主に、それぞれのその出資証券にかかる払込み額の返済に充当されるものとし、かかる資産が、投資主にその出資証券にかかる払込み額全額を返済するに足りる以上である場合にあっては、残額は、清算の開始時におけるその出資証券について実際に払い込まれた額のそれぞれに比例して投資主に配分されるものとされています。

また、発行体の清算の場合には、発行体は、特別決議による承認により、また、1991年ジャージー会社法によって求められるその他の全ての承認により、発行体の資産の全部又は一部を現物により分割できるものとされています。清算人、又は、清算人が存在しない場合には、取締役は、そのために、資産を評価し、また、分割が投資主間で、又は、異なる種類の投資主間でどのように行われるべきかを決定するものとし、また、同様の承認により、資産の全部又は一部を受託者の下に、同様の承認によって、その決定するところに従って、投資主のための信託に付することができるものとされていますが、しかし、いかなる投資主も債務を有する資産を受け取るよう強制されることはないものとされています。

B. 規約の変更、関係法人の契約更改等に関する手続、変更した場合の開示方法

1991年ジャージー会社法に基づき、発行体は、特別決議を可決することにより（特別決議を提案する意図が明記された14日前までの通知により招集される投資主総会で少なくとも3分の2の過半数により可決されなければなりません。）、基本定款及び付属定款を変更することができます。

特別決議の写しは、可決後21日以内にジャージー会社登記所に提出されなければなりません。

2【利害関係人との取引制限】

A. 取締役との取引制限

取締役と発行体との取引に関しては、定款において、以下のように定められています。

- a. 取締役は、代理取締役を含め、その取締役としての役職に関連して、発行体内における他の役職又は地位に就くことができ（監査人としての役職を除く。）、また、専門的職能により発行体に対して、取締役会の決定する在職期間、報酬その他の条件に従って行動することができるものとします。
- b. 1991年ジャージー会社法に従い、また、取締役が、取締役会に対して、発行体の利益と大きく相反する、又は、相反する可能性のある、当該取締役の利益の性質及び程度を、取引が検討される最初の取締役会において、若しくは、当該取締役会後、出来る限り速やかに秘書役に対して文書により開示したことを条件として、又は、以前に、特定との者との取引に対するに利益を有しているものとみなされることを開示していることを条件として、取締役は、その職務にもかかわらず、
 - a.) 発行体との、又は、発行体が利益を有している取引又は取決めの相手方、又は、利害関係者となることができるものとします。
 - b.) 発行体により発起された、又は、発行体が利益を有する法人の取締役若しくは社員となり、若しくは、当該法人に雇用され、又は、当該法人との間で取引若しくは取決めの相手方となる、若しくは、利害関係を持つことができるものとします。

- c.)その職務上の理由から、当該法人における当該役職、雇用、取引若しくは取決め、又は、利害関係より、取締役が受領する利益について、発行体に対して、責任があることはないものとし、かかる利害関係又は利益を根拠として、かかる取引又は取決めを忌避する責務はないものとします。

B. 利益相反

ジーンバ氏は発行体に対する業務提供を行う管理事務代行会社の取締役であり、またベル氏、ロス氏、フォールズ氏及びジーンバ氏は発行体の唯一の株主である投資口保有会社の取締役でもあります。ロス氏は、発行体の会社管理者であるアール・アンド・エイチ・ファンド・サービスズ（ジャージ）リミテッドの取締役であり、発行体及び投資口保有会社の秘書役の取締役でもあります。ロス氏は、アール・アンド・エイチ・ファンド・サービスズ（ジャージ）リミテッドの全株式を保有するジャージの組合であるローリンソン・アンド・ハンターのパートナーでもあります。これらの役職により利益相反の可能性が生じますが、取締役は、取締役及び／又は発行体の運営・管理・監督機関が発行体に対して負う職務と私的な利益及び／又は職務との間で現実の又は潜在的な利益相反はないと考えています。

発行体の取締役は、投資口保有会社によって保有される他の取引所上場商品を発行する発行会社その他のウィズダムツリーのグループ会社（ブースト・マネジメント・リミテッド（上場商品を発行するブースト・イシューアーplcにサービスを提供する会社）と、ウィズダムツリー・イシューアーplc（資産負債につき分別管理されたサブファンドを介した上場ファンドの発行会社）を含みます。）の取締役を兼任しています。

3【投資主・外国投資法人債権者の権利等】

貴金属上場投資信託は、期限の定めのない、遡求権の限定されている発行体の債務で、金利を支払いません。

（１）【投資主・外国投資法人債権者の権利】

貴金属上場投資信託保有者が保有する主な権利は以下に記載されるとおりです。

A. 貴金属上場投資信託保有者の権利とその行使手続

貴金属上場投資信託は、特定の満期を有しない債券であって、金利を支払いません。

B. 上場投資信託保有者集会にかかる権利

発行体及び受託者は、それぞれ、上場投資信託保有者集会を招集することができます。但し、受託者は、当該時点における発行済貴金属上場投資信託の元本金額の総額の10分の1以上の登録保有者の書面による請求があった場合で、当該集会の招集及び開催に係る費用につき受託者が必要とする補償を受けたときは、上場投資信託保有者集会を招集しなければなりません。かかる集会はいずれも、受託者が決定又は承認するジャージ内の場所及び日時において開催されるものとします。

全ての集会については、上場投資信託保有者に対し、14日以上前の通知、又は当該集会が特別決議を可決する目的で招集される場合は21日以上前の通知（いずれの通知の場合も、当該通知が送達された又は送達されたとみなされる日及び当該通知が行われた日は通知期間から除きます。）が行われるものとします。かかる通知には、当該集会の開催場所及び日時並びに当該集会で審議される議題の要領を記載するものとしますが、特別決議の場合を除き、提案される決議事項を当該通知に記載することを要しないものとします。かかる通知の写しは、受託者（当該集会が受託者により招集される場合を除きます。）及び発行体（当該集会が発行体により招集される場合を除きます。）に対し郵送されるものとします。偶発的な事由によりいずれかの上場投資信託保有者に対する通知の送付漏れが生じた場合、又はいずれかの上場投資信託保有者が通知を受領しなかった場合でも、集会の議事が無効となるものではありません。

いずれの集会においても、決議の定足数は、特別決議を可決する目的による場合を除き、本人若しくは代理人又は（上場投資信託保有者が法人の場合は）その適法に授權された代表者により出席し、かつ、（合計で）当該時点における発行済貴金属上場投資信託の元本金額の総額の3分の1を保有又は代表する上場投資信託保有者である一又は複数の者としてします。特別決議の可決に必要な定足数は、本人若しくは代理人又は（上場投資信託保有者が法人の場合は）その適法に授權された代表者により出

席し、かつ、（合計で）当該時点における発行済貴金属上場投資信託の元本金額の総額の4分の3を保有又は代表する上場投資信託保有者である一又は複数の者とします。集会においては、議事の開始時において必要な定足数が出席していない限り、いかなる議事（議長の選出を除きます。）も審議してはならないものとします。

受託者により書面で指名された者は、全ての集会において議長を務めるものとします。但し、かかる者が指名されていない場合、又はある集会において、指名された者が当該集会の開催指定時刻後5分以内に出席しない場合には、出席している上場投資信託保有者は、その中から議長1名を選出するものとします。延会の議長は、延会が生じた集会の議長であった者と同一人物であることを要しないものとします。受託者、受託者の法律顧問及び財務顧問、これらの者の被信託人である法人の取締役、役員又は従業員、発行体の取締役、秘書役、法律顧問及び財務顧問、並びにかかる目的で受託者により授權されたその他の者が、集会に出席し、かつ、発言することができます。

集会において、集会の議決に付される決議は、挙手で採決するものとします。但し、（挙手表決の結果の宣言前又は宣言時に、）議長により、又は本人、代理人若しくは（上場投資信託保有者が法人の場合は）その適法に授權された代表者により出席し、かつ、当該時点における発行済貴金属上場投資信託の元本金額の総額の20分の1以上を保有若しくは代表する一名若しくは複数名の上場投資信託保有者により投票が要求された場合はこの限りではありません。かかるとおり投票が要求されない限り、決議が全員一致若しくは特別過半数により可決され、特別過半数により可決されず、又は否決された旨の議長による宣言がなされた場合は、当該決議に対する賛成又は反対として記録された議決権の数又は割合の証明を必要としない、当該事実の確定的証拠となるものとします。

挙手表決において、本人若しくは代理人又は（上場投資信託保有者が法人の場合は）その適法に授權された代表者により出席する各上場投資信託保有者は、1議決権を有するものとします。投票においては、かかるとおり出席する各上場投資信託保有者は、保有者又は代理人若しくは適法に授權された代表者として保有している上場投資信託に帰する元本金額1.00米ドルにつき1議決権を有するものとします。

投票において、議決権は、本人若しくは代理人又は（上場投資信託保有者が法人の場合は）その適法に授權された代表者により行使することができ、2個以上の議決権を有する上場投資信託保有者は、（議決権を行使する場合、）自己の議決権全部を行使すること及び自己の議決権全部を同一の方法で行使することを要しないものとします。

日本においては、上場投資信託保有者の集会に関する通知及び議決権行使に関する業務は、株式会社証券保管振替機構が取扱い信託銀行に委託して行います。

(2) 【為替管理上の取扱い】

ジャージーにおけるマネー・ロンダリング防止法令、及び／又は、その後の同等の法律による、身元証明にかかる証拠提出は、貴金属上場投資信託の発行にかかるプログラムにも適用され、貴金属上場投資信託の認定参加者についての身元証明が必要となる可能性があります。その他の地域のマネー・ロンダリング防止法及び規制が、貴金属上場投資信託の発行にかかるプログラムにも適用され、貴金属上場投資信託の認定参加者は、身元証明が必要となる可能性があります。

(3) 【本邦における代理人】

東京都港区六本木六丁目10番1号 六本木ヒルズ森タワー

TMI総合法律事務所

上記法律事務所は、発行体から日本国内において、発行体に対する法律上の問題について一切の通信、請求、訴状、その他訴訟関係書類を受領するための、日本における真実かつ適法な発行体の代理人です。

関東財務局長に対する届出及び金融庁長官に対する届出等の代理人は、以下の通りです。

弁護士 中川 秀宣

東京都港区六本木六丁目10番1号 六本木ヒルズ森タワー

TMI総合法律事務所

(4) 【裁判管轄等】

発行条件、貴金属上場投資信託、及び信託約款は、ジャージー法に準拠しています。担保証書は、イングランド法に準拠しています。担保証書には、発行体による英国裁判所への管轄権の受諾が含まれていますが、受託者がそれ以外の正当な権限のある管轄地において手続を開始することについて障害となることはありません。

(注) 上場投資信託保有者は、信託約款及び信託約款に基づき設定された条件に従って、正当な権限のある管轄地(日本を含みます。)において訴訟手続を開始することができます。

第4【関係法人の状況】**1【資産運用会社の概況】****(1) 【名称、資本金の額及び事業の内容】****a. 名称**

ウィズダムツリー・マネジメント・ジャージー・リミテッド

(WisdomTree Management Jersey Limited)

b. 資本金の額

2020年12月31日現在2,250,000ポンド(343,071,000円)

c. 事業の内容

管理事務代行会社の業務は、発行体、及びウィズダムツリー・フォーリン・エクスチェンジ・リミテッド(WisdomTree Foreign Exchange Limited)、ウィズダムツリー・コモディティ・セキュリティーズ・リミテッド(WisdomTree Commodity Securities Limited)、ゴールド・ブリオン・セキュリティーズ・リミテッド(Gold Bullion Securities Limited)、ウィズダムツリー・ヘッジド・コモディティ・セキュリティーズ・リミテッド(WisdomTree Hedged Commodity Securities Limited)及びウィズダムツリー・イシュー・エクス・リミテッド(WisdomTree Issuer X Limited)等のその他のウィズダムツリー・グループに属する上場投資信託の発行体に対して、管理業務及びその他のサービスを提供することです。

(2) 【運用体制】**A. 統治に関する事項**

(A)株主総会

a. 株主総会

株主総会は、暦年に1回開催されます。但し、管理事務代行会社が設立後18ヶ月以内に最初の株主総会を開催する場合には、設立した年又はその翌年に株主総会を開催する必要はありません。その他の全ての株主総会は、臨時株主総会と呼ばれます。総会の日時及び場所（ジャージーの内外を問いません。）は、取締役会によって決定されます。取締役会は、適切と考える時、及び、1991年ジャージー会社法に基づき株主からの書面による請求があった時には、臨時株主総会の招集を決定します。

請求により招集される臨時株主総会においては、招集通知において記載される議事以外は、上程されません。

年次株主総会及び特別決議事項を議決するための株主総会の招集は、24日以前までに通知されなければなりません。その他の株主総会については、14日以前までに招集の通知がなされなければなりません。

b. 株主総会の権能及び議事

年次株主総会において、決算、取締役会及び監査人の報告書の受領、検討、取締役の選任（必要であれば）、監査人の選任、及び監査人報酬の決定（適当であると判断される場合）配当の承認、並びに、招集通知に記載されたその他の全ての議事を処理することとされています。

株主総会においては、議事進行時に定足数が満たされていない場合には、集会の延期を除き、いかなる議事も集会において取り扱われないものとします。

1991年ジャージー会社法又は定款に別の定めがある場合を除き、全ての決議は、投じられた投票の過半数によって採択されるものとします。

取締役及び監査人は、管理事務代行会社の全ての株主総会について、招集通知を受領し、出席し、かつ発言する権利を有するものとします。

株式に付されている特別議決権又は制限に従って、その発行条件又は定款において明記されているところにより、投票に際しては、自ら出席している各株主は、その保有する各株式につき一議決権を有するものとします。

B. 会社の運用体制**(A) 取締役****a. 取締役**

管理事務代行会社は、普通決議によって、取締役の定員の上限と下限を決定します。管理事務代行会社は、1991年ジャージー会社法の求める方法により、取締役の登録簿を事務所に備える、又は、備えさせるものとします。

取締役は、株主である必要はありませんが、しかし、管理事務代行会社のいかなる総会、又は、別個のいかなる株主集会であっても、その通知を受け取り、出席し、また、発言する権利を有します。

取締役は、取締役会、若しくは、株主集会に出席し、又は、管理事務代行会社のその他の業務のために、その適正かつ必要に応じて支出した、旅費及びその他の費用について、管理事務代行会社の資金から、償還を受けるものとします。取締役は、その取締役としての業務の対価として、管理事務代行会社の決議によって定められる報酬の支払いを受けるものとします。その金額は、取締役の間で合意があればそれに従い、合意がなければ、平等に分配されるものとします。

b. 取締役の権能

管理事務代行会社の業務は、取締役により運営されます。取締役は、法律又は定款により管理事務代行会社により行使されることが要求されていない管理事務代行会社のあらゆる権限を行使することができるものとされており、不動産及び動産に関する取引、並びに、全てのその他の法的及び裁判上の取引、行為及び事柄において、また、全ての裁判所において、管理事務代行会社を代表する権能及び権限は、取締役に授權されています。

c. 取締役会の議事

取締役会は、業務の遂行及び取締役会が適切と考える事項について開催されます。疑問が呈される場合には、多数決により決定されます。

取締役及び取締役の要求を受けた秘書役は、各取締役及び代理取締役に24時間前までに招集通知を送付することによりいつでも取締役会を招集することができます。但し、いかなる取締役会であっても、各取締役又は代理取締役が同意する場合、より短い時間の通知により、同意された方法により招集することができ、更に、取締役会で異なる決議が行われない限り、招集は書面で行う必要はありません。

定足数に達している取締役会は、取締役会の全ての権能及び判断を行うことができます。

d. 業務執行取締役

取締役会は、随時、一名以上の取締役を、その定める条件及び期間に基づく業務執行者に任命することができます。

取締役は、業務執行取締役に対して、取締役によって執行される全ての権限を、適当と判断する条件により、及び、制限を付して、その権限に付随して、又は、その権限を除外して、委託又は授權することができます。また、取締役は、随時に、かかる権能の全部又は一部を破棄、撤回、修正、又は変更することができるものとされています。

(3) 【大株主の状況】

(2020年12月31日現在)

氏名又は名称	住所	所有株式数	発行済み株式数に対する所有株式数の比率
エレクトラ・ターゲット・ホールドコ・リミテッド	英国領チャンネル諸島、ジャージー JE4 8PW、セント・ハリアー、ピア・ロード 31	300,000株	100%

(4) 【役員の状況】

（本書提出日現在）

スチュアート・ベル（Stuart Bell） 社外取締役

本書「第二部 外国投資法人の詳細情報 第1 外国投資法人の追加情報 2 役員の状況」をご参照下さい。

ピーター・ジーンバ（Peter Jiembra） 社外取締役

本書「第二部 外国投資法人の詳細情報 第1 外国投資法人の追加情報 2 役員の状況」をご参照下さい。

スティーブン・ロス（Steven Ross） 社外取締役

本書「第二部 外国投資法人の詳細情報 第1 外国投資法人の追加情報 2 役員の状況」をご参照下さい。

ヒラリー・ジョーンズ（Hilary Jones） 社外取締役

ジョーンズ氏は、1993年にジャージーへ移住するまでの15年間、故国北アイルランドに所在するノーザン・バンク（Northern Bank）に勤めていました。同氏は、2009年から2019年までアール・アンド・エイチ・ファンド・サービズ（ジャージー）リミテッド（R&H Fund Servies（Jersey）Limited）のディレクターを務め、その後はジェイティーシー・ファンド・ソリューションズ（ジャージー）リミテッド（JTC Fund Solutions（Jersey）Limited）に勤務しています。ジョーンズ氏は、1993年から1999年まで、ロイズ・プライベート・バンク・アンド・トラスト・カンパニー（Lloyds Private Bank and Trust Company）の証券部門及びバークレイズ・プライベート・バンク・アンド・トラスト・カンパニー（Barclays Private Bank and Trust Company）において、リレーションシップ・マネージャー（relationship manager）として勤務していました。ジョーンズ氏は英国勅許公認会計士会のフェローメンバーであり、金融業界において40年以上の経験を有しており、法人顧客向けの不動産、プライベートエクイティ、特別目的事業体に関する業務について豊富な経験を有しており、同氏は、プライベートエクイティ及び不動産に特化した数多くの企業の取締役を務めております。ジョーンズ氏はまたジャージーファンド協会のリーガル・アンド・テクニカルサブコミッティに所属しております。同氏は、2020年4月まで、発行体の取締役を務めていました。

（５）【事業の内容及び営業の概況】

管理事務代行会社が資産の運用を行っている外国投資法人は以下の通りです。

（2021年3月31日現在）

	名称	基本的性格	設立年月日	総資産額 （米ドル）
1	ウィズダムツリー・コモディティ・セキュリティーズ・リミテッド	WisdomTree商品上場投資信託の上場及び発行です。	2005年8月16日	4,466,620 （493.539百万円）
2	ウィズダムツリー・フォーリン・エクスチェンジ・リミテッド	保証付外国為替上場投資信託の上場及び発行です。	2009年7月1日	402,973,143 （44,527百万円）
3	ウィズダムツリー・ヘッジド・コモディティ・セキュリティーズ・リミテッド	通貨ヘッジされた商品上場投資信託の上場及び発行です。	2011年11月11日	401,045,473 （44,314百万円）

4	ウィズダムツリー・ヘッジド・メタル・セキュリティーズ・リミテッド	通貨ヘッジ貴金属上場投資信託の上場及び発行です。	2011年6月6日	1,761,559,945 (194,644百万円)
5	ウィズダムツリー・メタル・セキュリティーズ・リミテッド	本書第一部ファンド情報 第1ファンドの状況 1外国投資法人の概況 (2) 外国投資法人の目的及び基本的性格を参照ください。	2007年2月22日	12,973,678,284 (1,433,527百万円)
6	ゴールド・ブリオン・セキュリティーズ・リミテッド	ゴールド・ブリオン上場投資信託の上場及び発行です。	2004年3月17日	3,562,866,787 (393,679百万円)
7	ウィズダムツリー・イシュアー・エックス・リミテッド	Bitcoin証券の上場及び発行です。	2019年9月17日	376,678,034 (41,621百万円)

(注1) 2021年3月31日現在で記載しています。全ての外国投資法人が、外国投資法人債券を発行し、上場させているため、外国投資法人の負債となる当該債券に一致する資産を保有しています。従って、純資産額ではなく、総資産額を記載しています。また、各投資法人とも多数の外国投資法人債券を発行しているため、その一口当たりの資産額にかかる記載は省略しています。

2【その他の関係法人の概況】

(1)【名称、資本金の額及び事業の内容】

- a. ザ・ロー・ディベンチャー・トラスト・コーポレーション・ピーエルシー (The Law Debenture Trust Corporation p.l.c)

・資本金

発行・払込み済資本は、5,000,000ポンド(762,380,000円)です(2020年12月31日現在)。

・事業の概要

ザ・ロー・ディベンチャー・トラスト・コーポレーション・ピーエルシーは、100年以上前に設立されており、現在は、法人及び年金信託、手続サービス代理人、財務管理、並びに、特定目的事業体、ストラクチャード・ファイナンス管理、及び、公益通報等の企業サービスを含めた、以前よりも幅広いサービス業務を提供しています。

- b. アール・アンド・エイチ・ファンド・サービシーズ(ジャージー)リミテッド(R&H Fund Services (Jersey) Limited)

・資本金

発行・払込み済資本は、125,000ポンド(19,059,500円)です(2020年12月31日現在)。

・事業の概要

アール・アンド・エイチ・ファンド・サービシーズ(ジャージー)リミテッドは、1998年11月29日にジャージーにおいて設立された有限責任会社です。同社は、集団投資スキームの管理者及び運営者としての業務以外は行っており、ジャージーに所在するローリソン・アンド・ハンター公認会計士事務所の完全子会社です。

- c. エイチエスピーシー銀行・ピーエルシー(HSBC Bank p.l.c)

・資本金

発行・払込み済資本は、10,347,000,000ポンド(1,143,291,765,000円)です(2020年12月31日現在)。

・事業の概要

エイチエスピーシー銀行・ピーエルシーは、HSBCホールディングス・ピーエルシーの完全子会社であって、E14 5HQ英国ロンドン市キャナディアン・スクエア8に登記上の事務所を有しており、発行体に対して、2014年8月13日付変更契約に従い変更されたカストディアン契約に基づき、カストディー及び移転業務を提供します。

エイチエスピーシー銀行・ピーエルシーは、健全性規制機構により認定され、かつ、健全性規制機構及び英国金融行為監督機構によって規制されており、また、HSBCホールディングス・ピーエルシーは2019年12月31日現在で2兆7,150億ドルの資産を保有しています。

- d. コンピューターシェア・インベスター・サービシーズ(ジャージー)リミテッド(Computershare Investor Services (Jersey) Limited)

・資本金

25,000ポンド(3,811,900円)です(2020年12月31日現在)。

・事業の概要

コンピューターシェア・インベスター・サービシーズ(ジャージー)リミテッドは、ジャージー、JE1 1ES、セント・ハリアー、ヒルグローブ通り、クィーンズウェイ・ハウスに登記上の事務所を有します。同社はジャージー金融サービス委員会により規制されています。

同社は世界規模で登録業務や複数の管轄地域にわたる取引業務を提供し、同社グループ内の様々な公開市場へのアクセス、グローバルなマネジャー及び登録をカバーする総括報告書を提供します。さらに、同社は、ジャージーにおいて設立・秘書業務も提供します。

(2)【関係業務の概要】

- a. ザ・ロー・ディベンチャー・トラスト・コーポレーション・ピーエルシー(The Law Debenture Trust Corporation p.l.c)

貴金属上場投資信託は、受託者及び各種類の上場投資信託保有者の受託者としてのザ・ロー・ディベンチャー・トラスト・コーポレーション・ピーエルシーとの間で締結された信託約款に基づいて設定されています。受託者は、上場投資信託保有者のために信託により、信託約款に基づく全ての権利及びエンタイトルメントを保持しています。

更に、発行体と受託者は、各々の合同管理資金(プール)に関して、個別の担保証書を締結しています。担保証書に基づき、受託者によって保持されている権利及びエンタイトルメントは、当該特定の種類の貴金属上場投資信託の上場投資信託保有者のための信託に基づき受託者により保持されます。

- b. アール・アンド・エイチ・ファンド・サービシーズ(ジャージー)リミテッド(R&H Fund Services (Jersey) Limited)

発行体は、アール・アンド・エイチ・ファンド・サービシーズ(ジャージー)リミテッドとの間で、会社管理契約を締結しており、その下で、アール・アンド・エイチ・ファンド・サービシーズ(ジャージー)リミテッドは、発行体のために一定の管理業務を遂行する秘書役としての業務(受領代理人として行動することを含みます。)を行います。

- c. エイチエスピーシー銀行・ピーエルシー(HSBC Bank p.l.c)

当初カストディアンは、担保設定金属口座及び申込非特定口座に保管される地金の保護預かりにつき責任を有します。発行体に対するその職務としての当初カストディアンの主要な業務活動は、地金のカストディアンとしてのものです。当初カストディアンは、その管理する資産を、帳簿振替方式又は非特定方式、及び特定方式の双方により保持します。

エイチエスピーシー銀行・ピーエルシーは、健全性規制機構により認定され、かつ、健全性規制機構及び英国金融行為監督機構によって規制されています。

d. コンピューターシェア・インベスター・サービスズ(ジャージー)リミテッド(Computershare Investor Services (Jersey) Limited)

2012年12月31日付の名義書換事務代行契約に基づき、コンピューターシェア・インベスター・サービスズ(ジャージー)リミテッドは、当該契約に記載されたとおり、発行体に対し、登録名義書換事務代行の営業所の供給を含む登録名義書換事務代行業務の提供及び調達につき責任を負い、当該契約に基づき発行体はコンピューターシェア・インベスター・サービスズ(ジャージー)リミテッドに報酬を支払います。コンピューターシェア・インベスター・サービスズ(ジャージー)リミテッドは、名義書換事務代行契約に基づいてその任務又は機能の一部を外部委託することができます。

(3) 【資本関係】

上記に掲げる会社は、いずれも発行体との間には、資本関係はありません。

第5【外国投資法人の経理状況】

1【財務書類】

- a. ウィズダムツリー・メタル・セキュリティーズ・リミテッドの財務書類（2019年及び2020年の各12月31日現在の財政状態計算書、2019年及び2020年の各12月31日に終了した2事業年度の包括利益計算書、キャッシュ・フロー計算書、持分変動計算書及び財務書類に対する注記 - 以下「財務書類」といいます。）は、ジャージーにおける法令及びジャージーの法令に基づき使用されている国際会計基準に準拠して作成された原文（英文）の財務書類の翻訳文（日本語）です（但し、円換算部分を除きます。）。これは「特定有価証券の内容等に関する内閣府令」に基づき、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」第131条第5項但書の規定を適用して作成されています。
- b. 本書に記載されている財務書類は、外国監査法人等（公認会計士法（昭和23年法律第103号）第1条の3第7項に規定する外国監査法人等をいいます。）であるデロイト・エルエルピーの監査証明に相当すると認められている証明を受けており、当該監査証明に相当すると認められる証明に係る監査報告書に相当するもの（訳文を含みます。）が当該財務書類に添付されています。
- c. 原文の財務書類は、米ドルで表示されています。翻訳文の財務書類における日本円による金額は、ブルームバーグにおいてロンドン外国為替市場のクロージング時（令和3年4月1日午前0時（ロンドン時間2021年3月31日午後4時）現在のものとしてブルームバーグによって表示される為替レート（スポット・レート）（1米ドル＝110.495000 円、1ポンド＝152.476000円）で換算しています。なお、千円未満の金額は、四捨五入されています。

(1) 【貸借対照表】

ウィズダムツリー・メタル・セキュリティーズ・リミテッド
財政状態計算書

12月31日現在					
		2020年		2019年	
	注記	米ドル	千円	米ドル	千円
資産					
貴金属地金	7	14,476,114,674	1,599,538,291	11,955,880,980	1,321,065,069
借入貴金属地金	9	502,637	55,539	-	-
未決済の資産に係る未収金額	7	13,743,626	1,518,602	17,613,679	1,946,223
報酬として保有する貴金属地金	5	4,334,123	478,899	3,697,597	408,566
売掛金及びその他の債権	6	40,062	4,427	22,305	2,465
資産合計		14,494,735,122	1,601,595,757	11,977,214,561	1,323,422,323
負債					
貴金属証券	8	14,496,623,028	1,601,804,361	11,951,720,353	1,320,605,340
当座借越	9	502,637	55,539	-	-
未決済の証券に係る未払金額	8	13,743,626	1,518,602	17,613,679	1,946,223
買掛金及びその他の債務	10	4,374,182	483,325	3,719,899	411,030
負債合計		14,515,243,473	1,603,861,828	11,973,053,931	1,322,962,594
資本					
資本金	11	4	0	4	0
再評価剰余金		(20,508,355)	(2,266,071)	4,160,626	459,728
資本合計		(20,508,351)	(2,266,070)	4,160,630	459,729
資本及び負債合計		14,494,735,122	1,601,595,757	11,977,214,561	1,323,422,323

上記の財政状態計算書における資産及び負債は、流動性の最も高いものから低い順に表示しています。

16ページから36ページ（訳者注：原文のページ）の当財務諸表は、2021年4月30日に取締役会による承認を受けて公表が承認されたため、取締役会を代表して署名されました。

スティーブン・ロス
取締役

20ページから36ページ（訳者注：原文のページ）の注記は、当財務諸表の一部を構成します。

（２）【損益計算書】

ウィズダムツリー・メタル・セキュリティーズ・リミテッド
純損益及びその他の包括利益計算書

		12月31日終了年度			
		2020年		2019年	
	注記	米ドル	千円	米ドル	千円
収益	3	49,427,146	5,461,452	39,240,687	4,335,900
費用	3	(49,427,146)	(5,461,452)	(39,240,687)	(4,335,900)
公正価値変動考慮前純損益	3	-	-	-	-
貴金属地金の公正価値の変動	7	3,204,182,859	354,046,185	1,850,582,053	204,480,064
貴金属証券の公正価値の変動	8	(3,228,851,840)	(356,771,984)	(1,836,571,323)	(202,931,948)
当期純(損失)/利益 ^{1,2}		(24,668,981)	(2,725,799)	14,010,730	1,548,116

取締役は、当社の事業は継続するものと考えています。

¹ 貴金属地金の価値と貴金属証券の価格との差額の変動について調整を行った任意かつ非GAAPの純損益及びその他の包括利益計算書は、注記16に記載しています。

² その他の包括利益の項目はないため、当期純(損失)/利益は当期包括利益合計額でもあります。

20ページから36ページ（訳者注：原文のページ）の注記は、当財務諸表の一部を構成します。

（３）【金銭の分配に係る計算書】

ウィズダムツリー・メタル・セキュリティーズ・リミテッド
資本変動計算書

	注記	資本金		利益剰余金		再評価剰余金		資本合計	
		米ドル	千円	米ドル	千円	米ドル	千円	米ドル	千円
2019年1月1日現在期首残高		4	0	-	-	(9,850,104)	(1,088,387)	(9,850,100)	(1,088,387)
当期純損益及び包括損失合計		-	-	14,010,730	1,548,116	-	-	14,010,730	1,548,116
再評価剰余金への振替	16	-	-	(14,010,730)	(1,548,116)	14,010,730	1,548,116	-	-
2019年12月31日現在残高 ³		4	0	-	-	4,160,626	459,728	4,160,630	459,729
2020年1月1日現在期首残高		4	0	-	-	4,160,626	459,728	4,160,630	459,729
当期純損益及び包括利益合計		-	-	(24,668,981)	(2,725,799)	-	-	(24,668,981)	(2,725,799)
再評価剰余金への振替	16	-	-	24,668,981	2,725,799	(24,668,981)	(2,725,799)	-	-
2020年12月31日現在残高 ²		4	0	-	-	(20,508,355)	(2,266,071)	(20,508,351)	(2,266,070)

³ 貴金属地金の価値と貴金属証券の価格との差額について調整を行った任意かつ非GAAPの資本変動計算書は、注記16に記載しています。

20ページから36ページ（訳者注：原文のページ）の注記は、当財務諸表の一部を構成します。

（４）【キャッシュ・フロー計算書】

ウィズダムツリー・メタル・セキュリティーズ・リミテッド
キャッシュ・フロー計算書

	12月31日終了年度			
	2020年		2019年	
	米ドル	千円	米ドル	千円
当期純(損失)/利益	(24,668,981)	(2,725,799)	14,010,730	1,548,116
非資金調整項目：				
貴金属地金の公正価値の変動	(3,204,182,859)	(354,046,185)	(1,850,582,053)	(204,480,064)
貴金属証券の公正価値の変動	3,228,851,840	356,771,984	1,836,571,323	202,931,948
	-	-	-	-
営業活動によるキャッシュ収入	-	-	-	-
現金及び現金同等物の純増加額	-	-	-	-
現金及び現金同等物期首残高	-	-	-	-
現金及び現金同等物の純増加額	-	-	-	-
現金及び現金同等物期末残高	-	-	-	-

貴金属証券の発行は、貴金属地金を指定参加者がカストディアンに直接引き渡すことにより、または貴金属証券の償還は、貴金属地金をカストディアンが指定参加者に直接引き渡すことにより行われます。また、借入貴金属地金及び当座借越に関する取引は、カストディアンとのこの直接の引渡しの過程に含まれています。このため、当社は資金取引の当事者ではありません。貴金属証券の設定及び償還並びに貴金属地金の追加及び処分は、当社にとって非資金取引であり、注記7及び8の貴金属証券及び貴金属地金の期首残高から期末残高への調整表にそれぞれ開示しています。

当社は、ウィズダムツリー・マネジメント・ジャージー・リミテッド（以下「ManJer」または「管理事務代行会社」といいます。）との間にサービス契約を締結しています。この契約により、ManJerは、当社が必要とする全ての運用・管理サービス（マーケティングを含みます。）の提供または斡旋と、金属証券の上場及び発行に関連する費用の支払に対する義務を負うこととなります。これらのサービスと引き換えに、当社は、稼得した管理・運用報酬並びに設定及び償還手数料の総額に等しい額の報酬（以下「ManJerへの報酬」といいます。）をManJerに支払う義務を負います。この管理・運用報酬相当の貴金属地金を、受託者が当社のカストディアン口座からManJerのカストディアン口座に振り替えます。さらに、設定及び償還手数料に係る金額も指定参加者からManJerに直接送金されるため、当社を経由するキャッシュ・フローはありません。

20ページから36ページ（訳者注：原文のページ）の注記は、当財務諸表の一部を構成します。

ウィズダムツリー・メタル・セキュリティーズ・リミテッド 財務諸表に対する注記

1. 一般情報

ウィズダムツリー・メタル・セキュリティーズ・リミテッド（以下「当社」といいます。）はジャージーで設立し、同地を本拠地とする会社です。登記上の本店の住所は、Ordnance House, 31 Pier Road, St. Helier, Jersey JE4 8PWです。

当社の目的は、貴金属の現物の引渡しを要しない、貴金属の運用成績を追跡する証券（以下「貴金属証券」といいます。）の発行、その後の上場及び売買を円滑にするピークルを提供することです。貴金属証券の各クラスは、リミテッド・リコースの取決めにに基づき発行しています。当該取決めににより保有者が遡求権を有するのは、貴金属証券の裏付けとして保有する関連する白金、パラジウム、銀及び金地金（以下「貴金属地金」といいます。）に対してのみであり、他のクラスの貴金属証券の貴金属地金や当社に対しては有していません。貴金属証券は、目論見書で公表されている合意された計算式に従って算出した各貴金属証券の貴金属地金に対する権利（以下「貴金属エンタイトルメント」といいます。）相当額の貴金属地金を担保としています。当社は、貴金属エンタイトルメントにより確定している貴金属証券の裏付けとなる貴金属地金を保有しています。この基礎となる貴金属地金の売買からは利得を得ていません。結果として、（管理・運用報酬の影響を除き）、商取引上、貴金属地金に係る利得または損失は対応する貴金属証券に係る損失または利得と常に相殺されることから、当社には商取引上正味の利得・損失も正味のリスク・エクスポージャーも残りません。但し、貴金属地金と貴金属証券の評価額の差額が、当財務諸表で報告している通り価値のミスマッチとして生じます。この評価額の差額は、その後の貴金属証券の償還及び対応する貴金属地金の引渡し時に解消されます。詳細は会計方針及び注記16に、当社のリスクに関する追加的情報は注記13に記載しています。また、当社は、調整後の純損益及びその他の包括利益計算書並びに調整後の資本変動計算書を財務諸表注記16に開示しています。これらの計算書には、貴金属地金と貴金属証券の評価額の差額の解消という当社の経済的業績が反映されています（当該利得または損失は、その後の貴金属証券の償還及び対応する貴金属地金の引渡し時に戻入れを行う（つまり実現しない）ことを前提としています。）。

上場投資商品は、一般的にアクティブ運用ではありません。アクティブ運用型の投資信託と比較すると極めて低コストなため、投資家が利用しやすい商品です。当社は、貴金属証券の発行及び償還時にのみ貴金属地金の受取りまたは引渡しを行い、貴金属証券の裏付けとなる貴金属証券の各クラスの貴金属エンタイトルメントにより確定した貴金属地金のみを保有していることから、貴金属地金の活発な売買及び運用を行う必要がありません。

当社は、下記のものを受け取る権利を有しています。

- (1) 合意している一定量を貴金属証券の各クラスの貴金属エンタイトルメントから日次で減算し算出した管理・運用報酬（以下「管理・運用報酬」といいます。）
- (2) 貴金属証券の発行及び償還に関する設定及び償還手数料

投資家がロンドン証券取引所などの上場市場で貴金属証券を売買した場合、当社に対する設定・償還手数料の支払はありません。特定の承認取得者は、必要に応じて、設定及び償還手数料が免除となることもあります。

当社は、ウィズダムツリー・マネジメント・ジャージー・リミテッド（以下「ManJer」または「管理事務代行会社」といいます。）との間にサービス契約を締結しています。この契約により、ManJerは、当社が必要とする全ての運用・管理サービス（マーケティングを含みます。）の提供または斡旋と、貴金属証券の上場及び発行に関連する費用の支払に対する義務を負うことになります。これらのサービスと引き換えに、当社は、稼得した管理・運用報酬並びに設定及び償還手数料の総額に等しい額の報酬（以下「ManJerへの報酬」といいます。）をManJerに支払う義務を負います。このため、当社の各期間の公正価値変動考慮前純損益の認識額はゼロ（なし）となっています。

2. 会計方針

当社の主要な会計方針は下記の通りです。

作成の基礎

当財務諸表は、国際会計基準審議会（以下「IASB」といいます。）が公表した国際財務報告基準（以下「IFRS」といいます。）及びIASBの国際財務報告解釈指針委員会により公表された解釈指針に準拠して作成されています。当財務諸表は、取得原価主義に基づき作成されていますが、純損益を通じて公正価値で測定するものとして保有する現物貴金属地金及び金融負債の再評価により修正されています。

重要な会計上の見積り及び判断

IFRSに準拠した財務諸表の表示において、特定の重要な会計上の見積りを使用する必要があります。また、当社の会計方針を適用する過程で、経営者は判断を行使する必要があります。

当社は、資産及び負債の報告金額に影響を与える見積り及び仮定を行います。見積りは、過去の経験及びその他の要素（その状況下で合理的と考えられる将来の事象の予測を含みます。）に基づき継続的に評価を行っています。当財務諸表の作成に必要な重要な会計上の判断は、下記の通りです。

1. 注記16に開示している純損益及びその他の包括利益計算書並びに資本変動計算書への任意かつ非GAAPの調整の表示に関するもの。
2. 貴金属地金に適用する適切な会計方針の決定

IFRSには現物貴金属の分類に関する標準的取扱いがないことから（現物貴金属は金融資産、現金、棚卸資産、有形固定資産のいずれの定義も満たさないため）、現物貴金属の処理方法の選択は当該資産を保有する会社の一定の解釈に委ねられています。貴金属地金の保有目的は貴金属地金の公正価値変動に対するエクスポージャーを証券保有者に提供することであるため、取締役は、貴金属地金を純損益を通じて公正価値で計上することが金融商品に適用される会計処理とも整合し、当該資産の保有目的を反映することになると考えています。

取締役は、当財務諸表の作成にあたり重要な見積りは行っていないと考えています。

継続企業

当社の事業の性質上、発行済貴金属証券は、指定参加者及び一定の状況下では個々の保有者による償還が随時可能であり、また一定の状況下では当社が強制的に償還することも可能です。貴金属証券の償還では必ず同額（価値）の貴金属地金の引渡しを同時に行い、さらに当社は発行した貴金属地金の裏付けとして受領した貴金属地金を保有し、貴金属地金は管理・運用報酬の支払または貴金属証券の償還のためにのみ引渡しを行うことから、流動性リスクは残らないよう軽減されています。当社のその他の費用は全てManJerが負担しています。取締役は、締結中のサービス契約に基づく義務の遂行にあたり、新型コロナウイルス感染症の拡大に関連する情報及び動向（特にManJer、同社の運用資産（すなわち関連収益源）に対する影響）を注視しています。取締役は、当社が当財務諸表日後12ヶ月間は事業を存続する十分な資源を有していると合理的に予想していることから、当社の事業には継続性があると考えています。したがって、当財務諸表は継続企業の前提により作成しています。

会計基準

(a) 当年度に適用した基準、修正及び解釈指針：

当社は財務諸表の作成にあたり、当年度に公表され発効した全ての新規または修正後の基準及び解釈指針（以下を含む。）を適用しました。

- ・ IAS第1号「財務諸表の表示」の修正
- ・ IAS第8号「会計方針、会計上の見積りの変更及び誤謬」の修正

IAS第1号及びIAS第8号の当該変更は、重要性の定義に関する変更であるため当社に適用されますが、当財務諸表に対する重要な影響はないと考えています。

(b) 当社に該当のない基準、修正及び解釈指針：

下記の基準が修正、公表及び発効されましたが、これらは当社に該当はないと判断しています。

- ・ IFRS第3号「企業結合」の修正
- ・ IFRS第7号「金融商品：開示」の修正
- ・ IFRS第9号「金融商品」の修正
- ・ IAS第39号「金融商品：認識及び測定」の修正

上記のIFRS第7号、IFRS第9号、及びIAS第39号の変更はヘッジ会計に関する銀行間調達金利指標（またはIBOR）改革による金利指標置換前に係る論点であることから、取締役は当該基準、修正及び解釈指針の適用による当財務諸表に対する重要な影響はないと考えています。

(c) 公表済であるが未発効の新規及び改訂後のIFRS：

当社は、以下に記載する公表済であるが未発効の新規及び改訂後のIFRSを適用していません。

- ・ IFRS第16号「リース」の修正(2020年6月1日以後開始する事業年度から発効)
- ・ IFRS第17号「保険契約」(2023年1月1日以後開始する事業年度から発効)
- ・ IAS第1号「財務諸表の表示」の修正(2023年1月1日以後開始する事業年度から発効)
- ・ IAS第8号「会計方針、会計上の見積りの変更及び誤謬」の修正(2023年1月1日以後開始する事業年度から発効)
- ・ IAS第16号「有形固定資産」の修正(2022年1月1日以後開始する事業年度から発効)
- ・ IAS第37号「引当金、偶発負債及び偶発資産」の修正(2022年1月1日以後開始する事業年度から発効)
- ・ 金融商品についてIBOR参照から条件変更を行った場合に生じる会計上の論点に対応したIFRS第9号、IAS第39号、IFRS第7号、IFRS第4号及びIFRS第16号の修正
- ・ IFRSの年次改善（IFRS第1号、IFRS第9号及びIAS第41号に影響）

取締役は、公表済であるが未発効のその他の基準、修正及び解釈指針の適用による将来の期間における当社の財務諸表に対する重要な影響はないと見込んでいます。

取締役は、公表済であるが未発効のその他の基準及び解釈指針について検討を行い、それらが発効した場合に将来の会計期間に対する重要な影響はないという結論に達しています。

貴金属証券

i) 発行及び償還

当社が貴金属証券を発行または償還するたびに、対応する額の貴金属地金が、カストディアンが保有する関連担保設定口座から出し入れされます。当初認識時の公正価値は、振替を受けた基礎となる貴金属地金にロンドン地金市場協会（以下「LBMA」といいます。）が提示する値決め価格を適用して計上しています。

金融負債は取引（売買）日に認識及び認識の中止を行います。

ii) 純損益を通じて公正価値で測定するものへの分類

貴金属証券は、償還価格が基礎となる貴金属地金の価値に連動する金融商品から構成されています。貴金属証券は、IFRS第9号に従い、純損益を通じて公正価値で測定する負債に分類しています。これは、資産若しくは負債の測定またはそれらに係る利得及び損失の認識を異なる基礎で行うことから生じであろう測定または認識の不整合を大幅に低減するためです。

iii) 価格決定

IFRS第13号は、当社が主要な市場を識別し、当該主要市場において入手可能な価格を利用することを要求しています。取締役は貴金属証券が上場されている証券取引所を主要な市場と考えており、その結果として貴金属証券の公正価値は、活発な取引を示している（価格を入手する各日において最も取引量が多い）証券取引所での取引価格であると考えています。貴金属証券は、財政状態計算書日現在の関連する貴金属の価格が設定された時刻に入手した市場価格の仲値を使用して価格決定されます。

財政状態計算書上の貴金属地金（貴金属証券の裏付けとして保有）の価値（契約上の価値）と貴金属証券（市場価値）の価値に差額が生じます。この差額は、その後の貴金属証券の償還及び対応する貴金属地金の引渡し時に解消されます。

貴金属地金

当社は、貴金属証券に基づく債務の支払いのみを目的として、貴金属証券の保有者に支払うべき金額に相当する貴金属地金を保有しています。

前述の通り、IFRSには、現物貴金属の分類に関する処理を定めた基準はありません。貴金属地金は、証券保有者に貴金属地金の公正価値の変動に対するエクスポージャーを提供する目的で保有していることから、取締役は、貴金属地金を純損益を通じて公正価値で測定するものとして計上することが、金融商品に適用される処理とも整合し、当該資産の保有目的を反映することになると考えています。

貴金属地金の価格は、保有する貴金属地金の量にLBMAが提示する直近の値決め価格を適用して日次で算定しており、これを貴金属地金の公正価値とみなしています。また、一定量を「管理・運用報酬として保有する貴金属地金」に日次で振り替えています。貴金属地金のこの評価額は、貴金属証券の各クラスの総貴金属エンタイトルメントにLBMAが提示する値決め価格を適用して算定した金額に等しく、「契約上の価値」といいます。

未決済の貴金属地金及び貴金属証券

貴金属証券の発行及び償還並びに貴金属地金の出し入れは、取引日に計上されます。この取引は2営業日後まで決済されません。年度末現在で取引が未決済の場合、貴金属地金及び貴金属証券の決済予定金額は、財政状態計算書上の関連する資産及び負債に区分表示されます。これらの未収金額及び未払金額の公正価値は、帳簿価額と同等と考えています。

管理・運用報酬として保有する貴金属地金及び貴金属地金で支払う未払管理・運用報酬

管理・運用報酬（収益）の未収計上は、合意している一定量を貴金属証券の各クラスの貴金属エンタイトルメントから日次で減算して行っています。当該報酬は貴金属地金で認識し、前述の貴金属地金に関する会計上の判断に基づき純損益を通じて公正価値で計上しています。財政状態計算書日現在の認識額は、LBMA公表の直近の価格により再評価しています。

また、未払管理・運用報酬は、ManJerとの契約に従い、発生した収益を基に未払計上しています。当該報酬は、貴金属地金で支払う債務であり、純損益を通じて公正価値で計上しています。これは、資産若しくは負債の測定またはそれらに係る利得及び損失の認識を異なる基礎で行うことから生じるであろう測定または認識の不整合を大幅に低減するためです。財政状態計算書日現在の当該債務は、LBMA公表の直近の価格により再評価しています。

当座借越

当社は、カストディアンと3つの契約を締結しており、それぞれにつき金地金の延べ棒1本まで借り入れることができます（以下、総称して「当座借越」といいます。）。この当座借越は、貴金属地金（オンス）建てであり、借入貴金属地金相当の貴金属地金（オンス）で返済を行います。当座借越はLBMAが提示する直近の値決め価格を用いた貴金属地金（オンス）の公正価値で計上し、公正価値の変動は純損益に認識しています。

借入貴金属地金

当社は、当座借越により保有する金（以下「借入中の貴金属地金」といいます。）を使用して、ウィズダムツリー・フィジカル・スイス・ゴールド・セキュリティーズ、ウィズダムツリー・フィジカル・ゴールド、及びウィズダムツリー・コア・フィジカル・ゴールド・セキュリティーズのそれぞれ全てが、ロンドン・グッド・デリバリー・バーの金（“gold in allocated form”）の保有により確実に裏付けられるようにしています。借入貴金属は、LBMAが提示する直近の値決め価格を用いて公正価値で計上しています。公正価値の変動は純損益に認識しています。

剰余金

再評価剰余金及び利益剰余金は資本の部に計上しています。純損益は全て関連する会計期間末日現在の利益剰余金に振り替えています。また、会計上の価値のミスマッチに係る利得または損失は分配不能な再評価剰余金に振り替えています。これは、当該差額が貴金属地金（貴金属証券の裏付けとして保有）と貴金属証券に係る未実現の利得及び損失に関するものであり、その後の貴金属証券の償還及び関連貴金属地金の引渡し時に戻入れを行う（つまり実現しない）ためです。

その他の金融資産及び金融負債

その他の金融資産及び負債は非デリバティブ金融資産及び負債で、支払金額が固定の売掛金及びその他の債権並びに買掛金及びその他の債務等（主に設定及び償還手数料）であり、活発な市場での相場価格がないものです。当初測定後、その他の金融資産及び負債は、実効金利法を用いた償却原価（予想信用損失の引当金控除後）で事後測定されます。実効金利法は、金融商品の償却原価を計算し、関係する期間に利息を配分する方法です。実効金利は、金融商品の予想期間、または場合によってはそれより短い期間を通じて、将来のキャッシュ・フローの見積額（実効金利の不可分の一部である全ての支払または受取手数料、取引費用及びその他のプレミアムまたはディスカウントを含みます。）を、当初認識時の正味帳簿価額まで正確に割り引く利率です。減損損失（減損損失の戻入れ及び減損利得を含みます。）は、純損益に計上しています。

収益

当社は、収益額を、一定の期間にわたり（管理・運用報酬の場合）、また一時点で（設定及び償還手数料の場合）、下記の通り算出しています。

i) 管理・運用報酬

管理・運用報酬は、発行済証券の契約条件に従い一定の料率を適用して、貴金属証券の各クラスの貴金属エンタイトルメントから日次で減算することにより算出しています。貴金属エンタイトルメントの当該増減は、貴金属証券の価値を減少させます。この減算は、関連する貴金属地金建ての管理・運用報酬に等しく、貴金属証券の発行の都度、当該発行日に認識しています。管理・運用報酬は、請求及び関連する貴金属地金の引渡しにより決済されるまで日次で発生・認識しています。収益認識額は、発生した管理・運用報酬合計にLBMAの値決め価格の平均を適用して月次で算出しています。

ii) 設定及び償還手数料

貴金属証券の発行及び償還に関する手数料は、取引が法的拘束力を有する日に、対価の受取見込額の公正価値で認識しています。設定及び償還手数料の未収金額は、四半期毎に請求及び決済を行っています。

外貨

当社の財務諸表は、当社の貴金属証券の大部分を占める発行通貨（機能通貨）で表示されます。当財務諸表では、当社の経営成績及び財政状態は、当社の機能通貨でありかつ当財務諸表の表示通貨である米ドルで表示されています。

外貨建取引は、当初認識時に取引日現在の直物為替レートで記録されます。年度末日現在の外貨建貨幣性資産及び負債は、同日の実勢レートで換算されます。設定及び償還手数料は、それらが発生した月の平均レートで換算されます。その結果生じる差額は、純損益を通じて計上されます。

セグメント報告

資源をセグメントに配分し、それらのセグメント業績を評価するため、IFRS第8号では、最高経営意思決定者（以下「CODM」といいます。）が定期的にレビューする当社の構成要素に関する内部報告書を基に、事業セグメントを識別することを要求しています。このCODMは、取締役会が決定しています。セグメントとは、識別可能な当社の構成単位であって、商品若しくはサービスの提供（事業別セグメント）、または特定の経済環境における商品若しくはサービスの提供（地域別セグメント）のいずれかに該当し、他のセグメントとは異なるリスク及び便益の影響を受けるものです。

当社は、1つの事業または商品グループ（貴金属）及び1つの地域別セグメント（欧州）しかないため、セグメント情報を提示していません。さらに当社には、収益の10%超を生み出す単独の主要顧客も存在していません。当社の活動の理解に関連する情報は全て、当財務諸表に含まれています。

3. 営業損益

当年度の営業損益の内訳は下記の通りです。

	12月31日終了年度			
	2020年		2019年	
	米ドル	千円	米ドル	千円
設定及び償還手数料	62,859	6,946	42,413	4,686

管理・運用報酬	49,364,287	5,454,507	39,198,274	4,331,213
収益合計	49,427,146	5,461,452	39,240,687	4,335,900
ManJerへの報酬	(49,427,146)	(5,461,452)	(39,240,687)	(4,335,900)
営業費用合計	(49,427,146)	(5,461,452)	(39,240,687)	(4,335,900)
公正価値変動考慮前純損益	-	-	-	-

当年度の監査報酬23,560英ポンド（2019年度：20,560英ポンド）は、ManJerによって支払われます。

4. 課税

当社は、ジャージーの法人所得税が課されます。当年度に当社に適用されるジャージーの法人所得税率はゼロパーセント（2019年度：ゼロパーセント）です。

5. 管理・運用報酬として保有する貴金属地金

	12月31日終了年度			
	2020年		2019年	
	米ドル	千円	米ドル	千円
管理・運用報酬	4,334,123	478,899	3,697,597	408,566

管理・運用報酬は貴金属地金で認識し、公正価値で計上しています。

6. 売掛金及びその他の債権

	12月31日現在			
	2020年		2019年	
	米ドル	千円	米ドル	千円
設定及び償還手数料	40,058	4,426	22,301	2,464
関連当事者に対する債権	4	0	4	0
	40,062	4,427	22,305	2,465

これらの債権の公正価値は帳簿価額と同額です。売掛金及びその他の債権は、当年度末日から12ヶ月以内に回収予定です。

7. 貴金属地金

12月31日現在			
2020年		2019年	

	米ドル	千円	米ドル	千円
貴金属地金の公正価値の変動	3,204,182,859	354,046,185	1,850,582,053	204,480,064
貴金属地金の公正価値	14,476,114,674	1,599,538,291	11,955,880,980	1,321,065,069

2020年12月31日現在、取引日が年度末前で決済日が翌年度である、貴金属証券の設定または償還が未決済の一定金額の貴金属地金がありました。

・償還の未決済による未収金額は、13,743,626米ドル（2019年度：17,613,679米ドル）でした。

貴金属地金資産は全て、当年度に入手可能な最終値決め価格である、LBMA公表の2020年12月31日午前の値決め価格を用いて評価されています。

貴金属地金の増減に関する下記の調整には、非資金取引の増減のみが含まれています。

	12月31日終了年度			
	2020年		2019年	
	米ドル	千円	米ドル	千円
貴金属地金の期首残高	11,955,880,980	1,321,065,069	8,618,842,192	952,338,968
追加	6,181,466,495	683,021,140	6,739,191,265	744,646,939
処分	(6,816,051,373)	(753,139,596)	(5,213,536,256)	(576,069,689)
管理・運用報酬として保有する貴金属地金に振り替えた貴金属地金	(49,364,287)	(5,454,507)	(39,198,274)	(4,331,213)
公正価値の変動	3,204,182,859	354,046,185	1,850,582,053	204,480,064
貴金属地金の期末残高	14,476,114,674	1,599,538,291	11,955,880,980	1,321,065,069

8. 貴金属証券

貴金属証券には公開市場での相場がありますが、当社の最終的な負債は、各取引日に貴金属証券の各クラスの貴金属エンタイトルメントにより確定した貴金属地金と引き換えに、貴金属証券を発行及び償還する契約上の義務に関連するものです。貴金属証券のそれぞれの設定及び償還時の公正価値は、取引日のLBMAの提示価格を用いて計上され、この計上額が「契約上の価値」となります。貴金属証券の発行及び償還は、当該発行及び償還において引き渡された貴金属地金の価値と同一金額で計上されます。この結果、当社は貴金属証券及び貴金属地金に係る利得または損失に対する正味エクスポージャーを有していません。

当社は、IFRS第13号に従って、上述の契約上の価値ではなく公正価値で貴金属証券を測定しています。公正価値とは、貴金属証券の上場または売買が行われる証券取引所またはその他の市場における価格です。当財務諸表に認識されている、公開市場で入手可能な価格に基づく公正価値及び当該年度におけるその変動額は下記の通りです。

	12月31日現在			
	2020年		2019年	
	米ドル	千円	米ドル	千円
貴金属証券の公正価値の変動	(3,228,851,840)	(356,771,984)	(1,836,571,323)	(202,931,948)

貴金属証券の公正価値

14,496,623,028	1,601,804,361	11,951,720,353	1,320,605,340
----------------	---------------	----------------	---------------

当年度における、契約上の決済価額に基づく契約上の償還価額及びその変動額は、下記の通りです。

	12月31日現在			
	2020年		2019年	
	米ドル	千円	米ドル	千円
当年度における契約上の償還価額の変動	(3,204,182,859)	(354,046,185)	(1,850,582,053)	(204,480,064)
貴金属証券の契約上の償還価額	14,476,114,674	1,599,538,291	11,955,880,980	1,321,065,069

貴金属地金の価値と貴金属証券の公正価値との差額である利得または損失は、貴金属証券が償還され対応する貴金属地金が引き渡されたときに戻入れを行います。この戻入れによる損益を反映した任意かつ非GAAPの調整については、注記16を参照してください。

2020年12月31日現在、取引日が年度末前で決済日が翌年度である、設定または償還が未決済の貴金属証券がありました。

- ・ 貴金属証券の償還の未決済による未払金額は、13,743,626米ドル（2019年度：17,613,679米ドル）でした。

貴金属証券の増減に関する下記の調整は財務活動から生じる負債であり、非資金取引の増減のみが含まれていません。

	12月31日終了年度			
	2020年		2019年	
	米ドル	千円	米ドル	千円
貴金属証券の期首残高	11,951,720,353	1,320,605,340	8,628,692,295	953,427,355
証券の設定	6,181,466,495	683,021,140	6,739,191,265	744,646,939
証券の償還	(6,816,051,373)	(753,139,596)	(5,213,536,256)	(576,069,689)
管理・運用報酬	(49,364,287)	(5,454,507)	(39,198,274)	(4,331,213)
公正価値の変動	3,228,851,840	356,771,984	1,836,571,323	202,931,948
貴金属証券(公正価値)の期末残高	14,496,623,028	1,601,804,361	11,951,720,353	1,320,605,340

9. 当座借越

当年度に当座借越に関する取決めをカストディアンと締結しました（JPモルガン・チェース・バンク・エヌエー（以下「JPモルガン」といいます。）と1件（2020年10月1日から発効）及びHSBCバンク・ピーエルシー（以下「HSBC」といいます。）と2件（2020年11月20日及び2020年12月3日から発効））。各取決めにより、金地金の延べ棒1本まで借り入れることが認められています（以下、総称して「当座借越」といいます。）。当社は、当座借越により保有する金（以下「借入中の貴金属地金」といいます。）を使用して、ウィズダムツリー・フィジカル・スイス・ゴールド・セキュリティーズ、ウィズダムツリー・フィジカル・ゴールド、及びウィズダムツリー・コア・フィジカル・ゴールド・セキュリティーズのそれぞれ全てが、ロンドン・グッド・デリバリー・バーの金（“gold in allocated form”）の保有により確実に裏付けられるようにしています。

当座借越により当社が借り入れている貴金属地金は、下記の通りです。

12月31日現在

	2020年			2019年		
	トロイ・オンス	米ドル	千円	トロイ・オンス	米ドル	千円
JPモルガンから借り入れている金	25.155	47,570	5,256	-	-	-
HSBCから借り入れている金	240.636	455,067	50,283	-	-	-
		<u>502,637</u>	<u>55,539</u>		<u>-</u>	<u>-</u>

借入貴金属地金及び当座借越は、貴金属地金の公正価値で計上しています。

10. 買掛金及びその他の債務

12月31日現在

	2020年		2019年	
	米ドル	千円	米ドル	千円
ManJerへの未払報酬	<u>4,374,182</u>	<u>483,325</u>	<u>3,719,899</u>	<u>411,030</u>

貴金属地金の引渡しにより支払予定の管理・運用報酬は、公正価値で計上しています。残りの債務の公正価値は帳簿価額と同額です。ManJerへの未払報酬は、当年度末から12ヶ月以内に決済予定です。

11. 資本金

12月31日現在

	2020年		2019年	
	米ドル	千円	米ドル	千円
無額面投資証券2口（1株当たり1英ポンドで発行、全額払込済）	<u>4</u>	<u>0</u>	<u>4</u>	<u>0</u>

当社は、定款に従って、無額面投資証券を無制限に発行することができます。

当社が発行している投資証券は全て、投資証券1口当たり無制限議決権を1個有するとともに、分配の権利も有しています。投資証券は全て、ウィズダムツリー・ホールディングス・ジャージー・リミテッド（以下「HoldCo」といいます。）が保有しています。

12. 関連当事者についての開示

所有を通じて、または当社の取締役であることにより、当社に対して重要な影響力を有する事業体及び個人は、関連当事者とみなされます。さらに、当社と共通の所有者である事業体及び共通の取締役である事業体も、同様に関連当事者とみなされます。

当該年度中にManJerによって請求された報酬：

12月31日終了年度

	2020年		2019年	
	米ドル	千円	米ドル	千円
ManJerへの報酬	49,427,146	5,461,452	39,240,687	4,335,900

当該年度末現在、ManJerに対する債務残高は下記の通りでした。

12月31日現在

	2020年		2019年	
	米ドル	千円	米ドル	千円
ManJerへの未払報酬	4,374,182	483,325	3,719,899	411,030

2020年12月31日現在のManJerに対する債権は4米ドル（2019年度：4米ドル）です。取締役報告書に開示の通り、ManJerは、当社に関する取締役報酬16,000英ポンド（2019年度：16,000英ポンド）を支払いました。

スティーブン・ロスは、アール・アンド・エイチ・ファンド・サービシーズ（ジャージー）リミテッド（以下「R&H」または「事務管理会社」といいます。）の取締役で、R&Hが完全所有するローリンソン・アンド・ハンター・ジャージー・パートナーシップのパートナーです。クリストファー・フォールズは、R&Hの幹部従業員です。当年度において、R&Hは、当社に関する事務管理業務の報酬134,504英ポンド（2019年度：126,741英ポンド）をManJerに請求しており、このうち33,626英ポンド（2019年度：33,741英ポンド）が当年度末で未決済でした。

ピーター・ジーンバ及びスチュアート・ベルは、ウイスダムツリー・インベストメンツ・インクの業務執行取締役です。

13. 財務リスク管理

当社は、その活動から生じる多くのリスク（信用リスク、流動性リスク、決済リスク及び市場リスク等）にさらされています。取締役会は、リスク管理手法全般に対して並びにリスク管理に係る戦略及び原則を承認する責任を有しています。取締役会は頻繁に会議を開催し、当社のリスク・エクスポージャーの検討及び適切な管理方針の決定を行っています。これらのリスク管理のため当社が採用しているリスク管理方針は、下記の通りです。

貴金属証券は、通常の市場の変動並びに有価証券及びその他の金融商品に対する投資に固有のその他のリスクにさらされています。有価証券の価値が上昇する保証はありませんし、投資家の当初投資の資本価値も保証されていません。投資の価値は下落及び上昇する可能性があり、投資家は当初投資金額を回収できない可能性があります。

以下に記載の情報は、貴金属証券に関連する全てのリスクの包括的な要約を意図したものではなく、貴金属証券に対する投資に固有のリスクの詳細な要約に関して、投資家は直近の目論見書を参照しなければなりません。提供された全ての情報は、将来予測または投資パフォーマンスの根拠として使用または解釈すべきではありません。

(a) 信用リスク

信用リスクは主に、指定参加者またはカストディアンが契約上の債務を履行できず財務上の損失が発生するリスクです。貴金属証券の各クラスは、リミテッド・リコースの取決めにに基づき発行しています。当該取決めににより保有者が遡求権を有するのは、貴金属証券の裏付けとして保有する関連する白金、パラジウム、銀及び金地金（以下

「貴金属地金」といいます。）に対してのみであり、他のクラスの貴金属証券の貴金属地金や当社に対しては有していません。したがって、貴金属証券の発行に関する当社の信用リスクは限定的となっています。

未決済の未収金額並びに売掛金及びその他の債権の帳簿価額の総額は、財政状態計算書日現在の信用リスクに対する最大エクスポージャーを最もよく表しています。報告日現在における当社の未決済の未収金額並びに売掛金及びその他の債権は、財政状態計算書上に詳述しています。

当社は、信用力があると考えられる指定参加者とのみ取引することによって、信用リスクを管理しています。指定参加者がその義務を履行しない場合には貴金属証券が設定されないため、当社には受取予想額に係る損失のリスクがありません。

信用リスクには保管リスクも含まれています。カストディアンは保険への加入を要求されておらず、受託者も要求されていません。したがって、担保設定された貴金属地金には紛失、盗難または破損のリスクがあり、当社がその貴金属証券に関する債務を返済できなくなる可能性があります。当社は現在、HSBC及びJPモルガンの2社をカストディアンとしています。報告日現在のカストディアンに対するエクスポージャーは、それぞれ約75%及び25%（2019年度：それぞれ78%及び22%）に分散されています。

取締役会は、当社の信用リスク・エクスポージャーを確実に管理すべく当該エクスポージャーを監視しており、流動的かつ急速に変化するCOVID-19の拡大に関連する潜在的影響または動向を注視しながら一層厳密に監視を継続しています。

(b) 決済リスク

決済リスクは主に、指定参加者が契約上の債務を履行できず財務上の損失が生じるリスクです。

決済リスクは、当社の取引相手方が決済日に貴金属地金または貴金属証券を引き渡さないリスクのみによって生じるものであると取締役は考えています。貴金属証券は、CRESTシステムを通じて決済されます。取締役は、カストディアンに貴金属地金の所要量が受領されるまで貴金属証券が発行されないこと、かつ関連する貴金属証券がCRESTに引き渡されるまで貴金属地金の引渡しも行われなかったことにより、こうした決済リスクは軽減されていると考えています。結果として、取引の両当事者が契約上の義務をそれぞれ履行するまで、取引が決済されないようになっています。

未決済のポジションに関する残高は、注記7及び8に開示されています。

(c) 流動性リスク

流動性リスクは、金融負債の満期時に、関連する債務を履行する際に当社が困難に直面するリスクです。当社の未収金額及び未払金額は全て要求払いであり、通常短期間で決済されます。さらに、管理・運用報酬並びに設定及び償還手数料に関する金額は、関連する取引相手方からManJerに直接引き渡されるまたは送金されるため、当社を経由するキャッシュ・フローはありません。

貴金属証券には契約上の満期日はなく、証券保有者からの償還請求（請求は常時可能で、取引の決済はその2日後に請求を受けた貴金属地金の引渡しにより実施）、または強制償還（請求を受けた貴金属地金の引渡し、または貴金属地金を現金化しその現金を保有者に速やかに支払うことにより実施）の場合にのみ償還されます。通常は当社との指定参加者契約を締結している証券保有者のみが、当社に直接申込及び償還を申請できます。

貴金属証券が償還された場合、当社は、当該貴金属証券の貴金属エンタイトルメントにより確定した対応する額の貴金属地金を返還します。したがって、貴金属証券の償還は、当社の流動性に影響を与えません。

以上から、当社は流動性リスクに関して表形式の情報を表示していません。

(d) 自己資本管理

当社の自己資本管理方針の主な目的は、業務上十分なリソースを確実に維持することです。管理の対象となる資本は資本変動計算書に記載の資本金です。資本変動計算書に記載の利益剰余金及び再評価剰余金は管理の対象となる資本ではありません。これは、これらの残高が貴金属地金（貴金属証券の裏付けとして保有）と貴金属証券に係る未実現の利得及び損失に関するものであり、その後の貴金属証券の償還及び関連貴金属地金の引渡し時に戻入れを行う（つまり実現しない）ためです。当社は、規制当局によって課されている自己資本規制の対象となっており、当年度において自己資本管理への当社のアプローチに変更はありません。

当社の主要な活動は、貴金属証券の発行及び上場です。これらの証券は需要に応じて発行及び償還されます。当社は発行済貴金属証券の負債合計額と一致する額の貴金属地金を保有しています。ManJerは、当社へのあらゆる運営・管理サービスの提供及び提供の手配を行い、当社の運営・管理費用（受託者報酬及び保管報酬を含む）を全て支払います。これらのサービスの見返りとして、当社はManJerに対し、サービス契約の条件に従い稼得した管理・運用報酬、並びに設定・償還手数料の総額と同額の管理・運用報酬を支払います。

発行済貴金属証券は全てカストディアンによって保管されている同量の現物地金によって裏付けられており、当社の運営費用はManJerにより支払われたため、当社の取締役は、自己資本管理及び現在の自己資本の源泉が貴金属証券の継続的な上場及び発行を維持するのに十分であると考えています。

(e) 感応度分析

IFRS第7号により、報告日現在事業体がさらされている市場リスクの種類ごとに感応度分析を開示し、合理的な可能性のある適切なリスク変数の変化によって純損益及び持分がどれだけ影響を受けるかを示す必要があります。

貴金属地金及び貴金属証券それぞれに関する当社の権利及び負債は、各取引日に貴金属証券の各クラスにおける貴金属エンタイトルメントにより確定した貴金属地金と引き換えに、貴金属証券を発行及び償還する契約上の義務に関連するものです。貴金属証券のそれぞれの設定及び償還時の公正価値は、取引日のLBMAの提示価格を用いて計上されます。この結果、貴金属証券の発行に関する当社の契約上及び経済上の負債は、対応する貴金属地金の価値の変動に連動します。したがって、当社は市場価格リスクに対する正味エクスポージャーを有していません。それゆえ、取締役は感応度分析を開示する必要はないと考えています。

(f) 市場リスク

市場リスクは、市場価格（外国為替レート、金利、地金価格及び株価等）の変動リスクであり、当社の収益または保有・発行している金融商品の価値に影響を与えます。

i) 価格リスク

貴金属証券に関する当社の負債の価値は貴金属地金の価格に従って変動し、当該価格の変動リスクについて当社は、その負債と同量の貴金属地金を保有することによってこれを管理しています。貴金属証券は公開市場で値付けされていますが、当社の最終的な負債は各取引日に貴金属エンタイトルメントにより確定した貴金属地金と引き換えに、貴金属証券を発行及び償還する契約上の義務です。当社は、貴金属証券を契約上の価値（目論見書に記載）ではなく、IFRS第13号に従い公正価値で測定しています。貴金属地金の価値と貴金属証券の公正価値との差額である利得または損失は、その後の貴金属証券の償還及び対応する貴金属地金の引渡し時に戻入れを行います。

したがって、当社には貴金属地金の価格変動による財務リスクは残りません。さらに、価格の感応度による当財務諸表に対する影響に重要性はないと考えています。

しかしながら、貴金属地金の価格及び貴金属証券の価値は、特に貴金属地金の供給または需要の変動、政府及び金融上の政策や介入、グローバルまたは地域の政治、経済または金融事象を要因として大幅に変動する可能性があるため、投資家の観点からは固有のリスクがあります。貴金属証券の市場価格は、貴金属証券の売買を望む投資家の供給と需要の働きによるものであり、マーケット・メーカーが自発的に値付けする買呼値と売呼値のスプレッドとなります。これは注記16及び後述の公正価値ヒエラルキーの項で取り上げています。

新型コロナウイルス感染症（以下「COVID-19」といいます。）

COVID-19のパンデミックは未だ継続しており、パンデミックの最終的な期間並びに世界経済への短期的及び長期的な影響は不明です。多数の国の中央政府及び超国家組織が、在宅勤務の要請または奨励、スポーツ、文化的及びその他のイベントの中止、人々の会合の制限または阻止等、COVID-19から人々を防護する措置を引き続き講じています。

COVID-19は市場の混乱を引き起こし、市場のボラティリティを全体的に増加させています。ウイルスの変異、ワクチン配布の遅延、及びパンデミックによる世界経済へのマイナスの影響等により、世界の金融市場が将来的に悪影響を受ける可能性があります。上記の措置や世論が商品のボラティリティと価格の両方に影響を与える可能性があるため、当該証券の価格にも影響が及ぶ可能性があります。これによる影響は重大であり、性質的に長期に及ぶ可能性があります。取締役は、流動的かつ急速に変化するCOVID-19の拡大に関連する情報及び動向、特にManJer、同社の運用資産（すなわち関連収益源）に対する影響を、サービス契約に基づく義務の履行の観点から注視しています。当社の継続企業の前提に関する取締役の考えは、注記2に記載しています。

ii) 金利リスク

貴金属地金も貴金属証券も無利息であるため、当社は、金利リスクに対する重要なエクスポージャーを有していません。

iii) 為替リスク

貴金属証券に表象される負債に関する利得または損失が、対応する貴金属地金に起因する損失または利得と経済的に一致するため、取締役は、世界中の多くの国々が直面している現在の景気の不透明性により生じる為替リスクに対し、当社が重要なエクスポージャーを有していないと考えています。

(g) 公正価値ヒエラルキー

ヒエラルキーのレベルは下記のように定義されています。

- ・ レベル1 同一の資産に関する活発な市場における相場価格に基づく公正価値
- ・ レベル2 相場価格以外の観察可能なインプットを用いた評価技法に基づく公正価値
- ・ レベル3 観察可能な市場データに基づかないインプットを用いた評価技法に基づく公正価値

ヒエラルキーの分類は、各関連資産/負債の公正価値測定にとって重要な最も低いレベルのインプットに基づいて決定されます。

貴金属証券には公開市場での相場があり活発に取引されているため、当社は入手可能な市場価格を用いる必要があります。そのため、貴金属証券はレベル1の金融負債に分類されています。

当社は、貴金属エンタイトルメント（目論見書で公表されている合意された計算式に従って算出）によって確定している貴金属証券の裏付けとなる貴金属地金を保有しています。貴金属地金は、LBMA公表の直近の価格を用いて公正価値で評価しています。当社は、各取引日に貴金属証券の各クラスにおける貴金属エンタイトルメントにより確定した貴金属地金と引き換えに、貴金属証券を発行及び償還する契約上の義務を有しています。貴金属証券のそれぞれの設定及び償還時の公正価値は、当該貴金属エンタイトルメントに適用される取引日のLBMAの提示価格を用いて計上しています。したがって、その価値は、観察可能で検証可能なインプットの裏付けのある第三者の価格情報を用いて算出していることから、貴金属地金はレベル2の金融資産に分類しています。

注記2及び9に開示の通り、当社は、当座借越により借り入れた貴金属地金を保有しており、これをLBMA公表の直近の価格を用いて公正価値で計上しています。したがって、借入貴金属地金は第三者の価格情報を用いて価値を算出していることからレベル1の金融資産に分類し、また当座借越は観察可能で検証可能なインプットの裏付けのある第三者の価格情報を用いて価値を算出していることからレベル2の金融負債に分類しています。

当社の資産及び（負債）の分類は下記の通りです。

	12月31日現在の公正価値			
	2020年		2019年	
	米ドル	千円	米ドル	千円
レベル1				
貴金属証券	(14,496,623,028)	(1,601,804,361)	(11,951,720,353)	(1,320,605,340)
レベル2				
当座借越	(502,637)	(55,539)	-	-
借入貴金属地金	502,637	55,539	-	-
貴金属地金	14,476,114,674	1,599,538,291	11,955,880,980	1,321,065,069
	14,476,114,674	1,599,538,291	11,955,880,980	1,321,065,069

貴金属証券、当座借越、借入貴金属地金、及び貴金属地金は、当社の会計方針に従って、それぞれ当初認識時に純損益を通じて公正価値で認識し、公正価値で再評価します。レベル3に分類している資産または負債はありません。レベル間の振替は、レベル1のインプットの公開情報が入手できなくなった場合に行います。この振替は、振替の原因となる状況の変化が生じた日に認識します。当年度にレベル1とレベル2間における振替または分類変更はありませんでした。

14. 最終的な支配当事者

IFRSの開示に関する要求事項に従い、取締役は、直接の親会社または最終的な支配当事者の定義を満たす企業は存在しないと判断しています。発行済株式の所有者は、ジャージーで登記された企業であるHoldCoです。ウィズダムツリー・インベストメンツ・インクは、HoldCoの最終的な支配当事者です。

15. 報告期間後に発生した事象

報告期間の末日以後、財務諸表の署名日までに、2020年12月31日現在の当社の財政状態計算書に開示された財政状態、同日に終了した年度の経営成績またはキャッシュ・フローに影響を与える重要な事象は発生していません。

16. 任意かつ非GAAPの調整に関する情報

純損益及びその他の包括利益計算書に表示している当社の純損益及び包括利益には、貴金属地金（貴金属証券の裏付けとして保有）と貴金属証券の会計上の評価額（注記7及び8に開示）のミスマッチの結果である貴金属地金の価値と貴金属証券の価格との累積差額の変動を表した利得及び損失が反映されています。また、資本変動計算書にも、貴金属地金（貴金属証券の裏付けとして保有）と貴金属証券双方の公正価値の変動が反映されています。

貴金属地金（貴金属証券の裏付けとして保有）の価値と貴金属証券の価格との差額である当該利得または損失は、その後の貴金属証券の償還及び対応する貴金属地金の引渡し時に解消されます。

また、貴金属証券の各クラスは、リミテッド・リコースの取決めにに基づき発行しています。当該取決めににより保有者が遡求権を有するのは、この関連する貴金属地金（貴金属証券の裏付けとして保有）に対してのみであり、他のクラスの貴金属証券の貴金属地金や当社に対しては有していません。結果として、当社は、この基礎となる貴金属地金（貴金属証券の裏付けとして保有）の売買からも利得を得ておらず、また商取引上（管理・運用報酬の影響を除き）、貴金属地金（貴金属証券の裏付けとして保有）に係る利得または損失は対応する貴金属証券に係る損失または利得と常に相殺されるため、当社には正味の利得または損失は残りません。

会計上の価値のミスマッチは下記の通りです。

	12月31日終了年度			
	2020年		2019年	
	米ドル	千円	米ドル	千円
貴金属地金の公正価値の変動	3,204,182,859	354,046,185	1,850,582,053	204,480,064
貴金属証券の公正価値の変動	(3,228,851,840)	(356,771,984)	(1,836,571,323)	(202,931,948)
	<u>(24,668,981)</u>	<u>(2,725,799)</u>	<u>14,010,730</u>	<u>1,548,116</u>

商取引上の成果を反映させるため、当社は、貴金属証券の市場価値から契約上の価値（目論見書に記載）への調整及びこの利得または損失の分配不能な別個の剰余金への振替を反映した、当期の任意かつ非GAAPの純損益及びその他の包括利益計算書並びに資本変動計算書を以下に開示しています。

(a) 任意かつ非GAAPの純損益及びその他の包括利益計算書

	12月31日終了年度			
	2020年		2019年	
	米ドル	千円	米ドル	千円
収益	49,427,146	5,461,452	39,240,687	4,335,900
費用	(49,427,146)	(5,461,452)	(39,240,687)	(4,335,900)
公正価値変動考慮前純損益	<u>-</u>	<u>-</u>	<u>-</u>	<u>-</u>

貴金属地金の公正価値の変動	3,204,182,859	354,046,185	1,850,582,053	204,480,064
貴金属証券の公正価値の変動	(3,228,851,840)	(356,771,984)	(1,836,571,323)	(202,931,948)
当期純(損失)/利益	(24,668,981)	(2,725,799)	14,010,730	1,548,116
貴金属証券の市場価値から契約上の価値（目論見書に記載）への調整	24,668,981	2,725,799	(14,010,730)	(1,548,116)
調整後純損益	-	-	-	-

[次へ](#)

(b) 任意かつ非GAAPの資本変動計算書

	資本金		利益剰余金		再評価剰余金 ⁴		資本合計		調整後資本合計	
	米ドル	千円	米ドル	千円	米ドル	千円	米ドル	千円	米ドル	千円
2019年1月1日現在期首残高	4	0	-	-	(9,850,104)	(1,088,387)	(9,850,100)	(1,088,387)	4	0
当期純損益及び包括損失合計	-	-	14,010,730	1,548,116	-	-	14,010,730	1,548,116	14,010,730	1,548,116
再評価剰余金への振替	-	-	(14,010,730)	(1,548,116)	14,010,730	1,548,116	-	-	-	-
貴金属証券の市場価値から契約上の価値（目論見書に記載）への調整	-	-	-	-	-	-	-	-	(14,010,730)	(1,548,116)
2019年12月31日現在残高	4	0	-	-	4,160,626	459,728	4,160,630	459,729	4	0
2020年1月1日現在期首残高	4	0	-	-	4,160,626	459,728	4,160,630	459,729	4	0
当期純損益及び包括利益合計	-	-	(24,668,981)	(2,725,799)	-	-	(24,668,981)	(2,725,799)	(24,668,981)	(2,725,799)
再評価剰余金への振替	-	-	24,668,981	2,725,799	(24,668,981)	(2,725,799)	-	-	-	-
貴金属証券の市場価値から契約上の価値（目論見書に記載）への調整	-	-	-	-	-	-	-	-	24,668,981	2,725,799
2020年12月31日現在残高	4	0	-	-	(20,508,355)	(2,266,071)	(20,508,351)	(2,266,070)	4	0

⁴ これは、貴金属地金の価値と貴金属証券の価格との差額です。

[次へ](#)

WisdomTree Metal Securities Limited

Statement of Financial Position



		As at 31 December	
		2020	2019
	Notes	USD	USD
Assets			
Metal Bullion	7	14,476,114,674	11,955,880,980
Metal Bullion on Loan	9	502,637	-
Amounts Receivable on Assets Awaiting Settlement	7	13,743,626	17,613,679
Metal Bullion Held in Respect of Fees	5	4,334,123	3,697,597
Trade and Other Receivables	6	40,062	22,305
Total Assets		14,494,735,122	11,977,214,561
Liabilities			
Metal Securities	8	14,496,623,028	11,951,720,353
Overdraft Facility	9	502,637	-
Amounts Payable on Securities Awaiting Settlement	8	13,743,626	17,613,679
Trade and Other Payables	10	4,374,182	3,719,899
Total Liabilities		14,515,243,473	11,973,053,931
Equity			
Stated Capital	11	4	4
Revaluation Reserve		(20,508,355)	4,160,626
Total Equity		(20,508,351)	4,160,630
Total Equity and Liabilities		14,494,735,122	11,977,214,561

The assets and liabilities in the above Statement of Financial Position are presented in order of liquidity from most to least liquid.

The financial statements on pages 16 to 36 were approved and authorised for issue by the board of directors and signed on its behalf on 30 April 2021.

Steven Ross
Director

The notes on pages 20 to 36 form part of these financial statements

WisdomTree Metal Securities Limited

Statement of Profit or Loss and Other Comprehensive Income



	Notes	Year ended 31 December	
		2020 USD	2019 USD
Income	3	49,427,146	39,240,687
Expenses	3	(49,427,146)	(39,240,687)
Result Before Fair Value Movements	3	-	-
Change in Fair Value of Metal Bullion	7	3,204,182,859	1,850,582,053
Change in Fair Value of Metal Securities	8	(3,228,851,840)	(1,836,571,323)
(Loss) / Profit for the Year^{1,2}		(24,668,981)	14,010,730

The directors consider the Company's activities as continuing.

¹ A non-statutory and non-GAAP Statement of Profit or Loss and Total Comprehensive Income reflecting adjustments representing the movement in the difference between the Value of Metal Bullion and the price of Metal Securities is set out in note 16.

² There are no items of Other Comprehensive Income, therefore the (Loss) / Profit for the Year also represented the Total Comprehensive Income for the Year.

The notes on pages 20 to 36 form part of these financial statements

WisdomTree Metal Securities Limited

Statement of Cash Flows



	Year ended 31 December	
	2020 USD	2019 USD
(Loss) / Profit for the Year	(24,668,981)	14,010,730
Non-cash Reconciling Items		
Change in Fair Value of Metal Bullion	(3,204,182,859)	(1,850,582,053)
Change in Fair Value of Metal Securities	3,228,851,840	1,836,571,323
	-	-
Cash Generated from Operating Activities	-	-
Net Increase in Cash and Cash Equivalents	-	-
Cash and Cash Equivalents at the Beginning of the Year	-	-
Net Increase in Cash and Cash Equivalents	-	-
Cash and Cash Equivalents at the End of the Year	-	-

Metal Securities are issued through a direct transfer of Metal Bullion from the Authorised Participants to the custodian or redeemed by the direct transfer of Metal Bullion by the custodian to the Authorised Participants. Transactions related to the Metal Bullion on Loan and the Overdraft Facilities are included within this direct transfer process with the custodian. As such the Company is not a party to any cash transactions. The creations and redemptions of Metal Securities and additions and disposals of Metal Bullion, which are non-cash transactions for the Company, are disclosed in notes 7 and 8 respectively in the reconciliation of opening to closing Metal Securities and Metal Bullion.

The Company has entered into a service agreement with WisdomTree Management Jersey Limited ("ManJer" or the "Manager"), whereby ManJer is responsible for supplying or procuring the supply of all management and administration services required by the Company, (including marketing) as well as the payment of costs relating to the listing and issue of Metal Securities. In return for these services, the Company has an obligation to remunerate ManJer with an amount equal to the aggregate of the Management Fee and the creation and redemption fees (the "ManJer Fee"). The Metal Bullion in respect of the Management Fee is transferred by the Trustee from the Company's custodian accounts to ManJer's custodian accounts. In addition, amounts in respect of the creation and redemption fees are transferred directly from the Authorised Participants to ManJer and there are no cash flows through the Company.

The notes on pages 20 to 36 form part of these financial statements

WisdomTree Metal Securities Limited

Statement of Changes in Equity

	Notes	Stated Capital USD	Retained Earnings USD	Revaluation Reserve USD
Opening Balance at 1 January 2019		4	-	(9,850,104)
Result and Total Comprehensive Expense for the Year		-	14,010,730	-
Transfer to Revaluation Reserve	16	-	(14,010,730)	14,010,730
Balance at 31 December 2019³		4	-	4,160,626
Opening Balance at 1 January 2020		4	-	4,160,626
Result and Total Comprehensive Income for the Year		-	(24,668,981)	-
Transfer to Revaluation Reserve	16	-	24,668,981	(24,668,981)
Balance at 31 December 2020²		4	-	(20,508,355)

³ A non-statutory and non-GAAP Statement of Changes in Equity reflecting adjustments representing the difference between the Value of Metal Bullion and the price is set out in note 16.

The notes on pages 20 to 36 form part of these financial statements

WisdomTree Metal Securities Limited

Notes to the Financial Statements



1. General Information

WisdomTree Metal Securities Limited (the "Company") is a company incorporated and domiciled in Jersey. The address of the registered office is Ordance House, 31 Pier Road, St. Helier, Jersey, JE4 8PW.

The purpose of the Company is to provide a vehicle that facilitates the issuance and subsequent listing and trading of securities that track the performance of precious metals without needing to take physical delivery of the precious metals ("Metal Securities"). Each class of Metal Security is issued under limited recourse arrangements whereby the holders have recourse only to the relevant platinum, palladium, silver and gold bullion ("Metal Bullion") held to support the Metal Securities and not to the Metal Bullion of any other class of Metal Security or to the Company. The Metal Securities are secured on an amount of Metal Bullion equivalent to the entitlement to that Metal Bullion in respect of each Metal Security (referred to as the "Metal Entitlement"), which is calculated in accordance with an agreed formula published in the Prospectus. The Company holds Metal Bullion to support the Metal Securities as determined by the Metal Entitlement. The Company does not make gains from trading in the underlying Metal Bullion. As a result, (and with the exception of the impact of Management Fees), from a commercial perspective gains and losses in respect of Metal Bullion will always be offset by a corresponding loss or gain on the Metal Securities and therefore commercially the Company does not retain any net gains or losses or net risk exposures. However, the difference in valuation between Metal Bullion and Metal Securities creates a mis-match between the values reported within these financial statements. This difference in valuation would be reversed on a subsequent redemption of the Metal Securities and transfer of the corresponding Metal Bullion. Further details are disclosed within the Accounting Policies and in note 16, with additional information regarding the risks of the Company disclosed in note 13. Furthermore, the Company presents an adjusted Statement of Profit or Loss and Total Comprehensive Income and an adjusted Statement of Changes in Equity in note 16 of the financial statements to reflect the economic results of the Company through the reversal of the difference in valuation between Metal Bullion and Metal Securities given the gain or loss would be reversed on a subsequent redemption of the Metal Securities and transfer of the corresponding Metal Bullion, and therefore will not be realised.

Exchange traded products are not typically actively managed, are significantly lower in cost when compared to actively managed mutual funds and are easily accessible to investors. No active trading or management of Metal Bullion is required of the Company because the Company only receives or delivers Metal Bullion on the issue and redemption of Metal Securities, and only holds Metal Bullion as determined by the Metal Entitlement of each class of Metals Security to support the Metal Securities.

The Company is entitled to:

- (1) a management fee which is calculated by reducing the Metal Entitlement of each class of Metal Security on a daily basis by an agreed amount (the "Management Fee"); and
- (2) creation and redemption fees on the issue and redemption of the Metal Securities.

No creation or redemption fees are payable to the Company when investors trade in the Metal Securities on a listed market such as the London Stock Exchange. Creation and redemption fees may also be waived with certain approved persons where applicable.

The Company has entered into a service agreement with WisdomTree Management Jersey Limited ("ManJer" or the "Manager"), whereby ManJer is responsible for supplying or procuring the supply of all management and administration services required by the Company, (including marketing) as well as the payment of costs relating to the listing and issuance of Metal Securities. In return for these services, the Company pays ManJer an amount equal to the Management Fee and the creation and redemption fees earned (the "ManJer Fee"). As a result, the Company recognises a result before fair value movements of nil for each period.

2. Accounting Policies

The main accounting policies of the Company are described below.

Basis of Preparation

The financial statements have been prepared in accordance with International Financial Reporting Standards ("IFRSs") as issued by the International Accounting Standards Board ("IASB"), and interpretations issued by the International Financial Reporting Interpretations Committee of the IASB. The financial statements have been prepared under the historical cost convention, as modified by the revaluation of physical metal bullion and financial liabilities held at fair value through profit or loss.

WisdomTree Metal Securities Limited

Notes to the Financial Statements (Continued)



2. Accounting Policies (continued)

Critical Accounting Estimates and Judgements

The presentation of financial statements in conformity with IFRSs requires the use of certain critical accounting estimates. It also requires management to exercise its judgement in the process of applying the Company's accounting policies.

The Company makes estimates and assumptions that affect the reported amounts of assets and liabilities. Estimates are continually evaluated and based on historical experience and other factors, including expectations of future events that are believed to be reasonable under the circumstances. The key accounting judgement required to prepare these financial statements are:

1. In respect of the presentation of non-statutory and non-GAAP adjustments to the Statement of Profit or Loss and Other Comprehensive Income and the Statement of Changes in Equity, as disclosed in note 16.
2. The determination of the appropriate accounting policy to be applied to Metal Bullion.
Under IFRS there is no standard treatment for the classification of physical metals (as they do not meet the definition of a financial asset, cash, inventory or property, plant or equipment) therefore the election of how to treat physical metals is left to some interpretation for companies which hold these assets. The Metal Bullion is held to provide the security holders with the exposure to changes in the fair value of Metal Bullion and therefore the Directors consider that carrying the Metal Bullion at fair value through profit or loss, consistent with the treatment that would be applicable to a financial instrument, reflects the objectives and the purpose of holding the asset.

The directors do not consider that any significant estimates have been applied in the preparation of these financial statements.

Going Concern

The nature of the Company's business dictates that the outstanding Metal Securities may be redeemed at any time by Authorised Participants and in certain circumstances the individual holders and also, in certain circumstances, may be compulsorily redeemed by the Company. As the redemption of Metal Securities will always coincide with the transfer of an equal amount (in value) of Metal Bullion, and furthermore, the Company will hold the Metal Bullion received to support the Metal Securities issued and will only transfer out Metal Bullion to facilitate the payment of Management fees or the redemption of Metal Securities, liquidity risk is mitigated such that there is no residual liquidity risk. All other expenses of the Company are met by ManJer. The directors are closely monitoring the advice and developments relating to the spread of COVID-19, particularly with its impact on ManJer, its assets under management, and therefore its related revenue streams, in respect of fulfilling the obligations under the services agreement in place. The directors consider the operations of the Company to be ongoing, with a reasonable expectation that the Company has adequate resources to continue in operational existence for a period of 12 months from the date of these financial statements, and accordingly these financial statements have been prepared on the going concern basis.

Accounting Standards

(a) *Standards, amendments and interpretations adopted in the year:*

In preparing the financial statements the Company has adopted all new or revised Standards and Interpretations in issue and effective for the year, including:

- Amendments to IAS 1 Presentation of Financial Statements
- Amendments to IAS 8 Accounting Policies, Changes in Accounting Estimates and Errors

The changes to IAS 1 and IAS 8 are changes regarding the definition of material and therefore are applicable to the Company, however these are not considered to have resulted in a significant effect on these financial statements.

WisdomTree Metal Securities Limited

Notes to the Financial Statements (Continued)

**2. Accounting Policies (continued)****Accounting Standards (continued)****(b) Standards, amendments and interpretations not applicable to the Company:**

The following standards that have been revised, issued and became effective but are not considered applicable to the Company:

- Amendments to IFRS 3 Business Combinations
- Amendments to IFRS 7 Financial Instruments: Disclosures
- Amendments to IFRS 9 Financial Instruments
- Amendments to IAS 39 Financial Instruments: Recognition and Measurement

The directors consider that the adoption of the above standards, amendments and interpretations did not have a material impact on the financial statements of the Company on the basis that the changes to IFRS 7, IFRS 9 and IAS 39 are pre-replacement issues in the context of the Interbank Offered Rate (or IBOR) reform in respect of hedge accounting.

(c) New and revised IFRSs in issue but not yet effective:

The Company has not applied the following new and revised IFRSs that have been issued but are not yet effective:

- Amendments to IFRS 16 Leases (effective for annual periods beginning on or after 1 June 2020)
- IFRS 17 Insurance Contracts (effective for annual periods beginning on or after 1 January 2023)
- Amendments to IAS 1 Presentation of Financial Statements (effective for annual periods beginning on or after 1 January 2023)
- Amendments to IAS 8 Accounting Policies, Changes in Accounting Estimates and Errors (effective for annual periods beginning on or after 1 January 2023)
- Amendments to IAS 16 Property, Plant and Equipment (effective for annual periods beginning on or after 1 January 2022)
- Amendments to IAS 37 Provisions, Contingent Liabilities and Contingent Assets (effective for annual periods beginning on or after 1 January 2022)
- Amendments to IFRS 9, IAS 39, IFRS 7, IFRS 4 and IFRS 16 to address the accounting issues that arise when financial instruments are modified from referencing an IBOR
- Annual Improvements to IFRS (impacting IFRS 1, IFRS 9 and IAS 41)

The directors do not expect the adoption of the above standards, amendments and interpretations that are in issue but not yet effective will have a material impact on the financial statements of the Company in future periods.

The directors have considered other standards and interpretations in issue but not effective and concluded that they would not have a material impact on the future financial periods when they become available.

Metal Securities**i) Issue and Redemption**

Each time a Metal Security is issued or redeemed by the Company a corresponding amount of Metal Bullion is transferred into or from the relevant secured account held by the custodian. Upon initial recognition, the fair value is recorded using the fixing price provided by the London Bullion Market Association ("LBMA") applied to the underlying Metal Bullion transferred.

Financial liabilities are recognised and de-recognised on the transaction (trade) date.

ii) Classification at fair value through Profit or Loss

Metal Securities comprise a financial instrument whose redemption price is linked to the value of the underlying Metal Bullion. Metal Securities are classified as liabilities at fair value through profit or loss under IFRS 9 to significantly reduce a measurement or recognition inconsistency that would otherwise arise from measuring assets or liabilities or recognising the gains and losses on them on different bases.

WisdomTree Metal Securities Limited

Notes to the Financial Statements (Continued)

**2. Accounting Policies (continued)****Metal Securities (continued)***iii) Pricing*

IFRS 13 requires the Company to identify the principal market and to utilise the available price within that principal market. The directors consider that the stock exchanges where the Metal Securities are listed to be the principal market and as a result the fair value of the Metal Securities is the on-exchange price as quoted on the stock exchange demonstrating active trading with the highest trading volume on each day that the price is obtained. The Metal Securities are priced using the mid-market price on the Statement of Financial Position date taken just at the time the relevant bullion fix price is set.

A difference arises between the value of Metal Bullion (held to support the Metal Securities) and Metal Securities (at market value) presented in the Statement of Financial Position. This difference is reversed on a subsequent redemption of the Metal Securities and transfer of the corresponding Metal Bullion.

Metal Bullion

The Company holds Metal Bullion equal to the amount due to holders of Metal Securities solely for the purposes of meeting its obligations under the Metal Securities.

As described above, under IFRS there is no standard treatment for the classification of physical metals. The Metal Bullion is held to provide the security holders with the exposure to changes in the fair value of Metal Bullion and therefore the Directors consider that carrying the Metal Bullion at fair value through profit or loss, consistent with the treatment that would be applicable to a financial instrument, reflects the objectives and the purpose of holding the asset.

Metal Bullion is priced on a daily basis based on the amount of Metal Bullion held using the latest fixing price provided by the LBMA, and is considered to be the fair value of the Metal Bullion. Also on a daily basis an amount is transferred to Metal Bullion Held in Respect of the Management Fees. This valuation of the Metal Bullion is equivalent to the LBMA fixing price being applied to the total Metal Entitlement of each class of Metal Security, and is referred to as the 'Contractual Value'.

Metal Bullion and Metal Securities Awaiting Settlement

The issue and redemption of Metal Securities, and the transfer in and out of Metal Bullion, is accounted for on the transaction date. The transaction will not settle until two days after the transaction date. Where transactions are awaiting settlement at the year end, the value of the Metal Bullion and the Metal Securities due to be settled is separately disclosed within the relevant assets and liabilities on the Statement of Financial Position. The fair value of these receivables and payables is considered equivalent to their carrying value.

Metal Bullion Held in Respect of Management Fees and Management Fee Payable in Metal Bullion

Management Fees income is accrued by reducing the Metal Entitlement of each class of Metal Security on a daily basis by an agreed amount. These fees are recognised in Metal Bullion, recorded at fair value through profit or loss in accordance with the accounting judgement set out above in respect of Metal Bullion. The amount recognised at the Statement of Financial Position date is revalued using the latest price published by the LBMA.

Management Fees payable are also accrued based on the income accrued in accordance with the agreement with ManJer. These fees are payable in Metal Bullion, recorded at fair value through profit or loss to significantly reduce a measurement or recognition inconsistency that would otherwise arise from measuring assets or liabilities, or recognising the gains and losses on them, on different bases. The payable at the Statement of Financial Position date is revalued using the latest price published by the LBMA.

Overdraft Facility

The Company has entered into three agreements with the custodians which each allow for the loan of up to one bullion bar of gold (collectively the "Overdraft Facility"). The Overdraft Facility is denominated in ounces of Metal Bullion, repayable in ounces of Metal Bullion equivalent to the Metal Bullion on Loan. The Overdraft Facility is recorded at the fair value of the ounces of Metal Bullion using the latest fixing price provided by the LBMA and changes in fair value are recognised through profit or loss.

WisdomTree Metal Securities Limited

Notes to the Financial Statements (Continued)



2. Accounting Policies (continued)

Metal Bullion on Loan

The gold held under the Overdraft Facility (the "Metal Bullion on Loan") is used by the Company to ensure all WisdomTree Physical Swiss Gold Securities, WisdomTree Physical Gold and WisdomTree Core Physical Gold Securities, respectively, are supported by holdings of gold in allocated form. The Metal Bullion on Loan is recorded at fair value using the latest fixing price provided by the LBMA. Changes in fair value are recognised through profit or loss.

Reserves

A revaluation reserve and a retained earnings reserve are maintained within equity. All profit or loss is taken to the retained earnings reserve at the end of the accounting period to which it relates and the gain or loss relating to the mis-match of accounting values is transferred to the non-distributable revaluation reserve as the balance relates to unrealised gains and losses on Metal Bullion (held to support the Metal Securities) and Metal Securities, which will be reversed on a subsequent redemption of the Metal Securities and the related transfer of Metal Bullion and will therefore not be realised.

Other Financial Assets and Liabilities

Other financial assets and liabilities are non-derivative financial assets and liabilities including trade and other receivables and trade and other payables (primarily Creation and Redemption Fees) with a fixed payment amount and are not quoted in an active market. After initial measurement the other financial assets and liabilities are subsequently measured at amortised cost using the effective interest method less any allowance for expected credit losses. The effective interest method is a method of calculating the amortised cost of an instrument and of allocating interest over the relevant period. The effective interest rate is the rate that exactly discounts estimated future cash flows (including all fees paid or received that form an integral part of the effective interest rate, transaction costs and other premiums or discounts) through the expected life of the instrument, or, where appropriate, a shorter period, to the net carrying amount on initial recognition. Impairment losses, including reversals of impairment losses and impairment gains, are recorded through profit or loss.

Income

The Company derives income over time (in respect of Management Fees), and at a point in time (in respect of creation and redemption fees) as follows:

i) Management Fees

Management Fees are calculated by applying a fixed percentage to reduce the Metal Entitlement of each class of Metal Security on a daily basis in accordance with the terms of the securities issued. The change in Metal Entitlement reduces the value of the Metal Securities. This reduction equates to the Management Fee amount in the relevant Metal Bullion, that is recognised for that day per each Metal Security in issue on that day. The Management Fees are accrued and recognised on a daily basis, until invoiced and settled by transfer of the relevant Metal Bullion. The amount recognised as income is calculated by applying the average LBMA fixing price to the total Management Fee accrued on a monthly basis.

ii) Creation and Redemption Fees

Fees for the issue and redemption of Metal Securities are recognised at the fair value of the consideration expected to be received, on the date on which the transaction becomes legally binding. Accrued creation and redemption fees are invoiced and settled on a quarterly basis.

Foreign Currency

The financial statements of the Company are presented in the currency in which the majority of the Metal Securities issued by the Company are denominated (its functional currency). For the purpose of the financial statements, the results and financial position of the Company are expressed in United States Dollars, which is the functional currency of the Company and the presentational currency of the financial statements.

Transactions in foreign currencies are initially recorded at the spot rate at the date the transaction. Monetary assets and liabilities denominated in foreign currencies at the year-end date are translated at rates ruling at that date. Creation and redemption fees are translated at the average rate for the month in which they are incurred. The resulting differences are accounted for through profit or loss.

WisdomTree Metal Securities Limited

Notes to the Financial Statements (Continued)



2. Accounting Policies (continued)

Segmental Reporting

IFRS 8 requires operating segments to be identified on the basis of internal reports about components of the Company that are regularly reviewed by the Chief Operating Decision Maker ("CODM") in order to allocate resources to the segments and to assess their performance. The CODM has been determined as the board of directors. A segment is a distinguishable component of the Company that is engaged either in providing products or services (business segment), or in providing products and services within a particular economic environment (geographical segment), which is subject to risks and rewards that are different from those of other segments.

The Company has not provided segmental information as the Company has only one business or product group, precious metals, and one geographical segment which is Europe. In addition, the Company has no single major customer from which greater than 10% of income is generated. All information relevant to the understanding of the Company's activities is included in these financial statements.

3. Result Before Fair Value Movements

Result Before Fair Value Movements for the year comprised:

	Year ended 31 December	
	2020 USD	2019 USD
Creation and Redemption Fees	62,859	42,413
Management Fees	49,364,287	39,198,274
Total Income	49,427,146	39,240,687
ManJer Fees	(49,427,146)	(39,240,687)
Total Operating Expenses	(49,427,146)	(39,240,687)
Result Before Fair Value Movements	-	-

Audit Fees for the year of GBP 23,560 will be met by ManJer (2019: GBP 20,560).

4. Taxation

The Company is subject to Jersey Income Tax. During the year the Jersey Income Tax rate applicable to the Company is zero percent (2019: zero percent).

5. Metal Bullion Held in Respect of Management Fees

	As at 31 December	
	2020 USD	2019 USD
Management Fees	4,334,123	3,697,597

Management Fees are recognised in Metal Bullion and are recorded at fair value.

WisdomTree Metal Securities Limited

Notes to the Financial Statements (Continued)



6. Trade and Other Receivables

	As at 31 December 2020 USD	2019 USD
Creation and Redemption Fees	40,058	22,301
Receivable from Related Party	4	4
	<u>40,062</u>	<u>22,305</u>

The fair value of the receivables is equal to the carrying value. The Trade and Other Receivables are due to be recovered within 12 months of the year end.

7. Metal Bullion

	As at 31 December 2020 USD	2019 USD
Change in Fair Value of Metal Bullion	<u>3,204,182,859</u>	<u>1,850,582,053</u>
Metal Bullion at Fair Value	<u>14,476,114,674</u>	<u>11,955,880,980</u>

As at 31 December 2020, there were certain amounts of Metal Bullion awaiting the settlement in respect of the creation or redemption of Metal Securities with transaction dates before the year end and settlement dates in the following year:

- The amount receivable as a result of unsettled redemptions is USD 13,743,626 (2019: USD 17,613,679).

All Metal Bullion assets have been valued using the AM fix on 31 December 2020 as published by the LBMA being the last fix prices available for the year.

The below reconciliation of changes in the Metal Bullion includes only non-cash changes.

	Year ended 31 December 2020 USD	2019 USD
Opening Metal Bullion	11,955,880,980	8,618,842,192
Additions	6,181,466,495	6,739,191,265
Disposals	(6,816,051,373)	(5,213,536,256)
Metal Bullion Transferred to Metal Bullion Held in Respect of Management Fees	(49,364,287)	(39,198,274)
Change in Fair Value	3,204,182,859	1,850,582,053
Closing Metal Bullion	<u>14,476,114,674</u>	<u>11,955,880,980</u>

8. Metal Securities

Whilst the Metal Securities are quoted on the open market, the Company's ultimate liability relates to its contractual obligations to issue and redeem Metal Securities in exchange for Metal Bullion as determined by the Metal Entitlement of each class of Metal Security on each trading day. The fair value of each creation and redemption of Metal Securities is recorded using the price provided by the LBMA on the transaction date, and is the "Contractual Value". The issue and redemption of Metal Securities is recorded at a value that corresponds to the value of the Metal Bullion transferred in respect of the issue and redemption. As a result, the Company has no net exposure to gains or losses on the Metal Securities and Metal Bullion.

WisdomTree Metal Securities Limited

Notes to the Financial Statements (Continued)

**8. Metal Securities (continued)**

The Company measures the Metal Securities at their fair value in accordance with IFRS 13 rather than at the Contractual Value described above. The fair value is the price quoted on stock exchanges or other markets where the Metal Securities are listed or traded. The fair values and changes thereof during the year based on prices available on the open market as recognised in the financial statements are:

	As at 31 December 2020 USD	2019 USD
Change in Fair Value of Metal Securities	(3,228,851,840)	(1,836,571,323)
Metal Securities at Fair Value	14,496,623,028	11,951,720,353

The contractual redemption values and changes thereof during the year based on the contractual settlement values are:

	As at 31 December 2020 USD	2019 USD
Change in Contractual Redemption Value for the Year	(3,204,182,859)	(1,850,582,053)
Metal Securities at Contractual Redemption Value	14,476,114,674	11,955,880,980

The gain or loss on the difference between the value of the Metal Bullion and the fair value of Metal Securities would be reversed on a subsequent redemption of the Metal Securities and transfer of the corresponding Metal Bullion. Refer to note 16 for the non-statutory and non-GAAP adjustments which reflect the results of this reversal.

As at 31 December 2020, there were certain Metal Securities awaiting settlement in respect of creations or redemptions with transaction dates before the year end and settlement dates in the following year:

- The amount payable as a result of unsettled redemptions of Metal Securities is USD 13,743,626 (2019: USD 17,613,679).

The below reconciliation of changes in the Metal Securities, being liabilities arising from financing activities, includes only non-cash changes.

	Year ended 31 December 2020 USD	2019 USD
Opening Metal Securities	11,951,720,353	8,628,692,295
Securities Created	6,181,466,495	6,739,191,265
Securities Redeemed	(6,816,051,373)	(5,213,536,256)
Management Fee	(49,364,287)	(39,198,274)
Change in Fair Value	3,228,851,840	1,836,571,323
Closing Metal Securities at Fair Value	14,496,623,028	11,951,720,353

WisdomTree Metal Securities Limited

Notes to the Financial Statements (Continued)

**9. Overdraft Facility**

Overdraft agreements were entered into during the year with the custodians (one with JP Morgan Chase Bank, NA ("JP Morgan"), effective from 1 October 2020, and two with HSBC Bank plc ("HSBC"), effective from 20 November 2020 and 3 December 2020). Each agreement allows for the loan of up to one bullion bar of gold (collectively the "Overdraft Facility"). The gold held under the Overdraft Facility (the "Metal Bullion on Loan") is used by the Company to ensure all WisdomTree Physical Swiss Gold Securities, WisdomTree Physical Gold and WisdomTree Core Physical Gold Securities, respectively, are supported by holdings of gold in allocated form.

The Company had Metal Bullion drawn under the Overdraft Facilities as follows:

	As at 31 December 2020		As at 31 December 2019	
	Troy Ounces	USD	Troy Ounces	USD
Gold on Loan from JP Morgan	25,155	47,570	-	-
Gold on Loan from HSBC	240,636	455,067	-	-
		<u>502,637</u>		<u>-</u>

The Metal Bullion on Loan and the Overdraft Facilities are recorded at the fair value of the Metal Bullion.

10. Trade and Other Payables

	As at 31 December	
	2020	2019
	USD	USD
ManJer Fees Payable	<u>4,374,182</u>	<u>3,719,899</u>

Management Fees payable by transfer of Metal Bullion are recorded at fair value. The fair value of the remaining payables is equal to the carrying value. The ManJer Fee Payable is due to be settled within 12 months of the year end.

11. Stated Capital

	As at 31 December	
	2020	2019
	USD	USD
2 Shares of Nil Par Value, Issued at GBP 1 Each and Fully Paid	<u>4</u>	<u>4</u>

The Company can issue an unlimited capital of nil par value shares in accordance with its Memorandum of Association.

All Shares issued by the Company carry one vote per Share without restriction and carry the right to dividends. All Shares are held by WisdomTree Holdings Jersey Limited ("HoldCo").

WisdomTree Metal Securities Limited

Notes to the Financial Statements (Continued)

**12. Related Party Disclosures**

Entities and individuals which have significant influence over the Company, either through ownership or by virtue of being a director of the Company are considered to be related parties. In addition, entities with common ownership to the Company and entities with common directors are also considered to be related parties.

Fees charged by ManJer during the year:

	Year ended 31 December	
	2020 USD	2019 USD
ManJer Fees	49,427,146	39,240,687

The following balances were due to ManJer at the year end:

	As at 31 December	
	2020 USD	2019 USD
ManJer Fees Payable	4,374,182	3,719,899

At 31 December 2020, USD 4 is receivable from ManJer (2019: USD 4). As disclosed in the Directors' Report, ManJer paid Directors' Fees in respect of the Company of GBP 16,000 (2019: GBP 16,000).

Steven Ross is a director of R&H Fund Services (Jersey) Limited ("R&H" or the "Administrator") and a partner of Rawlinson & Hunter, Jersey Partnership which wholly owns R&H. Christopher Foulds is a senior employee of R&H. During the year, R&H charged ManJer administration fees in respect of the Company of GBP 134,504 (2019: GBP 126,741), of which GBP 33,626 (2019: GBP 33,741) was outstanding at the year end.

Peter Ziembra and Stuart Bell are executive officers of WisdomTree Investments, Inc.

13. Financial Risk Management

The Company is exposed to a number of risks arising from its activities, including credit risk, liquidity risk, settlement risk and market risk. The Board is responsible for the overall risk management approach and for approving the risk management strategies and principles. The Board meets frequently to consider the risk exposures of the Company and to determine appropriate management policies. The risk management policies employed by the Company to manage these are discussed below.

The Metal Securities are subject to normal market fluctuations and other risks inherent in investing in securities and other financial instruments. There can be no assurance that any appreciation in the value of securities will occur, and the capital value of an investor's original investment is not guaranteed. The value of investments may go down as well as up, and an investor may not get back the original amount invested.

The information provided below is not intended to be a comprehensive summary of all the risks associated with the Metal Securities and investors should refer to the most recent Prospectus for a detailed summary of the risks inherent in investing in the Metal Securities. Any data provided should not be used or interpreted as a basis for future forecast or investment performance.

(a) Credit Risk

Credit risk primarily refers to the risk that Authorised Participants or the custodian will default on its contractual obligations resulting in financial loss. Each class of Metal Security is issued under limited recourse arrangements whereby the holders have recourse only to the relevant Metal Bullion (held to support the Metal Securities) and not to the Metal Bullion of any other class of Metal Security or to the Company, therefore limiting the credit risk of the Company in connection with the issue of the Metal Securities.

WisdomTree Metal Securities Limited

Notes to the Financial Statements (Continued)

**13. Financial Risk Management (continued)***(a) Credit Risk (continued)*

The total carrying amounts of the amounts receivable awaiting settlement and trade and other receivables best represent the maximum credit risk exposure at the Statement of Financial Position date. At the reporting date the Company's amounts receivable awaiting settlement and trade and other receivables are detailed on the Statement of Financial Position.

Credit risk is managed by the Company by only dealing with Authorised Participants who are believed to be creditworthy. In the event the authorised participants fail to complete their obligation, no Metal Securities will be created therefore the Company does not have the risk of loss of the amount expected to be received.

Credit risk also includes custodial risk. The custodian is not required to take out insurance and neither is the Trustee. Accordingly, there is a risk that the secured Metal Bullion could be lost, stolen or damaged and the Company would not be able to satisfy its obligations in respect of the Metal Securities. Currently the Company has two custodians, HSBC and JP Morgan. At the reporting date the exposure to the custodians was split approximately 75% and 25% (2019: 78% and 22%) respectively.

The Board monitors credit risk exposure to ensure the Company's exposure is managed, and has continued to do so more closely with a focus on any potential impact of, or developments relating to the spread of COVID-19, which is fluid and rapidly changing.

(b) Settlement Risk

Settlement risk primarily refers to the risk that an Authorised Participant will default on its contractual obligations resulting in financial loss.

The directors believe that settlement risk would only be caused by the risk of the Company's trading counterparty not delivering Metal Bullion or Metal Securities on the settlement date. The Metal Securities settle through the CREST system. The directors feel that this risk is mitigated as Metal Securities are not issued until the required amount of Metal Bullion has been received in the custodian account, and Metal Bullion is not transferred until the relevant Metal Securities have been delivered in CREST. As a result, each transaction does not settle until both parties have fulfilled their contractual obligations.

Amounts outstanding in respect of positions yet to settle are disclosed in notes 7 and 8.

(c) Liquidity Risk

Liquidity risk is the risk that the Company will encounter difficulty in meeting the obligations associated with its financial liabilities as they fall due. The Company's receivables and payables are all payable on demand and generally settled on a short term basis. In addition, amounts in respect of the management fee and creation and redemption fees are transferred from the relevant counterparties directly to ManJer and there are no cash flows through the Company.

The Metal Securities do not have a contractual maturity date and will only be redeemed at the request of the holder of the security, which may be requested at any time, with the transaction settling through the transfer of the required Metal Bullion two days after the transaction date, or in the case of a compulsory redemption by either transferring the required Metal Bullion, or by realising the Metal Bullion for cash and settling the cash proceeds to holders on a short-term basis. Generally, only Security Holders who have entered into an authorised participant agreement with the Company can submit applications and redemptions directly with the Company.

When Metal Securities are redeemed, the Company returns the corresponding amount of Metal Bullion determined by the Metal Entitlement of those Metal Securities, therefore the redemption of Metal Securities would not impact the liquidity of the Company.

Consequently, the Company has not presented any tabular information in respect of liquidity risk.

WisdomTree Metal Securities Limited

Notes to the Financial Statements (Continued)

**13. Financial Risk Management (continued)***(d) Capital Management*

The primary objective of the Company's capital management policy is to ensure that it maintains sufficient resources for operational purposes. The capital being managed is the Stated Capital as presented in the Statement of Changes in Equity. Retained Earnings and the Revaluation Reserve, as presented in the Statement of Changes in Equity, are not considered managed capital as these balances relate to unrealised gains and losses on Metal Bullion (held to support the Metal Securities) and Metal Securities, which are reversed on a subsequent redemption of the Metal Securities and the related transfer of Metal Bullion and will therefore not be realised. The Company is not subject to any capital requirements imposed by a regulator and there were no changes in the Company's approach to capital management during the year.

The Company's principal activity is the issue and listing of Metal Securities. These securities are issued and redeemed as demand requires. The Company holds a corresponding amount of Metal Bullion which matches the total liability of the Metal Securities issued. ManJer supplies or arranges the supply of all management and administration services to the Company and pays all management and administration costs of the Company, including Trustee and Custodian Fees. In return for these services the Company pays a Management Fee, which under the terms of the service agreement is equal to the aggregate of the Management Fee and creation and redemption fees earned.

As all Metal Securities on issue are supported by an equivalent amount of physical bullion held by the custodian and the running costs of the Company were paid by ManJer, the directors of the Company consider the capital management and its current capital resources are adequate to maintain the ongoing listing and issue of Metal Securities.

(e) Sensitivity Analysis

IFRS 7 requires disclosure of a sensitivity analysis for each type of market risk to which the entity is exposed to at the reporting date, showing how profit or loss and equity would have been affected by a reasonably possible change to the relevant risk variable.

The Company's rights and liability in respect of Metal Securities relates to its contractual obligations to issue and redeem Metal Securities in exchange for Metal Bullion as determined by the Metal Entitlement of each class of Metal Security on each trading day. The fair value of each creation and redemption of Metal Securities is recorded using the price provided by the LBMA on the transaction date. As a result, the Company's contractual and economic liability in connection with the issue of Metal Securities is matched by movements in the value of the corresponding Metal Bullion. Consequently, the Company does not have any net exposure to market price risk. Therefore, in the directors' opinion, no sensitivity analysis is required to be disclosed.

(f) Market Risk

Market risk is the risk that changes in market prices (such as equity and bullion prices, interest rates and foreign exchange rates) will affect the Company's income or the value of its financial instruments held or issued.

i) Price Risk

The value of the Company's liability in respect of the Metal Securities fluctuates according to the Metal Bullion prices and the risk of such change in price is managed by the Company by holding Metal Bullion in the same quantity as its liability. Whilst the Metal Securities are quoted on the open market, the Company's ultimate liability relates to its contractual obligations to issue and redeem Metal Securities in exchange for Metal Bullion as determined by the Metal Entitlement on each trading day. The Company measures the Metal Securities at their fair value in accordance with IFRS 13 rather than at the Contractual Value (as described in the Prospectus). The gain or loss on the difference between the value of the Metal Bullion and the fair value of Metal Securities would be reversed on a subsequent redemption of the Metal Securities and transfer of the corresponding Metal Bullion. Refer to note 8 for the further details regarding fair values.

Therefore, the Company bears no residual financial risk from a change in the price of Metal Bullion. Furthermore, the impact of price sensitivity is considered immaterial to these financial statements.

WisdomTree Metal Securities Limited

Notes to the Financial Statements (Continued)

**13. Financial Risk Management (continued)***(f) Market Risk (continued)**i) Price Risk (continued)*

However, there is an inherent risk from the point of view of investors as the price of Metal Bullion and the value of the Metal Securities may vary widely due to, amongst other things, changing supply or demand for Metal Bullion, government and monetary policy or intervention and global or regional political, economic or financial events. The market price of Metal Securities is (and will remain) a function of supply and demand amongst investors wishing to buy and sell Metal Securities and the bid or offer spread that the market makers are willing to quote. This is highlighted further in note 16, and below under the Fair Value Hierarchy.

Coronavirus disease (COVID-19)

The COVID-19 pandemic continues to persist and the ultimate duration of the pandemic and its short-term and long-term impact on the global economy is unknown. National governments and supranational organisations in multiple states continue taking steps designed to protect their populations from COVID-19, including requiring or encouraging home working, the cancellation of sporting, cultural and other events and restricting or discouraging gatherings of people.

COVID-19 has created market turmoil and increased market volatility generally. Mutations in the virus, a setback in vaccine distribution and negative global economic consequences arising from the pandemic, amongst other factors, could have a future adverse impact on the global financial markets. The steps outlined above, and public sentiment, may affect both the volatility and prices of commodities and hence the prices of the Securities, and such effects may be significant and may be long-term in nature. The directors are closely monitoring the advice and developments relating to the spread of COVID-19, particularly with its impact on ManJer, its assets under management, and therefore its related revenue streams, in respect of fulfilling the obligations under the services agreement. The directors' consideration in respect of the going concern position of the Company is set out in note 2.

ii) Interest Rate Risk

The Company does not have significant exposure to interest rate risk as neither the Metal Bullion or the Metal Securities bear any interest.

iii) Currency Risk

The directors do not consider the Company to have a significant exposure to currency risk arising from the current economic uncertainties facing a number of countries around the world as the gains or losses on the liability represented by the Metal Securities are matched economically by corresponding losses or gains attributable to the Metal Bullion.

(g) Fair Value Hierarchy

The levels in the hierarchy are defined as follows:

- Level 1 fair value based on quoted prices in active markets for identical assets.
- Level 2 fair values based on valuation techniques using observable inputs other than quoted prices.
- Level 3 fair values based on valuation techniques using inputs that are not based on observable market data.

Categorisation within the hierarchy is determined on the basis of the lowest level input that is significant to the fair value measurement of each relevant asset/liability.

The Company is required to utilise the available on-market price as the Metal Securities are quoted and actively traded on the open market. Therefore, Metal Securities are classified as Level 1 financial liabilities.

WisdomTree Metal Securities Limited

Notes to the Financial Statements (Continued)

**13. Financial Risk Management (continued)***(g) Fair Value Hierarchy (continued)*

The Company holds Metal Bullion to support the Metal Securities as determined by the Metal Entitlement (which is calculated in accordance with an agreed formula published in the Prospectus). Metal Bullion is marked to fair value using the latest price published by the LBMA. The Company has contractual obligations to issue and redeem Metal Securities in exchange for Metal Bullion as determined by the Metal Entitlement of each class of Metal Security on each trading day. The fair value of each creation and redemption of Metal Securities is recorded using the price provided by the LBMA on the transaction date applied to that Metal Entitlement. Therefore, Metal Bullion is classified as a level 2 asset, as the value is calculated using third party pricing sources supported by observable, verifiable inputs.

As disclosed in notes 2 and 9, the Company holds Metal Bullion on Loan under the Overdraft Facility, which are recorded at fair value using the latest price published by the LBMA. Therefore, Metal Bullion on Loan is classified as a level 1 asset, as the value is calculated using third party pricing sources, and the Overdraft Facilities are classified as a Level 2 liability as the value is calculated using third party pricing sources supported by observable, verifiable inputs.

The categorisation of the Company's assets and (liabilities) are as shown below:

	Fair Value as at 31 December	
	2020 USD	2019 USD
Level 1		
Metal Securities	<u>(14,496,623,028)</u>	<u>(11,951,720,353)</u>
Level 2		
Overdraft Facility	(502,637)	-
Metal Bullion on Loan	502,637	-
Metal Bullion	14,476,114,674	11,955,880,980
	<u>14,476,114,674</u>	<u>11,955,880,980</u>

Each of the Metal Securities, Overdraft Facility, the Metal Bullion on Loan and the Metal Bullion are recognised at fair value through profit or loss upon initial recognition and revalued to fair value in line with the Company's accounting policy. There are no assets or liabilities classified in level 3. Transfers between levels would be recognised if there was a change in circumstances that prevented public information in respect of Level 1 inputs from being available. Any such transfers would be recognised on the date of the change in circumstances that cause the transfer. There were no transfers or reclassifications between Level 1 and Level 2 for any of the assets or liabilities during the year.

14. Ultimate Controlling Party

In accordance with the disclosure requirements of IFRS the directors have determined that no entity meets the definition of immediate parent or ultimate controlling party. The holder of issued equity shares is HoldCo, a Jersey registered company. WisdomTree Investments, Inc is the ultimate controlling party of HoldCo.

15. Events Occurring After the Reporting Period

There have been no significant events that have occurred since the end of the reporting period up to the date of signing the Financial Statements which would impact on the financial position of the Company disclosed in the Statement of Financial Position as at 31 December 2020 or on the results and cash flows of the Company for the year ended on that date.

WisdomTree Metal Securities Limited

Notes to the Financial Statements (Continued)

**16. Non-GAAP and Non-Statutory Information**

As a result of the mis-match in the accounting valuation of Metal Bullion (held to support the Metal Securities) and Metal Securities (as disclosed in notes 7 and 8) the profits and losses and comprehensive income of the Company presented in the Statement of Profit or Loss and Other Comprehensive Income reflect gains and losses which represent the movement in the cumulative difference between the value of the Metal Bullion and the price of Metal Securities. The Statement of Changes in Equity also reflects the fair value movements on both the Metal Bullion (held to support the Metal Securities) and the Metal Securities.

These gains or losses on the difference between the value of the Metal Bullion (held to support the Metal Securities) and the price of Metal Securities would be reversed on a subsequent redemption of the Metal Securities and transfer of the corresponding Metal Bullion.

Furthermore, each class of Metal Security is issued under limited recourse arrangements whereby the holders have recourse only to the relevant Metal Bullion (held to support the Metal Securities) and not to the Metal Bullion of any other class of Metal Security or to the Company. As a result, the Company does not make gains from trading in the underlying Metal Bullion (held to support the Metal Securities) and, from a commercial perspective (with the exception of the impact of Management Fees) gains and losses in respect of Metal Bullion (held to support the Metal Securities) will always be offset by a corresponding loss or gain on the Metal Securities and the Company does not retain any net gains or losses.

The mismatched accounting values are as shown below:

	Year ended 31 December	
	2020 USD	2019 USD
Change in Fair Value of Metal Bullion	3,204,182,859	1,850,582,053
Change in Fair Value of Metal Securities	(3,228,851,840)	(1,836,571,323)
	(24,668,981)	14,010,730

To reflect the commercial results, the Company has presented below a non-GAAP and non-Statutory Statement of Profit or Loss and Total Comprehensive Income and Statement of Changes in Equity for the period which reflect an Adjustment from Market Value to Contractual Value (as set out in the Prospectus) of Metal Securities, together with those gains or losses being transferred to a separate reserve which is deemed non-distributable.

WisdomTree Metal Securities Limited

Notes to the Financial Statements (Continued)

**16. Non-GAAP and Non-Statutory Information (continued)***(a) Non-GAAP and Non-Statutory Statement of Profit or Loss and Other Comprehensive Income*

	Year ended 31 December	
	2020	2019
	USD	USD
Income	49,427,146	39,240,687
Expenses	(49,427,146)	(39,240,687)
Result Before Fair Value Movements	-	-
Change in Fair Value of Metal Bullion	3,204,182,859	1,850,582,053
Change in Fair Value of Metal Securities	(3,228,851,840)	(1,836,571,323)
(Loss) / Profit for the Year	(24,668,981)	14,010,730
Adjustment from Market Value to Contractual Value (as set out in the Prospectus) of Metal Securities	24,668,981	(14,010,730)
Adjusted Result	-	-

WisdomTree Metal Securities Limited

Notes to the Financial Statements (Continued)

16. Non-GAAP and Non-Statutory Information (continued)

(b) Non-GAAP and Non-Statutory Statement of Changes in Equity

	Stated Capital USD	Retained Earnings USD	Revaluation Reserve ⁴ USD	Total Equity USD
Opening Balance at 1 January 2019	4	-	(9,850,104)	(9,850,100)
Result and Total Comprehensive Expense for the Year	-	14,010,730	-	14,010,730
Transfer to Revaluation Reserve	-	(14,010,730)	14,010,730	-
Adjustment from Market Value to Contractual Value (as set out in the Prospectus) of Metal Securities	-	-	-	-
Balance at 31 December 2019	4	-	4,160,626	4,160,630
Opening Balance at 1 January 2020	4	-	4,160,626	4,160,630
Result and Total Comprehensive Income for the Year	-	(24,668,981)	-	(24,668,981)
Transfer to Revaluation Reserve	-	24,668,981	(24,668,981)	-
Adjustment from Market Value to Contractual Value (as set out in the Prospectus) of Metal Securities	-	-	-	-
Balance at 31 December 2020	4	-	(20,508,355)	(20,508,351)

⁴ This represents the difference between the Value of Metal Bullion and the price of Metal Securities.

(5) 【投資有価証券明細表等】

【投資株式明細表】

該当ありません。

【株式以外の投資有価証券明細表】

該当ありません。

【投資不動産明細表】

該当ありません。

【その他投資資産明細表】

	2020年12月31日	2019年12月31日
発行済み上場投資信託のための担保として公正価格で保有されている棚卸資産	米ドル（千円）	米ドル（千円）
白金	651,004,574 (71,932,750)	563,102,805 (62,220,044)
パラジウム	248,737,191(27,484,216)	212,108,361 (23,436,913)
銀	2,477,699,512 (273,773,408)	1,252,611,086 (138,407,262)
金	7,451,599,566 (823,364,494)	7,252,374,616 (801,351,133)
金（スイス保管）	3,636,386,753 (401,802,554)	2,675,684,113 (295,649,716)
金（コア保管）	10,687,081 (1,180,869)	-
合計	14,476,114,677 (1,599,538,291)	11,955,880,981 (1,321,065,069)

白金は、ロンドン白金・パラジウム市場における2020年12月31日午前値決めによる一トロイ・オンス当たり1,075.000米ドル（118,782円）（2019年：971.000米ドル（107,291円））の価格を用いて、市場価値により記録されています。

パラジウムは、ロンドン白金・パラジウム市場における2020年12月31日午前値決めによる一トロイ・オンス当たり2,370.000米ドル（261,873,207,274円）（2019年：1,920.000米ドル（212,150円））の価格を用いて、市場価値により記録されています。

銀は、ロンドン地金市場協会における2020年12月31日値決めによる一トロイ・オンス当たり26.485米ドル（2,926円）（2019年：18.045米ドル（1,994円））の価格を用いて、市場価値により記録されています。

金は、ロンドン地金市場協会における2020年12月31日午前値決めによる一ファイン・トロイ・オンス当たり1,891.100米ドル（208,957円）（2019年：1,523.000米ドル（168,284円））の価格を用いて、市場価値により記録されています。

2020年12月31日現在、期末及び翌年の決済日前が取引日となる証券の設立（又は償還）を控える貴金属地金がありました。これらの取引が完了した場合に受領し得る（又は支払われる）額は、13,743,626米ドル（1,518,601,955円）（2019年：17,613,679米ドル（1,946,223,461円））です。期末現在、期末前の取引日で、翌期に決済日の予定の外国投資法人債券の設定待ち、償還待ちの貴金属地金はありませんでした。

期間中に保有された貴金属地金の変動は以下のとおりです。

白金

	オンス	米ドル	円
前期繰越額	579,920.489	563,102,804.81	62,220,044,417.03
設定額	336,887.224	302,209,148.31	33,392,599,841.96
償還額	(308,424.396)	(267,910,488.50)	(29,602,769,426.70)
管理・運用 報酬	(2,797.686)	(2,476,067.16)	(273,593,041.14)
公正価値の 変動	-	56,079,176.71	6,196,468,630.41
次期繰越額	605,585.650	651,004,574.16	71,932,750,421.56

パラジウム

	オンス	米ドル	円
前期繰越額	110,473.084	212,108,360.699	23,436,913,315.44
設定額	42,763.930	94,818,297.022	10,476,947,729.45
償還額	(47,765.464)	(106,985,064.541)	(11,821,314,706.46)
管理・運用 報酬	(519.160)	(1,138,565.395)	(125,805,783.31)
公正価値の 変動	-	49,934,163.161	5,517,475,358.43
次期繰越額	104,952.406	248,737,190.946	27,484,215,913.55

銀

	オンス	米ドル	円
前期繰越額	69,415,964.008	1,252,611,086.540	138,407,262,007.23
設定額	72,489,864.813	1,457,402,600.302	161,035,700,320.41
償還額	(47,947,280.819)	(996,874,700.974)	(110,149,670,084.14)
管理・運用 報酬	(407,500.810)	(8,544,810.658)	(944,158,853.67)
公正価値の 変動	-	773,105,333.195	85,424,273,791.40
次期繰越額	93,551,048.080	2,477,699,508.405	273,773,407,181.24

金

	オンス	米ドル	円
前期繰越額	4,761,900.535	7,252,374,614.498	801,351,133,028.92
設定額	1,691,983.879	2,920,665,112.435	322,718,891,598.47
償還額	(2,495,725.292)	(4,373,293,747.078)	(483,227,092,583.42)
管理・運用 報酬	(17,807.202)	(31,466,734.512)	(3,476,916,829.91)
公正価値の 変動	-	1,683,320,476.311	185,998,496,030.01
次期繰越額	3,940,351.978	7,451,599,721.653	823,364,511,244.07

金（スイス保管）

	オンス	米ドル	円
前期繰越額	1,756,851.019	2,675,684,114.347	295,649,716,214.74

設定額	805,061.656	1,395,905,027.423	154,240,526,005.11
償還額	(635,765.032)	(1,070,987,372.047)	(118,338,749,674.37)
管理・運用報酬	(3,252.640)	(5,737,194.549)	(633,931,311.66)
公正価値の変動	-	641,522,177.705	70,884,993,025.49
次期繰越額	<u>1,922,895.010</u>	<u>3,636,386,752.879</u>	<u>401,802,554,259.32</u>

金（コア保管）

	オンス	米ドル	円
前期繰越額			
設定額	5,651.744	10,466,309.688	1,156,474,889.00
償還額			
管理・運用報酬	(0.493)	(914.474)	(101,044.77)
公正価値の変動	-	221,685.858	24,495,178.84
次期繰越額	<u>5,651.251</u>	<u>10,687,081.072</u>	<u>1,180,869,023.08</u>

貴金属バスケット

	2020年合計		2019年合計	
	米ドル	円	米ドル	円
前期繰越額	11,955,880,981	1,321,065,068,983	8,618,842,192	952,338,968,060
設定額	6,181,466,495	683,021,140,384	6,739,191,265	744,646,938,850
償還額	(6,816,051,373)	(753,139,596,475)	(5,213,536,256)	(576,069,688,602)
管理・運用報酬	(49,364,287)	(5,454,506,864)	(39,198,274)	(4,331,213,327)
公正価値の変動	3,204,183,013	354,046,202,015	1,850,582,054	204,480,064,002
次期繰越額	<u>14,476,114,829</u>	<u>1,599,538,308,043</u>	<u>11,955,880,981</u>	<u>1,321,065,068,983</u>

【借入金明細表】

該当事項はありません。

2【外国投資法人の現況】

【純資産額計算書】

（注）発行体は、その負債となる外国投資法人債券に一致する額の資産を保有しています。このため、各外国投資証券について、常に純資産額は、零となるため、併せて、1口当たりの資産額を記載しています。

WisdomTree白金上場投資信託

（2021年3月31日現在）

	米ドル（ を除く。 ）	日本円（円）
資産総額	712,864,921	78,768,009,446
負債総額	712,864,921	78,768,009,446
純資産総額（ - ）	0	-
発行済数量	6,458,257口	
1単位当たりの純資産額（ / ）	0	-
1単位当たりの資産額	110.38039	12,196.48

WisdomTreeパラジウム上場投資信託

（2021年3月31日現在）

	米ドル（ を除く。 ）	日本円（円）
資産総額	215,405,473	23,801,227,739
負債総額	215,405,473	23,801,227,739
純資産総額（ - ）	0	-
発行済数量	878,725口	
1単位当たりの純資産額（ / ）	0	-
1単位当たりの資産額	245.13411	27,086.09

WisdomTree銀上場投資信託

（2021年3月31日現在）

	米ドル（ を除く。 ）	日本円（円）
資産総額	2,381,101,153	263,099,771,901
負債総額	2,381,101,153	263,099,771,901
純資産総額（ - ）	0	-
発行済数量	106,241,004口	
1単位当たりの純資産額（ / ）	0	-
1単位当たりの資産額	22.41226	2,476.44

WisdomTree金上場投資信託

（2021年3月31日現在）

	米ドル（ を除く。 ）	日本円（円）
資産総額	6,033,512,685	666,672,984,129
負債総額	6,033,512,685	666,672,984,129
純資産総額（ - ）	0	-
発行済数量	37,675,671口	
1単位当たりの純資産額（ / ）	0	-
1単位当たりの資産額	160.14347	17,695.05

WisdomTree金（スイス保管）上場投資信託

（2021年3月31日現在）

	米ドル（ を除く。 ）	日本円（円）
--	-------------	--------

資産総額	3,334,840,576	368,483,209,445
負債総額	3,334,840,576	368,483,209,445
純資産総額(-)	0	-
発行済数量	20,469,3941口	
1単位当たりの純資産額 (/)	0	-
1単位当たりの資産額	162.91838	18,001.67

WisdomTree金（コア保
管）上場投資信託

（2021年3月31日現在）

	米ドル（ を除く。 ）	日本円（円）
資産総額	107,908,362	11,923,334,459
負債総額	107,908,362	11,923,334,459
純資産総額(-)	-	-
発行済数量	638,424口	
1単位当たりの純資産額 (/)	-	-
1単位当たりの資産額	169.02303	18,676.20

WisdomTree貴金属バス
ケット上場投資信託

（2021年3月31日現在）

	米ドル（ を除く。 ）	日本円（円）
資産総額	188,045,114	20,778,044,871
負債総額	188,045,114	20,778,044,871
純資産総額(-)	0	-
発行済数量	1,245,192口	
1単位当たりの純資産額 (/)	0	-
1単位当たりの資産額	151.01696	16,686.62

第6【販売及び買戻しの実績】

下記の会計年度における商品上場投資信託の発行及び償還の実績並びに下記の会計年度末現在の発行口

数は以下のとおりです（本邦内における発行及び償還はありません。）。

WisdomTree白金上
場投資信託

	発行口数	償還口数	発行済口数
第11会計年度 （2017年12月31日 終了）	2,525,616	2,138,949	4,091,571
第12会計年度 （2018年12月31日 終了）	1,143,045	2,334,168	2,900,448
第13会計年度 （2019年12月31日 終了）	5,233,742	2,079,146	6,055,044
第14会計年度 （2020年12月31日 終了）	3,572,676	3,266,731	6,360,989

WisdomTreeパラジ
ウム上場投資信託

	発行口数	償還口数	発行済口数
第11会計年度 （2017年12月31日 終了）	384,200	2,283,038	1,309,630
第12会計年度 （2018年12月31日 終了）	187,000	667,107	829,523
第13会計年度 （2019年12月31日 終了）	444,000	331,914	941,609
第14会計年度 （2020年12月31日 終了）	413,100	464,253	890,456

WisdomTree銀上場
投資信託

	発行口数	償還口数	発行済口数
第11会計年度 （2017年12月31日 終了）	36,434,892	29,528,500	61,238,502
第12会計年度 （2018年12月31日 終了）	31,945,800	39,215,000	53,969,302
第13会計年度 （2019年12月31日 終了）	43,277,264	24,771,751	72,474,815
第14会計年度 （2019年12月31日 終了）	77,074,382	50,884,379	98,664,818

WisdomTree金上場
投資信託

	発行口数	償還口数	発行済口数
第11会計年度 （2017年12月31日 終了）	20,794,693	19,012,499	49,889,418
第12会計年度 （2018年12月31日 終了）	14,854,803	10,337,702	54,406,519
第13会計年度 （2019年12月31日 終了）	27,369,216	32,204,667	49,574,068
第14会計年度 （2020年12月31日 終了）	17,720,849	26,187,589	41,104,328

WisdomTree貴金属
バスケット上場投
資信託

	発行口数	償還口数	発行済口数
第11会計年度 （2017年12月31日 終了）	137,500	320,000	1,154,611
第12会計年度 （2018年12月31日 終了）	84,000	194,500	1,044,111
第13会計年度 （2019年12月31日 終了）	294,500	167,800	1,170,811
第14会計年度 （2020年12月31日 終了）	214,900	225,419	1,160,292

第三部【特別情報】

第1【投資信託制度の概要】

1. 概要

1.1 このサマリーは、一以上の投資者による資金のプールの要素を含む投資ストラクチャー（以下「資金プール型投資ストラクチャー」といいます。）の設立及び運営を規制するジャージーにおける規制にかかる制度の概要を提供するものです。（ジャージーと何らかの関連のある）資金プール型投資ストラクチャーは、1998年共同投資ファンド法（ジャージー）（Collective Investment Funds(Jersey) Law 1998、以下「CIF法」といいます。）、又は、1958年借入管理令（ジャージー）（Control of Borrowing (Jersey) Order 1958、以下「借入管理令」といいます。）のいずれかによって規制されています。資金プール投資型ストラクチャーが、借入管理令のみによって規制されている場合には、ジャージー金融サービス委員会（Jersey Financial Services Commission、以下「委員会」といいます。）は、投資ファンドとして規制するか、又は、ただ単に、顕著な規制上の調査は伴わない借入管理令の下での同意のみを要求します。以上は下記2.1より2.3のパラグラフにより詳細に概説されています。

2. 投資ファンドの定義

2.1 いかなる法律又は規制においても、その法律等の適用のための投資ファンドにかかる公式の定義は置かれていません。その結果、より高度な程度の規制上の調査及び監督が適用されることとなります。しかし、一般的に、資金プール型投資ストラクチャーは、当該ストラクチャーの投資口の売り付けにかかる申込みが、潜在的投資者に対して、当該ストラクチャーによって、又は、そのために行われる場合には、投資ファンドとして取り扱われます。そこで、売り付けの申込みがあったとされるためには、通常は、資金プール型投資ストラクチャーによって、又は、そのために発行された、売り付けの申込みのための文書、目論見書、情報メモランダム等の性質を有する何らかの文書がなければなりません。

そのような売り付けの申込みがなされていない場合にあっては、委員会は、以下の一又はそれより多くが当てはまる場合には、資金プール型投資ストラクチャーは、投資ファンドであるとの検討を開始します。

- (a) 15以上の投資者が存在する場合、特にその全ての投資者が当該ストラクチャーの設立時において既知の者ではない場合
- (b) 投資者が、家族、事業、又はその他の関係に、以前からある訳ではない場合
- (c) 第三者が投資管理者又は投資助言者として任命され、原ポートフォリオの構成が随時に変更される場合、又は、
- (d) 資金プール型投資ストラクチャーがオープン・エンド型であって、特に、そのローンチの後に、新規の投資者が投資することを予定している場合

従って、事業の共同経営者、又は、家族の構成員などのような何らかの関係を有する個人の集団が、一緒になって、ジャージーにおけるピークルを通じて、投資する場合にあっては、当該ピークルによって、当該ピークルのために、発行された売り付けのための文書という形態が存在しなければ、また、上記の要因についての検討に従って、このような取決めは、委員会によって、規制上の目的のためには、投資ファンドとなると見られることはなく、容易に、また、短期間での設立が可能となるに違いないものと考えられます。

2.2 CIF法

資金プール型投資ストラクチャーは、「共同投資ファンド」となり、当該資金プール型投資ストラクチャーが、投資口の引受、売却、若しくは交換にかかる公衆に対する申込により、取得された資金を共同投資することを、その目的、又は、その目的の一つとする、金銭の投資のためのスキーム又は取決めである場合であって、以下の基準が、資金プール型投資ストラクチャーに当てはまる場合にあっては、CIF法に従うこととなります。

- (a) 投資口が、継続して、若しくは、短期間の内に一塊として、その所有者の要請があった際には、当該ファンドの資産によって、買い戻され、若しくは、償還される、又は、買い戻されることとなっている、又は、償還されることとなっている、又は、
- (b) 投資口が、継続して、若しくは、短期間のうちに一塊として、発行されている、又は、発行されることになっている、又は、
- (c) 資金プール型投資ストラクチャーが、リスク分散の原則に基づいて運営されている。

上記の基準に該当することに加えて、資金プール型投資ストラクチャーは、公衆に対して、売り付けの申込みをするものでなければなりません。この趣旨から、売り付けの申込みは、以下にあたる場合以外は、公衆に対する申込みとなります。

- (a) 投資家は、申込にかかる合理的な評価を行うために十分な情報を提供されている。
- (b) 申込みが伝達された者の数が50を超えない、及び、
- (c) 申込みの対象となる投資口が、申込みがなされてから一年以内において、いかなる株式取引所においても上場されていない。

以上の趣旨に鑑みると、重要なのは、「申込み」の数であって、最終的な投資者の数ではありません。従って、特定の資金プール型投資ストラクチャーがCIF法の下での共同投資ファンドであるか否かを判断するに際しては、最終的な投資者の数のみならず、行われた「申込み」の数を分析することが必要となります。

資金プール型投資ストラクチャーが、共同投資ファンドである場合にあっては、その資金プール型投資ストラクチャーが、非規制ファンドに分類されない限り（下記パラグラフ5.2を参照してください。）、CIF法に基づく許可が必要となります。

2.3 借入管理令

資金プール型投資ストラクチャーが、共同投資ファンドではない（即ち、50又はそれよりも多い投資者に対して申込みがなされない、及び、上場されていない）場合にあって、なおかつ、投資ファンド（上記パラグラフ2.1を参照してください。）である場合には、資金プール型投資ストラクチャーが、ジャージーと何らかの関わりがあるのであれば、借入管理令に基づく同意が必要とされる可能性があります。

このような投資ファンドは、一般的に、「借入管理令ファンド」とよばれており、借入管理令ファンドは、3週間から6週間の期間の委員会による詳細な調査に服することになります。この中には、目論見書の検査も含まれます。しかしながら、その各々の場合にあって、委員会はファンドのプロモーターが要件に適合していることを求めることになります。

ファンドに対するファンド設立後の規制は、借入管理令に基づく同意において規定された条件に対する遵守によるものとなります。

プロモーターが、委員会のプロモーターに対する規制を満たすためには、委員会は、所有権の分散、及び、金融資産といった事柄だけでなく、プロモーターとしての、その過去の遵守の状況、評価、及び、経験についても、適合していると判断する必要があります。

各投資者が、専門的投資者である場合、又は、少なくとも250,000ポンド以上の投資を行っている場合にあって、及び、それぞれの場合にあって、規定された警告を正式に認識している場合にあっては、当該スキームに対する業務提供者に対する監督については、大きな柔軟性が存在しており、これは、業務提供者の行為にかかる1998年金融サービス法（ジャージー）（Financial Services (Jersey) Law 1998、以下「FSL法」といいます。）に基づく規制の適用除外によることとなります。

借入管理令ファンドにかかる重大な変更は、委員会の事前の同意が必要となります。

3. FSL法の適用

ジャージーのファンドは、CIF法の下において規制されています。ジャージーに拠点を有するファンド、及び、ジャージーに拠点を有さないファンドの双方について、その担当機関は、現在、FSL法の規定に従って規制されています。

FSL法に基づくファンド・サービス業務にかかる規制は、その業務が、ジャージーにおいて、若しくはジャージー内から、又は、世界中のいずれかに所在するジャージーの会社によって遂行される、非分類ファンド、並びに、非規制、専門、及び上場ファンドに対して適用されます。

ジャージーからジャージーに所在していないファンドに対するファンド・サービスの提供は、同様に、FSL法の規定に基づく規制に服します。

規制により、一又はそれよりも多い種類のファンド・サービス業務の提供にかかるファンド・サービス業務については、登録が必要とされます。適用のある種類については、FSL法において掲げられており、一般的に、ファンドにかかるストラクチャーに対して提供される主要な機能が含まれます。

実務規則（以下「規則」といいます。）が、最近の法改正に伴って、制定されており、ファンド・サービス業務を遂行する、FSL法の下で登録を受けた者がその遵守が求められる実務原則及び基準が定められています。特定の種類のファンド・サービス業務に登録を受けると、ファンド・サービス業務は、ジャージーに拠点を有するファンド、及び、ジャージーに拠点を有さないファンドの双方に対して、提供ができます。しかし、後者のファンドの場合にあっては、記録及び統計上の目的から、ジャージーに拠点を有さないファンドの詳細を委員会に対して通知しなければなりません。

ある種類のファンド・サービス業務にかかる登録を受けた者は、当該種類の業務の提供について、新規のファンドの各々にかかる承認を申請する必要はありません。

4. 管理対象者及び管理対象者管理者

管理対象者（managed entity）とは、ジャージーにおいて、第三者のサービス提供者によって、管理又は運営されている投資ファンドの担当機関です。当該者は、当該第三者であるサービス提供者との間で、ファンド・サービス業務の提供について、規則の全て又は一部の遵守に関する契約を締結することができます。かかる第三者によるサービス業務の提供自体が、ある種類のファンド・サービス業務であって、別の登録が必要とされます。この種類は、「管理対象者管理者（manager of a managed entity）」又は「MoME」とよばれ、既に規制対象となっているファンド・サービス業務提供者によって遂行されるのが通常です。

専門ファンド、非規制ファンド、又は、実質的に同等のファンド（以下を参照してください。）のために活動することを目的として設立された管理対象者は、規則の主要な原則を満たすことのみが求められています。

専門ファンド、関連する専門ファンド、又は、実質的に同等のファンド以外の非分類ファンドとして設立された管理対象者は、規則を完全に遵守しなければなりません。

5. ファンドの種類

5.1 非規制ファンド

非規制ファンドは、CIF法に基づく共同投資ファンドとしての規制の適用除外となっています。これは、以下のいずれかとして設立されたスキーム又は取決めに明記する適用除外令に基づくものです。

- (a) ジャージーにおいて、設立されたスキーム又は取決めであって、クローズド・エンド型ファンドであり、かつ、株式取引所若しくは市場に上場されている、又は、その出資証券又は投資口にかかる上場についての承認を申請している非規制の上場ファンド、又は、
- (b) ジャージーにおいて、設立されたスキーム又は取決めであって、（最初の申込みを通じてか、若しくは、その後の取得を通じてか、にはかわりなく）最低初期投資が百万米ドル若しくは他の通貨で同等の額の投資を行う投資者、又は、令において定義された機関投資者若しくは専門的投資者である適格投資者のみが、投資を行うことができる非規制適格投資者ファンド。非規制適格投資者ファンドは、オープン型であってもクローズド型であってもよく、その受益権の移転がその他の適格機関投資者に限つ

て可能となっているものでなければなりません。非規制適格投資者ファンドの株式取引所への上場は、上記の譲渡制限の適用があることを条件として、可能です。

いずれかのタイプの非規制ファンドは、ジャージーの会社（セル会社を含みます。）として、少なくとも一のジャージーにおける会社一般パートナーを有するジャージーの有限責任パートナーシップとして、又は、ジャージーにおける会社受託者又は管理者を有するユニット型投資信託として、ジャージーの法に基づいて認定され得る、いかなる形態をも取ることができます。

法を遵守したストラクチャーであることを条件として、かかる非規制ファンドの設立条件又は行為に関しては、規制上の調査、監督は行われません。従って、その設立にかかる手続についても、非規制ファンドに関する適用除外令に従って、行われるところに依ることになります。

非規制ファンドの売り付けの申込み及び／又は上場書類には、ファンドは、指示された形態による投資警告とともに、規制されていないことが、顕著に記述されなければなりません。

非規制ファンドとしての提供除外を主張するためには、完全に記載された通知が、ジャージー会社登記所に登録されなければなりません。

5.2 専門ファンド

投資ファンドが、共同投資ファンドとして規制されている場合には、無制限の数の投資者に対して、無制限の数の売り付けの申込みがなされる可能性があることを意味することになります。全ての投資者が専門投資者としての有資格者であって、明確に投資警告を理解する場合にあっては、当該ファンドは、委員会の専門ファンド規準書のもとにおける専門ファンドとしての有資格であるということになり、軽減された規制の対象となる可能性があります。専門投資者として該当するためには基準がありますが、その中には、就中、少なくとも100,000米ドル又はその他の通貨による同等の額を投資している者であることが含まれます。ファンドにかかる許可の申請のための承認手続は、合理化されており、申請の公式な提出から3日間以内にその設立が許可されます。

投資管理者は、OECD加盟国である国によって規制される、又は、委員会との間での了解取決めに服している、若しくは、委員会によって承認された国によって規制されなければなりません。

専門ファンドは、専門投資者のみ利用可能です。

専門ファンドの売り付けの申込みにかかる文書は、一定の内容に関する規制上の要請を遵守しなければなりません。

ファンド会社、無限責任パートナー、又は、受託者には、少なくとも二のジャージーに居住する取締役が必要とされます。また、ファンド自体は、ジャージーの会社ジャージーの無限責任パートナー（有限責任パートナーシップである場合には）、又はジャージーの受託者（ユニット型投資信託である場合には）でなければなりません。

専門ファンドには、ジャージーの管理者又は運営者であるジャージーの「監理担当機関」がいなくてはなりません。

5.3 上場ファンド

委員会の上場ファンド規準書においては、認定株式取引所又は市場に上場されている会社型クローズド・エンド型ファンドの設立にかかる迅速化された手続が規定されています。

上場ファンド規準書は、ユニット型投資信託又は有限責任パートナーシップには適用ありません。

上場ファンドの投資管理者は、OECD加盟国である国において設立されている、又は、委員会との間での了解取決めに服している、若しくは、委員会によって承認された地域によって設立されていなければなりません。

上場ファンドは、少なくとも、二のジャージーに居住する取締役、又は、上場ファンド規準書の遵守を確保するための監理担当機関がいなくてはなりません。

上場ファンドにかかる現在の取り扱いにおいては、クローズド・エンド型のジャージーの会社に対してのみ、上場ファンドとなり得ます。

上場ファンドについては、専門ファンドに倣った迅速化された承認手続が利用可能となっており、承認まで申請書の正式の提出から3日間を要します。

上場ファンドについては、引受に係る最少額はなく、いかなる種類の投資者にも利用可能です。

5.4 非分類ファンド

ファンドが、50よりも多い投資者に対して売り付けの申込みがなされる、又は、上場されており、かつ、当該ファンドが非規制ファンドとしての種類のファンドとなることが可能であり、又は、専門ファンド規準書若しくは上場ファンド規準書の下における迅速化された規制アプローチの適用がない場合にあっては、共同投資ファンドは、非分類ファンドとして規制されることになります。この場合にあっては、委員会は、その規制方針に従って、ファンドの規制を行うことになり、当該ファンドのプロモーターは委員会のプロモーターにかかる規制方針を遵守することが必要となります。この中には、所有権の分散、及び、金融資産といった事柄だけでなく、プロモーターとしての、その過去の遵守の状況、評価、及び、経験についても、適合していると判断することが含まれます。委員会は、目録書、設立関係文書、及び重要な契約を調査します。ファンドの運営及び投資、並びに、借入れ制限は、委員会が当該種類のファンドを評価する際に適用する確立された基準を遵守している必要があります。

規制にかかる規準について遵守が求められる程度は、投資額の最低水準、及び、ファンドがオープン・エンド型（より厳格な規制が行われます。）であるかクローズド・エンド型であるかに依存します。

非分類ファンドのストラクチャーについては、オープン・エンド型の場合には、ジャージーに居住する管理者及びカストディアンが必要となります。クローズド・エンド型のファンドについては、別個のカストディアンは必要ありません。

最低投資額が低ければ低いほど、委員会は、当該種類のファンドをより緊密に規制します。

1995年共同投資ファンド（非分類ファンド）目論見書令（ジャージー）（Collective Investment Funds (Unclassified Funds) (Prospectus) (Jersey) Order 1995、以下「非分類ファンド令」といいます。）では、非分類ファンドによる目論見書の市場への持ち込みにかかる一定の制限、目論見書における虚偽又は誤解を招く記述にかかる担当機関の義務、及び、目論見書に含有されるべき情報について規定しています。委員会は、CIF法に基づく同意に対する申請の調査に当たっては、非分類ファンド令の遵守が確保されるよう求めます。

5.5 認定ファンド

認定ファンドは、別個に指示された規制を遵守している共同投資ファンドとして承認されています。この種類のファンドは、英国の2000年金融サービス市場法に基づき、ジャージーが当該法における指定地域としての地位を取得していることを利用して、英国のリーテル公衆へ直接販売することが可能となります。認定ファンドは、より高度に規制されており、また、投資者は法定補償制度の適用を受けることになります。認定ファンドは、オーストラリア、ベルギー、ドバイ、香港、オランダ、及び南アフリカ等の多数のその他の地域の公衆に対しても販売が可能です。認定ファンドの担当機関は、CIF法に基づき規制されます。

2003年共同投資ファンド（認定ファンド）（ジャージー）令（規則）（Collective Investment Funds (Recognized Funds) (Rules) (Jersey) Order, 2003、以下「認定ファンド令」といいます。）は、認定ファンドについて一定の一般的及び特定の要件を規定しています。その中には、担当機関の所有者及び義務、目論見書、証券の設定及び解約、並びに、投資及び借入権限に関するものが含まれます。委員会は、CIF法に基づく同意に対する申請の調査に当たっては、認定ファンド令の遵守が確保されるよう求めます。

6. 税制

ジャージーにおいては、税制中立性が確保されており、投資ファンドは、いかなる所得、法人、譲渡益税も支払いません。ジャージーのファンドの証券の譲渡については印紙税は課されません。

7. ファンドのストラクチャー

ジャージーに所在する投資ファンドは、会社、有限責任パートナーシップ、又は、ユニット型投資信託として組成されます。オープン・エンド型又はクローズド・エンド型のいずれも可能です。ジャージーは、最近、保護セル会社及び設立セル会社にかかる立法を行い、会社の範囲の拡大を行いました。

7.1 会社

1991年ジャージー会社法（Companies (Jersey) Law 1991、以下「会社法」といいます。）は、ジャージーにおける会社の設立及び運営に関する全ての側面を規律する包括的、現代的法律です。

ジャージーにおいて会社を設立することによって、別個の法人格、出資者の有限責任、所有権及び課税にかかる地位の移転の容易性等の利点が享受できます。会社法によって、資本金は、いかなる通貨によっても、償還可能出資証券を含めた種類出資証券による額面又は無額面の出資による出資金とすることができます。会社法では、保証会社、無限責任会社、及び保護セル会社が許容されています（特に後者は投資業務について特定の柔軟性を提供するものです。）。

定款には、当該会社の規約、並びに、就中、会社の名称、その法人としての権能、及び以下の詳細（適用のある場合には）が規定されます。

- (a) 承認された資本の額（額面出資証券の会社について）
- (b) 会社の発行が承認された各々の種類の出資証券の数（無額面出資証券の会社について）
- (c) 清算の際に各社員が会社資産に拠出する額（保証会社について）、又は、
- (d) 会社の社員の義務には制限がないこと（無限責任会社について）

設立と同時に、基本定款及び付属定款は、会社及びその出資者を拘束する契約となります。

基本定款及び付属定款は、少なくとも会社の出資者となることに同意している一の応募者によって、承諾される必要があります。当然のことながら、一よりも多い応募者が存在することは可能であり、通常は、基本定款は、二の応募者によって承諾されます。

出資証券は、無記名式は許されておらず、記名式により発行されなければなりません。しかし、無記式預託証書を用いることで、授与による移転と同様の効果を達成することが可能となっています。無議決権出資証券は、許容されており、比例議決権制度は、加重議決権を利用することによって達成することができます。

資本は、異なる出資証券に対して異なる権利を付与することにより、構成することができます。例えば、

- (a) 普通出資証券 - 異なった種類に更に細分化して、そのそれぞれが異なった種類の権利を有することとすることができます。
- (b) 優先出資証券 - 普通出資証券よりも清算に際しての配分につき優先的権利に加えて、配当に関して優先的かつ累積的優先権を有するものとして発行することができます。
- (c) 償還可能出資証券 - 出資者又会社の選択により、現金により償還が可能なものとして発行することができます。普通出資証券は、非償還可能な種類の出資証券が発行され続けている限りにおいて、償還可能出資証券への転換ができます。

ジャージーの会社は、自身の出資証券を金庫出資証券として保有することが許容されており、かかる出資証券の保有者として社員とは扱われないことになっています。かかる出資証券を保有することは、ファンド管理者がファンドの出資証券が投資者に短期間の通知で利用可能とすることができるようにしたいと考えている投資ファンドにあっては、特別に価値のあることとなります。

会社の取締役は、通常、その業務を管理し、また、基本定款及び付属定款の規定に従って、会社の権能を行使する権限を付与されています。新たに成立された会社は、無制限の法人としての権利能力を有します。取締役は会社に対して信任義務を負い、正直に、かつ、誠意をもって、会社に最大の利益をもたらすよう行為しなければなりません。取締役は、会社を契約上の義務に拘束する権限を表見上、有していますが、会社の利益と相反する取引にかかる利害を会社に開示す

ることが求められます。取締役がそのようにしない場合にあっては、会社又は投資者の求めに応じて、取引が無効となる可能性があります。

会社は、略式清算として知られている支払いの能力を有したままの(自発的な)清算手続、又は、債権者清算として知られている債務不履行による(非自発的な)清算手続のいずれかに従うことができます。

略式清算は、会社の投資者によって採択された特別決議によって開始されます。取締役又は清算人のいずれかが、清算を実施し、清算手続の最初と最後に、取締役は、支払能力があることについての供述書に署名しなければなりません。

債権者清算は、投資者によって採択された特別決議によって開始されますが、清算は、取締役によってではなく清算人によって実施されます。債権者集会が、清算人の任命並びに最終決算及び債権者への配分の承認のために開催されなければなりません。

7.2 セル会社

(a) 概説

セル会社は、一又はそれより多いセルを設立し、その資産及び負債を、他のセルの資産及び負債、並びに、セル会社自身の資産及び負債から区分する権能を有する会社です。このセルは、異なった、また、別個の業務を実施するために利用することができます。

二の類型のセル会社が、ジャージー法の下では利用可能です。

・設立セル会社(Incorporated Cell Company、以下「ICC」といいます。)

・保護セル会社(Protected Cell Company、以下「PCC」といいます。)

(b) 主要な相違点

設立セルは、個別の法人となります。保護セルは、異なった法人であるかのように取り扱われることが要求されます。

設立セルの債務は、ストラクチャーにより限定されています(異なった法人格となります。)。保護セルの債務は、手続規則によって限定されています。セルの債権者が、非セル資産に対して請求を行うことを防ぐ規定により、保護が強化されています。

設立セルは、異なった法人格であるために、契約締結権能を有しています。特別な規定によって、保護セルは契約締結が許容されています。

設立セルは、別個の法人であって、当該設立セルの資産に対する請求権は、法律上の重要事項として、制限されています。取締役は、適正に、保護セルのセルにかかる資産を区分し、保護セルのために契約を締結する際には、通知及び記録するよう義務付けられています。

セル会社は、一又はそれより多いセルを設立し、その資産及び負債を、他のセルの資産及び負債、並びに、セル会社自身の資産及び負債から区分する権能を有する会社です。このセルは、異なった、また、別個の業務を実施するために利用することができます。各々のセルには、別個の基本定款及び付属定款、並びに、社員が存在します。セル会社の社員は、必ずしも、あるセルの社員である訳ではありません。

セル会社は、公開会社でも私会社でも、額面投資証券会社でも非額面投資証券会社でも、又は、保証会社でも、有限責任会社若しくは無限責任会社でも、可能となっています。一定の事象の場合におけるセルの解散又は清算にかかる規定を置くことができます。

ジャージー法制の特徴は、ICCの設立セル、PCCの保護セルのいずれもが、セルとしての依存性のためだけによって、セル会社の子会社となる訳ではないことです。付属定款に従って、あるセルは、会社のいかなるその他のセルに投資することができます。但し、セルは、セル会社そのものに投資することはできません。

ICCは、そのセルに対して基本的に異なった方法を採用します。ICCは、セル会社が関連するセルに対して投資者としての関係を有することなく、各セルを異なった法人として設立することができます。

従って、ICCの設立セルは、異なった会社として取り扱われる一方で、PCCの保護セルは、会社ではなく、異なった法人格を有しないことが、主要な差異となります。

セルの最初の取締役は、セル会社によって任命されます。しかし、セル及びセル会社が同一の取締役となっているにもかかわらず、セルは、セル会社と同一の取締役会を共有しなければならないという要請はなく、また、セルの取締役は、セルの付属定款に規定された方法により、解任され、また、入れ替えられます。

セルの取締役は、セルの取締役であるということだけで、セル会社又は他のセルにかかるいかなる義務も、また、債務を負うことはなく、また、セル会社又はその他のいかなるセルにかかる情報を得る権限も有していません。

7.3 1994年有限責任パートナーシップ法(ジャージー)

(a) 概説

1994年有限責任パートナーシップ法(ジャージー)(Jersey Limited Partnerships (Jersey) Law 1994、以下「有限責任パートナーシップ法」といいます。)は、有限責任パートナーシップの設立及び運営にかかる現代的かつ包括的なフレームワークを規定しています。有限責任パートナーシップには、少なくとも一の無限責任パートナーと一の有限責任パートナーがいなければなりません。

無限責任パートナーは、有限責任パートナーシップの債務につき、無制限の債務を負いますが、他方で、有限責任パートナーの債務は、その拠出に合意した金額に限定されています(以下の注意が必要となります。)。

(b) 経営への参加

有限責任パートナーシップ法は、明示的に、有限責任パートナーに対して、有限責任の保護を失うことなく、有限責任パートナーシップの経営への参加を認めています。その中には、有限責任パートナーシップの資産の購入及び売却、有限責任パートナーシップの義務の設定、有限責任パートナーシップの代理人としての行為、並びに、無限責任パートナーにかかる取締役としての行為が含まれます。従って、有限責任パートナーは、投資委員会の一員として、投資勧告を承認することができます。

(c) 無限責任パートナーの取り分

無限責任パートナーが、利益のなにがしかについて配分を受けることについての何らの必要性もありません。

(d) 出資

パートナーシップが、その配分の際に債務超過でない限り、有限責任パートナーは、出資を返済する債務を負わない、また、その際にパートナーシップが債務超過であったとしても、出資の返済義務は6月の間のみ存続します。

(e) 債権者としての順位

パートナーシップに対して貸付を行っている、又は、その他のパートナーシップに対する請求権を有する有限責任パートナーは、当該請求権に関して、第三者である債権者と、パートナーシップに対する債権者として、同順位となります。

(f) その他の情報

ジャージーにおける有限責任パートナーシップは、別個の法人格を有しません。ジャージーの有限責任パートナーシップは、税法上、存在しているものとはなりません。

有限責任パートナーシップは、その解散を完結させる規定に従って、清算及び解散されます。解散の供述書は、ジャージー有限責任パートナーシップ登記所に記録されます。

8. ユニット型信託

ジャージーにおける信託の運営は、現代化された包括的な法律である1984年信託(ジャージー)法(Trusts (Jersey) Law 1984、以下「信託法」といいます。)によって規律されています。

す。信託法は、受託者が、受益者のために、資産を保有する、又は、資産を授与された場合において、それが確定したものであるか、若しくは未だ確定していないか、存在しているか否か、又は、特定の目的のためであるか否かを問わず、信託が存在し、また、ジャージーの裁判所によって執行されると規定しています。当信託としてのユニット型信託の場合にあっては、投資者は、委託者としての地位を取得し、その利益を表象するユニットが発行され、信託財産に対するその受益権の証拠となります。

信託法第54条により、信託財産は、別個の資産を構成し、そして、受託者の個人財産のいかなる部分ともなり得ないことが確認されています。また、信託法では、受託者に信託義務を課し、信託の管理が規制され、及び、受益者の権利が規定されています。他の一定のオフショアの管轄区域とは異なり、ジャージーにおける信託は、無限定の期間のものとすることができます。

ジャージーにおける信託は、受託者のみが署名した文書による宣誓書により設定することができ、委託者が契約書の相手方として掲載される必要はありません。しかし、投資管理者等のその他の相手方も、信託証書の相手方となることができます。

第2【参考情報】

発行体は、当期中に以下の書類を関東財務局長に提出しています。

提出日	提出書類
2020年6月30日	有価証券報告書
2020年9月30日	半期報告書

(別添)

以下の語句は、以下の原語を翻訳したものであり、その定義は、以下の通りです。

語句	原語	定義
FCA	FCA	英国金融行為監督機構（Financial Conduct Authority of the United Kingdom）及びその継承者を意味します。
FCA ハンドブック	FCA Handbook	FCAの規則及びガイダンスにかかるハンドブック（その後の改正を含みます。）を意味します。
FCA用語集	FCA Glossary	FCAハンドブックにおいて用いられている定義された表現の意味を示した用語集を意味します。
FSMA	FSMA	英国2000年金融サービス及び市場法（その後の改正を含みます。）を意味します。
LBMA	LBMA	ロンドン地金市場協会（London Bullion Market Association）を意味し、並びに、文脈上の必要性に応じて、ロンドン・ゴールド・マーケット・フィキシング・リミテッド（London Gold Market Fixing Ltd）及びロンドン・シルバー・マーケット・フィキシング・リミテッド（London Silver Market Fixing Ltd）を含みます。
LPPM	LPPM	ロンドン白金及びパラジウム市場を意味します。
RIS	RIS	発行体により随時選択される規制情報サービス（上場規則の目的のために定義されます。）を意味します。
営業日	Business Day	<p>以下を意味します。</p> <p>(ア) WisdomTree白金上場投資信託、WisdomTreeパラジウム上場投資信託及びWisdomTree貴金属バスケット上場投資信託（及び、その他の、とりわけWisdomTree白金上場投資信託又はWisdomTreeパラジウム上場投資信託によって構成されている全てのバスケット上場投資信託）、並びに、それらに関して担保対象資産の一部をなす地金のいずれかについて、ロンドンにおける営業日かつチューリッヒにおける営業日</p> <p>(イ) WisdomTree銀上場投資信託及びWisdomTree金上場投資信託（及び、WisdomTree銀上場投資信託及びWisdomTree金上場投資信託のみにより構成される全てのバスケット上場投資信託）、並びに、それらに関して担保設定資産の一部をなす地金のいずれかについて、ロンドンにおける営業日</p> <p>(ウ) WisdomTreeスイス保管金上場投資信託及びこれに関して担保設定資産の一部をなす地金のいずれかについて、ロンドンにおける営業日かつチューリッヒにおける営業日</p>

カストディアン	Custodian	<p>当初カストディアン（HSBCバンク・ユー・エス・イー・エヌ・イー（HSBC Bank USA, N.A.））及びスイス・ゴールド・カストディアンをいい、次のいずれかに該当する者をいいます。</p> <p>（ア）当初貴金属上場投資信託（WisdomTree白金上場投資信託、WisdomTreeパラジウム上場投資信託、WisdomTree銀上場投資信託、WisdomTree金上場投資信託及び、WisdomTree貴金属バスケット上場投資信託をいう。）及びその担保対象資産の地金について、当初カストディアンを意味します。</p> <p>（イ）WisdomTreeスイス保管金上場投資信託及びその担保対象資産の地金について、スイス・ゴールドのカストディアンを意味します。</p>
カストディアン契約	CustodianAgreements	<p>当初カストディアン契約及びスイス・ゴールド・カストディアン契約をいい、</p> <p>（ア）当初貴金属上場投資信託及びその担保対象資産の地金について、当初カストディアン契約を意味します。</p> <p>（イ）WisdomTreeスイス保管金上場投資信託及びその担保対象資産の地金について、スイス・ゴールド・カストディアン契約を意味します。</p>
元本金額	PrincipalAmount	各貴金属上場投資信託に関し目論見書に記載された金額を意味します。
管理事務代行会社	ManJer	<p>ジャージーにおいて設立され、登録番号106921で登録されたウィズダムツリー・マネジメント・ジャージー・リミテッド（WisdomTree Management Jersey Limited）を意味します。</p>
管理事務代行契約	AdministrationAgreement	<p>発行体に対し、アール・アンド・エイチ・ファンド・サービシーズ（ジャージー）リミテッド（R&H Fund Services (Jersey) Limited）が管理事務サービス及び会社に関するセクレタリアルサービスを提供するため、アール・アンド・エイチ・ファンド・サービシーズ（ジャージー）リミテッド及び発行体の間で2012年12月31日に締結された管理事務代行契約を意味します。</p>

関連する者	Affiliate	いかなる者に関しても、当該者によって、直接的又は間接的に支配されているあらゆる団体、当該者を直接的又は間接的に支配しているあらゆる団体、又は、直接的又は間接的に当該者との共同支配の下にあるあらゆる団体を意味します。ここでは、いかなる団体、又は、者であっても、団体又は者による「支配」とは、当該団体又は者の議決権の過半数の所有を意味します。
貴金属エンタイトルメント	MetalEntitlement	全ての貴金属上場投資信託について、あらゆる時点において、当該貴金属上場投資信託の償還に当たって、当該時点において目論見書の定めに従い、投資口保有者が、受領する権限を有する地金の量を意味します。

グッド・デリバリー	Good Delivery	関連する協会によって定められた地金の精錬基準及び重量を意味します。
クレスト	CREST	ユーロクリアーUK・アンド・アイルランド・リミテッド（Euroclear UK & Ireland Limited）により運営されている、非証券証券の取引決済及び保管を電子的に行う制度を意味します。
公式上場表	Official List	FSMAパートVIに従って維持されている英国上場機関による公式上場表を意味します。
合同管理資金（プール）	Pool	特定の種類の個別上場投資信託（及び、当該種類の個別上場投資信託から構成されている限りにおいてWisdomTreeバスケット上場投資信託）を帰することができる個別の基金又は合同管理資金を意味します。

個別上場投資信託	Individual Securities	<p>1)種類が白金であって、期日の定めのない、遡求権が限定された保証付である、その個々の元本が20米ドルとなる債券、2)種類がパラジウムあって、期日の定めのない、遡求権が限定された保証付である、その個々の元本が5米ドルとなる債券、3)種類が銀あって、期日の定めのない、遡求権が限定された保証付である、その個々の元本が2米ドルとなる債券、4)種類が金あって、期日の定めのない、遡求権が限定された保証付である、その個々の元本が10米ドルとなる債券、5)種類がスイス・ゴールドであって、期日の定めのない、遡求権が限定された保証付である、その個々の元本が10米ドルとなる債券、6)種類がコア・ゴールドであって、期日の定めのない、遡求権が限定された保証付である、その個々の元本が15米ドルとなる債券で、各々の場合について、発行体が、信託約款に従って、これに基づいて発行し、及び、個別上場投資信託の関連する登録機関によって登録されているもの、並びに、その他の種類の個別上場投資信託であって、随時設定、組成されるものを意味します。WisdomTree白金上場投資信託（WisdomTree Physical Platinum Securities）、WisdomTreeパラジウム上場投資信託（WisdomTree Physical Palladium Securities）、WisdomTree銀上場投資信託（WisdomTree Physical Silver Securities）WisdomTree金上場投資信託（WisdomTree Physical Gold Securities）は、同様に、定義されます。</p>
----------	-----------------------	--

サブ・カストディアン	Sub-Custodians	当初カストディアン契約又はスイス・ゴールド・カストディアン契約（各々）に従って当初カストディアン又はスイス・ゴールド・カストディアンによって選任された、地金のカストディー及び保管を含む、適用あるカトディアン契約の下でのあらゆる義務を遂行するサブ・カストディアン、代理人、又は、受託者を意味します。ただし、チューリッヒのサブ・カストディアンとしての以下の者を除きます。（１）当初カストディアンの場合にはイングランド銀行(Bank of England)（金に関する場合のみ）、ノバスコシア銀行（スコティアモカタ）（TheBank of Nova Scotia (ScotiaMocatta)）、JPモルガン・チェース銀行エヌ・エー(JPMorgan Chase Bank, N.A.)、UBS AG (UBSAG)、バークレイズ銀行PLC (Barclays Bank PLC)、ジョンソン・マッセイ・ピーエルシー (Johnson Mattheyplc)、ブリンクズ・グローバル・サービス・インク(Brink's Global Services Inc.)、ルーミス・インターナショナル(Loomis International)、及びマルカ・アミット・コモディティーズ・リミテッド (Malca-Amit Commodities Ltd) 並びに（２）スイス・ゴールド・カストディアンの場合にはブリンクズ・グローバル・サービス・インク、ルーミス・インターナショナル及びグループ4セキュリティ・リミテッド(Group 4 Security Limited)。
地金	Bullion	白金、パラジウム、銀、及び金のいずれか、又は全てを意味します。
受託者	Trustee	信託約款に基づき選任されたザ・ロー・ディベンチャー・コーポレーション・ピーエルシー (The LawDebenture Trust Corporation p.l.c.) を意味し、信託約款の下での代替受託者を含みます。
上場	Listing	上場規則に基づく公式上場表への貴金属上場投資信託の承認及び貴金属上場投資信託のロンドン証券取引所における取引の承認を意味し、それによって、ロンドン証券取引所市場（もしくは、ロンドン証券取引所が市場を複数有している場合には、当該市場のいずれか）において上場証券として取引が有効となります。
上場規則	Listing Rules	英国2000年金融サービス及び市場法第73A条の下で、随時策定される英国上場審査機関の上場規則を意味します。
ジャージー	Jersey	チャンネル諸島ジャージーを意味します。
種類	class	個別上場投資信託の種類を意味し、それに基づき、ある特定の金属について、支払いを行う、及び／又は、地金を引き渡す発行体の義務が決定されるものをいいます。

償還	Redemption	発行体による、信託約款に基づく条件に則った貴金属上場投資信託の償還を意味します（「償還する」も同様に解釈されます。）。
----	------------	---

償還手数料	Redemption Fee	上場投資信託保有者が、貴金属上場投資信託の償還の際に支払うべき金額を意味します。
償還請求	Redemption Form	発行体によって、随時指定される様式による貴金属上場投資信託の償還を請求する通知を意味します。
責任	Liability	いかなる損失、損害、費用、手数料、債権、請求、費用、判決、訴訟提起、法的手続、又はその他全ての責任（税金の観点を含みますがこれに限られません。）、及びいかなる付加価値税又はそれに関する課税される若しくは課税可能な同様の税金、並びに全額償還される法的な及び専門家に対する報酬及び費用を意味します。
担保証書	Security Deeds	各合同管理資金（プール）について発行体と受託者との間で締結されるもので、WisdomTree白金上場投資信託、WisdomTreeパラジウム上場投資信託、WisdomTree銀上場投資信託、WisdomTree金上場投資及びWisdomTreeコア保管金上場投資信託に帰属する場合には、当該合同管理資金（プール）に関する2007年4月18日付担保証書、WisdomTreeスイス保管金上場投資信託に帰属する場合には2009年12月11日付担保証書（但しWisdomTreeコア保管金上場投資信託に関しては2020年11月20日付担保証書）を意味します。
チューリッヒ地金市場	Zurich BullionMarket	LPPMによって組織された白金及びパラジウムの店頭市場を意味します。
チューリッヒにおける営業日	Zurich BusinessDay	商業銀行及びチューリッヒ地金市場がチューリッヒにおいて業務取引のために通常営業している日（チューリッヒにおける土曜日、若しくは日曜日、又は、休日を除く。）を意味します。
投資口保有会社	HoldCo	ジャージーにおいて設立され、登録番号106817で登録されたウィズダムツリー・ホールディングス・ジャージー・リミテッド（WisdomTree Holdings Jersey Limited）を意味します。

登録機関	Registrar	ジャージー、JE1 1ES、セント・ハリアー、ヒルグローブ通り、クィーンズウェイ・ハウス（Queensway House, Hilgrove Street, St. Helier, Jersey JE1 1ES）に住所を有するコンピュータシェア・インベスター・サービスズ（ジャージー）リミテッド(Computershare Investor Services (Jersey)Limited)又は登録を維持し、貴金属上場投資信託にかかる申込書及び償還請求を受領し、処理するために発行体が随時選任するその他の者を意味します。
登録簿	Registers	各々のタイプの上場投資信託保有者について、登録機関によって保管され、また、維持されている登録簿を意味します。単数形の ”Register” も同様に解釈されます。目論見書の日付現在、信託約款に従って設定されることが現在予期されている6の異なるタイプの貴金属上場投資信託それぞれについて各1個、合計6の登録簿があります。
登録名義書換事務代行契約	Registrar Agreement	登録名義書換事務代行会社、発行体及び受託者との間で2012年12月14日に締結された登録名義書換事務代行契約を意味します。
取締役会	Board	発行体の取締役会を意味します。
認定参加者契約	Authorized Participant Agreement	発行体及びその他の者の間の文書による契約であって、それに基づき認定参加者、販売代理人、又は、貴金属上場投資信託に関して実質的に同様の機能を果たす者が選任され、当該契約が前提条件に従うことが必要とされている場合には、当該前提条件が満たされている場合を意味します。
認定受領者	Authorized Person	FSMAの目的のために承認された者を意味します。
認定免除者	Exempt Person	認定参加者契約を締結し、又は、その条項を履行するに際して、FSMAの条項又は付随する下位の法律により、認定参加者となる必要を免除されている規制された行為を構成する業務を行う者を意味します。
値決め	Fixing	関連する市場が開かれている全ての日における各々の種類の地金について、特定の日における特定の値決めにおいて特定の種類の地金にかかる価格を決定するための、値決めにかかる手続き、又は、関連の協会の規則及び手順に基づく手続きを意味します。

値決めに よって設 定された 価格	Fixing Price	全ての種類の地金に関する値決めに關して、値決めによって設定された価格を意味します。
発行体	Issuer	ジャージーにおいて、登録番号95996をもって、設立され、登録された会社であるウィズダムツリー・メタル・セキュリティーズ・リミテッド（WisdomTree Metal Securities Limited）を意味します。
プログラム	Programme	貴金属上場投資信託の発行のためのプログラムを意味します。
申込み	Application	認定参加者による発行体に対する貴金属上場投資信託の購入にかかる申込みを意味し、申込みの条件は、申込様式、目論見書に記載されており、また、関連する認定参加者契約に従ったものでなければなりません。
申込み者	Applicant	貴金属上場投資信託についての申込みを行う認定参加者を意味します。
申込様式	ApplicationForm	プログラムに関連して用いられる申込様式を意味します。
類型	category	バスケット上場投資信託について、バスケット上場投資信託を構成する様々な種類の個別上場投資信託の混合によって決定されるバスケット上場投資信託の類型を意味します。

ロンドン午前 値決め	London AM Fix	白金、パラジウム及び金に関して、関連する市場が営業している全ての日における当該地金にかかる午前値決めを意味します。銀に関して、ロンドン地金市場が営業している全ての日における正午12時の銀値決めを意味します。
ロンドン地金 市場	London BullionMarket	LBMAによって調製される金及び銀の店頭市場を意味します。
ロンドン証券 取引所	London StockExchange	文脈上の必要に応じて、ロンドン証券取引所ピーエルシー、又はその上場証券の市場（若しくは、ロンドン証券取引所が市場を複数有している場合には、当該市場のいずれか）を意味します。
ロンドンにお ける営業日	London BusinessDay	商業銀行が一般的に、及び、ロンドン地金市場がロンドンにおいて業務取引のために営業している日（英国における土曜日、若しくは日曜日、又は、休日を除く。）を意味します。

独立監査人の監査報告書

ウイズダムツリー・メタル・セキュリティーズ・リミテッドのメンバー各位

意見

私たちは、ウイズダムツリー・メタル・セキュリティーズ・リミテッド（以下「会社」という。）の財務諸表、すなわち2019年12月31日現在の財政状態計算書、同日をもって終了した年度の純損益及びその他の包括利益計算書、キャッシュ・フロー計算書、資本変動計算書、並びに重要な会計方針の要約を含む関連する注記1から注記13について監査を行った。財務諸表の作成に適用された財務報告の枠組みは、適用法令及び国際財務報告基準である。

添付の財務諸表に対する私たちの意見は以下の通りである。

- 2019年12月31日現在の会社の財政状態並びに同日に終了した年度の会社の経営成績及びキャッシュ・フローは真実かつ公正な概観を提供しており、
- 国際財務報告基準に準拠して適切に作成されており、かつ
- 1991年会社法（ジャージー）の要求事項に準拠して適切に作成されている。

意見の根拠

私たちは、国際監査基準（英国）（ISAの英国版、以下「ISA(UK)」という。）及び適用法令に準拠して監査を行った。当該基準における私たちの責任は、当報告書の「財務諸表監査に対する監査人の責任」に記載されている。私たちは、英国における財務諸表監査に関する倫理規定（上場会社に適用される英国財務評議会（FRC）の倫理基準を含む。）に基づき会社から独立しており、またこれらの要求事項に従いその他の倫理的責任も果たしている。

私たちは、私たちの意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

継続企業の前提に関連する結論

私たちは、ISA(UK)がいずれかに該当する場合に報告を要求している以下の事項に関して、報告すべき事項はない。

取締役が財務諸表の作成に継続企業を前提とした会計処理を適用することが適切ではない。
取締役が、財務諸表の発行承認日から少なくとも12ヶ月間継続企業を前提とした会計処理を引き続き適用する会社の能力に重大な疑義を生じさせ得る識別された重要な不確実性について、財務諸表に開示していない。

私たちの監査手法の概要

監査上の主要な検討事項	純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の評価 - 貴金属地金 純損益を通じて公正価値で測定する金融負債の評価 - 貴金属証券
重要性の基準値	財務諸表全体の重要性の基準値：119.8百万米ドル（総資産の1%）

監査上の主要な検討事項

監査上の主要な検討事項とは、私たちの職業的専門家としての判断によって、私たちの当事業年度の財務諸表監査において最も重要であると決定された事項であり、私たちによって識別された最も重要な虚偽表示リスク（不正によるものかどうかを問わない）も含まれている。これらの中には、全体的な監査戦略やリソース配分、監査チームの労力の掛け方に最も大きな影響を及ぼした事項も含まれている。これらは財務諸表全体に対する私たちの監査の過程及び監査意見の形成において対応した事項であって、私たちが当該事項に対して個別に意見を表明するものではない。上記の監査意見に達する中で、監査上の主要な検討事項は以下の通りであった。

リスク	監査上の対応	取締役会に伝達した主要な見解
<p>純損益を通じて公正価値で測定する金融負債 - 貴金属証券の評価</p> <p>11,951,720,353米ドル (2018年度: 8,628,692,295米ドル)</p> <p>会計方針(19-20ページ(訳者注: 原文のページ))及び財務諸表に対する注記7(23-24ページ(訳者注: 原文のページ))を参照</p> <p>発行済証券の価値に虚偽表示がある、または評価が正確に行われないリスク</p> <p>発行済貴金属証券は、証券保有者に貴金属地金の価格変動エクスポージャーを現物の引渡なしに提供する多様な金融商品から構成されている。</p> <p>貴金属証券は金融負債に公正価値で計上されている。</p> <p>このリスクは、評価手法の適用並びに評価に使用されたインプットの情報源及び時期の双方に誤謬が生じるリスクから構成されている。</p> <p>貴金属証券の残高は、会社の2019年12月31日現在の負債合計の99%(2018年: 99%)超を占めている。このため、評価手法に誤謬が生じた場合重要となり得る。</p>	<p>監査上の対応は以下の通りである。</p> <p>商品(コモディティ)証券の評価に関して導入されている会社のシステム及び内部統制を検証</p> <p>前任監査人の監査調書を閲覧し、前事業年度の当該評価に関するテスト方針及び手法について理解</p> <p>適用されている評価手法(貴金属証券の評価に証券の取引価格を使用する等)の適切性を関連IFRSに照らし検証</p> <p>外部の価格算定ソースを利用して貸借対照表日現在の証券価格を独自に入手</p> <p>2019年12月31日現在の貴金属証券の評価について、証券価格に発行済証券の確認実施後の残数を乗じて再計算。これは発行済証券の総額となった。</p>	<p>貴金属証券の評価に関して私たちが監査作業の過程で識別した、会社の取締役会の注意を喚起すべきと考える事項はなかった。</p>

強調事項 - COVID-19の影響

私たちは、財務諸表注記2、12(f)(i)、及び13に記載されている通り、COVID-19により会社が直面している経済及び社会的混乱が金融市場に影響を与え貴金属地金価格のボラティリティを一層高めていることについて、注意を喚起する。私たちの意見は、この事項により修正されるものではない。

私たちの監査範囲の概要

範囲の決定方法

私たちは、監査リスクの評価、重要性の判断、及び手続実施上の重要性の配分を行うことにより、会社の監査範囲を決定している。これにより、財務諸表に対する監査意見の形成が可能となる。私たちは、実施すべき監査作業の水準を判断するに当たり、会社の規模、リスク特性及び組織、並びに内部統制（内部統制及び事業環境の変化を含む、）の有効性を考慮している。当監査チームは、全ての監査作業を直接実施している。

前事業年度からの変更点

私たちは、前事業年度と比較し、監査範囲の変更を識別していない。会社の主たる会計及び経営活動は、前事業年度と同一地域で同一の役務提供者が実施しており、また私たちの監査作業の結果、単一の監査プロセスとして行われていた。

私たちが適用した重要性の基準値

私たちは、識別した虚偽表示が監査及び監査意見の形成に与える影響を評価するに当たり、監査計画上の重要性及び手続実施上の重要性の概念を適用している。

重要性の基準値

脱漏または虚偽表示は、個別にまたは集計すると、財務諸表利用者の経済的意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性がある。重要性の基準値は、私たちの監査手続の内容及び範囲を決定する際の基礎となる。

私たちは、会社の重要性の基準値を119.8百万米ドル（2018年：43.0百万米ドル）と決定した。これは総資産の1%（2018年度：0.5%）である。総資産額は発行済証券の保有者の原資産に対する関連エクスポージャーを反映していることから、私たちは総資産が監査上の重要性の基準値の適切な基礎を提供するものであると考えている。

私たちが監査人に任命された初年度であるため、上記の基準値は、現在の事業並びに当事業年度の所有及び経営に関する私たちの理解を基に決定している。これは、虚偽表示が財務諸表利用者の経済的意思決定に影響を与えると私たちが予想する水準でもある。

特に私たちは、証券保有者が得る資産の運用成果に対するエクスポージャーの内容と、既存のウィズダム・ツリーの上場発行商品に適用される基準値を知ることによる財務諸表利用者の期待の双方を考慮している。

会社は、証券保有者の持分が負債に反映されるよう組成されているが、純資産に対する投資エクスポージャーを提供するものであり、この純資産エクスポージャーの観点から当該1%は適切であると考えている。

この基準値は、監査対象である欧州の他のウィズダム・ツリーの上場発行体のプラットフォームとも一致しており、これらに対して資産の1%は重要性の基準値として従来から使用されていることから、私たちはこの基準値はウィズダム・ツリーの発行ピークルに関する財務諸表利用者の期待を反映していると考えている。

監査の過程において、私たちは、当初の重要性を再検討した結果、監査計画段階で決定した当初の重要性の水準を変更すべき要因はなかった。

手続実施上の重要性

個々の勘定または残高レベルで適用する重要性の基準値である。これは、未修正の虚偽表示と未発見の虚偽表示の合計が重要性の基準値を上回る可能性を適切な低い水準に抑えるために設定する金額である。

リスク評価及び会社の全般的な統制環境に関する評価を基に、私たちは、手続実施上の重要性を、監査計画上の重要性59.9百万米ドル（2018年度：報告なし）の50%（2018年度：報告なし）とした。私たちは、監査人に任命された初年度であるため、手続実施上の重要性をこの比率としたものである。

前任監査人は手続実施上の重要性を別途報告していなかったため、前事業年度に使用された基準値または金額と比較した増減を報告することはできない。

僅少許容金額

識別した虚偽表示が以下の金額を下回る場合、明らかに僅少と判断している。

私たちは、6.0百万米ドル（2018年度：2.15百万米ドル）を超える監査差異はすべて監査委員会に報告することに合意している。この金額は、監査計画上の重要性の5%に設定しており、僅少許容金額を下回る監査差異については、私たちが定性的理由による報告が必要と考える場合に行う。

この金額の算定基準は、前事業年度に適用されていた監査計画上の重要性の5%と一致しているが、増加している理由は、監査計画上の重要性の決定に使用した比率が全体的に上昇したことによる。

私たちは、監査意見の形成に当たり、上記の基準値という定量的方法と、その他必要な定性的検討の両面から、未修正の虚偽表示について評価を行っている。

その他の情報

その他の情報は、年次報告書の1ページから7ページ（訳者注：原文のページ）に記載されている情報から構成されている。これには、2ページから6ページ（訳者注：原文のページ）に記載の取締役報告書及び7ページ（訳者注：原文のページ）に記載の取締役の責任に関する記述が含まれており、財務諸表及び私たちの監査報告書は含まれない。取締役は、その他の情報に対して責任を有している。

財務諸表に対する私たちの意見はその他の情報を対象としていないが、本報告書に明記している範囲を除き、私たちはいかなる形式の保証の結論も表明しない。

財務諸表監査における私たちの責任は、その他の情報を通読し、その通読の過程において、その他の情報と財務諸表若しくは私たちが監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか、またはそのような重要な相違以外に重要な虚偽表示の兆候があるかどうかを検討することにある。私たちは、そのような重要な相違または明らかな重要な虚偽表示を識別した場合には、財務諸表に重要な虚偽表示があるか、またはその他の情報に重要な虚偽表示があるかどうかを判断することが求められている。私たちは、実施した作業に基づきその他の情報に重要な虚偽表示があると結論付ける場合、当該事実を報告することが求められている。

私たちは、これに関して報告すべき事項はない。

例外として報告を要求される事項に関して報告すべき事項

私たちの意見では、1991年会社法（ジャージー）がいずれかに該当する場合に報告を要求している以下の事項に関して、報告すべき事項はない。

会社が適切な会計記録を保持していない、または私たちが往査していない支店から私たちの監査において十分な適切な回答を得ていない。

財務諸表が会社の会計記録及び回答と一致していない。

私たちが監査に必要な全ての情報及び説明を受領していない。

取締役の責任

7ページ（訳者注：原文のページ）に記載されている取締役の責任に関する記述に詳細に説明されている通り、取締役は、財務諸表の作成と、財務諸表が真実かつ公正な概観を提供するものであること、並びに不正または誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成するために取締役が必要と判断した内部統制を整備及び運用する責任を有している。

財務諸表を作成するに当たり、取締役は、継続企業として存続する会社の能力を評価し、継続企業の前提に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任を有すること、また取締役が会社の清算若しくは事業停止の意図があるか、またはそうする以外に現実的な代替案がない場合を除いて、継続企業を前提とした財務諸表を作成する責任を有する。

財務諸表監査に対する監査人の責任

私たちの目的は、全体としての財務諸表に、不正または誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかに関する合理的な保証を得て、私たちの意見を含む監査報告書を発行することにある。合理的な保証は高い水準の保証であるが、ISA(UK)に準拠して行った監査が、存在する全ての重要な虚偽表示を常に発見することを保証するものではない。虚偽表示は、不正または誤謬から発生する可能性があり、個別にまたは集計した金額が財務諸表利用者の経済的意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

財務諸表監査に対する私たちの責任についての詳細な説明は、財務報告評議会のウェブサイト（www.frc.org.uk/auditorsresponsibilities）で閲覧可能である。この説明は、私たちの監査報告書の一部を形成するものである。

本報告書の利用

本報告書は、1991年会社法（ジャージー）第113A条に準拠して、一団を構成する会社のメンバーのみに対して作成されている。私たちの監査業務は、会社のメンバーへの表明が要求されている事項を監査報告書で私たちが表明するために実施されたものであって、それ以外の目的のために実施されたものではない。私たちは、法令により最大限認められる範囲内において、会社及び一団を構成する会社のメンバー以外のいかなる者に対しても、私たちの監査業務、本報告書、及び私たちの形成した意見につき責任を負わない。

クリストファー・デビット・ゴードン・バリー、FCA
アーンスト・アンド・ヤング・エルエルピーを代表して
ジャージー、チャネル諸島

2020年5月15日

注：

1. ウイズダムツリー・メタル・セキュリティーズ・リミテッドのウェブサイトの維持管理及び完全性に対する責任は取締役にある。監査人が実施した作業にはこれらの事項に関する検討は含まれず、監査人は当該ウェブサイトに当初掲載以降に行われた財務諸表のいかなる変更に対しても責任を負わない。
2. 財務諸表の作成及び公表について規定するジャージーの法令は、他の管轄地域における法令と異なる可能性がある。

[次へ](#)

INDEPENDENT AUDITOR'S REPORT
TO THE MEMBERS OF WISDOMTREE METAL SECURITIES LIMITED

Opinion

We have audited the financial statements of WisdomTree Metal Securities Limited (the 'company') for the year ended 31 December 2019 which comprise the Statement of Profit or Loss and Other Comprehensive Income, the Statement of Financial Position, the Statement of Cash Flows, the Statement of Changes in Equity and the related notes 1 to 13, including a summary of significant accounting policies. The financial reporting framework that has been applied in their preparation is applicable law and International Financial Reporting Standards.

In our opinion, the financial statements:

- 25BA give a true and fair view of the state of the company's affairs as at 31 December 2019 and of its result for the year then ended;
- 25BA have been properly prepared in accordance with International Financial Reporting Standards; and
- 25BA have been properly prepared in accordance with the requirements of the Companies (Jersey) Law 1991.

Basis for opinion

We conducted our audit in accordance with International Standards on Auditing (UK) (ISAs (UK)) and applicable law. Our responsibilities under those standards are further described in the Auditor's responsibilities for the audit of the financial statements section of our report below. We are independent of the company in accordance with the ethical requirements that are relevant to our audit of the financial statements in the UK, including the FRC's Ethical Standard as applied to listed entities, and we have fulfilled our other ethical responsibilities in accordance with these requirements.

We believe that the audit evidence we have obtained is sufficient and appropriate to provide a basis for our opinion.

Conclusions relating to going concern




We have nothing to report in respect of the following matters in relation to which the ISAs (UK) require us to report to you where:

- 25BA the directors' use of the going concern basis of accounting in the preparation of the financial statements is not appropriate; or
- 25BA the directors have not disclosed in the financial statements any identified material uncertainties that may cast significant doubt about the company's ability to continue to adopt the going concern basis of accounting for a period of at least twelve months from the date when the financial statements are authorised for issue.

INDEPENDENT AUDITOR'S REPORT

TO THE MEMBERS OF WISDOMTREE METAL SECURITIES LIMITED (continued)

Overview of our audit approach

Key audit matters		Valuation of Financial Assets at fair value through profit and loss - Metal Bullion
		Valuation of Financial Liabilities at fair value through profit and loss - Metal Securities
Materiality		Overall materiality of US\$119.8m which represents 1% of total assets.

Key audit matters

Key audit matters are those matters that, in our professional judgment, were of most significance in our audit of the financial statements of the current period and include the most significant assessed risks of material misstatement (whether or not due to fraud) that we identified. These matters included those which had the greatest effect on: the overall audit strategy, the allocation of resources in the audit; and directing the efforts of the engagement team. These matters were addressed in the context of our audit of the financial statements as a whole, and in our opinion thereon, and we do not provide a separate opinion on these matters.

INDEPENDENT AUDITOR'S REPORT

TO THE MEMBERS OF WISDOMTREE METAL SECURITIES LIMITED (continued)

Risk	Our response to the risk	Key observations communicated to the Board
<p>Valuation of Financial Liabilities at fair value through profit and loss - Metal Securities</p> <p>USD 11,951,720,353 (2018: USD 8,628,692,295)</p> <p><i>Refer to the Accounting policies (pages 19-20); and Note 7 of the Financial Statements (pages 23-24)</i></p> <p>Risk that values of securities in issue are misstated or that valuations are incorrectly captured.</p> <p>The Metal Securities in issue comprise a range of financial instruments that provide holders of issued securities with exposure to movements in prices of Metal Bullion without needing to take physical delivery.</p> <p>The Metal Securities are carried at fair value as a Financial Liability.</p> <p>The risk comprises the risk of errors in both the valuation methodology applied and in the source and timing of valuation inputs utilised.</p> <p>The balance of Metal Securities represents in excess of 99% of the company's total liabilities as at 31 December 2019 (2018: 99%) and therefore any error in valuation approach could be significant.</p>	<p>Our response to the risk comprised:</p> <p>An assessment of the company's systems and controls implemented in respect of commodity security valuation.</p> <p>Review of predecessor audit workpapers to understand the strategy and approach to testing valuation in the prior period.</p> <p>Assessed the appropriateness of the valuation methodology applied, comprising the use of traded security prices to value the Energy Securities, against relevant IFRS requirements.</p> <p>Independently obtained security prices using external pricing sources at the balance sheet date.</p> <p>Recalculation of the value Metal Securities held at 31 December 2019, by multiplying the security price by the confirmed security balance in issue. This represented 100% of the total value of Metal Securities in issue.</p>	<p>There were no matters identified during our audit work on valuation of Metal Securities that we wanted to bring to the attention of the Board of Directors of the company.</p>

INDEPENDENT AUDITOR'S REPORT**TO THE MEMBERS OF WISDOMTREE METAL SECURITIES LIMITED (continued)****Emphasis of matter - Effects of COVID-19**

We draw attention to Note 2, Note 12(f)(i) and Note 13 of the financial statements, which describes the economic and social disruption the company is facing as a result of COVID-19 which is impacting financial markets and creating greater volatility in metal bullion prices. Our opinion is not modified in respect of this matter.

An overview of the scope of our audit**Tailoring the scope**

Our assessment of audit risk, our evaluation of materiality and our allocation of performance materiality determine our audit scope for the company. This enables us to form an opinion on the financial statements. We take into account size, risk profile, the organisation of the company and effectiveness of controls, including controls and changes in the business environment when assessing the level of work to be performed. All audit work was performed directly by the audit engagement team.

Changes from the prior year

We have identified no changes in the scope of the audit compared to the prior year. The primary accounting and administrative activities for the Company were conducted in the same geographical locations and by the same service providers as in the prior year and as a result our work was conducted as a single audit process.

Our application of materiality

We apply the concept of materiality in planning and performing the audit, in evaluating the effect of identified misstatements on the audit and in forming our audit opinion.

Materiality

The magnitude of an omission or misstatement that, individually or in the aggregate, could reasonably be expected to influence the economic decisions of the users of the financial statements. Materiality provides a basis for determining the nature and extent of our audit procedures.

We determined materiality for the company to be US\$119.8 million (2018: US\$43.0 million), which is 1% (2018: 0.5%) of Total Assets. We believe that Total Assets provides us with an appropriate basis for audit materiality as Total Asset value reflects the relevant exposure of holders of issued securities to the underlying asset base.

As our first period of appointment as auditor the basis above has been determined based on our understanding of the current business and its ownership and operation in the current year, including the level at which we anticipate misstatements would influence the economic decisions of a user of the financial statements.

INDEPENDENT AUDITOR'S REPORT**TO THE MEMBERS OF WISDOMTREE METAL SECURITIES LIMITED (continued)**

In particular we have considered both the nature of the exposure to asset performance being obtained by security holders and the expectations of the users of the financial statements by observing the basis applied across existing WisdomTree exchange traded issuer products.

The entity is structured such that the security holders interests are reflected as a liability, but provide exposure to net assets invested, with the 1% being considered appropriate in the context of such net asset exposure.

The basis is also consistent with other audited WisdomTree exchange traded issuer platforms in Europe, where 1% of assets has historically been applied as the basis for materiality, so we have reflected this established level of user expectation for WisdomTree issuer vehicles.

During the course of our audit, we reassessed initial materiality and noted no factors leading us to amend materiality levels from those originally determined at the audit planning stage.

Performance materiality

The application of materiality at the individual account or balance level. It is set at an amount to reduce to an appropriately low level the probability that the aggregate of uncorrected and undetected misstatements exceeds materiality.

On the basis of our risk assessments, together with our assessment of the company's overall control environment, our judgement was that performance materiality was 50% (2018: Not reported) of our planning materiality, namely US\$59.9 m (2018: Not reported). We have set performance materiality at this percentage due to this being our initial year of appointment as auditor.

As performance materiality was not separately reported by the predecessor auditor we are not able to report on any variation compared to the basis or amounts utilised in the prior year.

Reporting threshold

An amount below which identified misstatements are considered as being clearly trivial.

We agreed with the Audit Committee that we would report to them all uncorrected audit differences in excess of US\$6.0m (2018: US\$2.15 m), which is set at 5% of planning materiality, as well as differences below that threshold that, in our view, warranted reporting on qualitative grounds.

The basis of determining the amount remains consistent with that applied in the prior year at 5% of planning materiality, with the increase explained by the higher overall percentage used in determining planning materiality.

INDEPENDENT AUDITOR'S REPORT**TO THE MEMBERS OF WISDOMTREE METAL SECURITIES LIMITED (continued)**

We evaluate any uncorrected misstatements against both the quantitative measures of materiality discussed above and in light of other relevant qualitative considerations in forming our opinion.

Other information

The other information comprises the information included in the annual report set out on pages 1 to 7, including the Directors' Report set out on pages 2 to 6 and the Statement of Directors' Responsibilities set out on page 7, other than the financial statements and our auditor's report thereon. The directors are responsible for the other information.


Our opinion on the financial statements does not cover the other information and, except to the extent otherwise explicitly stated in this report, we do not express any form of assurance conclusion thereon.


In connection with our audit of the financial statements, our responsibility is to read the other information and, in doing so, consider whether the other information is materially inconsistent with the financial statements or our knowledge obtained in the audit or otherwise appears to be materially misstated. If we identify such material inconsistencies or apparent material misstatements, we are required to determine whether there is a material misstatement in the financial statements or a material misstatement of the other information. If, based on the work we have performed, we conclude that there is a material misstatement of the other information, we are required to report that fact.


We have nothing to report in this regard.

Matters on which we are required to report by exception

We have nothing to report in respect of the following matters in relation to which the Companies (Jersey) Law 1991 requires us to report to you if, in our opinion:

 proper accounting records have not been kept by the company, or proper returns adequate for our audit have not been received from branches not visited by us; or

 the financial statements are not in agreement with the company's accounting records and returns; or

 we have not received all the information and explanations we require for our audit

Responsibilities of directors

As explained more fully in the directors' responsibilities statement set out on page 7, the directors are responsible for the preparation of the financial statements and for being satisfied that they give a true and fair view, and for such internal control as the directors determine is necessary to enable the preparation of financial statements that are free from material misstatement, whether due to fraud or error.

INDEPENDENT AUDITOR'S REPORT**TO THE MEMBERS OF WISDOMTREE METAL SECURITIES LIMITED (continued)**

In preparing the financial statements, the directors are responsible for assessing the company's ability to continue as a going concern, disclosing, as applicable, matters related to going concern and using the going concern basis of accounting unless the directors either intend to liquidate the company or to cease operations, or have no realistic alternative but to do so.

Auditor's responsibilities for the audit of the financial statements

Our objectives are to obtain reasonable assurance about whether the financial statements as a whole are free from material misstatement, whether due to fraud or error, and to issue an auditor's report that includes our opinion. Reasonable assurance is a high level of assurance, but is not a guarantee that an audit conducted in accordance with ISAs (UK) will always detect a material misstatement when it exists. Misstatements can arise from fraud or error and are considered material if, individually or in the aggregate, they could reasonably be expected to influence the economic decisions of users taken on the basis of these financial statements.

A further description of our responsibilities for the audit of the financial statements is located on the Financial Reporting Council's website at <https://www.frc.org.uk/auditorsresponsibilities>. This description forms part of our auditor's report.

Use of our report

This report is made solely to the company's members, as a body, in accordance with Article 113A of the Companies (Jersey) Law 1991. Our audit work has been undertaken so that we might state to the company's members those matters we are required to state to them in an auditor's report and for no other purpose. To the fullest extent permitted by law, we do not accept or assume responsibility to anyone other than the company and the company's members as a body, for our audit work, for this report, or for the opinions we have formed.

Christopher David Gordon Barry, FCA
for and on behalf of Ernst & Young LLP
Jersey, Channel Islands
15 May 2020

() 上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は本書提出代理人が別途保管しております。

独立監査人の監査報告書

ウィズダムツリー・メタル・セキュリティーズ・リミテッドのメンバー各位

意見

私たちは、ウィズダムツリー・メタル・セキュリティーズ・リミテッド（以下「会社」という。）の財務諸表、すなわち2020年12月31日現在の財政状態計算書、同日をもって終了した年度の純損益及びその他の包括利益計算書、キャッシュ・フロー計算書、資本変動計算書、並びに重要な会計方針の要約を含む関連する注記1から注記16について監査を行った。財務諸表の作成に適用された財務報告の枠組みは、適用法令及び国際財務報告基準（以下「IFRS」という。）である。

添付の財務諸表に対する私たちの意見は以下の通りである。

2020年12月31日現在の会社の財政状態並びに同日に終了した年度の会社の経営成績及びキャッシュ・フローは真実かつ公正な概観を提供しており、

IFRSに準拠して適切に作成されており、かつ

1991年会社法（ジャージー）の要求事項に準拠して適切に作成されている。

意見の根拠

私たちは、国際監査基準（英国）（ISAの英国版、以下「ISA(UK)」という。）及び適用法令に準拠して監査を行った。当該基準における私たちの責任は、当報告書の「財務諸表監査に対する監査人の責任」に記載されている。私たちは、財務諸表監査に関する倫理規定（上場会社に適用される英国財務評議会（UK FRC）の倫理基準を含む。）に基づき会社から独立しており、またこれらの要求事項に従いその他の倫理的責任も果たしている。

私たちは、私たちの意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

継続企業の前提に関連する結論

財務諸表の監査にあたり、私たちは、取締役による継続企業を前提とした財務諸表の作成は適切であると結論付けている。会社が継続企業を前提とした会計処理を継続することに関する取締役の評価について私たちが実施した検討には、以下の事項が含まれる。

経営者の評価の検討方法

リスク評価手続

私たちは、経営者が継続企業を前提とした会計処理を行う根拠について理解した。この評価の完全性について批判的に検討するため、会社の継続企業としての存続能力に重要な疑義を生じさせる事象または状況を示す要因の有無について独自に評価を実施した。識別した事象または状況は、経営者の評価でも取り上げられており、詳細は以下に記載している。私たちは、監査手続を立案し、会社の継続企業としての存続能力に係るリスクの影響について検討した。

経営者の手法

私たちは、会社の財務諸表決算プロセスのウォークスルーと併せて、経営者による継続企業の評価プロセスに関する私たちの理解を確かめるとともに、経営者とのコミュニケーションを通じて、主要な要因のすべてが経営者の評価において考察されたことを批判的に検討した。

財務諸表署名日から2022年4月30日までを評価期間とした、取締役会承認後の経営者による継続企業の評価を入手した。会社には資金取引や現金支払義務はないことから、経営者による継続企業の評価は以下を中心に複合的に行われた。

指定参加者の継続的参加による会社の継続的存続能力について評価
評価期間中に発生が予想される強制償還をもたらす事象はないことの判断
会社が属している、より広範なウィズダムツリー・ジャージの発行体プラットフォームの継続的存続能力について、管理事務代行会社の期限到来時における義務の履行を裏付けるプラットフォームの能力について重点的に評価（変動する発行体プラットフォームの総運用資産を裏付けとする固定及び変動の運営コストに関する評価を通じて実施）

事業に関する理解を基に、経営者が継続企業の評価にあたり実施した考察及び手法の適切性について検討するとともに、当該手法の前事業年度に使用された手法との一貫性に留意した。

当該手法に対してウォークスルーを実施し、各要因について経営者が考察し検証していることに留意した。

予測の数学的正確性についてテストを実施した。

経営者の過去（コロナウイルス前）の評価の正確性を検討した。

予測に対するコロナウイルスの影響に関する経営者の評価について、ウィズダムツリー・グループが2020年度に経験した実際の影響との比較により検討した。

経営者による当該評価期間より先の期間における事象または状況に関する情報について、経営者に質問を行うとともに、業界の出版物を閲覧することで、当該評価に経営者が用いたマクロ的前提を批判的に検討し裏付けの入手を行った。また、この過程において、他の監査領域から入手した情報（貸借対照表日後財務諸表発行日までの期間における運用資産の変動等）との整合性についても検討した。

前提

私たちは、当該評価に使用された基礎データの適合性及び信頼性について、監査済財務諸表に含まれている情報による裏付けを行うことで評価した。

指定参加者の継続的参加に関する適切な証拠の有無について、取締役及び経営者への質問並びに指定参加者の不参加を示す回答がないことを確かめることにより判断した。

会社レベルでは償還をもたらす事象の兆候はないことを、目論見書の関連セクションの閲覧、取締役及び経営者への質問、並びに取締役会議事録の閲覧により判断した。

より広範なウィズダムツリー・ジャージのプラットフォームの存続可能性の検討の前提となるプラットフォームのコストに関する仮定について、前事業年度と同コスト及び現在のプラットフォームのコストベースに関して管理事務代行会社から入手した情報との比較を実施した。

今後の活動に関するストレステスト及び経営者の方針

私たちはリバースストレステストを実施し、業績悪化シナリオ（特にプラットフォームの運用資産の減少）がどの程度深刻であればプラットフォームの運営コストを賄えない程の管理・運用報酬の不足をもたらすかについて理解した。

開示

私たちは、経営者が年次報告書及び財務諸表に行った開示が、継続企業の前提を適用した場合に要求される情報を十分かつ適切に開示しているかについて、開示に関する基準の検討により確かめた。

私たちの主要な見解

私たちの見解は以下の通りである。

会社の指定参加者から、支援の取り止めまたは会社の終了をもたらすあらゆる行動を開始する意図を示す情報は無い。

2022年4月までの評価期間に強制償還をもたらす事象の発生は無い。

現在の運用資産（AUM）の水準では、管理・運用報酬は固定費を上回る十分な余力があることが観察された。これは、発行体プラットフォームが現在の経済情勢において高まった運用資産のポラティリティ水準を吸収し得るとする経営者の仮定を裏付けるものである。

結論

私たちは、実施した作業に基づき、2022年4月30日（財務諸表の発行承認から12ヶ月後）までの期間にわたり、単独でまたは複合して会社の継続企業としての存続能力に重大な疑義を生じさせるような事象または状況に関する重要な不確実性は識別していない。

継続企業の前提に関する私たちの責任及び取締役の責任は、本報告書の該当セクションに記載している。但し、将来のすべての事象や状況の予測はできないことから、この記載は会社の継続企業としての存続能力を保証するものではない。

私たちの監査手法の概要

監査上の主要な検討事項	純損益を通じて公正価値で測定する金融負債の評価 - 貴金属証券
重要性の基準値	財務諸表全体の重要性の基準値：144.8百万米ドル（総資産の1%）

私たちの監査範囲の概要

範囲の決定方法

私たちは、監査リスクの評価、重要性の判断、及び手続実施上の重要性の配分を行うことにより、会社の監査範囲を決定している。これにより、財務諸表に対する監査意見の形成が可能となる。私たちは、実施すべき監査作業の水準を判断するにあたり、会社の規模、リスク特性及び組織、並びに内部統制（内部統制及び事業環境の変化を含む、）の有効性を考慮している。当監査チームは、全ての監査作業を直接実施している。

前事業年度からの変更点

前事業年度と比較して私たちの監査戦略に変更はない。

監査上の主要な検討事項

監査上の主要な検討事項とは、私たちの職業的専門家としての判断によって、私たちの当事業年度の財務諸表監査において最も重要であると決定された事項であり、私たちによって識別された最も重要な虚偽表示リスク（不正によるものかどうかを問わない）も含まれている。これらの中には、全体的な監査戦略やリソース配分、監査チームの労力の掛け方に最も大きな影響を及ぼした事項も含まれている。これらは財務諸表全体に対する私たちの監査の過程及び監査意見の形成において対応した事項であって、私たちが当該事項に対して個別に意見を表明するものではない。

リスク	監査上の対応	取締役会に伝達した主要な見解
<p>純損益を通じて公正価値で測定する金融負債 - 貴金属証券の評価</p> <p>14,496,623,028米ドル (2019年度：11,951,720,353米ドル)</p> <p>会計方針（22-23ページ（訳者注：原文のページ））及び財務諸表に対する注記8（26-27ページ（訳者注：原文のページ））を参照</p> <p>発行済貴金属証券の価値に虚偽表示がある、または評価が正確に行われないリスク</p> <p>発行済貴金属証券は、証券保有者に貴金属の価格変動エクスポージャーを現物の引渡しに提供する多様な金融商品から構成されている。</p> <p>貴金属証券は金融負債に公正価値で計上されている。</p> <p>このリスクは、評価手法の適用並びに評価に使用されたインプットの情報源及び時期の双方に誤謬が生じるリスクから構成されている。</p> <p>貴金属証券の残高は、会社の2020年12月31日現在の負債合計の99%（2019年：99%）超を占めている。このため、評価手法に誤謬が生じた場合重要となり得る。このリスクは前事業年度に観察されたリスクと同一である。</p>	<p>私たちは、貴金属証券の評価に関して導入されているシステム及び内部統制についてウォークスルーを実施した。私たちは、監査戦略の実行にあたり十分に実施可能なアプローチを採用した。</p> <p>監査上の対応は以下の通りである。</p> <p>貴金属証券の評価に関して導入されている会社のシステム及び内部統制を検証</p> <p>適用されている評価手法（貴金属証券の評価に証券の取引価格を使用する等）の適切性を関連IFRSの要求事項に照らし検証</p> <p>外部の価格算定ソースを利用して貸借対照表日現在の証券価格を独自に入手</p> <p>2020年12月31日現在の貴金属証券の評価について、証券価格に発行済証券の確認実施後の残数を乗じて再計算。これは発行済証券の総額となった。</p>	<p>貴金属証券の評価に関して私たちが監査作業の過程で識別した、会社の取締役会の注意を喚起すべきと考える事項はなかった。</p> <p>私たちは、テストを実施した結果、貴金属証券の評価に重要な虚偽表示はないと判断している。</p>

私たちが適用した重要性の基準値

私たちは、識別した虚偽表示が監査及び監査意見の形成に与える影響を評価するにあたり、監査計画上の重要性及び手続実施上の重要性の概念を適用している。

重要性の基準値

脱漏または虚偽表示は、個別にまたは集計すると、財務諸表利用者の経済的意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性がある。重要性の基準値は、私たちの監査手続の内容及び範囲を決定する際の基礎となる。

私たちは、会社の重要性の基準値を144.8百万米ドル（2019年：119.8百万米ドル）と決定した。これは総資産の1%（2019年度：1%）である。総資産額は発行済証券の保有者の原資産に対する関連エクスポージャーを反映していることから、私たちは総資産が監査上の重要性の基準値の適切な基礎を提供するものであると考えている。

特に私たちは、証券保有者が得る資産の運用成果に対するエクスポージャーの内容及、既存のウィズダム・ツリーの上場発行商品に適用される基準値を知ることによる財務諸表利用者の期待の双方を考慮している。

会社は、証券保有者の持分が負債に反映されるよう組成されているが、純資産に対する投資エクスポージャーを提供するものであり、この資産に係るエクスポージャーの観点から当該1%は適切であると考えている。

この基準値は、監査対象である欧州の他のウィズダム・ツリーの上場発行体のプラットフォームとも一致しており、これらに対して総資産の1%は重要性の基準値として従来から使用されていることから、私たちはこの基準値はウィズダム・ツリーの発行ピークルに関する財務諸表利用者の期待を引き続き反映していると考えている。

前事業年度と比較して使用した重要性の基準値に関する変更はない。

手続実施上の重要性

個々の勘定または残高レベルで適用する重要性の基準値である。これは、未修正の虚偽表示と未発見の虚偽表示の合計が重要性の基準値を上回る可能性を適切な低い水準に抑えるために設定する金額である。

リスク評価及び会社の全般的な統制環境に関する評価を基に、私たちは、手続実施上の重要性を、監査計画上の重要性72.4百万米ドル（2019年度：59.9百万米ドル）の50%（2019年度：50%）とした。手続実施上の重要性をこの率に設定したのは、前事業年度に会社及び関連する企業の監査において識別した監査差異に対応したものである。前事業年度に手続実施上の重要性を監査計画上の重要性の50%に設定したのは、私たちの関与が初年度であったことを反映させるためであった。

僅少許容金額

識別した虚偽表示が以下の金額を下回る場合、明らかに僅少と判断している。

私たちは、7.2百万米ドル（2019年度：6百万米ドル）を超える未修正の監査差異はすべて取締役会に報告することに合意している。この金額は、監査計画上の重要性の5%に設定しており、僅少許容金額を下回る監査差異については、私たちが定性的理由により報告が必要と考える場合に行う。この金額の算定基準は、前事業年度に適用していた監査計画上の重要性の5%と一致している。

私たちは、監査意見の形成にあたり、上記の基準値という定量的方法と、その他必要な定性的検討の両面から、未修正の虚偽表示について評価を行っている。

その他の情報

その他の情報は、年次報告書の1ページから7ページ（訳者注：原文のページ）に記載されている情報から構成されている。これには、2ページから6ページ（訳者注：原文のページ）に記載の取締役報告書及び7ページ（訳者注：原文のページ）に記載の取締役の責任に関する記述が含まれており、財務諸表及び私たちの監査報告書は含まれない。取締役は、年次報告書に記載されているその他の情報に対して責任を有している。

財務諸表に対する私たちの意見はその他の情報を対象としていないが、本報告書に明記している範囲を除き、私たちはいかなる形式の保証の結論も表明しない。

私たちの責任は、その他の情報を通読し、その通読の過程において、その他の情報と財務諸表若しくは私たちが監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか、またはそのような重要な相違以外に重要な虚偽表示の兆候があるかどうかを検討することにある。私たちは、そのような重要な相違または明らかな重要な虚偽表示を識別した場合には、財務諸表自体に重要な虚偽表示があるかどうかを判断することが求められている。私たちは、実施した作業に基づきその他の情報に重要な虚偽表示があると結論付ける場合、当該事実を報告することが求められている。

私たちは、これに関して報告すべき事項はない。

例外として報告を要求される事項に関して報告すべき事項

私たちの意見では、1991年会社法（ジャージー）がいずれかに該当する場合に報告を要求している以下の事項に関して、報告すべき事項はない。

会社が適切な会計記録を保持していない、または私たちが往査していない支店から私たちの監査において十分な適切な回答を得ていない。

財務諸表が会社の会計記録及び回答と一致していない。

私たちが監査に必要な全ての情報及び説明を受領していない。

取締役の責任

7ページ（訳者注：原文のページ）に記載されている取締役の責任に関する記述に詳細に説明されている通り、取締役は、財務諸表の作成と、財務諸表が真実かつ公正な概観を提供するものであること、並びに不正または誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成するために取締役が必要と判断した内部統制を整備及び運用する責任を有している。

財務諸表を作成するにあたり、取締役は、継続企業として存続する会社の能力を評価し、継続企業の前提に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任を有すること、また取締役が会社の清算若しくは事業停止の意図があるか、またはそうする以外に現実的な代替案がない場合を除いて、継続企業を前提とした財務諸表を作成する責任を有する。

財務諸表監査に対する監査人の責任

私たちの目的は、全体としての財務諸表に、不正または誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかに関する合理的な保証を得て、私たちの意見を含む監査報告書を発行することにある。合理的な保証は高い水準の保証であるが、ISA(UK)に準拠して行った監査が、存在する全ての重要な虚偽表示を常に発見することを保証するものではない。虚偽表示は、不正または誤謬から発生する可能性があり、個別にまたは集計した金額が財務諸表利用者の経済的意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査により不法行為（不正を含む。）の発見が可能と考えられる範囲に関する説明

不法行為（不正を含む。）は法令違反の一例である。私たちは、先述の通り、私たちの責任に応じた不正を発見するための手続を立案している。不正による重要な虚偽表示を発見できないリスクは誤謬による重要な虚偽表示を発見できないリスクを上回るが、これは不正が、例えば偽造や意図的な虚偽の陳述、共謀により計画的に隠蔽される場合があるためである。私たちの手続により不法行為（不正を含む。）の発見が可能な範囲は、以下の通りである。

尚、不正を防止及び発見する主たる責任は、監査役及び経営者にある。

私たちは、会社に適用される法規制の枠組みを理解し、IFRS及び1991年会社法（ジャージー）から構成される財務報告の枠組みが最も重要であると判断した。また、財務諸表の表示及び開示に影響を与える可能性のある一定の重要な法規制が存在しており、それらは英国上場管理機関の上場規則であると結論付けている。

ウィズダムツリー・メタル・セキュリティーズ・リミテッドが当該枠組みにどのように準拠しているかについて、取締役及び管理業務を担当する主要経営者に質問を行い理解した。また、取締役会議事録、取締役会に提

出された資料、規制当局からの回答の閲覧により私たちの質問の裏付けを入手したが、矛盾を示す証拠は識別されなかった。

会社の財務諸表に重要な虚偽表示が存在する可能性（不正を行い得る方法を含む。）について、会社の投資目的の理解及び経営者とのディスカッションを通じて評価し、財務報告のどの部分に不正が起こりやすいかを理解した。リスクが相対的に高いと考えられる部分について、識別した不正リスクに対応した監査手続を実施した。これらの手続には、取引の証憑書類による検証、特定の仕訳入力テスト、及び先述の監査上の主要な検討事項のセクションに記載した重点的検証が含まれる。これらの手続の立案は、財務諸表に不正または誤謬がないことについて合理的な保証を行うことを目的としている。

このような理解を基に、当該法規制への違反を識別する監査手続を立案した。私たちの手続には、法規制への違反の識別を目的とした取締役会議事録の閲覧、法規制への準拠に関する取締役会に提出された関連する報告書の閲覧、及び管理業務担当経営者への質問が含まれる。

監査責任者は、会社がアセットマネジメント業界で事業を行っていることを踏まえ、監査チームの経験について確かめた結果、監査チームは適切な適正及び能力を有していると判断している。

財務諸表監査に対する私たちの責任についての詳細な説明は、財務報告評議会のウェブサイト（www.frc.org.uk/auditorsresponsibilities）で閲覧可能である。この説明は、私たちの監査報告書の一部を形成するものである。

本報告書の利用

本報告書は、1991年会社法（ジャージー）第113A条に準拠して、一団を構成する会社のメンバーのみに対して作成されている。私たちの監査業務は、会社のメンバーへの表明が要求されている事項を監査報告書で私たちが表明するために実施されたものであって、それ以外の目的のために実施されたものではない。私たちは、法令により最大限認められる範囲内において、会社及び一団を構成する会社のメンバー以外のいかなる者に対しても、私たちの監査業務、本報告書、及び私たちの形成した意見につき責任を負わない。

クリストファー・デビット・ゴードン・バリー、FCA
アーンスト・アンド・ヤング・エルエルピーを代表して
ジャージー、チャネル諸島

2021年4月30日


[次へ](#)


INDEPENDENT AUDITOR'S REPORT
TO THE MEMBERS OF WISDOMTREE METAL SECURITIES LIMITED


Opinion

We have audited the financial statements of WisdomTree Metal Securities Limited (the "company") for the year ended 31 December 2020 which comprise the Statement of Profit or Loss and Other Comprehensive Income, the Statement of Financial Position, the Statement of Cash Flows, the Statement of Changes in Equity, and the related notes 1 to 16, including a summary of significant accounting policies. The financial reporting framework that has been applied in their preparation is applicable law and International Financial Reporting Standards ("IFRS").

In our opinion, the financial statements:

 give a true and fair view of the state of the company's affairs as at 31 December 2020 and of its result for the year then ended;

 have been properly prepared in accordance with IFRS; and

 have been properly prepared in accordance with the requirements of the Companies (Jersey) Law 1991.

Basis for opinion


We conducted our audit in accordance with International Standards on Auditing (UK) (ISAs (UK)) and applicable law. Our responsibilities under those standards are further described in the Auditor's responsibilities for the audit of the financial statements section of our report. We are independent of the company in accordance with the ethical requirements that are relevant to our audit of the financial statements, including the UK FRC's Ethical Standard as applied to listed entities and we have fulfilled our other ethical responsibilities in accordance with these requirements.

We believe that the audit evidence we have obtained is sufficient and appropriate to provide a basis for our opinion.


Conclusions relating to going concern


In auditing the financial statements, we have concluded that the directors' use of the going concern basis of accounting in the preparation of the financial statements is appropriate. Our evaluation of the directors' assessment of the company's ability to continue to adopt the going concern basis of accounting included:

INDEPENDENT AUDITOR'S REPORT**TO THE MEMBERS OF WISDOMTREE METAL SECURITIES LIMITED (continued)****How we evaluated management's assessment***Risk assessment procedures*


 We have obtained an understanding of management's rationale for using the going concern basis of accounting. To challenge the completeness of this assessment, we have independently assessed whether factors exist that may indicate events or conditions that may cast significant doubt on the entity's ability to continue as a going concern. The events or conditions identified were consistent with those addressed in management's assessment and further are explained below. We have designed our audit procedures to evaluate the effect of these risks on the entity's ability to continue as a going concern.


Management's method

 In conjunction with our walkthrough of the company's financial statement close process, we confirmed our understanding of management's Going Concern assessment process and also engaged with management to challenge that all key factors were considered in their assessment;

 We obtained management's board approved going concern assessment covering the period of assessment from the date of signing to 30 April 2022. Given the absence of cash transactions or cash obligations within the company, management's going concern assessment has focussed on a combination of;




- o Assessing the ongoing viability of the Company through continued involvement of its Authorised Participants;
- o Determining that no compulsory redemption triggers are expected to be encountered during the period of assessment; and
- o Assessing the ongoing viability of the wider WisdomTree Jersey Issuer platform for which the Company is an element, with a focus on the ability of the platform to support the Manager in meeting obligations as they fall due, through assessment of fixed and variable operating costs that could be supported under varying levels of total assets under management for the Issuer platform.

 Using our understanding of the business, we evaluated whether the considerations and method adopted by management in assessing going concern was appropriate and observed that the method was consistent with that used in the prior year





 We performed a walkthrough of the method and noted that the each of the factors had been considered and supported by management.

 We tested that the forecasts were mathematically accurate;


INDEPENDENT AUDITOR'S REPORT**TO THE MEMBERS OF WISDOMTREE METAL SECURITIES LIMITED (continued)**

-  We considered the past historical accuracy of management's assessments (prior to Coronavirus);
-  We evaluated management's Coronavirus impact assessment on the forecasts by comparing to the actual impact experienced by the Group in 2020;
-  We inquired of management as to its knowledge of events or conditions beyond the period of management's assessment and reviewed industry publications to challenge and corroborate management's macro assumptions used in the assessment. In doing so, we also considered the consistency of information obtained from other areas of the audit such as the changes in assets under management in the period since the balance sheet date to the date of issuance of the financial statements.


Assumptions

-  We evaluated the relevance and reliability of the underlying data used to make the assessment by corroborating with the information contained in audited financial statements
-  We determined whether there was appropriate evidence for the ongoing involvement of the Authorised Participant's through enquiry with the Directors and management and confirming no correspondence indicating otherwise from the Authorised Participant
-  We determined that there was no indication of Company level redemption triggers being initiated, through reading the relevant prospectus sections, making enquiry of the Directors and management and reading minutes of meetings of the Board.
-  For the platform cost assumptions underlying the wider platform viability considerations, we compared these to those observed in the prior year and obtained information from the Manager in respect of the existing platform cost base;

Stress testing and Management's plans for future actions

-  We performed reverse stress testing on the forecasts to understand how severe the downside scenarios would have to be, and in particular the reduction in platform assets under management, to result in the platform generating insufficient management fees to cover operating costs;

Disclosures

-  We considered whether management's disclosures, in the Annual Report and financial statements, sufficiently and appropriately disclose information required in respect of the going concern assumption applied through consideration of relevant disclosure standards.

INDEPENDENT AUDITOR'S REPORT**TO THE MEMBERS OF WISDOMTREE METAL SECURITIES LIMITED (continued)****Our key observations**

We have observed:

- 25
B A No communication from the Company's Authorised Participants indicating an intention to withdraw support or initiate any action that would trigger the termination of the company;
- 25
B A No indication that compulsory redemption triggers are expected to be encountered during the period of assessment to April 2022; and
- 25
B A Significant headroom observed in management fee income, at current Assets Under Management ("AUM") levels, in excess of fixed costs supporting management's assumption that the Issuer Platform is able to absorb heightened levels of volatility in Assets Under Management in the current economic climate.

Conclusion

Based on the work we have performed, we have not identified any material uncertainties relating to events or conditions that, individually or collectively, may cast significant doubt on the company's ability to continue as a going concern over the period to 30 April 2022 being 12 months from when the financial statements are authorised for issue.

Our responsibilities and the responsibilities of the directors with respect to going concern are described in the relevant sections of this report. However, because not all future events or conditions can be predicted, this statement is not a guarantee as to the company's ability to continue as a going concern.

Overview of our audit approach

Key audit matters	25 B A	Valuation of Financial Liabilities at fair value through profit and loss - Metal Securities
Materiality	25 B A	Overall materiality of US\$144.8m which represents 1% of total assets

An overview of the scope of our audit**Tailoring the scope**

Our assessment of audit risk, our evaluation of materiality and our allocation of performance materiality determine our audit scope for the company. This enables us to form an opinion on the financial statements. We take into account size, risk profile, the organisation of the company and effectiveness of controls, including controls and changes in the business environment when assessing the level of work to be performed. All audit work was performed directly by the audit engagement team.

INDEPENDENT AUDITOR'S REPORT

TO THE MEMBERS OF WISDOMTREE METAL SECURITIES LIMITED (continued)

Changes from the prior year

There were no changes in our audit strategy compared to the prior year.

Key audit matters

Key audit matters are those matters that, in our professional judgment, were of most significance in our audit of the financial statements of the current period and include the most significant assessed risks of material misstatement (whether or not due to fraud) that we identified. These matters included those which had the greatest effect on: the overall audit strategy, the allocation of resources in the audit; and directing the efforts of the engagement team. These matters were addressed in the context of our audit of the financial statements as a whole, and in our opinion thereon, and we do not provide a separate opinion on these matters.

INDEPENDENT AUDITOR'S REPORT

TO THE MEMBERS OF WISDOMTREE METAL SECURITIES LIMITED (continued)

Risk	Our response to the risk	Key observations communicated to the Audit Committee
<p>Valuation of Financial Liabilities at fair value through profit or loss - Metal Securities</p> <p>USD 14,496,623,028 (2019: USD 11,951,720,353)</p> <p><i>Refer to the Accounting policies (pages 22-23); and Note 8 of the Financial Statements (pages 26-27)</i></p> <p>Risk that values of Metal Securities in issue are misstated or that valuations are incorrectly captured.</p> <p>The Metal Securities in issue comprise a range of financial instruments that provide holders of issued securities with exposure to movements in prices of Metal without needing to take physical delivery.</p> <p>The Metal Securities are carried at fair value as a Financial Liability.</p> <p>The risk comprises the risk of errors in both the valuation methodology applied and in the source and timing of valuation inputs utilised.</p> <p>The balance of Metal Securities represents in excess of 99% of the company's total liabilities as at 31 December 2020 (2019: 99%) and therefore any error in valuation approach could be significant.</p> <p>The risk has remained consistent with that observed in the prior year.</p>	<p>We walked through the Company's systems and controls implemented in respect of the valuation of Metal Securities. In executing our strategy, we adopted a fully substantive approach.</p> <p>Our response to the risk comprised:</p> <p>An assessment of the company's systems and controls implemented in respect of Metal Security valuation.</p> <p>Assessing the appropriateness of the valuation methodology applied, comprising the use of traded security prices to value the Metal Securities, against relevant IFRS requirements.</p> <p>Independently obtaining security prices using external pricing sources at the balance sheet date.</p> <p>Recalculating the value of Metal Securities held at 31 December 2020, by multiplying the security price by the confirmed security balance in issue. This represented 100% of the total value of Metal Securities in issue.</p>	<p>There were no matters identified during our audit work on valuation of Metal Securities that we wanted to bring to the attention of the Board of Directors of the company.</p> <p>Based on our testing we are satisfied that the valuation of Metal Securities is not materially misstated</p>

INDEPENDENT AUDITOR'S REPORT**TO THE MEMBERS OF WISDOMTREE METAL SECURITIES LIMITED (continued)****Our application of materiality**

We apply the concept of materiality in planning and performing the audit, in evaluating the effect of identified misstatements on the audit and in forming our audit opinion.

Materiality

The magnitude of an omission or misstatement that, individually or in the aggregate, could reasonably be expected to influence the economic decisions of the users of the financial statements. Materiality provides a basis for determining the nature and extent of our audit procedures.

We determined materiality for the company to be US\$144.8 million (2019: US\$119.8m million), which is 1% (2019: 1%) of Total Assets. We believe that Total Assets provides us with an appropriate basis for audit materiality as Total Assets value reflects the relevant exposure of holders of issued securities to the underlying asset base.

In particular we have considered both the nature of the exposure to asset performance being obtained by security holders and the expectations of the users of the financial statements by observing the basis applied across existing WisdomTree exchange traded issuer products.

The entity is structured such that the security holders' interests are reflected as a liability, but provide exposure to net assets invested, with the 1% being considered appropriate in the context of such asset exposure.

The basis is also consistent with other audited WisdomTree exchange traded issuer platforms in Europe, where 1% of total assets has historically been applied as the basis for materiality, so we continue to reflect this established level of user expectation for WisdomTree issuer vehicles.

There has been no change in the basis of materiality used compared to the prior year.

Performance materiality

The application of materiality at the individual account or balance level. It is set at an amount to reduce to an appropriately low level the probability that the aggregate of uncorrected and undetected misstatements exceeds materiality.

On the basis of our risk assessments, together with our assessment of the company's overall control environment, our judgement was that performance materiality was 50% (2019: 50%) of our planning materiality, namely US\$72.4 m (2019: US\$59.9m). We have set performance materiality at this percentage in response to audit differences identified in our audit of the Company and related entities in the prior year. We had set performance materiality at 50% of our planning materiality in the prior year to reflect the fact that it was our initial period of involvement.

INDEPENDENT AUDITOR'S REPORT**TO THE MEMBERS OF WISDOMTREE METAL SECURITIES LIMITED (continued)****Reporting threshold**

An amount below which identified misstatements are considered as being clearly trivial.

We agreed with the Board that we would report to them all uncorrected audit differences in excess of US\$7.2m (2019: US\$6m), which is set at 5% of planning materiality, as well as differences below that threshold that, in our view, warranted reporting on qualitative grounds. The basis of determining the amount remains consistent with that applied in the prior year at 5% of planning materiality.

We evaluate any uncorrected misstatements against both the quantitative measures of materiality discussed above and in light of other relevant qualitative considerations in forming our opinion.

Other information

The other information comprises the information included in the annual report set out on pages 1 to 7, including the Directors' Report set out on pages 2 to 6 and the Statement of Directors Responsibilities set out on page 7, other than the financial statements and our auditor's report thereon. The directors are responsible for the other information contained within the annual report.


Our opinion on the financial statements does not cover the other information and, except to the extent otherwise explicitly stated in this report, we do not express any form of assurance conclusion thereon.


Our responsibility is to read the other information and, in doing so, consider whether the other information is materially inconsistent with the financial statements or our knowledge obtained in the course of the audit or otherwise appears to be materially misstated. If we identify such material inconsistencies or apparent material misstatements, we are required to determine whether there is a material misstatement in the financial statements themselves. If, based on the work we have performed, we conclude that there is a material misstatement of the other information, we are required to report that fact.

We have nothing to report in this regard.

Matters on which we are required to report by exception

We have nothing to report in respect of the following matters in relation to which the Companies (Jersey) Law 1991 requires us to report to you if, in our opinion:

 proper accounting records have not been kept by the company, or proper returns adequate for our audit have not been received from branches not visited by us; or

 the financial statements are not in agreement with the company's accounting records and returns; or

INDEPENDENT AUDITOR'S REPORT**TO THE MEMBERS OF WISDOMTREE METAL SECURITIES LIMITED (continued)**

25 we have not received all the information and explanations we require for our audit
8A

Responsibilities of directors

As explained more fully in the directors' responsibilities statement set out on page 7, the directors are responsible for the preparation of the financial statements and for being satisfied that they give a true and fair view, and for such internal control as the directors determine is necessary to enable the preparation of financial statements that are free from material misstatement, whether due to fraud or error.

In preparing the financial statements, the directors are responsible for assessing the company's ability to continue as a going concern, disclosing, as applicable, matters related to going concern and using the going concern basis of accounting unless the directors either intend to liquidate the company or to cease operations, or have no realistic alternative but to do so.

Auditor's responsibilities for the audit of the financial statements


Our objectives are to obtain reasonable assurance about whether the financial statements as a whole are free from material misstatement, whether due to fraud or error, and to issue an auditor's report that includes our opinion. Reasonable assurance is a high level of assurance, but is not a guarantee that an audit conducted in accordance with ISAs (UK) will always detect a material misstatement when it exists. Misstatements can arise from fraud or error and are considered material if, individually or in the aggregate, they could reasonably be expected to influence the economic decisions of users taken on the basis of these financial statements.


Explanation as to what extent the audit was considered capable of detecting irregularities, including fraud


Irregularities, including fraud, are instances of non-compliance with laws and regulations. We design procedures in line with our responsibilities, outlined above, to detect irregularities, including fraud. The risk of not detecting a material misstatement due to fraud is higher than the risk of not detecting one resulting from error, as fraud may involve deliberate concealment by, for example, forgery or intentional misrepresentations, or through collusion. The extent to which our procedures are capable of detecting irregularities, including fraud is detailed below.


INDEPENDENT AUDITOR'S REPORT**TO THE MEMBERS OF WISDOMTREE METAL SECURITIES LIMITED (continued)**


However, the primary responsibility for the prevention and detection of fraud rests with both those charged with governance of the company and management.

 We obtained an understanding of the legal and regulatory frameworks that are applicable to the company and determined that the most significant are those that relate to the reporting framework, comprising IFRS and Companies (Jersey) Law 1991. In addition, we concluded that there are certain significant laws and regulations that may have an effect on the presentation and disclosure of the financial statements being the applicable Listing Rules of the UK Listing Authority.

 We understood how WisdomTree Metal Securities Limited is complying with those frameworks by making enquiries of the directors and key management of the administrative service provider. We corroborated our enquiries through our review of minutes of Board meetings, papers provided to the board and correspondence received from regulatory bodies and noted no contradictory evidence.

 We assessed the susceptibility of the company's financial statements to material misstatement, including how fraud might occur by understanding the investment objectives of the Company and discussing with management to understand where reporting was considered susceptible to fraud. Where this risk was considered to be higher, we performed audit procedures in response to the identified fraud risk. These procedures included testing of transactions to supporting documentation, testing of specific accounting journal entries and focussed testing, including that referred to in the key audit matters section above. These procedures were designed to provide reasonable assurance that the financial statements were free from fraud or error.

 Based on this understanding we designed our audit procedures to identify non-compliance with such laws and regulations. Our procedures involved a review of board minutes to identify any non-compliance with laws and regulations, a review of any associated reporting submitted to the board on compliance with laws and regulations and enquiries of members of management of the appointed administrative service provider.

 As the Company operates in the asset management industry the Audit Partner reviewed the experience of the engagement team and concluded that the team had the appropriate competence and capabilities.

A further description of our responsibilities for the audit of the financial statements is located on the Financial Reporting Council's website at <https://www.frc.org.uk/auditorsresponsibilities>. This description forms part of our auditor's report.

INDEPENDENT AUDITOR'S REPORT**TO THE MEMBERS OF WISDOMTREE METAL SECURITIES LIMITED (continued)****Use of our report**

This report is made solely to the company's members, as a body, in accordance with Article 113A of the Companies (Jersey) Law 1991. Our audit work has been undertaken so that we might state to the company's members those matters we are required to state to them in an auditor's report and for no other purpose. To the fullest extent permitted by law, we do not accept or assume responsibility to anyone other than the company and the company's members as a body, for our audit work, for this report, or for the opinions we have formed.

Christopher David Gordon Barry, FCA
for and on behalf of Ernst & Young LLP
Jersey, Channel Islands
Date: 30 April 2021

（ ）上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は本書提出代理人が別途保管しております。